

1 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4月	はるが きた 2時間（話・聞②） ◎互いの話に関心をもつことができる。（思・判・表A(1)オ） ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ■絵を見て話したり応答したりする。 ☆学校生活（生活科）	1～2	1 P0-3の挿絵を見て、何をしているのか、気づいたことや想像したことを話す。 2 P4-7の挿絵を見て、気づいたことや想像したことを言ったり、絵の中の人物になりきって話し 3 P8を教師に合わせて声に出す。想像したこと等を話す。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。（A(1)オ） 【態】進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
4月	さあ はじめよう おはなし ききたいな 2時間（読②） ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■読み聞かせを聞いて楽しむ。 なんて いおかな 2時間（話・聞②） ◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。（知・技(1)キ） ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■場面に応じた言葉や動作を考えて、伝え合う。 ☆先生や友達などの多くの人と親しみをもって関わって学校生活を楽しむことや、場に応じた挨拶に関わる題材（道徳）	1 2 1～2	1 教科書の絵を見て、読み聞かせをしてもらった体験を想起し、自分の好きな本を発表する。 2 教科書で紹介されている本の読み聞かせを聞き、感想を発表する。 3 教師の選んだ本や、読んでもらいたい作品を選んで、読んでもらう。 4 読み聞かせを聞いて、本や作品の内容について感想を発表する。 1 P12-13の絵を見て、何をしてどんな話をしている場面なのか出し合う。 2 それぞれの場面に合った言葉や動作を考えてやり取りしたり、発表したりする。 ・教師に対する言葉遣いと友達どうしの言葉遣いの違いを考える。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） 【態】積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読 【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。（(1)キ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（A(1)ウ） 【態】経験を基に積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。
	かく こと たのしいな 1時間（知・技①） ◎平仮名を読み、書くことができる。（知・技(1)ウ） ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。（知・技(3)ウ） ■正しい姿勢や鉛筆の持ち方を意識して書く。 ☆正しい姿勢と鉛筆の持ち方（書写）	1	1 P14の唱え歌を唱えながら、鉛筆の正しい持ち方を知る。 2 P15の唱え歌を唱えながら、正しい姿勢を知る。 3 正しい鉛筆の持ち方や正しい姿勢に気をつけてP14-15の挿絵をなぞる。 4 一画の平仮名「く」「つ」を書く。 5 ワークシートを使って練習する。	【知・技】 ・平仮名を読み、書いている。（(1)ウ） ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。（(3)ウ） 【態】正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つめようとしている。
	どうぞ よろしく 3時間（話・聞②、書①） ◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ○経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。（知・技(1)キ） ■名前カードを使って友達と交流する。 ☆互いを知り、新しい仲間をつくる題材（生活科） ☆好きなものの絵を描く活動（図画工）	1 2 3	1 P16を見て、友達をたくさん増やすために、自己紹介をし合うことを知る。 2 「い・ち」と組や自分の名前を平仮名で書く。 ・姿勢や鉛筆の持ち方を唱え歌で確認しながらP17に自分の名前を書く。 ・分からない文字は、教師にきく。 3 名前カードを書く。 ・カードに自分の名前を丁寧に書く。（好きなものの絵等を描いてもよい。） 4 名前カードを見せ合い、交流する。 ・挨拶、名前、好きなもの等を伝え合い、たくさんの友達と交流する。	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。（(1)キ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。
	こんな もの みつけたよ 2時間（話・聞②） ◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。（知・技(1)キ） ■見つけたものや思ったことを友達に紹介する。 ☆学校探検（生活科）	1～2	1 校内で見つけたものを思い出して、紹介したいことを考えながら絵に描く。 2 絵を使って、自分が見たことや見て思ったことを友達に紹介する。 ・みんなの前で話すときの言葉遣いを考えて話す。	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。（(1)キ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） 【態】紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。

1 年上卷

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	うたに あわせて あいうえお 2時間（知・技②） ◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。（知・技(1)イ） ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ■音読する。 ■正しい筆順で文字を書く。 ☆歌を通して正しい発声を身につける題材（音楽）	1 2	1 P20-21のあいうえおのうたを、いろいろな方法で音読する。 ・姿勢、口形、発声、リズム等に気をつける。 ・全員、グループ等いろいろな形態で読む。 ・体を動かしたり、手足でリズムをとったりして読む。 2 P22-23の「あ、い、う、え、お」の文字を指でなぞる。 ・青い部分が一目であることに気をつける。 ・P22-23のマス目に、筆順に気をつけて「あ、い、う、え、お」を書く。 3 これまでに習った文字を使って言葉を作り、ノートに書いて言葉集めをする。	【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（(1)イ） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） 【態】進んで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。
5月	ことばの たいそう 各配当時間を15分ずつなどに分割して扱ってもよい。 こえに だして よもう 1時間（読①） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■詩を音読する。 ■想像を広げながら詩を読む。	1	1 詩を声に出して読む。 ・声の大きさやリズムを工夫してはっきりと読む。 2 朝日や海の様子について、想像したことを話す。 3 言葉の響きやリズムに気をつけながら、暗唱する。	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
	よく きいて、はなそう 2時間（話・聞②） ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■応答したり、感想を伝えたりする。	1～2	1 P26-27を読み、教師の説明を聞いて、活動内容を知る。 2 友達とペアになり、好きな遊びについて聞く。 ・P27の挿絵を参考に、話し手を見て話を聞くことを知る。 3 分かったことや感想を、声の大きさと速さに気をつけて全体に知らせる。 4 聞き手と話し手を交代して、2の活動をする。 5 教師と活動の振り返りをする。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（A(1)ウ） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A(1)エ） 【態】興味をもって進んで友達の話を聞き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。
	ことばを さがそう 2時間（知・技②） ◎音節と文字との関係に気づくことができる。（知・技(1)イ） ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■言葉集めをする。	1～2	1 P28を見て、「あ」で始まる言葉はいろいろあることを知る。 ・手を打ちながら1音節1文字であることを気づき、2文字3文字4文字の言葉等があることを知る。 2 「い」「う」「え」「お」など、既習の平仮名で始まる言葉集めをする。 ・手を打ちながら、文字数を意識する。 ・これまでに習った文字を使って言葉を見つけて、ノートに書く。	【知・技】 ・音節と文字との関係に気づいている。（(1)イ） ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【態】語句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。
5月	はなの みち 6時間（読⑥） ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。（知・技(1)キ） ■想像を広げながら物語を読む。 ■物語の音読をする。 ☆動植物や自然に親しむことに関わる題材（道徳） ☆植物の種をまき育てることに関わる題材（生活科）	1 2～5 6	1 教科書の挿絵を手がかりに、場所や季節、登場人物のイメージを膨らませる。 2 教師の範読を聞いて、内容の大体を知る。 ・教師の後について全文を音読する。 3 お話の内容を確かめながら、場面の様子や「くまさん」の行動について考える。 ・挿絵と本文を対応させながら、登場人物の行動や様子を考える。 ・挿絵のワークシートにぬり絵をしながらか、季節に気づいたり場面の様子について想像を広げる。 4 好きな挿絵の場面を選んで音読する。 ・二人組で音読を聞き合い、感想を伝え合う。	【知・技】 ・敬体で書かれた文章に慣れていく。（(1)キ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） 【態】興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。
5月	としょかんへ いこう 2時間（知・技②） ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ■学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。 ☆好きな本を見つけたり、司書の方にかいたりする活動（図書館活用）	1～2	1 学校図書館へ行く。 ・図書館巡りをし、図書館の様子を知る。 ・たくさん本があることに気づく。 2 学校図書館での決まりについて考える。 ・みんなの本であることに気づき、大切に扱うことや静かに読むこと等の約束を知る。 ・読み終わったら元の場所に返すことを知る。 3 読みたい本を選んで、読書に親しむ。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） 【態】積極的に図書館について知り、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。

1 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
5月	かきと かぎ 2時間（知・技②） ◎平仮名を読み、書くことができる。 （知・技(1)ウ） ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ）	1～2	1 P40の唱え歌を、いろいろな言い方で楽しく読み、濁音に気づく。 2 P41にある単語を、一語一語唱えながら濁音の有無を確認する。 ・清音と濁音の平仮名をノートに書く。 3 濁音を含む単語を見つけてノートに書く。 4 短い唱え歌を作って、まとめをする。	【知・技】平仮名を読み、書いている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。
5月	ぶんを つくろう 4時間（書④） ◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■主語と述語を意識して文を書く。	1～2 3～4	1 P42の挿絵を見ながら、二つの文を読む。 ・主語や述語に注意し、「――が――。」「――は――。」の文型であることに気づく。 ・主語・述語・句点を意識して、P42の文を視写する。 2 P43の挿絵を見て、「――が――。」「――は――。」の文で表し、ノートに書く。 3 日常の生活から、「――が――。」の文をノートに書く。	【知・技】 ・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。（(1)ウ） ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ） 【態】語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
5月	ねこと ねっこ 2時間（書②） ◎促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■促音や濁音のある言葉を使って文を書く。	1 2	1 P44の唱え歌をいろいろな言い方で楽しく読み、促音に気づく。 2 P45を見て、一語一語唱えながら促音の読み方を確認する。 3 P45を見て、促音のある言葉とない言葉を比べながらノートに書く。 4 促音や濁音のある言葉と助詞「を」を使って、簡単な文を書く。	【知・技】促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ） 【態】進んで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
6月	わけを はなそう 2時間（話・聞②） ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。（思・判・表A(1)イ） ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■自分の考えとそのわけを話す。 ☆わけを説明する題材（生活科・算数）	1 2	1 質問に対して、答えとその理由を伝える言い方を確認する。 ・P47の挿絵を見ながら、質問する人と答える人の二人組になって、P46のやり取りを声に出して話す。 2 P47の挿絵を見ながら、二人組で学んだ話型を使って伝え合う。 3 小学校の生活等で好きなことや楽しみなことを、学んだ話型を使って話す。 ・二人組で交流した後、グループや全体で発表する。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。（A(1)イ） 【態】話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。
6月	おばさんと おばあさん 2時間（書②） ◎長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■長音のある言葉を使って文を書く。	1 2	1 P48の唱え歌をリズムに気をつけて読む。 ・長音になることで言葉の意味が変わるものがあることに気づく。 2 P49の長音のある言葉を読んだり書いたりする練習をする。 3 長音のある言葉を集めてノートに書いたり、友達と交流したりする。 4 長音のある言葉を使って文を書く。 ・「――へ――。」という助詞「へ」を使った文を書く。	【知・技】長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ） 【態】進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
6月	あいうえおで あそぼう 3時間（知・技③） ◎平仮名を読み、書くことができる。（知・技(1)ウ） ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。（知・技(1)イ） ■言葉遊び歌を楽しむ。	1 2 3	1 P50-51の言葉遊び歌を読む。 ・調子のよい言葉のリズムに気づき、節を付けて歌うように読む。 ・何度も読んで、言葉遊びの歌の仕組みに気づく。 2 自分たちで「あいうえおで あそぼう」を作る。 ・P50-51の吹き出しやP129-131の平仮名表を参照する。 3 P52-53の五十音表を読む。 ・口形に気をつけて縦や横に読んだり、各行や列の音の特徴に気をつけて読んだりする。 ・区切ったり伸ばしたりいろいろな声の大きさで読んだりする。 ・P52-53の「しりとり」を参考にして、しりとり遊びを楽しむ。	【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（(1)イ） ・平仮名を読み、書いている。（(1)ウ） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） 【態】進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。

1 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
6月	つぼみ 8時間（知・技②、読⑥） ◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ○文章の中の重要な語や文を考えて選り出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。 ☆動植物や自然に親しむ題材（道徳） ☆図鑑でいろいろな花のつぼみを見つける活動（図書館活用）	1 2～6 7～8	1 学習の見通しをもつ。 ・花やつぼみについて、知っていることを出し合い、興味をもつ。 ・P54の写真を見て、三つのつぼみからそれぞれどんな花が咲くかを予想して絵に描いてみる。 ・教師の範読を自分の予想と比べながら聞き、内容の大体を知る。 2 全文を読み、内容の大体を捉える。 ・本文と写真とを対応させながら、3種類の花のつぼみについて取り上げられていることを確かめる。 ・それぞれのつぼみについて、「問い」と「答え」を確認し、「答え」の後に、詳しく説明している部分があることを確かめる。 ・「問い」と「答え」という文章形式を確かめながら、二人組で音読する。 3 いちばん興味をもったつぼみについて、わけとともに伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。（C(1)ウ） 【態】積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
6月	おもちゃと おもちゃ 2時間（書②） ◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■拗音のある言葉を使って文を書く。	1 2	1 P62の唱え歌をリズムに気をつけて読み、「おもちゃ」と「おもちゃ」の言葉の違いに気づく。 2 P63の拗音のある言葉を読んだり書いたりする練習をする。 3 拗音のある言葉を集めて、ノートに書いたり、友達と交流したりする。 4 拗音のある言葉を使って文を書く。 ・語と語の続き方に気をつけて文を書く。	【知・技】拗音の表記、句点の打ち方を理解して、文の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ） 【態】進んで拗音のある言葉を見つげようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
6月	おおきく なった 4時間（書④） ◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。（知・技(1)オ） ■観察したことを記録する文を書く。 ☆植物を観察する活動（生活科） ☆観察時に写真を撮影（ICT活用）	1 2～3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・生活科で育てている植物の様子を想起し、「よくみてくわしくかく」という学習課題を確認する。 2 どんな観点で観察したいかを出し合う。 ・出し合ったものとP64の観点を合わせて整理し、クラス全体で共有する。 3 観察記録の書き方を知る。 ・P64-65の二つの作例を読み、書かれている観点と書き方の共通点・相違点を見つける。 4 観察記録を書く。 ・生活科で育てている植物を観察し、観点を想起して気づいたことをメモしたり絵に描いたりする。 ・メモを見て、二つの作例の書き方から選んで観察記録を書く。 ・P124を参考に、横書きのカードの書き方を知り、生活科の学習に活かす。 5 書いたものを友達と交流する。 ・交流しながら、友達の観点や書き方との共通点・相違点に気づく。 6 学習を振り返る。 ・いろいろな観点から観察することで、様子を詳しく記録できることを確かめる。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。（B(1)ア） 【態】植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。
6月	おおきな かぶ 6時間（読⑥） ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。 ☆人との関わりで協力したり親切にしたりする題材（道徳） ☆練習を撮影した動画をいかした振り返り（ICT活用）	1～3 4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・教師の範読を聞いて、内容の大体を捉える。 ・P76-77を見て、これからの学習に意欲をもつ。 2 お話の設定と展開を捉える。 ・登場人物と増えていく順序を確かめる。 ・繰り返し言葉や副詞に着目して読む。 ・繰り返しのおもしろさやリズムを楽しんで音読する。 3 グループで役を決めて登場人物になりきって音読する。 ・動作やせりふを考えて楽しむ。 4 登場人物になりきって劇遊びをする。 ・グループ内で互いのよさや改善点を助言し合いながら練習する。 5 音読や劇の発表をする。 6 学習の振り返りをする。 ・繰り返し言葉の響きやリズムを楽しみながら、学習したことを確かめる。	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。
7月	はをへを つかおう 3時間（書③） ◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	1	1 P78の唱え歌を、リズムに気をつけて読む。 ・教師の範読を聞いてから、いろいろな読み方で繰り返し音読する。 ・「は」「を」「へ」の読み方に注意する。	【知・技】助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ）

- 5 -

1 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	言に読む。 ☆好きな本を見つけたり、司書の方にかいたりする活動（図書館活用）		3 本を読み終わったら、P95を参考にして、読書記録をつける。	
9月	ことばの たいそう	各配当時間を15分ずつなどに分割して扱ってもよい。		
	こえを あわせて よもう 2時間（読②） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■詩を音読する。 ☆好きな詩を探して読む活動の継続（図書館活用）	1	1 詩を声に出して読む。 ・リズムを感じながら元気に読む。 ・声の大きさ、速さ、読む人数などを変えて読む。	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
		2	2 詩の様子を想像したり、音読して気づいたりしたことを話し合う。 3 工夫して音読する。 ・内容から想像したり感じたりしたことを、自分なりの読み方で読んで音読を楽しむ。 4 指導書付録C Dを聞き、「いちねんせいのうた」を歌う。	
	みんなに しらせよう 2時間（話・聞②） ◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。（知・技(1)イ） ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ■知らせたい内容を聞き合う。 ☆話の内容を補うために、端末で撮影した写真などを共有（ICT活用）	1	1 P98を見て、夏休みの経験を話す際の具体的なイメージをもつ。 2 夏休みの出来事を思い出して題材を決める。 3 知らせたいことの内容を考える。 ・P98を参考に、内容や話し方を考えて練習する。 ・視覚に訴えられるよう、写真や絵を用意して発表のしかたを知る。 ・みんなが聞きやすい話し方（声の大きさや速さ）を考える。 ・P98の挿絵を参考に、集中して聞くことを確かめる。 5 夏休みの経験を発表して聞き合う。 ・伝えたいことを工夫して話す。 ・友達が知らせたい内容を聞き取り、質問や感想を伝える。 6 学習を振り返る。	【知・技】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（(1)イ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（A(1)ウ） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A(1)エ） 【態】積極的に友達の話の聞き、これまでの学習をいかして質問や感想を述べようとしている。
		2	4 発表のしかたを知る。 ・みんなが聞きやすい話し方（声の大きさや速さ）を考える。 ・P98の挿絵を参考に、集中して聞くことを確かめる。 5 夏休みの経験を発表して聞き合う。 ・伝えたいことを工夫して話す。 ・友達が知らせたい内容を聞き取り、質問や感想を伝える。 6 学習を振り返る。	
	ことばを みつけよう 2時間（知・技②） ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■みんなで言葉遊びをする。	1	1 P100-101の表を見て、縦、横、斜めに隠れている言葉を見つける。 ・見つけた言葉をノートに書き、発表する。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【態】積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。
		2	2 自分で問題を作り、友達と出し合って楽しむ。	
9月	おはなしを たのしもう			
	やくそく 8時間（読⑧） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■お話を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。 ☆人との関わりや譲り合い等に関わる題材（道徳）	1	1 学習の見通しをもつ。 ・「やくそく」という題名から、連想することや自分の経験等を出し合って、お話に関心をもつ。 ・「おはなしのすきなところをみつけて、こえをきいて、お話をしよう」という目標を設定する。	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。
		2～6	2 教師の範読を聞いて、感想を発表する。 3 教材文を読み、内容を捉える。 ・題名と作者、登場人物を確認する。（P109で「さくしゃ」という言葉を知る。） ・登場人物の言動を押さえながら、お話の展開を整理する。 ・3匹のその後を想像して伝え合い、お話の余韻を楽しむ。	
		7～8	4 グループで場面を選んで、音読する。 ・音読したい場面を選ぶ。 ・場面の様子を想像し、3匹の「あおむし」や「木」になりきって役割読みをする。 ・グループの音読を聞き合って感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	
9月	かたかなを みつけよう	1	1 片仮名を書く。 ・P110の唱え歌を音読し、その中から片仮名を見つけてノートに書く。 ・P111で、片仮名の長音、拗音、促音、濁音の書き方を確かめる。	【知・技】片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。（B(1)ウ） 【態】身の回りから片仮名で書く言葉を探し、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
	かたかなを みつけよう 2時間（知・技①、書①） ◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。（思・判・表B(1)ウ） ■身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて、読んだり書いたりする。	2	2 身の回りから片仮名で書く言葉を探す。 ・探した言葉を、長音、拗音、促音、濁音に気をつけながら、ノートに書く。 ・P126-127の片仮名表を参考に、片仮名で書く言葉の入った簡単な文を書く。	
9月	よんで たしかめよう			

1 年上卷

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	うみの かくれんぼ 8時間(読⑧) ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ■説明する文章を読み、分かったことを伝える。 ☆自然に親しむ題材(道徳) ☆他の生き物の隠れ方を図鑑等で調べる活動(図書館活用)	1~2 3 4~6 7~8	1 学習の見通しをもつ。 ・「つばみ」の学習で「問い」と「答え」の文があったことを思い出す。 ・P112-113の写真を見て、海にはたくさんの生き物がいることを経験や知識を基に話し合い、教材に興味をもつ。 ・「いきものがどんなかくれんぼをしているかをしらべて、ともだちにしらせよう」という学習課題を確認する。 2 教材文を読む。 ・最初の「問い」で問われていることを確かめる。 3 生き物の隠れる場所と隠れる方法を確認する。 ・1文目に海の生き物とその隠れ場所、2文目に体の仕組みや機能、3文目に隠れる方法という順序で書かれていることに気づく。 ・内容や構成について気づいたことを交流し、生き物ごとに、読み取ったことをカードにまとめて確かめる。 4 P117の図鑑や科学読み物等から、他の生き物の隠れ方を調べて友達と交流する。 ・興味をもった生き物について「1なにが、どこに 2かくれるためのからだのつくり 3かくれんぼのしかた」を調べる。 ・調べて見つけたことを、順序を考えてカードに書く。 ・P112と同様の問いかけをしなが、友達と交流する。 5 学習を振り返る ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) 【態】粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。
9月	かずと かんじ 4時間(知・技②、書②) ◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■数え歌を書く。	1~3 4	1 教科書の数え歌をリズムカルに楽しく読む。 ・数に合わせて、子ブタの鳴き声を入れて読む 2 数を表す漢字を練習する。 ・読み方が複数あることを知る。 3 身の回りにあるものを数えてノートに書く。 4 P120-121を参考に、折り紙、鉛筆、車などの数え歌を作って友達と読み合う。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。(1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ) 【態】積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとする

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
10月	おもいうかべながら よもう			
	くじらぐも 8時間（知・技①、読⑦） ◎かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■読んで想像したことを伝え合う。	1～2 3～6 7～8	1 扉の詩を声に出して読み、目次を見て下巻の見通しをもつ。 2 学習の見通しをもつ。 ・題名から「くじらぐも」を想像することで、物語の様子を「おもいうかべながらよもう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 3 教材文を読み、内容の大体を捉えて、様子を思い浮かべる。 ・挿絵を手がかりに想像を広げながら、教師の範読を聞き初発の感想を交流する。 ・様子を想像して、かぎ（「」）のところにどのように音読するか考える。 4 読んで想像したことを伝え合って共有する。 ・友達が想像したことを聞いて、思ったことを発表する。 5 話した言葉を、かぎ（「」）を使って書く。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。
10月	まちがいを なおそう 2時間（書②） ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正すことができる。（思・判・表B(1)エ） ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。（知・技(1)ウ） ■正しい表記で文章を書く。	1～2	1 これまでの学習を振り返る。 ・文章を読み返して間違いに気づいた経験や、日常的に文章を読み返す習慣がついているかを 2 文章の中から表記の間違いを見つけて直す。 ・P19の文章例を読み、文字の間違いを直す。 ・友達と交換し、確認し合う。 ・「は」「へ」「を」を使って文章を書き、読み直す。 ・友達と交換し、確認し合う。	【知・技】助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。（B(1)エ） 【態】進んで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。
10月	くわしく かこう しらせたいな、見せたいな 10時間（書⑩） ◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。（思・判・表B(1)ウ） ■見つけたことを記録して伝える。 ☆動植物の観察記録文を書く活動（生活科） ☆知らせたい対象を端末で撮影（ICT活用）	1 2～3 4～8 9～10	1 学習の見通しをもつ。 ・P20を読み、「学校にいる生きものや、学校で見つけたものをよく見て、いえのひとにしらせる文しようをかこう」という学習課題を確認する。 ・教材文を読んで学習の流れを確かめ、知らせたいよのへをきく 2 家の人に知らせたいものを決め、絵や見つけたことをカードに記録する。 ・知らせたいものをよく見て、P21のカードを参考に、絵の周りに色や形、触った感じ、様子などを短い言葉で書く。 3 見つけた事柄を文章に書く。 ・P21のカードとP22の作例を比べ、見つけたことをどのように文章に表すのかを考える。 ・短冊カードを用意するなどして、見つけた事柄を一つずつ文にする。 ・カードを並べ替えながら文章の順序を考える。 ・考えた順序に沿って文章を書く。 4 文章を声に出して読み返す。 ・句読点や「は」「へ」「を」が正しく使えているか推敲する。 5 書いた文章を読んでもらう。 ・家の人に読んでもらい、感想をもらう。 ・知らせたいことを伝える文章を書いて、家の人に読んでもらった感想をまとめる。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。（B(1)ウ） 【態】知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。
10月	かん字の はなし 6時間（知・技③、書③） ◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■漢字を使った短文を書く。	1～2 3～4 5～6	1 教科書を読み、漢字の成り立ちを知る。 ・P24-25の挿絵を見て、何を表す絵が描いてあるかを確かめる。 ・絵と漢字を見比べて、漢字の成り立ちを知 2 教材文に出ている漢字の書き方を学び、書き順や字形に気をつけて練習する。 ・絵からできている漢字の意味を考える。 ・ある事柄を示す印からできている漢字の意味を考える。 3 例文にある絵を漢字に直し、ノートに視写す 4 学習した漢字を使って、短文を作る。 ・作った文を友達と読み合い、交流する。 ・互いに読み合い、漢字や文の書き方に間違いがないかを確かめる。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			5 学習を振り返る。 ・漢字の成り立ちについて知ったことを振り返る。	
10月 ～ 11月	ことばを たのしもう 2時間（知・技②） ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話すことができる。（知・技(1)イ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■詩や早口言葉を楽しむ。 ☆他にもおもしろい発音の詩を探す活動（図書館活用）	1 2	1 濁音・半濁音・促音・撥音の入った詩のおもしろさを味わいながら声に出して読む。 2 早口言葉を調子よく、正確に唱える。 3 他にもおもしろい発音の詩などを探して、声に出して読み合う。	【知・技】 ・音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。（(1)イ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） 【態】積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。
11月	せつめいする 文しょうを よもう じどう車くらべ 7時間（読⑦） ◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ○文章の中の重要な語や文を考えて選出することができる。（思・判・表C(1)ウ） ■事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。	1 2～5 6 7	1 学習の見直しをもつ。 ・P30の挿絵を見て、それぞれの車がどんな仕事をするのか、そのためにどんなつくりになっているのか、考えを出し合う。 ・「いろいろな車のしごととつくりがどんなふうにしょうかいされているかかんがえながら、せつめいする文しょうをよもう」という学習課題を確認する。 2 教材文を読む。 ・文章全体の構造を捉える。（問いと答えの形式・三つの事例を挙げて説明） ・各事例の「しごと」と「つくり」を見分け、二つの事柄の順序や、「そのために」でつながっていることを押さえる。 ・事例を比べ、車の「つくり」は、「しごと」によって変わることを押さえる。 3 説明のしかたについて確かめる。 ・身近な自動車から順に登場していたことを押さえる。 4 はしご車の「しごと」とそのための「つくり」についてまとめる。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選出している。（C(1)ウ） 【態】進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。
11月	せつめいする 文しょうを かこう じどう車ずかんを つくろう 5時間（書⑤） ◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ■「じどう車しょうかいカード」を書く。 ☆自動車について書かれた図鑑等を選んで読む活動（図書館活用）	1 2～4 5	1 学習の見直しをもつ。 ・教材「じどう車くらべ」の学びを思い出す。 ・一人一人が「じどう車しょうかいカード」を書き、「クラスでまとめて、じどう車ずかんをつくろう」という学習課題を確認する。 2 「じどう車しょうかいカード」を作る。 ・図鑑などで知った自動車の中から紹介したい自動車を選ぶ。 ・説明の観点に着目しながら、「しごと」と「つくり」をノートに書く。 ・カードに文章を清書し、できたら、挿絵用の絵や写真のコピーを添える。 3 カードを交換して読み合う。 ・友達の作ったカードを読み、感想を伝え合う。 ・クラスで図鑑としてまとめる際、どんな順番で並べるかを話し合う。 4 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（B(1)イ） 【態】分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見直しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
11月	かたかなを かこう 2時間（知・技①、書①） ◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■片仮名で書く言葉を集め、短文を書く。	1～2	1 身近なものの中で、片仮名で表記する語を出し 2 教科書にある片仮名で書く言葉をノートに書く。 3 片仮名で書く言葉を集め、短文を作る。 4 作った短文を友達と交流する。	【知・技】片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとして
11月	ともだちと はなして、おはなしを かこう			

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	どんな おはなしが できるかな 6時間（話・聞②、書④） ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思・判・表A(1)オ） ◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ○句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ■友達と話したことを基にして物語を作る。	1 2～3 4～5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・「どうぶつになったつもりでともだちとはなして、おはなしをつくらう」という学習課題を 2 P40～41の挿絵を参考に、登場人物を決める。 3 友達と役割を決めて、動物になったつもりで話をする。 ・友達と話したことをノートにメモする。 ・「たいせつ」で、友達の話を聞くときに気をつけることを確認する。 4 友達と話したことを基に、お話を考えて文にする。 ・P42を参考に、友達と話したことを会話の形にする。 5 書いたお話を読み合い、感想を交流する。 ・「たいせつ」で、交流の観点を確認する。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A(1)エ） ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ） ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。（B(1)オ） 【態】物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。
11月 ～ 12月	すきな ところを 見つけよう たぬきの 糸車 8時間（読⑧） ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語の好きなところを見つけて、そのわけを話し合う。	1 2～6 7～8	1 学習の見通しをもつ。 ・教師の範読を聞いて好きなところを見つけ、文章に線を引く。 ・挿絵を手がかりに、内容の大体を捉える。 ・「すきなところとそのりゆうをみんなにしらせよう」という学習課題を確認する。 2 場面ごとに様子を思い浮かべる。 ・「たぬき」や「おかみさん」と同じ動作を試してみる。 ・「たぬき」のしたことを確かめ、そのときの様子を思い浮かべる。 ・「おかみさん」の気持ちを想像する。 3 好きなところとそのわけを友達と話し合う。 4 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） 【態】場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。
12月	日づけと よう日 3時間（知・技①、書②） ◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■唱歌を作る。	1 2 3	1 日付歌を唱える。 ・日付歌に出てくる漢字の読み方を学び、日付歌を声に出して練習する。 ・日付歌に出てくる漢字の練習をする。 2 曜日歌を唱える。 ・曜日歌に出てくる漢字の読み方を学び、曜日歌を声に出して練習する。 ・曜日歌に出てくる漢字の練習をする。 3 自分の日付歌、曜日歌を作る。	【知・技】 ・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱歌を作ろうとしている。
12月	てがみを かこう てがみで しらせよう 6時間（書⑥） ◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。（知・技(1)キ） ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。（思・判・表B(1)エ） ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■伝えたいことを手紙に書く。 ☆お世話になった人に手紙を書く活動（生活科）	1 2 3～5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・手紙を書いたり、もらったりした経験を出し合う。 ・教材文を読み、「うれしかったことやたのしかったことを、てがみにかいてしらせよう」という学習課題を確認する。 2 誰にどんなことを知らせたいか考える。 ・相手と書く題材を決め、必要な事柄を集める。 3 手紙を書く。 ・P58～59の作例を参考に、クラス全員で共通の相手に手紙を書く練習をする。 ・読み返して、書くときに気をつけることを意識して書いているかを確かめる。 ・自分がいちばん知らせたい相手に手紙を書く。 4 学習の振り返りをする。 ・手紙を書いた感想を交流する。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。（(1)キ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（B(1)ウ） ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。（B(1)エ） 【態】書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。
12月	本は ともだち			

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	むかしばなしを よもう おかゆの おなべ 8時間（書④、読④） ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ■昔話を読み、感想を伝え合う。 ☆いろいろな昔話を選んで読む活動（図書館活用）	1～2 3～5 6～8	1 学習の見通しをもつ。 ・知っている昔話や読んでみたい昔話を出し合う。 ・P60-61を見て、「いろいろなむかしばなしをよんで、ともだちにしらせよう」という学習課題カードの書き方を学習する。 ・「おかゆの おなべ」を読む。 ・お話の好きなところやおもしろかったところなどを伝え合う。 ・P73を参考にカードの書き方を確認する。 2 読みたい昔話を選んで読み、カードを書く。 ・カードの書き方を再度確かめる。 3 友達のカードを読んで感想を伝え合う。 ・カードを読み、さらに物語を読んだり、カードに対する感想を書いたりする。 4 学習を振り返る。 ・昔話を読んで紹介カードを交流し合った学習から、学んだことや感じたことを振り返る。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） 【態】積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。
1月	ことばの たいそう 各配当時間を15分ずつなどに分割して扱ってもよい。 なりきって よもう 2時間（読②） ◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ☆お気に入りの詩を見つける活動（図書館活用） ☆工夫した読み方を端末で動画撮影し、友達と交流（ICT活用） くわしく きこう 2時間（話・聞②） ◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■紹介を聞いて、質疑応答する。 ☆紹介したい本を選ぶ活動（図書館活用） ☆話す練習を動画で撮影（ICT活用） ことばで あそぼう 2時間（知・技②） ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ）	1～2 1～2 1～2	1 作者（かたつむり、にじ）の気持ちを想像しながら詩を音読する。 ・読む速度を変えたり、動作化したりして、いろいろな読み方を楽しむ。 2 詩集などからお気に入りの詩を選び、音読する。 ・声に出して詩集を読んだり、友達と気に入った詩を交流する。 3 学習を振り返る。 1 自分の好きな本を友達に紹介する。 ・教師の本の紹介を聞き、これからの学習に見通しをもつ。 ・どの本を友達に紹介するか決める。 ・知りたいことを考えながら聞き、もっと知りたいことを質問する。 2 学習を振り返る。 ・本を紹介し合う活動の振り返りをし、これからも友達と好きなものを紹介し合って、友達のことをもっとよく知っていくように促す。 1 言葉遊びの仕組みを理解する。 ・P78-79を見て、言葉遊びのしかたを理解し、ノートに書く。 2 言葉遊びを楽しむ。 ・教科書を参考に自分で言葉遊びのルールを決め、言葉遊びの問題を作る。 3 問題を出し合う。 ・問題を出し合うことでさまざまなルールの言葉遊びを知り、継続して言葉遊びを続ける意欲をもつ。	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。 【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A(1)エ） 【態】積極的に友達の話の聞き、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。 【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（(1)オ） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） 【態】積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。
1月	くらべて よもう どうぶつの 赤ちゃん 10時間（読⑩） ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ■書かれていることを比べて読む。 ☆他の動物の赤ちゃんについて書かれた本を読む活動（図書館活用）	1～2 3～6	1 学習の見通しをもつ。 ・いろいろな動物の赤ちゃんの写真を見て、動物の赤ちゃんへの興味・関心をもつ。 ・「どうぶつの赤ちゃんについて、かかれていたことをくらべながらよもう」という学習課題カードの書き方を学習する。 2 教師の範読を聞く。 ・初めて知ったことや不思議に思ったことを話し合う。 3 ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子や成長を比べながら読み取る。 ・「生まれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」を観点ごとにまとめる。 ・お母さんとの違いや、成長過程での親子のつながりについて確認する。 ・どのような違いがあるのか、気づいたことを発表する。	【知・技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） 【態】文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		7～10	4 他の動物の赤ちゃんについても違いを調べる。 ・P88-89の「もっと よもう」を読み、比べる観点を確認する。 ・他の動物の赤ちゃんについて書かれた本を読み、生まれたばかりの様子や大きくなっていく様子で気づいた違いを発表し合う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえ	
1月	ことばって、おもしろいな ものの 名まえ 6時間（知・技④、話・聞②） ◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。（知・技(1)オ） ○互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思・判・表A(1)オ） ■尋ねたり、応答したりする。	1 2～3 4～5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・買い物をしたときの経験を出し合い、店での言葉のやり取りに関心をもつ。 ・P94-95を見て、「ものの名まえをあつめておみせやさんごっこをしよう」という学習課題を 2 教材文を読み、物の名前には上位語と下位語があることを理解する。 ・教材文に出てくる物の名前を上位語と下位語に整理してノートに書く。 ・身の回りの物の名前を集め、上位語と下位語に分けてノートにまとめる。 ・集めた言葉を発表し合う。 3 「おみせやさんごっこ」の準備をする。 ・2で発表し合った身の回りの物の名前を参考にして、開きたいお店ごとにグループを作る。 ・上位語で看板やポスターを、下位語で品物カードを作る。 ・教科書を参考にして、グループごとに「お店の人」と「お客さん」の話し方を練習する。 4 「おみせやさんごっこ」をする。 ・「お店の人」と「お客さん」の言葉のやり取りを楽しむ。 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。（(1)オ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ） 【態】積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
2月	わらしべちょうじゃ 1時間（読①） ◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。（知・技(3)ア） ○文章を読んで感じたことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ■昔話の読み聞かせを聞く。 ☆我が国の文化や生活に親しみ愛着をもたせる題材（道徳） ☆いろいろな昔話を読む活動（図書館活用）	1	1 知っている昔話を出し合う。 2 教科書の挿絵を見ながら「わらしべちょうじゃ」の読み聞かせを聞く。 3 おもしろかったところや、気に入ったところについて友達と感想を伝え合う。 ・P126を参考に、読み聞かせやその他の楽しみ方について話し合ってもよい。	【知・技】昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。（C(1)カ） 【態】積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。
2月	かたかなの かたち 3時間（知・技②、書①） ◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■片仮名の言葉を使って文を書く。	1 2～3	1 平仮名と形の似ている片仮名や、似た形の片仮名を区別して書く。 ・一字ずつ形を確認しながらノートに書く。 ・P139-140の「ひらがなと かたかな」を見て、他にも似ている形の字を探してノートに書く。 2 間違えやすい片仮名を練習する。 ・P99を見て、間違えやすい文字・長音・拗音の書き方を理解し、形に気をつけてノートに書く。 3 片仮名で書く言葉を集める。 ・見つけた片仮名の言葉を使って文を書く。 4 書いた文を発表し合う。	【知・技】片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】進んで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。
2月	ことばあそびを つくろう 6時間（知・技①、書⑤） ◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■言葉遊びを作る。	1 2 3～5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・教材文を見て、「ことばクイズをつくって、みんなできあおう」という学習課題を理解する。 2 P100-101の□にあてはまる言葉を考える。 ・「いる」「ある」をヒントにして言葉を見つける。 3 「ことばクイズ」を作る。 ・（ ）の言葉の中に隠れている□の言葉を考える。 ・グループで相談し合う。 ・「いる」「ある」の使い分けに注意しながらクイズカードを作る。 4 クイズ大会をする。 ・グループごとにブースを作り、クイズを出し 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
2月	ふたりで かんがえよう			

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	これは、なんでしょう 4時間（話・聞④） ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思・判・表A(1)オ） ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■二人で相談し、考えをまとめる。	1 2～3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・教師から問題を聞いたり、教材文を読んだりして、クイズの大まかなルールを把握する。 ・「ふたりでもんだいをかながえて、クイズたいかいをしよう」という学習課題を確認する。 2 二人組を作り、クイズの問題を考える。 ・問題にするものを決める。 ・決めたものの特徴（色や形、働き、様子など）をノートに書き出す。 3 問題の出し方を話し合う。 ・動画を見て問題の出し方を確かめ、話し合いのしかたを学ぶ。 ・書き出したことをどのような順番で言うのかを決め、練習する。 4 「これは、なんでしょう」クイズ大会をする。 ・二人組で出題したり、答えたりする。 ・解答者は、出題者の二人に問題の出し方について感想を伝える。 5 学習を振り返る。 ・二人で感想を出し合い、話し合うときにどのようなことが大切か、気づいたことを出し合う。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ） 【態】粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。
2月 ～ 3月	よんで かんじた ことを はなそう ずうっと、ずっと、大すきだよ 8時間（読⑧） ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■読んで感じたことを伝え合う。 ☆生命を尊重する心を育てる題材（道徳）	1 2 3～4 5～7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・家でペットを飼っている児童に、ペットとの関わりを紹介してもらい。 ・「おはなしをよんでかんじたことをはなそう」という学習課題を確認する。 2 お話を読んで思ったことを話す。 ・教師の範読を聞いて、「いいな」「すきだな」「どうしてかな」など、心に残ったことを出し合う。 ・出し合った感想をもとに、みんなで話し合い、お話を筋を押しさえる。 3 「エルフ」がどんなふうにな変わっていったか確かめる。 ・「ぼく」が、「エルフ」のことが大好きだと分かる場所を見つける。 4 学習計画に沿って話し合う。 ・2で決めた話し合いしたいことについて、考えを出し合う。 ・「ぼく」が、なぜ「となりの子」から子犬をもらわなかったのかを、自分に引きつけて考える。 ・このお話を読んで、最も心に残ったことを友達に話す。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） 【態】友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
3月	にて いる かん字 3時間（知・技②、書①） ◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。（思・判・表B(1)ウ） ■似ている漢字を使って文を書く。	1 2 3	1 似ているところに気をつけて漢字を書く。 ・P120の漢字を見比べ、どこが似ているか出し合う。 ・似ているところと異なる場所を確かめながら、書き順に気をつけて漢字を書く。 ・P121の漢字を、書き順を確かめながらノートに書く。 2 書き順に気をつけて漢字を書く。 ・P121の漢字を、書き順を確かめながらノートに書く。 3 漢字を使って文を作る。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。（B(1)ウ） 【態】進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。
3月	おもい出して かこう いい こと いっぱい、一年生 10時間（書⑩） ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。（知・技(1)キ） ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■経験したことを報告する文章を書く。	1 2 3	1 学習の見通しをもつ。 ・写真やアルバムを見ながら1年間を振り返り、心に残っていることを話し合う。 ・教材文を読み、学習の手順を知る。 ・「おもいだして、『1年生のおもいで』をかこう」という学習課題を確認する。 2 1年間の出来事を振り返る。 ・P123を参考に、「がんばったこと」「できるようになったこと」などの観点から思い出す。 ・写真を見たり、家の人に聞いたりする。 3 書きたい事柄を選ぶ。 ・一つ一つの事柄を思い出し、書きたい内容を集めてメモを作る。	【知・技】敬体で書かれた文章に慣れている。（(1)キ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（B(1)イ） 【態】事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習

1 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	☆生活を明るくする態度を育てる題材（道徳） ☆これまでの活動の様子の写真や動画を端末に保存している場合は、それらも参照（I C T活用）	4～8 9～10	4 メモを基に、文章を書く。 ・P124の作例を読み、書き方を考える。 ・順番を考えながらメモを並べ替え、文章にする。 5 推敲する。 ・句読点や文字の間違いを見直す。 ・内容の分かりにくいところはないか、読み直す。 6 書いたものをまとめて冊子を作る。 ・時間順に並べるなど、構成を工夫する。 7 冊子を読み合う。 ・友達の思い出についての感想や、書き方のよかったところを伝え合う。 ・家の人に読んでもらい、感想をもらう。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。 9 1年間の学習を振り返り、頑張ったことを思い出してP136の表彰状に書く。 ・1年生の初めに書いた字と比べ、自分の成長を確認する。	や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。

2 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4月	じゅんばんに ならぼう 1時間（話・聞①） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。（思・判・表A(1)エ） ■出された課題に応じて、声をかけ合いながら順番に並ぶ。	1	1 1年間の国語の学習の見通しをもつ。 ・扉の詩を音読したり、目次やP5「こくごの学びを見わたそう」を見たりして、上巻の学習への期待感や見通しをもつ。 2 「じゅんばんにならぼう」のやり方を知る。 ・どんな順番で並ぶのか、説明をしっかりと聞いて理解する。 3 教師の話聞いて、実際に並ぶ。 ・何の順番で並ぶのか確認する。 ・自分の場所を見つけるためには、どのような声のかけ合いをすればよいか相談する。 4 正しい順番に並べたかを確認、感想を交流する。 ・「もっとたのしもう」を参考に、さらにさまざまな順番で並ぶことを楽しんでもよい。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。（A(1)エ） 【態】自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き取り、学習課題に沿って声をかけ合い、正しい順番で並ぼうとしている。
4月	絵を見て かこう つづけて みよう 1時間（書①） ○第1学年に配当されている漢字を文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ■絵に描かれた様子を文章に書く。	1	1 絵を見て気づいたことを発表し合う。 2 絵から分かることを確かめる。 ・どこで ・どんな人が ・どんなことをしているか 3 どの部分の様子を書くかを決め、教科書の例文を参考にして文章にする。 ・1年生で学習した漢字を使って書く。 4 友達と文章を読み合って感想を伝える。 5 P18「つづけてみよう」を読み、年間を通してひと言日記に取り組む意欲をもち、ノートの書き方について学ぶ。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。（B(1)オ） 【態】絵の中から進んで書くことを見つけ、これまでの学習をいかして文章を書くとしている。
4月	どんな おはなしかを たしかめて、音読しよう ふきのとう 9時間（読⑨） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■音読を聞き合い、感想を伝え合う。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆音読の様子を撮影し、見せ合う活動（ICT活用）	1～2 3～5 6 7～8 9	1 学習の見通しをもつ。 ・P19を見て、どのような物語かを想像する。 ・音読して「おもしろいな。」と思ったところを見つけ、友達と比べる。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 お話の大体を考えながら繰り返し音読する。 3 登場人物とその行動について確かめる。 4 「ふきのとう」が顔を出せた理由や、会話文の音読のしかたについて考える。 5 おもしろいと思ったところを、様子が伝わるように音読し、互いに聞き合い、感想を伝え合う。 6 グループで役割に分かれて音読発表を行い、感想を交流する。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） 【態】場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確認、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。
4月	図書館たんけん 1時間（知・技①） ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ■図書館の本の並べ方の決まりや工夫を見つけ、発表する。 ☆図書館で読みたい本を探し、本の分類を学ぶ教材（図書館活用） ☆書架の様子や本の並べ方の撮影（ICT活用）	1	1 図書館の本の並べ方の決まりや工夫を見つけるという学習課題をもつ。 2 図書館探検に行く。 ・本はどのような工夫をして並べてあるのか、各自で見回り、気づいたことを共有する。 ・P34「読みたい本をさがすときは」を確認する。 3 P35で提示された本や、各自で見つけた本を決めて、どこにあるのか予想して探す。 4 学習を振り返る。 ・自分の読みたい本を探すときに気をつけることをまとめて発表し合う。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） 【態】積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。
4月	春が いっぱい 2時間（書②） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことなどから書くことを見	1 2	1 教科書の絵の中で見たことがあるもの、知っているものについて出し合い、名前を確認する。 2 「はなが さいた」の詩を読む。 3 登校途中や家の周り、校庭や花壇、学級園などで見つけた春を感じるものをカードに書く。 ・絵や写真を添える。 ・見つけたものの名前、いつ、どこで見つけたか。 ・見つけたときに感じたこと。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確

2 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■春を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、春のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆春らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動(音楽) ☆春を感じるものの撮影(ICT活用)		4 書いたカードをみんなで読み合い、感想を交流する。	かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
4月	思い出して 書こう			
	日記を 書こう 4時間(書④) ◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■身近な出来事を日記に書く。 ☆学校生活や家庭生活、身近な自然や季節の行事などに目を向けさせる題材(特別活動、生活科)	1～2 3 4	1 P18「つづけてみよう」で書いてきたひと言日記を紹介し合うなどして、学習の見通しをもつ。 2 日記例を基に、日記の書き方を確認する。 ・日付、曜日、天気 ・したこと(いつ・誰が・誰と・何を・どうした) ・見たこと、見つけたもの ・言ったこと、聞いたこと ・思ったこと 3 昨日のことやひと言日記から題材を決め、思い出したことを書き出す。 4 出来事の順序を思い出して日記を書く。 5 書いた日記を読み合い、学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
4月 ～ 5月	だいじな ことを おとさないように 聞こう			
	ともだちは どこかな 【コラム】声の 出し方に 気を つけよう 5時間(話・聞⑤) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。(知・技(1)イ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■目的に応じて大事なことをメモしながら聞き取る。 ☆必要なことについて、身近な人と連絡し合う活動(学校生活)	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・音声を聞いて、絵の中から「ゆかさん」を探す。 ・「といをもう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 絵を見てどんな人がいるかを話し合う。 ・手がかりになりそうな言葉や事柄の予想を立てる。 3 話を聞くときに大事なことを考える。 4 絵の中から子どもを選んで友達と探し合う。 ・P44コラム「声の出し方に気をつけよう」を参考に、分かりやすい話し方を練習する。 ・グループで相互に探し合いをする。探し役はメモを見せ合って協力してもよい。 5 探しやすい話し方や聞き方、メモの取り方を発表し合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・P44のコラムで音の高さによる言葉の意味の違いを理解する。	【知・技】 ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ) 【態】自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。
5月	じゅんじょに 気を つけて 読もう			
	たんぼぼの ちえ 【じょうほう】じゅんじょ 10時間(知・技①、読⑨) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選り出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■植物の知恵について書かれている文章を読み、感想を書く。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科)	1～2 3 4～5 6～7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・P45を見て、文章の内容を想像したり、たんぼぼについて知っていることを出し合う。 ・教材文を読み、「といをもう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 たんぼぼの知恵が幾つあるかを考えながら音読する。 ・知恵が幾つあるかを数えることで、何を知恵というかを確かめる。 3 たんぼぼが、いつどんな知恵を働かせているのかを捉える。 ・順序を表す言葉に着目して、たんぼぼの知恵を確かめる。 4 たんぼぼの知恵にはどんなわけがあるのか、文末表現に注意して読み取る。 5 感心したたんぼぼの知恵を選び、なぜそう思ったのか自分の考えを書く。 ・書いたものを友達と読み合い、同じだと思ったことを伝え合う。	【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。(C(1)ウ) 【態】粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。

2 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		9～10	6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。 7 P55「じゅんじょ」を読み、説明するときの順序の種類や、効果を確かめる。 ・身の回りの出来事や自分の行動などを、順序を考えながら話す。	
5月	ていねいに かんさつして、きろくしよう かんさつ名人に なるろう 10時間（書⑩） ◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■観察したことを記録する文章を書く。 ☆育てている動植物を観察し、分かったことなどを記録する活動（生活科） ☆身近な動植物の変化や成長の様子への関心を育む題材（道徳、生活科） ☆観察するものを撮影して記録する活動（ICT活用）	1 2～8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・生き物や植物を育てた経験を振り返り、友達と話し合う。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 観察するものを決め、見つけたことや気づいたことをメモして、書く順序を考える。 ・P57「かんさつするときは」を参考にする。 ・観察して見つけたことや気づいたことを、メモを基に友達と尋ね合い、記録しておきたいことをどんな順序で書くか考える。 3 メモを基に観察記録文を書く。 ・P59、60の作例を参考に観察記録文のイメージをもつとともに、記録文を書くときに必要なことを整理する。 ・読む人に伝わるように、書くこととその順序を再度確認したり、P60「かんさつしたことを書くときのことば」を参考にしたりする。 4 書いた文章を友達と読み合い、よいところやよく分かる書き方について伝え合う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】書くために必要な事柄を進んで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。
6月	いなばの 白うさぎ 2時間（知・技②） ◎神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。（知・技(3)ア） ■神話の読み聞かせを聞き、感想を伝え合う。 ☆郷土への愛着を養う題材（道徳） ☆昔話や神話の本を図書館で探して読む活動（図書館活用）	1 2	1 これまでに読んだり聞いたりした神話や昔話を紹介し合い、教材文に興味をもつ。 2 挿絵からお話の内容を想像し、読み聞かせを聞く。 3 登場人物や出来事、お話の結末を確認し合い、おもしろかったことを伝え合う。 4 P64「この本、読もう」を参考に、図書館で自分の住む地方に伝わる昔話や神話を探して読む。	【知・技】神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（(3)ア） 【態】進んで神話の読み聞かせを聞き、これまでの学習をいかして感想を伝え合おうとしている。
6月	同じ ぶぶんを もつ かん字 2時間（知・技②） ◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 P65のイラストを基に、漢字の同じ部分を探し、漢字の意味やつながりについて、考えたことや思ったことを出し合う。 2 P66の例文を音読したり視写したりして、同じ部分を見つけ、つながりを考える。 3 P154「これまでにになったかん字」を活用し、同じ部分をもつ漢字を探す。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字の読み書きに取り組み、学習課題に沿って、同じ部分をもつ漢字を見つけようとしている。
6月	お話を 読み、すきな ところを つたえよう スイミー 9時間（読⑨） ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ■物語を読み、好きな場面について伝え合う。	1～2 3～4 5～7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・P67を見て、どのような物語かを想像する。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 教材文を読み、五つの場面を確かめる。 ・それぞれの場面の出来事を確認する。 3 言葉に着目して場面の様子を思い浮かべる。 ・スイミーがしたことや見たもの、思ったことを表す言葉を見つけないが読み。 ・たとえを使った描写のおもしろさを想像しながら読む。 ・それぞれの場面でのスイミーの様子が伝わるように、音読する。 4 好きな場面とその理由を書き、友達と伝え合う。 ・伝え合うときは、P79の「話し方のれい」を参考にする。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場면을伝え合おうとしている。

2 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		9	5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	
6月	かん字の ひろば① 2時間（書②） ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ・語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵を説明する文を書く。	1～2	1 P154「これまでにならったかん字」を用いて教材中の漢字の読み方の復習をする。 2 P81の絵や「れい」を見ながら、絵の中の言葉を使って、島の様子を表す文を書く。 3 書いた文を友達と読み合う。	【知・技】 ・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。（B(1)ウ） 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。
6月	【じょうほう】メモをとるとき 3時間（書③） ◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ☆気づいたことや分かったことをメモする活動（生活科、学校生活）	1 2～3	1 学習の見直しをもつ。 ・メモの必要性、有効性について経験を出し合う。 2 P83の例を基に、メモを取るときに気をつけることを確認する。 3 実際に、学校のことを家の人などに知らせるためのメモを取る。 ・自分で読み返す。 ・書いたメモを友達と見せ合い、お互いのよいところを伝え合う。 4 学習を振り返る。 ・メモを取るときに気をつけたいことをまとめ	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。
6月 ～ 7月	組み立てを 考えて 書き、知らせよう こんな もの、見つけたよ 【コラム】丸、点、かぎ 10時間（書⑩） ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ■自分が見つけた「いいな」と思うものを友達に伝える文章を書く。 ☆身近な地域の特色や行事、施設などに目を向けさせる題材（生活科） ☆見つけたものを撮影する活動（ICT活用）	1 2～4 5～6 7～9 10	1 学習の見直しをもつ。 ・生活科の町探検などで見つけたものを共有し、いいなと思ったものを話し合う。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 P85のメモ例を参考に、見つけたものや尋ねて分かったことなどをメモに取る。 ・P82「メモをとるとき」の学習内容を活用する。 ・メモを見直して、見つけたもののよさを伝えるのに必要なことを付け加える。 3 メモを基に、文章の組み立てを考える。 ・P86の組み立て例や、「組み立てを考えるときは」を参考に、「はじめ」「中」「おわり」にそれぞれ何を書くかを考える。 ・P163の「図をつかって考えよう」を活用し、順序を入れ替えながら確認する。 4 組み立てメモを基に文章を書き、読み返して推敲する。 ・P89コラム「丸、点、かぎ」を参考に、書いたものを読み返し、間違いなどを正す。 5 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 ・初めて知ったことや分かりやすかったところなどを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（B(1)イ） 【態】事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見直しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書こうとしている。
7月	あいての考えを引き出す しつもんをしよう あったらしいな、こんなもの 7時間（話・聞⑦） ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表	1 2 3～5	1 学習の見直しをもつ。 ・あったらしいなと思うものを考える。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 あったらしいなと思うものを考えて、絵に描く。 ・描いた絵に簡単な説明をメモしておくことよい。 3 友達がどんなものを考えているのか、詳しく知るための質問のしかたを考える。 ・P92「しつもんをするときは」や動画を参考に、どんなことを質問すれば効果的か考える。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感

2 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	A(1)ア) ■質問をし合うことを通して考えをまとめる。	6～7	4 友達と質問し合って詳しく考える。 ・働きや作りについて質問されて答えたことは、自分の絵に付け加えておく。 5 考えたものをグループで発表し合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	想をもっている。(A(1)エ) 【態】粘り強く話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。
7月	夏がいっぱい 2時間(書②) ◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、夏のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳、生活科) ☆夏らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動(音楽) ☆夏を感じるものの撮影(ICT活用)	1 2	1 教科書の絵の中で見たことがあるもの、知っているものについて出し合い、名前を確認する。 2 「みんな」の詩を読む。 3 登校途中や家の周り、校庭や花壇、学級園などで見つけた夏を感じるものをカードに書く。 ・絵や写真を添える。 ・見つけたものの名前、いつ、どこで見つけたか。 ・見つけたときに感じたこと。 4 書いたカードをみんなで読み合い、感想を交流する。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
7月	本はともだち お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし 6時間(読⑥) ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■お気に入りの本を紹介し合う。 ☆お気に入りの本を探す活動(図書館活用)	1 2 3～4 5～6	1 学習の見通しをもつ。 ・「お気に入りの本をしょうかいしよう」という学習課題を知り、学習の進め方を確認する。 ・読書カードなどを使ってこれまでの読書生活を振り返り、どんな本が好きなかを考える。 2 友達に紹介したい本を選ぶ。 ・学校図書館などで、実際に本を見ながら選ぶ。 3 紹介メモの書き方を確かめる。 ・「ミリーのすてきなぼうし」を読む。 ・「ミリーのすてきなぼうし」を紹介するメモ(P99)を参考に、書き方を確かめる。 4 自分の選んだ本で紹介メモを書く。 5 P100の紹介例を参考に、友達と本を紹介し合う。 6 学習を振り返る。 ・「読書にしたいしむために」で、本の読み方を押さえる。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。
9月	雨のうた 2時間(読②) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■様子を想像しながら音読して、詩を楽しむ。	1 2	1 雨のイメージを出し合い、音を想像する。 2 詩を音読し、好きなところについて話し合う。 3 好きなところのよさが伝わるように、詩を音読する。 4 友達の音読について、よかったところを伝え合う。	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読し、これまでの学習をいかして詩を楽しんで読もうとしている。
9月	ことばでみちあんない 3時間(話・聞③) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達と道案内をし合う。	1 2 3	1 P116の「みどりさん」の道案内のしかたについて考える。 ・分かりにくいところとその理由を話し合う。 ・自分だったらどんな言葉を使って案内するかを考え、分かりやすい説明のポイントを見つける。 ・友達の案内を聞いて地図をたどってみる。案内役を交代して何回か話す。 2 グループで道案内をする。 ・実際の場所を目的地にして、道案内をしてみてもよい。 3 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ) 【態】話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。
9月	みの回りのものを読もう 2時間(読②) ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表A(1)イ)	1	1 P118の写真や絵を見て、身の回りにある標識や看板、ちらしなどの媒体を思い出す。 2 ㊦から㊧それぞれの写真に写ったものが何を伝えているかを考える。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章の中

- 20 -

2 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
10月	なかまのことばとかん字 2時間（知・技②） ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 P138-139の言葉を使って、仲間の言葉と漢字を確かめる。 2 グループで仲間の言葉を集め、言葉の仲間分けクイズを作るなどして交流する。 ・漢字を使って書けるものは、漢字を使う。	【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。（(1)エ） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【態】進んで、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って仲間の言葉を集めよう
10月	かん字のひろば③ 2時間（書②） ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ・語と語の続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵を説明する文章を書く。	1～2	1 P154「これまでにならったかん字」を用いて教材中の漢字の読み方の復習をする。 2 P140の絵や「れい」を見ながら、絵の中の言葉を使って小学校の様子を文に書く。 ・文を作る際、「は」や「を」が正しく使えているかを確かめる。 3 書いた文や文章を友達と読み合う。	【知・技】 ・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文の中で使っている。（(1)ウ） ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。（B(1)ウ） 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文章を書こうとしている。

2 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
10月	自分とくらべて読み、とうじょうじんぶつに手紙を書く お手紙 12時間（読⑫） ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語を読み、登場人物に向けて手紙を書く。 ☆同じシリーズの本を図書館で探して読む活動（図書館活用）	1～2 3～5 6～8 9～10 11～12	1 扉の詩を音読したり、目次やP5「国語の学びを見わたそう」を見たりして、下巻の学習への期 2 学習の見通しをもつ。 ・P13を見て、登場人物に何が起こるかを考える。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」 3 教材文を読み、物語の大体を捉える。 ・各場面での登場人物の様子や行動を、言葉や挿絵を手がかりにしてつかむ。 4 登場人物の行動の理由、発言の様子や考えていることを、言葉や挿絵を手がかりにして推測する。 ・「がまくん」がどのように、「ああ。」「いいお手紙だ。」と言ったのか、「がまくん」に 5 それぞれの登場人物を自分と比べて考える。 ・自分だったら、何をしたり、言ったりするか。 6 「がまくん」か「かえるくん」のどちらかの登場人物を選んで、手紙を書く。 7 友達と手紙を読み合い、交流する。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） 【態】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書くようにしている。
10月	主語と述語に 気をつけよう 2時間（知・技②） ◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ）	1 2	1 「といをもとう」を基に、絵の男の子がどのように言えばよかったのかを話し合う。 ・主語と述語の役割を知る。 ・例文や「お手紙」を基に、主語と述語の定義を確認する。 2 P30の課題に取り組む。 ・いろいろな文の主語と述語を見つける。 3 最近の出来事について主語と述語を意識して話したり書いたりし、友達と交流する。 4 「いかそう」を基に学習を振り返る。	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） 【態】積極的に、主語と述語の関係に気づき、これまでの学習をいかして主語と述語に気をつけようとしている。
10月	かん字の読み方 2時間（知・技②） ◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	1 2	1 例文を読んで、一つの漢字でも複数の読み方があることを知る。 ・「九」を「八」に、「日」を「月」に変えるなどして確認するとよい。 2 P32の「上」と「下」の読み方を確認する。 ・多くの読み方がある「上」「下」が含まれる文を音読したり視写したりする。 3 送り仮名についてその役割を知る。 ・P33の課題に取り組む。 ・他にも複数の送り仮名がある漢字を探し、漢字に対する理解や興味を深める。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読んでいるとともに、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【態】進んで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。
10月	秋がいっぱい 2時間（書②） ◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■秋を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、秋のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆秋の風情が感じられる曲や歌を楽しむ（音楽・図工） ☆秋を感じるものの撮影（ICT活用）	1 2	1 教科書の絵の中で見たことがあるもの、知っているものについて出し合い、名前を確認する。 2 「やま」の詩を読む。 3 登校途中や家の周り、校庭や花壇、学級園などで見つけた秋を感じるものをカードに書く。 ・絵や写真を添える。 ・見つけたものの名前、いつ、どこで見つけたか。 4 書いたカードをみんなで読み合い、感想を交流する。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
10月 ～ 11月	みんなで話をつなげよう そうだんにのって下さい 8時間（話・聞⑧） ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(1)ア）	1	1 学習の見通しをもつ。 ・友達と相談してよかったことを出し合う。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 「話をする」「聞く」「読む」

2 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	できる。（知・技(2)ア） ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思・判・表A(1)オ） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■グループで相談する。 ☆互いの困りごとを解決するために協力する題材（学級活動、生活科） ☆話し合いの様子を撮影し、自分や相手の話し方を見返す活動（ICT活用）	2～3 4～7 8	2 話題を決める。 ・友達に相談してみたいことを、P37を参考に出し合う。 ・話し合いで解決できそうな相談事を選ぶ。 3 話し合いの進め方を確かめる。 ・P38の「話し合いをすすめるときは」や動画資料を参考にする。 4 グループで話し合う。 ・P38-39の話し合いの例を参考にして、話し合うときに気をつけるとよいことを考える。 ・順番に相談者になって話し合う。 ・「みんなで話し合うときは」を参考にする。 ・「話をつなげるときのことば」を意識して使う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ） 【態】積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
11月	せつめいのしかたに 気をつけて読み、それをいかして書こう 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう 14時間（書⑧、読⑥） ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ■おもちゃの作り方を説明する文章を読み、それをいかして書く。 ☆おもちゃを作る活動（図工・生活科） ☆説明するおもちゃの写真の撮影（ICT活用）	1～2 3～5 6 7 8～10 11～12 13 14	1 学習の見通しをもつ。 ・P41を見て、自分が作ったことのあるおもちゃや、紙コップ花火はどのように作るのか、予想して話し合う。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 教材文を読んで、文章がどんなまとまりに分かれているかを確かめて、紙コップ花火を作る。 3 紙コップ花火を作るときに気をつけた言葉と交流する。 4 それぞれの写真が、文章のどの部分と合わせて読むとよいかを確かめる。 5 分かりやすく説明するための筆者の工夫を確かめ、自分が使ってみよう工夫は何かを考える。 6 筆者の説明の工夫を交流し、学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。 7 P48「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習のめあてを確かめる。 8 説明するおもちゃを決める。実際におもちゃを作るなどして、説明に必要な情報を集める。 9 文章全体の組み立てと、どんな順序で説明するかを考える。 10 おもちゃの作り方を説明する文章を書く。 ・P50の作例から工夫しているところを見つけ、それを参考に言葉を考えて書く。 11 友達どうしでお互いの説明を読み、感想を交流 12 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ） 【態】進んで文章の中の語や文を選び出したり、事柄の順序に沿って分かりやすく伝える書き表し方を工夫したり、学習の見通しをもっておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
11月	にたいみのことば、はんたいのいみのことば 2時間（知・技②） ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ）	1 2	1 「といをもとう」を基に、意味が似ている言葉や、意味が反対の言葉を出し合う。 2 似た意味の言葉について理解し、P52の課題に取り組み、似た意味の言葉を集める。 3 反対の意味の言葉について理解し、P53の課題に取り組み、反対の意味の言葉を集める。 4 似た意味の言葉や、反対の意味の言葉の組を作り、友達と見せ合う。 ・P165「ことばのたからばこ」を参考にしてもよい。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【態】進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って、似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。
11月	せかいーの話 1時間（読①） ◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。（知・技(3)ア） ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■昔話の読み聞かせを聞く。	1	1 題名や挿絵から、どんなお話なのかを想像す 2 挿絵でお話の筋を追いつながりながら、読み聞かせを聞いた 3 いちばんおもしろいと思ったところを友達と伝え合う。	【知・技】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） 【態】進んで昔話の読み聞かせを聞いて伝統的な言語文化に親しみ、これまでの学習をいかして、おもしろ
11月	かん字のひろば④ 2時間（書②）	1～2	1 P158「これまでに学んできたかん字」を用いて教材中の漢字の読み方の復習をする。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っ

2 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■数を表す言葉を使って、算数の問題を作って書く。 ☆足し算や引き算の問題作り(算数)		2 P56の絵や「れい」を見ながら、絵の中の言葉を使って、算数の問題を作る。 ・問題の書き方を確かめる。 ・「は」「へ」「を」や句読点の使い方に気をつける。 ・数詞の存在に気づき、それを用いて書く。 3 作った問題を友達と読み合う。	ている。(1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
11月 ～ 12月	思いうかべたことをもとに、お話をしようかしよう みきのたからもの 10時間(読⑩) ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■物語を読み、あらすじをまとめて紹介する文章を書く。 ☆教科書で紹介されている本を参考に、楽しく読める本を図書館で探して読む活動(図書館活用)	1～2 3～4 5～7 8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・P57を見て、カードの持ち主や「みき」の宝物は何かを予想する。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 教材文を読み、あらすじをまとめる。 ・誰が何をしたか、どんな出来事が起こったかを確かめる。 ・登場人物の様子や行動を、言葉や挿絵を手がかりにして捉える。 3 P70「①ことば」を手がかりに、登場人物の行動について、その理由や言い方、様子を想像したり考えたりする。 4 P71の文章例を参考に、家の人に「みきのたからもの」を紹介する文章を書く。 ・あらすじと、自分が好きなところとその理由が伝わるように書く。 5 書いた文章を友達と読み合い、いいなと思うところを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) 【態】登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。
12月	組み立てを考えて、お話を書こう お話のさくしやになろう 10時間(書⑩) ◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考慮することができる。(思・判・表B(1)イ) ■絵から想像を広げて物語を書く。	1 2～3 4～5 6～8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・これまで学習してきた物語教材を振り返ったり、自分が好きなお話のあらすじを友達に紹介したりする。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 教科書の絵を見て、どんな出来事が起こるかを考えて書き出す。 ・P75の絵や「お話を考えるときは」を参考にす。 3 考えたお話を、まとまりに分けて友達に話す。 ・「組み立てのれい」を見て、まねしてみたいと思うところを考える。 ・P76「組み立てを考えるとときは」を参考に、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりで考える。 ・P77「友だちの考えたお話を聞いたときは」を参考に、友達どうしでアドバイスをし合う。 4 友達のアドバイスをいかして、お話を書く。 ・P78下段を参考にする。 ・書いたら、声に出して読んでみる。その際、P29「主語と述語に気をつけよう」で学んだことをいかに。 ・最後に題名をつける。 5 できたお話を読み合って、おもしろいところや、言葉の使い方で気づいたことなどを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) 【態】事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。
12月	冬がいっぱい 2時間(書②) ◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	1 2	1 教科書の絵の中で見たことがあるもの、知っているものについて出し合い、名前を確認する。 2 「ゆき」の詩を読んだり、歌ったりして楽しむ。 3 登校途中や家の周り、校庭や花壇、学級園などで見つけた冬を感じるものをカードに書く。 ・絵や写真を添える。 ・見つけたものの名前、いつ、どこで見つけたか。 4 見つけたものを友達と出し合い、名前を確認する。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くこと

2 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■冬を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、冬のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆冬の季節感が感じられる曲や歌を楽しむ活動（音楽） ☆冬を感じるものの撮影（ICT活用）		4 書いたカードをみんなで読み合い、感想を交流する。 ・これまでに書きためたカードを読み合ってもよい。	を見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
1 月	ねこのこ おとのはなびら はんたいことば 2 時間（読②） ◎詩を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■詩を楽しんで読み、お気に入りの詩をカードに書いて交流する。 ☆友達に贈る詩を図書館で探す活動（図書館活用）	1 2	1 詩の多様な楽しみ方を見つけるという学習課題を確認する。 2 様子を思い浮かべたり、言葉の響きを楽しんだりしながら詩を読み、いいなと思う書き方を見 3 友達に贈る詩を図書館などで探す。 4 詩と、その詩を選んだ理由をカードに書き、贈り合う。	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで、感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） 【態】詩を読んで感じたことを進んで共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
1 月	かたかなで書くことば 2 時間（書②） ◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵と対応する文を書く。	1 2	1 「といをもとう」を基に、普段の生活でどのように片仮名と片仮名を使い分けているのか、違 2 片仮名で表記する言葉の種類を知り、種類ごとに言葉集めをする。 3 P85の絵の中の言葉を確かめ、それらを使った文を作り、友達とレストランの様子を説明し合う。	【知・技】片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使っている。（(1)ウ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に、片仮名で書く語の種類を知り、これまでの学習をいかして、片仮名を使って文を書こうと
1 月	ことばを楽しもう 1 時間（知・技①） ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ■言葉遊びを楽しむ。	1	1 これまでに経験した言葉遊びを思い出す。 2 折句の作り方を理解し、五十音や、自分の名前 の頭文字など入れた文を作る。 3 回文のおもしろさを知り、簡単な文を作ってみる。	【知・技】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） 【態】積極的に、言葉の豊かさに気づき、学習課題に沿って言葉遊びを楽しもうとしている。
1 月	だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう ロボット 12 時間（読⑩） ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ◎文章を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ■ロボットについて説明する文章を読み、考えたことを伝え合う。 ☆ロボットを紹介している本を、図書館で探して読む活動（図書館活用） ☆ロボットについてのインターネット検索（ICT活用）	1～2 3～7 8～9 10～11 12	1 学習の見通しをもつ。 ・P87を見て、文章の内容を想像したり、見たことのあるロボットについて出し合ったりする。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 ロボットについてどのようなことを説明しているのかを確かめる。 3 ロボットがどんなときに何をして助けてくれるのか、大事な言葉に着目して考える。 ・大事だと思う言葉を見つけてノートに書く。 4 P97「もっと読もう」と併せて読み、他にどんなロボットがあったらいいか、自分の考えとその理由を書き、友達と交流する。 5 ロボットについて書かれた本を読む。 ・P96「この本、読もう」を参考にする。 6 あったら助かると思うロボットを選び、P95「②本を読んで、せつめいする」を参考にしながら友達に説明する。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で、単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ） ・「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） 【態】文章を読んで、感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。
1 月	ことばについて考えよう ようすをあらわすことば 4 時間（知・技①、書③） ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア）	1～2	1 学習の見通しをもつ。 ・P98を読み、「といをもとう」を基に、ロボボが雨の様子を、友達にどのように伝えればよかったかを考える。 2 雨の様子を詳しく伝えるにはどんな言い方をすればよいか考える。 ・様子を表す言葉には、いろいろな種類があることを理解する。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注

2 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■様子を表す言葉を使って文を書く。	3 4	3 様子を表す言葉や比喩を使って、P101の絵を表す文を書く。 4 書いた文を友達と読み合い、表現のしかたのよさを伝え合う。 5 学習を振り返る。	意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】進んで身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使っている。
1月 ～ 2月	詩を作って、読み合おう 見たこと、かんじたこと 6時間（書⑥） ◎詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■経験したことを基に詩を書く。	1 2 3～4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・詩を作って、読み合うという学習課題を確認する。 ・教科書の二つの詩を読み、題材や書き方のよいところを見つける。 2 詩の題材を見つけたら、P102「詩に書くことを考えるときは」を参考に題材を探し、カードやノートに書く。 ・心が動いたことで、詩になりそうな題材を選ぼう。 3 これまでに学習した詩のよいと思う表現のしかたを思い出して、詩を書く。 ・P98「ようすをあらわすことば」やP165「ことばのたからばこ」などから、読む人にそのときの様子や気持ちが伝わる言葉を選ぶ。 4 書いた詩を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合う。 ・友達の感想を基に自分の詩を読み直し、自分の詩の表現のよいところを考える。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけている。（B(1)オ） 【態】粘り強く身近なことを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。
2月	カンジエーはかせの大はつめい 2時間（知・技②） ◎第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 漢字を合体させる機械の仕組みを理解し、設問に取り組む。 2 弓矢の問題の解き方を理解し、設問に取り組む。 3 グループごとに漢字クイズを作って楽しむ。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。（(1)エ） 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。
2月	思いをつたえる手紙を書こう すてきなところをつたえよう 10時間（書⑩） ◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。（知・技(1)キ） ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■友達に手紙を書いて届ける。 ☆よりよい人間関係を築くのに資する題材（生活科・道徳）	1 2～3 4～5 6～8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・さまざまな場面での友達との関わりを振り返り、すてきだと感じたときのことを思い出す。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 1年間を振り返り、友達に伝えたいことを決める。 ・伝えたい人を決め、さまざまな関わりを思い出してメモする。 ・メモしたことの中からいちばん伝えたいことを手紙に書くことを、まとまりごとに確かめる。 ・P108の作例を読み、気づいたことや書き方のよさを話し合う。 ・P109「思いをつたえる手紙を書くときは」を参考に、手紙の組み立てを考える。 4 手紙を書き、間違いや分かりにくいところはないか読み返す。 ・誤字・脱字はないか。 ・習った漢字は使えているか。 ・「は」「へ」「を」は、正しく書けているか。 ・主語と述語は対応しているか。 ・伝えたいことが分かりやすく書かれているか。 5 書いた手紙を交換し合い、返事を書いて相手に渡す。 ・返事は、P110のカードを参考に、手紙の内容を基に書く。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。（(1)キ） 【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
2月 ～ 3月	読んで、かんじたことをつたえ合おう スーホの白い馬 14時間（読⑭） ◎文章を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)カ） ◎共通、相違、事柄の順序など情報し、連絡し、関係について理解している。	1～2	1 学習の見通しをもつ。 ・P111を見て、「スーホ」と「白い馬」の関係を想像する。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)カ） ・共通、相違、事柄の順序など情報し、連絡し、関係について理解している。

2 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を読み、最も心を動かされたことについて、感想を交流する。 ☆世界の文化や風土などに親しむ題材(道徳)	3～10 11～13 14	2 教材文を読み、場所、登場人物、主な出来事を確かめ、あらすじをつかむ。 3 言葉を手がかりに登場人物の行動の様子や心情を想像する。 ・P129「えらんで読みふかめよう」の中から読み深める観点を決めて考える。 ・同じ観点で考えた友達と比べる。 ・他の観点で考えた友達の意見を聞き合う。 4 このお話でいちばん心を動かされた場面とその理由を書く。 5 書いたことをグループで話して感想を交流する。 ・P129「話し方のれい」や、P165「ことばのたね」を読み、話し方のポイントを学ぶ。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習課題に沿って、最も心を動かされたことを伝え合おうとしている。
3月	かん字の広場⑤ 2時間(書②) ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■絵の様子を説明する文を書く。	1～2	1 P158「これまでになかったかん字」を用いて教材中の漢字の読み方の復習をする。 2 P131の絵や「れい」を見ながら、絵の中の言葉を使って公園の様子を文に書く。 ・主語と述語のつながりに気をつける。 3 書いた文を友達と読み合う。	【知・技】 ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、語と語の続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。
3月	組み立てを考えて、はっぴょうしよう 楽しかったよ、二年生 8時間(話・聞⑧) ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■心に残ったことを発表する。 ☆1年間の生活を振り返り、心に残った経験などを紹介する活動(特別活動・生活科) ☆1年間を振り返り、自分の成長を実感させる題材(生活科) ☆練習時の様子の撮影(ICT活用)	1 2～3 4～6 7 8	1 学習の見直しをもつ。 ・写真や学年だより、作った作品などを基に、2年生の4月から3月までの出来事を思い出す。 ・「といをもとう」「もくひょう」を基に、学習の振り返りをする。 2 1年間の学校生活を振り返り、話すことを決める。 ・たくさんの思い出の中から、いちばん伝えたい話題を選ぶ。 ・したこと、思ったこと、友達が言ったことなど、どんな順序で話せばよく伝わるかを考えて、「はじめ」「中」「おわり」の組み立てで発表メモを作る。 3 発表の組み立てを考えて原稿を書く。 ・P134の組み立て例を参考に組み立て方を確かめ、どんな順序で話せばよく伝わるかを考えて、「はじめ」「中」「おわり」の組み立てで発表メモを作る。 4 発表のしかたを考えて練習する。 ・話すときの姿勢や視線 ・声の大きさや話す速さ 5 グループの中で発表する。 ・心に残ったことやよかったところを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) 【態】行動したことや経験したことに基いて話す事柄の順序を粘り強く考え、これまでの学習をいかして発表しようとしている。
3月	二年生をふりかえって 1時間(書①) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語の学習活動を振り返って書く。	1	1 1年間の学びを振り返り、がんばったことや、できるようになったこと、分かるようになったこと、楽しかったことを確かめる。 ・P138「『たいせつ』のまとめ」を参考にする。 ・教科書の空欄に、振り返って思ったことや考えたことを丁寧に書く。 ・書いたものを友達と見せ合い、思ったことを伝え合う。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで、経験したことなどから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりし、これまでの学習をいかして、1年間の振り返りを書こう

3 年上 巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4 月	よく聞いて、じこしょうかい 1 時間（話・聞①） ○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。（知・技(1)イ） ○話し手が伝えたいことの中心を捉えることができる。（思・判・表A(1)エ） ■自己紹介をする。 ☆楽しい学級づくり（特別活動）	1	1 扉の詩を読み、目次やP5「国語の学びを見わたそう」を見て、国語学習の見通しをもつとともに、学習の進め方を確かめる。 2 P13を読み、3 年生の国語学習での目標や楽しみなことを書く。 3 P14-15を読んで活動の流れを確かめ、自分の「すきなもの」を一つ考えて、前の人の話を繰り返し返しながら、順番に紹介し合う。 4 友達の好きなものを聞いた感想を伝え合う。	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（(1)イ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの中心を捉えている。（A(1)エ） 【態】積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
4 月	どきん 1 時間（読①） ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。（思・判・表C(1)カ） ■詩を楽しんで音読する。	1	1 「どきん」を読み、詩の特徴を確認する。 2 言葉の調子を楽しみながら、音読の練習をする。 ・行末の擬声語や擬態語に注意する。 3 音読を聞き合い、読み方を工夫したところを伝え合う。 4 学習を振り返る。 ・音読をして感じた楽しさをノートに書く。 ・「この本、読もう」で、詩集を読み広げることに関心をもつ。	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。（C(1)カ） 【態】積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
4 月	わたしのさいこうの一日 つづけてみよう 1 時間（書①） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。（知・技(1)オ） ■日記を書く。	1	1 「さいこうの一日」の日記を書くことを確認し、したいことや起こってほしいことを書き出す。 2 「さいこうの一日」の日記を書く。 3 書いた日記を読み合い、感想を伝え合う。 4 P20「つづけてみよう」を読み、年間を通した継続的な活動に取り組む意欲をもち、ノートの書き方について学ぶ。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。（(1)オ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
4 月	登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう 春風をたどって 8 時間（読⑧） ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ■読んで想像したことを伝え合う。 ☆自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にする心を育てる題材（道徳）	1 2～6 7～8	1 学習の見通しをもつ。 ・P21を見て、どのような物語なのかを想像する。 ・教材文を読み、「といをもとう」「もくひよ 2 四つの場面での「ルウ」の行動を確かめながら音読する。 3 「ルウ」の気持ちに分かる言葉を見つけ、ノートに書く。 ・P32「言葉に着目しよう」を参考にして、「ルウ」の気持ちに分かる言葉をまとめる。 4 「ルウ」の気持ちの変化を具体的に想像し、ノートにまとめる。 5 物語の続きを想像し、ノートに書く。 6 友達の書いたものを読み、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
4 月	図書館たんていだん 1 時間（知・技①） ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■図書館の地図を作り、本を探す。 ☆図書館の配架を知る活動（図書館活用）	1	1 P35の写真を参考にして、学校図書館の工夫を考える。 2 P36を読み、図書館では内容ごとに本が分類され並べられていることを知る。 3 学校図書館に行き、本の分類を理解する。 ・グループで学校図書館の地図を作り、棚ごとにどのような種類の本があるのかを調べる。 ・読みたい本や必要な本を、紹介コーナーや棚の番号などで探す。 ・読書記録のつけ方を知る。	【知・技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【態】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
4 月	国語辞典を使おう 2 時間（知・技②） ○辞書の使い方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ☆考えをまとめる活動などの漢字の確かめ（総合的な学習の時間など）	1～2	1 国語辞典を使うときについて考える。 ・「問いをもとう」を基に、どのようなときに国語辞典を使うのかを考える。 2 国語辞典の見方を理解する。 ・国語辞典を開いたり、P38の二次元コードを参考にしたりして、「国語辞典のれい」の内容を	【知・技】辞書の使い方を理解し使っている。（(2)イ） 【態】進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。

3 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			3 見出し語の見つけ方を理解する。 ・国語辞典では、どのような決まりで言葉が示されているかを知る。 4 言葉の意味を調べる。 ・P40の設問に取り組み、示されているいろいろな語を辞書で引く。 ・調べて分かった意味をノートにまとめる。 ・「いかそう」を読み、学んだことをいかした場面を考える。	
4月	漢字の広場① 2時間（書②） ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 提示されている漢字の読み方、書き方を確認す 2 P41を見て、動物や人の様子や、行動について説明する。 3 提示されている漢字を使って、動物園の様子を文に書く。 4 書いた文を友達と読み合う。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
4月	春のくらし 2時間（書②） ◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■春を感じたことについて、文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳） ☆春を感じたものの撮影（ICT活用）	1 2	1 「みどり」を読み、生活の中で春らしさを感じてことを挙げる。 ・教科書の言葉や絵から知っていることを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。 2 身の回りで見つけた春を感じたものについて書く。 3 書いた文章を友達と読み合い、感想を交流する。	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
5月	知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう もっと知りたい、友だちのこと 【コラム】きちんとつたえるために 6時間（話・聞⑥） ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。（知・技(1)イ） ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりする。 ☆友達の新たな一面やよさを知る活動（特別活動、道徳）	1 2 3 4～6	1 学習の見通しをもつ。 ・友達のことを知るために、グループになって話を聞き合う方法を知る。 ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 友達に知らせたいことを決めて、ノートに書く。 ・友達に知らせたいことを箇条書きでノートに書く。 3 話の聞き方や質問のしかたについて確かめる。 ・P45「しつものしゅるい」を参考にして、質問の種類や話の聞き方を整理する。 4 友達の話を聞いて、質問する。 ・P46の二次元コードから、聞き方や質問のしかたのよいところを考える。 ・聞き手は、話の中心に気をつけて聞き、自分が特に知りたいことをはっきりさせ、質問を考える。 ・大事なことを落とさないように質問したり、答えたりする。その際、P48「きちんとつたえるために」を参考にしてもよい。 5 どのような質問で話が広がったり、友達のことがよく分かったりしたかを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で、単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。その際、P148「インタビュー」を参考にしてもよい。	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（(1)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（A(1)エ） 【態】粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
5月	漢字の音と訓 2時間（知・技②） ◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 漢字の「音」と「訓」の特徴を理解する。 ・P150「これまでに習った漢字」を使うなどして、既習の漢字の音と訓を確認する。 2 音と訓の使い分けを練習する。 ・P51の設問に取り組む。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。（(1)エ） 【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。
5月	漢字の広場② 2時間（書②） ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○接続する語句の役割について理解することができる。（知・技(1)カ）	1～2	1 提示されている漢字の読み方、書き方を確認す 2 P52を見て、宝物を探しに出かけた男の子の話を簡単に考える。 3 「そこで」「けれども」など接続詞の使い方を確認する。 4 提示されている漢字を使って、文を書く。	【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） ・接続する語句の役割について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、

3 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	ることができ。 (知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。 (思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。		5 書いた文を友達と読み合う。	【知・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認かめたりして、文や文章を整えている。 (B(1)エ) 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
5月	まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 文様 こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心 8時間 (知・技①、読⑦) ◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 (知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (思・判・表C(1)ア) ○段落の役割について理解することができる。 (知・技(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。 (思・判・表C(1)ウ) ■説明する文章を読み、感想を伝え合う。 ☆伝統や文化を知り、歴史を愛する題材 (道徳)	1～2 3～6 7～8	1 学習の見通しをもつ。 ・P53を見て、文様やこまについて知っていることを発表し合う。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「文様」の構成を捉える。 ・P160を参考に「問い」と「段落」の意味を理解する。 ・「問い」に書かれていることを確かめる。 ・「問い」の「答え」に当たる部分はどこかを考えながら音読する。 ・文章全体の「まとめ」にあたる段落を確かめる。 3 「こまを楽しむ」の構成を捉える。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「もくひょう」を基に学習のめあてを確かめる。 ・文章の中の「問い」を二つに分けて、ノートに書く。 ・段落に番号を付けて、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分ける。その際、P65「全体と中心」を参考にするとよい。 ・「中」に書かれている「問い」に対する「答え」を確かめ、ノートに整理する。 ・「中」には、「答え」の他にどのようなことが書かれているかを確かめ、そのことが書かれている理由を考える。 ・「おわり」に書かれていることを確かめ、その役割を考える。 4 遊んでみたいこまについて、ノートにまとめる。 ・六つのこまの中から、いちばん遊んでみたい 5 いちばん遊んでみたいこまについて、グループで話し合う。 ・友達の感想との共通点や相違点など、気づいたことをノートに書く。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・段落の役割について理解している。 (1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 (C(1)ウ) 【態】進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。
6月	相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう 気持ちをこめて、「来てください」 4時間 (書④) ◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。 (知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認かめたりして、文や文章を整えることができる。 (思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。 (知・技(1)ア) ■行事を案内する手紙を書く。 ☆時と場に応じた適切な手紙を書く活動 (社会、総合的な学習の時間)	1 2～3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・運動会や学習発表会などの、誰かに見に来てほしい行事や、手紙を送りたい相手を想起する。 ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 手紙を送る相手を決め、伝えることをメモに整理する。 ・日時、場所、行事の説明、気持ちなど、行事を案内するときに何を書くかよいかを考える。 3 P68「土川さんの手紙」を読み、手紙の組み立てを確かめる。 4 組み立てに沿って手紙を書き、読み返す。 ・P68「あんないの手紙を読みかえすときは」を参考にして文章を整える。 ・書き終わったら、声に出して読み返し、確かめる。 5 手紙を届ける。 ・郵便で送る場合は、住所と宛名を書く。その際、P147「手紙を送ろう」を参考にするとよい。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 (1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 (1)キ) 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認かめたりして、文や文章を整えている。 (B(1)エ) 【態】粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
6月	漢字の広場③	1～2	1 提示されている漢字の読み方、書き方を確認す	【知・技】第2学年までに配当され

3 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	2時間（書②） ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。		2 P70を見て、日曜日の出来事と家の人の今週の予定を簡単に考える。 3 提示されている漢字や時を表す言葉を使って、文を書く。 4 書いた文を友達と読み合う。	ている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
6月	登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう			
	まいごのかぎ 6時間（読⑥） ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■物語を読んで、好きな場面について話し合う。	1 2～4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・P71を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「まいごのかぎ」を場面に分ける。 ・場所や出来事に気をつけて読み、場面分けする。 ・各場面での出来事や、そのときの「りいこ」を基に想像する。 3 物語の最初と最後で「りいこ」にどのような変化があったのかを考える。 ・「りいこ」の言動を表す言葉に着目して、不思議な出来事に対する「りいこ」の考え方や気持ちをまとめる。 4 好きな場面とその理由をノートに書く。 ・「りいこ」の変化との関わりを考えながら、ノートにまとめる。 5 好きな場面を友達と伝え合い、自分の考えとの共通点や相違点を話し合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
6月	俳句を楽しもう 1時間（知・技①） ◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ■俳句を音読する。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳） ☆五音と七音を組み合わせた詩などを探す活動（図書館活用）	1	1 俳句の決まりを知る。 ・俳句は、「5・7・5」の17音で作られていることや季語があることを確認する。 2 俳句を声に出して読む。 ・どこで区切るかを考えたり、音のリズムを確認したりして、言葉の響きや調子を楽しむ。 ・P92の二次元コードから音声聞くのもよい。 3 気に入った俳句を音読したり暗唱したりする。 4 P93を読み、身の回りの五音と七音を組み合わせた詩や歌を探す。 5 探した詩や歌を友達と見せ合う。	【知・技】易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。
6月	こそあど言葉を使いこなそう 2時間（知・技②） ◎指示する語句の役割について理解することができる。（知・技(1)カ）	1～2	1 「こそあど言葉」を知る。 ・「問いをもとう」を基に、生活の中でうまく伝わらなかったことを想起する。 ・「こそあど言葉」には、相手との距離や目的などによって、使い分けがあることを理解する。 2 「こそあど言葉」を使うことで、文をより簡潔に表現できるようになることを理解する。 3 P95の設問2・3に取り組み、「こそあど言葉」が指す語句を考えたり、短い文章を作ったりする。 ・「いかそう」を読み、学んだことをいかした場面を考える。	【知・技】指示する語句の役割について理解している。（(1)カ） 【態】積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。
6月	【じょうほう】引用するとき 3時間（知・技①、書②） ◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書く。 ☆調べたことを文章にまとめる活動（社会など）	1～3	1 「引用」を知る。 ・P96を参考に、本などから調べたことを報告する際は、自分の考えと区別しなくてはならないことを理解する。その際、P160「学習に用いる言葉」を確認する。 2 「引用」の決まりを理解する。 ・文章の中で引用する際の決まりを確認する。 ・出典の示し方を理解し、それが奥付にまとめられていることを知る。 3 P56「こまを楽しむ」から引用して、興味をもったこまとその遊び方を紹介する文章を書き、友達と読み合う。 ・「いかそう」を読み、学んだことをいかしたい場面を考える。	【知・技】引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。
7月	つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう			

- 32 -

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	52

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	とを話し合う。		5 学習を振り返る。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	や感じたことを話し合おうとしている。
9月	こんな係がクラスにほしい 3時間（話・聞③） ◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)オ） ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。（思・判・表A(1)ア） ■グループで話し合い、考えを整理してまとめ。 ☆係活動における話し合い（特別活動）	1～2 3	1 クラスの係活動を振り返り、新しく作りたい係を考える。 ・思いついた係や仕事を付箋に書き出す。 2 グループで話し合い、考えを整理してまとめる。 ・理由と目的を出し合い、質問するなどして考えを広げる。 ・目的や仕事内容に分けて付箋に書き、話し合わせる。→話し合ったこと発表する 3 グループで話し合ったことを発表する。 ・それぞれのグループの発表を聞いて、感想を伝え合う。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】考えとそれを支える理由や事例について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめていく。(A(1)オ) 【態】進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。
9月	ポスターを読もう 2時間（読②） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。（思・判・表C(1)ウ） ■ポスターを読み比べて、考えたことを伝え合う。	1 2	1 身の回りには、どのようなポスターがあるのかを想起する。 2 P124「ポスターのれい」を見て、工夫しているところを話し合う。 ・「キャッチコピー」について、P160「学習に用いる言葉」を確認するとよい。 3 P126-127の(ア)(イ)のポスターを比べて読む。 ・どちらのポスターのほうがお祭りに行きたくないか、理由とともに友達と話し合う。 ・二つのポスターを比べて、共通点や相違点をノートに整理する。その際、整理のしかたはP163「図を使って考えよう」を参考にしてもよい。 ・ポスターが作られた目的や知らせたい相手の考えてあげたい相手との関係性などについて話し合う。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけていく。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) 【態】文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
9月	書くことを考えるときは 2時間（書②） ◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■夏休みの思い出を書く。	1～2	1 図を使って考えを広げることを知る。 ・中心にテーマを書き、線をつなぎながら考えを広げる。 2 書くことを選ぶ。 ・相手や目的を意識して書くことを選ぶ。 3 選んだことを基に文章に書く。 4 文章を友達と読み合う。 ・図を見ながら、どのようにして書くことを選んだのかを伝え合う。 5 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえ、この後の「書くこと」単元でも活用することを確かめる。	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。
9月	漢字の組み立て 3時間（知・技③） ◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。（知・技(3)ウ）	1～3	1 「へん」「つくり」を知る。 ・P130を参考に、2枚のカードを組み合わせて漢字を作る。 ・P131の設定問に取り組み、国語辞典などで確かめる。 2 「へん」「つくり」以外の漢字の組み立てを知る。 ・P132を参考に、2枚のカードを組み合わせて漢字を作る。 ・P133の設定問に取り組み、国語辞典などで確かめる。	【知・技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ) 【態】漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
9月	ローマ字 4時間（知・技④） ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。（知・技(1)ウ） ☆ローマ字入力（ICT活用）	1～3 4	1 P138の写真を参考に、身の回りにあるローマ字表記を想起する。 2 P137のローマ字表を見ながら、ローマ字表記について知る。 ・ローマ字表の見方、書き表し方の決まり、ローマ字入力について理解する。 ・P135の設定問に取り組む。 3 ローマ字入力に取り組む。 ・P134の設定問に取り組む。 ・好きな言葉などをローマ字で入力する。	【知・技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ) 【態】進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。

- 34 -

3 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	判・表A(1)ア) ■グループで役割を決めて話し合い、考えをまとめる。 ☆インタビューによって調査する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆おすすめの本を選ぶ活動（図書館活用）	5～7 8	4 話し合いのしかたを確認する。 ・P38の二次元コードで話し合いの例を見て、話し合いのしかたを知る。 ・P38-41を見ながら、司会と参加者が気をつけることを確認する。 5 本を1冊に決めるために、グループで話し合う。 ・自分の役割を意識して、意見と理由を明確に 6 学習を振り返る。 ・話し合いのしかたでよかったところを伝え合う。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	して、考えをまとめている。（A(1)オ） 【態】粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
11月	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます 12時間（書⑥、読⑥） ◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解しうることができる。（知・技(2)イ） ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。（思・判・表C(1)ウ） ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書く。 ☆食育に関わる題材（総合的な学習の時間） ☆食べ物について書かれた本を探す活動（図書館活用）	1 2～3 4～6 7～9 10～11 12	1 学習の見通しをもつ。 ・P43を見て、大豆について知っていることなどを話し合う。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 文章全体の組み立てに着目して内容を捉える。 ・「はじめ」「中」「終わり」に分け、文章の話題を確かめる。 ・筆者が「中」で挙げている具体例を、表などにしてノートに整理する。 3 「はじめ」に「問い」を入れるとしたら、どのような「問い」を入れるかを考える。 4 「中」の書かれ方について考える。 ・それぞれの段落の中心となる文に線を引く。 ・どのような順序で事例が挙げられているのかを捉える。 5 筆者の説明の工夫をまとめ、考えを交流する。 ・文章全体の組み立てと各段落の組み立て、言葉の使い方、写真の使い方などに着目する。 6 P51の食べ物について書かれた本を読み、感想をまとめて友達に伝える。 ・初めて知ったことや説明のしかたなどの観点から感想をもつ。 7 学習を振り返り、次の学習の見通しをもつ。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。 ・P52「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習のめあてを確かめる。 8 取り上げる材料について、調べて整理する。 ・P53「調べたことを整理するときは」を参考にして、調べたことを図や表にして整理する。 9 文章の組み立てと例の書き方を考える。 ・P53「組み立てを考えるとときは」を参考にして、段落や事例の順序などを考える。 10 説明する文章を書く。 ・考えた組み立てに沿って、説明する文章を書く。 11 友達と感想を伝え合う。 ・書き方と内容の両面から、文章のよいところを伝え合う。 12 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。（(2)イ） ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（B(1)イ） ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。（C(1)ウ） 【態】目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたら、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
11月	ことわざ・故事成語 4時間（知・技②、書②） ◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。（知・技(3)イ） ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■ことわざの意味を調べ、ことわざ辞典を作る。	1～2 3～4	1 知っていることわざや故事成語を出し合い、関心をもつ。 2 ことわざや故事成語について知る。 ・P57のことわざの意味を調べる。 ・P58の故事成語の意味や由来を調べたり、P152「知ると楽しい『故事成語』」を読んで故事成語への関心を広げたりする。 3 グループでことわざ辞典を作る。 ・好きなことわざを選び、意味と文例をカードに書く。 ・どのような順でとじるかを話し合う。 ・できあがったことわざ辞典を読み合い、感想を伝え合う。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。（(3)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。

3 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
11月	漢字の意味 2時間（知・技②） ◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ）	1～2	1 同じ発音でも、意味が違えば使われる漢字が違うことを知る。 ・漢字と仮名を交えて書くことで、意味が分かりやすくなることを理解する。 2 設問に取り組み、漢字を正しく使い分けて書 3 P154「これまでに習った漢字」から、同じ読み方で意味の異なる漢字を見つけ、短文を作る。	【知・技】漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【態】積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。
11月	短歌を楽しもう 1時間（知・技①） ◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	1	1 短歌について知る。 ・短歌は「5・7・5・7・7」の31音で作られていることや、情景や心情が込められていることなどを確認する。 2 言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して繰り返し読む。 ・P63の二次元コードから、音声を聞くのもよ 3 気に入った短歌を暗唱する。	【知・技】易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。
11月	漢字の広場④ 2時間（書②） ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 提示されている漢字の読み方、書き方を確認する。 2 P64の絵を見て、町の様子を説明する。 3 提示されている漢字を使って、町の様子を説明する文を書く。 4 書いた文を友達と読み合う。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
12月	登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしようかいしよう 三年とうげ 6時間（読⑥） ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○引用のしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ○文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■民話や昔話を紹介する。 ☆世界の文化に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材（道徳、総合的な学習の時間） ☆民話や昔話を探す活動（図書館活用）	1 2～3 4 5～6	1 学習の見通しをもつ。 ・これまでに読んだ民話や昔話を想起し、どんなところがおもしろかったかを伝え合う。 ・P65を見て、どのような内容の民話を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「もくひょう」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・並行読書を行う場合は、P77「この本、読もう」なども参考にし、学校図書館などで民話や 2 「三年とうげ」の内容や書かれ方を確かめる。 ・設定、登場人物、出来事、展開、登場人物の行動や気持ちなどの観点から内容をまとめる。 3 「おじいさん」の変化を捉える。 ・行動や様子を表す言葉に着目し、ノートにまとめる。 4 「三年とうげ」のおもしろいところをノートに書く。 ・出来事、登場人物の行動や気持ち、考え方、 5 民話を選んで読み、紹介する文章を書く。 ・おもしろいところを引用しながら、民話を紹介する文章を書く。 6 書いた文章を読み合い、感想を交流する。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・引用のしかたを理解し使っている。（(2)イ） ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。（C(1)オ） 【態】登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
12月	しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう わたしの町のよいところ 10時間（書⑩） ◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけすることができる。（思・判・表B(1)オ） ○考えとそれを支える理由について理解することができる。（知・技(2)ア） ■町のよさを紹介する文章を書く。 ☆身近な地域を観察・調査する題材（社会） ☆文章に適切な写真の撮影（ICT活用）	1 2～3 4～5 6～8 9～10	1 学習の見通しをもつ。 ・自分が住む町には、どのようなものがあるかを想起する。 ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 紹介するものを決める。 ・紹介したいものとその理由を図を使って書き出し、書くことを選ぶ。 3 組み立てを考える。 ・P83「水野さんの組み立てメモ」を参考にし、どのような順序で書くかを考える。 4 紹介する文章を書く。 ・P84「水野さんが書いた、しょうかいする文章」を読み、紹介する文章を書くときのポイントを確認する。 5 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 ・内容と書き方の両面から感想を伝え合い、自分の文章のよい点を考える。	【知・技】考えとそれを支える理由について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)オ） 【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。

3 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
12月	冬のくらし 2時間（書②） ◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■冬を感じたことについて文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳） ☆冬を感じたものの撮影（ICT活用）	1 2	1 「ゆき」を読み、生活の中で冬のしきを感じることを挙げる。 ・教科書の言葉や絵から知っていることを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。 2 身の回りで見つけた冬を感じたものについて、ノートに書く。 3 書いた文章を友達と読み合い、感想を交流する。	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
1月	詩のくふうを楽しもう 4時間（書②、読②） ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■詩を創作する。 ☆詩を探す活動（図書館活用）	1 2～4	1 6編の詩を音読し、詩の工夫を見つける。 ・言葉のリズムや響きを楽しみながら音読する。 ・それぞれの行の最初の字をつなげたり、文字や詩全体の形を絵のように見たりする。 2 6編の詩の中から好きな詩を選び、おもしろいと思うところを友達と話し合う。 3 詩を創作する。 ・6編の詩の工夫をいかしながら創作する。 4 作った詩を友達と読み合い、交流する。 5 学習を振り返る。 ・活動を通して気づいた詩のおもしろさを発表する。	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C(1)オ） 【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとして
1月	四まいの絵を使って 2時間（書②） ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○段落の役割について理解することができる。（知・技(1)カ）	1～2	1 物語の基本的な組み立てを確かめる。 ・「始まり」「出来事」「解決」「結び」という組み立てを知る。 ・「三年とうけ」の組み立てを確かめる。 2 4枚の絵を並べ替えて、一つの物語を作る。 ・それぞれの絵について考えたことを、簡単に書き出す。 ・物語の基本的な組み立てを参考にして、おおまかな話の流れをメモする。 3 考えた物語の内容を友達と交流し、感想を伝える。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】段落の役割について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（B(1)イ） 【態】書く内容の中心を明確にし、文章の構成考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
1月	カンジーはかせの音訓かるた 2時間（知・技②） ◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 設問の「カンジーはかせが作った歌」を音読す 2 漢字の音と訓を両方使った歌を作る。 ・P95「作り方」を参考にして歌を作る。P154「これまでに習った漢字」、P159「この本で習う漢字」を参考にしてもよい。 ・正しく音と訓が使えているかを確認する。 3 作った歌を友達と読み合う。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書くことができる。
1月	漢字の広場⑤ 2時間（書②） ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)カ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 提示されている漢字の読み方、書き方を確認す 2 P96の絵を見て、学校でどんなことをしているのかを説明する。 3 提示されている漢字を使って、日記をつけるように学校の様子を書く。 4 書いた文を友達と読み合う。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
1月	読んで考えたことをつたえ合おう ありの行列 7時間（読⑦） ◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。（知・技(1)カ） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができ	1 2～5	1 学習の見通しをもつ。 ・P97を見て、ありやありの行列について知っていることを出し合う。 ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「ありの行列」で説明されていることを確かめる。 ・「問い」と「答え」が、どの段落にどのように書かれているかを捉える。 ・ウィルソンが調べたことやそこから考えたこと	【知・技】 ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。（(1)オ） ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C(1)オ）

3 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	る。（思・判・表C(1)カ） ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。（知・技(1)オ） ■文章を読んで考えたことを伝え合う。 ☆生き物の生態や不思議さに目を向けさせる題材（理科）	6 7	3 ウイルソンの研究の進め方、ありが行列を作る仕組みについて、書かれていることを短くまとめる。 ・P104「言葉に着目しよう」を参考にして、段 4 「ありの行列」とP103「もっと読もう」を読んで、考えたことを文章にまとめる。 ・興味をもったこと、もっと知りたいことを中心にして書く。 5 書いた文章を友達と読み合う。 ・共通点や相違点を見つけて伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。（C(1)カ） 【態】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
1 月 ～ 2 月	言葉について考えよう つたわる言葉で表そう 5 時間（知・技②、書③） ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■相手に伝わる文章を書く。 ☆体験したことを報告する文章にまとめる活動（社会、総合的な学習の時間）	1～3 4～5	1 学習の見通しをもつ。 ・P107を読み、「問いをもとう」を基に、伝えたいことがうまく伝わらなかった理由について 2 体験したことや感じたことを、よりよく伝えるためにはどうするとよいかを考える。 ・様子や気持ちが伝わる言葉を使い、ロボロボの話し方を改善する。 ・似た意味でも言葉から受ける感じが違うことを知り、伝えたいことに合う言葉を選ぶ大切さを知る。 ・P109を読み、使える言葉を増やしていくきっ 3 冬休みの出来事とそのときの気持ちを200字で書き、友達と読み合って、学習の全体を振り返る。 ・P165「言葉のたから箱」を参考にしてもよい。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書こうとしている。
2 月	書き表し方をくふうして、物語を書こう たから島のぼうけん 8 時間（書⑧） ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■物語を創作する。	1～3 4～6 7～8	1 学習の見通しをもつ。 ・宝物を探す冒険という、どんな物語が思い浮かぶか考える。 ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 P112-113の地図から想像を広げ、物語の構想を練る。 ・P112「物語のないようを考えるときは」を確 3 物語の組み立てを考える。 ・P92「四まいの絵を使って」で学んだことをいかし、「始まり」「出来事」「解決」「結び」の組み立てに当てはめる。 4 物語を創作する。 ・P114-115「物語のれい」を読み、書き表し方のよさを見つける。 ・比喩や修飾語を用いるなどして、読み手を引きつけるように言葉を選んで書く。 ・P114「書き表し方を考えるときは」を参考に、表現を工夫して書く。 5 友達の物語を読み、感想を伝え合う。 ・物語の内容と言葉の使い方のよさを伝え合 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
2 月	つたえたいことを、理由をあげて話そう お気に入りの場所、教えます 8 時間（話・聞⑧） ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。（知・技(1)イ） ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えることができる。（思・判・表A(1)イ） ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。（知・	1～2 3～4	1 学習の見通しをもつ。 ・学校の中で自分が好きな場所を出し合う。 ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 みんなに教えたいお気に入りの場所と、その理由を考える。 ・P117「話すことを考えるときは」を参考に、お気に入りの場所について考えを整理する。 P167「図を使って考えよう」を参考にしてもよい 3 分かりやすく伝えるために、資料を用意する。 ・どのような資料が必要かを考え、必要に応じて写真を撮りに行くなどする。	【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（(1)イ） ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えてい

3 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	技(2)ア) ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■お気に入りの場所を発表する。 ☆発表に適切な写真の撮影(ICT活用) ☆発表の練習を撮影し見返すことでよりよくする活動(ICT活用)	5～6 7～8	4 組み立てを考え、発表メモを作る。 ・P118「発表メモのれい」やP119「発表のれい」を参考に、組み立ての工夫を見つける。 ・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てを意識し、分かりやすく伝わるように発表メモを作る。 5 グループで練習をする。 ・P118の二次元コードの動画を見て、話し方の工夫を確認する。 ・P119「話し方をくふうするときは」を参考にして、ポイントを意識して練習をする。 ・必要に応じて練習の様子を撮影し見返して、話し方をよりよくする。 6 発表会を開き、感想を伝え合う。 ・組み立てや話し方についてよかったところを伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	る。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) 【態】進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。
3月	登場人物について考えたことを、つたえ合おう			
	モチモチの木 12時間(読⑫) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■登場人物について考えたことをまとめ、伝え合う。 ☆他者への愛情をもち、勇気をもって実行する姿勢を育てる題材(道徳)	1～2 3～9 10～12	1 学習の見直しをもつ。 ・P121を見て、物語の内容や「モチモチの木」はどのような木なのかを想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「もくひょう」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 場面ごとに登場人物の行動や会話などを確かめ 3 登場人物の性格や気持ちの変化を想像する。 ・P134の「言葉に着目しよう」を参考にして、「豆太」の性格を想像する。 ・着目する点を選び、「豆太」は変わったのかどうかを考え、話し合う。 4 「豆太」について感じたことや考えたことを、ノートに書く。 ・文章のどの叙述から考えたのかを明確にし、自分の経験と比べて考えたことをまとめる。 5 まとめた考えを伝え合う。 ・友達の考えと自分の考えを比べて、共通点や相違点をノートに書く。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) 【態】登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。
3月	漢字の広場⑥ 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 提示されている漢字の読み方、書き方を確認す 2 P137の絵を見て、季節ごとの人物の行動や周りの様子を説明する。 3 提示されている漢字を使って、それぞれの季節の様子を説明する文を書く。 4 書いた文を友達と読み合う。	【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ) 【思・判・表】間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
3月	三年生をふり返って 1時間(書①) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。 ☆一人一人のキャリア形成と自己実現を育む題材(特別活動)	1	1 3年生の学習を振り返る。 ・P140『「たいせつ」のまとめ』を基に、国語で学んだことを振り返る。 2 自分が身につけたと思う言葉の力を書き、友達と伝え合う。	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書くようとしている。

4 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4月	力を合わせてばらばらに 1時間（話・聞①） ○様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ■必要なことを聞いて情報を集める話し合いをする。	1	1 扉の詩・目次・P5「国語の学びを見わたそう」を読み、4年生の国語の学習でできるようになりたいことを書き留める。 2 教材文を読んで手順を確かめて、どんな話し合いをするのかを見通し、グループをつくり、テーマを決める。 3 自分が考えた特徴を一人ずつ話したり、友達の話を聞いて予想したりする。 4 紙に書いて同時に見せ合う。 5 どのようなことに気をつけながら聞き、特徴を伝え合ったのかを振り返る。	【知・技】様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（A(1)エ） 【態】積極的に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、情報
4月	春のうた 1時間（読①） ○詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■想像しながら詩を音読する。 ☆自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にすることを育てる題材（道徳）	1	1 詩を音読し合うという学習の見通しを立てる。 ・教師の範読を聞き、「自分も音読してみたい」という思いをもつ。 2 言葉からどんな様子や気持ちかを想像し、音読のしかたを工夫して、音読する。 3 ペアで「春のうた」の音読を聞き合う。 4 学習を振り返る。 ・P17「この本、読もう」を参考に、他の詩の音読にもつなげる。	【知・技】詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】積極的に情景などを具体的に想像して読み、学習課題に沿って、想像しながら詩を音読しようとしている。
4月	なりきって書こう つづけてみよう 1時間（書①） ○修飾と被修飾との関係について理解することができる。（知・技(1)カ） ○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ■好きなものなどになりきって想像したことを書く。	1	1 創作文を書くという学習の見通しを立てる。 ・P19の創作文例（「リク（犬・八さい）」）を読み、「書きたい」「読み合いたい」という思いをもつとともに、学習の進め方を確かめる。 2 なりきるものを選び、ペアで書きたい内容を伝え合うことを通して、書く内容や文章の構成をはっきりさせる。 3 想像したことを150～200字で書く。 4 書いたものをいろいろな相手とペアで読み合い、感想を伝え合う。 ・友達の感想から、自分の創作文のよいところを確かめる。 5 P20「つづけてみよう」を読み、言葉日記をつけることに年間を通して継続的に取り組む意欲をもち、「ノート書き方」でノートの書き方の工夫例を確かめる。	【知・技】修飾と被修飾との関係について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)オ） 【態】進んで感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、なりきって想像したことを書こうとしている。
4月	ふしぎな出来事をとらえて読み、考えたことを話そう			
	白いぼうし 7時間（読⑦） ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ■不思議なところについて考えたことを話し合う。	1 2 3～5 6 7	1 学習の見通しをもつ。 ・P21を見て、題名やリード文から物語を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を場面と登場人物を整理し、不思議なところを探しながら「白いぼうし」を音読する。 2 不思議だと思ったことが書かれている場面について、言葉に着目しながら、出来事を中心にして、登場人物の会話や行動などを整理する。 3 登場人物の性格を想像し、それぞれの人物にとっての「白いぼうし」はどのような物なのかについて考える。 4 不思議だと思ったことについての考えを書いてまとめる。 5 不思議だと思ったことについてまとめたことを伝え合う。 ・友達の考えを聞いて、感じたことを書き留め 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、不思議なところについて考えたことを話し合おうとしている。
4月	図書館の達人になろう 1時間（知・技①） ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■本の探し方を考えながら学校図書館で本を探す。 ☆学校図書館を活用した調べ学習（図書館活用）	1	1 他教科等の学習内容など、図書館を活用して調べたいことを確かめ、学習の見通しをもつ。 2 知りたいことに合った本を探す方法を確かめ 3 学校図書館の資料を活用して必要な情報を調べ 4 調べて分かったことや本を読んだ感想を、記録カードに書いてまとめる。	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【態】進んで読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして、本の探し方を考えながら学校図書館で本を探そうとしている。

- 41 -

4 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	○接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。（知・技(1)カ） ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■筆者の考えに対してもった自分の考えを伝え合う。 ☆情報の発信のしかたやその意図に目を向けて課題を解決する学習（総合的な学習の時間）	5 6 7 8	4 段落どうしの関係を考える。 ・段落と写真の対応関係を考える。 ・筆者の考えが書かれた文章を見つける。 ・筆者の考えがどのように伝えられているかをつかむ。 ・P65「考えと例」を参考にしながら、それぞれの段落どうしの関係を捉える。 5 「アップ」と「ルーズ」をどのように対比しながら説明しているかを捉える。 ・「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することのよさについて考え、話し合う。 6 筆者の考えに対する自分の考えをもつ。 7 「アップとルーズで伝える」ということについて考えたことを発表する。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。 9 P65「考えと例」を読み、課題に取り組む。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C(1)オ） 【熊】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。
6 月	気持ちが伝わる手紙を書こう お礼の気持ちを伝えよう 4 時間（書④） ◎相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。（知・技(1)キ） ■お礼の手紙を書く。 ☆校外学習の見学先への礼状送付（社会、総合的な学習の時間）	1 2 3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・お礼の手紙を書きたい相手を考えて、活動への意欲を高める。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 誰に何のお礼を伝えるのかを考える。 ・何に対してお礼を言いたいのかを明確にするため、詳しく書き出す。 3 改まった手紙の形式に沿って、内容を考える。 ・「初めの挨拶」「本文」「結びの挨拶」「後付け」といった、改まった手紙の形式を確かめる。 4 手紙を書いて、読み返す。 ・文末の表現や文字の間違い、言葉遣いに誤りがないかを確認する。 5 手紙を送る。 ・P69を参考にして、封筒に宛名と差出人の名前と住所を書く。 6 学習を振り返る。 ・手紙で気持ちを伝えることのよさを話し合う。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（(1)キ） 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【熊】進んで相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって、お礼の手紙を書こうとしている。
6 月	漢字の広場② 2 時間（書②） ◎第3 学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 教科書の絵を見て、それぞれの場面を想像し、提示された言葉を使いながら、夏の楽しみを説明する文を書く。 2 書いたものを読み返し、間違いを正すなどして文を整える。 ・主述の照応や句読点に気をつけて読み返す。 3 書いたものを友達と読み合い、漢字を正しく用いることのよさを実感する。	【知・技】第3 学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【熊】進んで第3 学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
6 月	場面をくらべて読み、心にのこったことを伝え合おう 一つの花 7 時間（読⑦） ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■心に残ったことを伝え合う。	1 2～3 4～5 6 7	1 学習の見通しをもつ。 ・P71を見て、題名やリード文から物語を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を確認する。 2 物語の設定を確かめ、内容を捉える。 ・どんな状況（時代、季節、場所等）の物語か、その中での登場人物の思いを会話や行動から読み取る。 3 「一つだけ」という言葉に着目して読む。 ・P84「たいせつ」で、「くり返し出てくる物や言葉」に着目して読む方法を確かめる。 ・「一つだけ」という言葉が最後の場面に出てこない理由や、題名が表していることを考える。 4 場面と場面を比べて読んで、心に残った登場人物の行動を、理由とともにノートに書く。 5 書いたことを伝え合い、互いの考え方や感じ方の違いを見つけ話し合う。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ） 【熊】粘り強く、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、心に残ったところを伝え合おうとしている。

4 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	
6 月	つなぎ言葉のはたらきを知ろう 2 時間（知・技②） ◎接続する語句の役割について理解することができる。（知・技(1)カ）	1 2	1 つなぎ言葉の働きに気づく。 ・「問いをもとう」を基に、つなぎ言葉とその役割について考える。 2 P86の表を参考にして、P87の課題に取り組む。 3 つなぎ言葉を使って短い文を書き、友達と交流 4 学習を振り返る。 ・「いかそう」を確かめる。	【知・技】接続する語句の役割について理解している。（(1)カ） 【態】積極的に接続する語句の役割を理解し、これまでの学習をいかして、つなぎ言葉を使って文を書こうとしている。
6 月	短歌・俳句に親しもう（一） 1 時間（知・技①） ◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ■短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しむ。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	1	1 短歌・俳句を何度も声に出して読み、言葉の調子や響きを楽しむ。 ・おおよその意味が書かれた文を参考にして、言葉の響きやリズムを感じながら声に出して読み、風景や作者の心情を思い浮かべ、話し合う。 ・気に入った短歌や俳句を暗唱して楽しむ。	【知・技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
6 月	【じょうほう】要約するとき 2 時間（読②） ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。（思・判・表C(1)ウ） ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ■文章を要約する。 ☆多くの情報を集め、目的を意識して内容を要約、発信（総合的な学習の時間）	1 2	1 これまでに、話や本、文章の内容を相手にうまく伝えられなかった経験を思い出す。 2 P90を読んで、要約するときに気をつけることを確かめる。 3 説明する文章を要約するときに注意することについて考える。 ・P91の文章例を見て、要約した箇所がどのように用いられているかを確かめる。 4 物語のあらすじを伝えるときに注意することについて考える。 5 P54「思いやりのデザイン」を、内容を知らない人に説明するつもりで、100字程度で要約し、友達と読み合う。 ・必要な言葉や内容が抜けていないか、まとめ方を工夫しているところはあるかに気をつけて 6 学習を振り返る。 ・「いかそう」を確かめる。 ・P138「あせの役わり」の要約に取り組む。	【知・技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。（C(1)ウ） 【態】粘り強く目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、文章を要約しようとしている。
6 月 ～ 7 月	見せ方を工夫して書こう 新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査のしかた 10 時間（書⑩） ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■新聞を作る。 ☆調べたことの整理、表現（社会、総合的な学習）	1 2 3 4～5 6 7～8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・P93、96の新聞や、実際の新聞を見て、読む人のことを考えた新聞の工夫を見つける。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 どんな新聞を作るかについて話し合う。 ・教材文を読み、作り方の手順を確かめる。 3 取材には、どんな方法があるかを確かめる。 ・P98「アンケート調査のしかた」を確認する。 4 出来事や事柄を正しく伝えるために、どのような取材をするとういか、取材したい内容に合った方法を考え、取材をする。 5 取材メモを基に、割り付けを考える。 ・それぞれが集めた材料をグループで確かめ、記事の大きさや割り付ける場所を考える。 ・何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考え、写真や図の大きさや場所を考え 6 取材メモを基に、それぞれが担当する記事を書く。 ・実際の新聞を参考に、記事の書き方を考える。 ・記事の種類や伝えたい内容に合わせて、記事の文章の組み立てを考える。 7 記事を推敲し、清書して仕上げる。 8 完成した新聞を読み合い、感想を伝え合う。 9 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（B(1)イ） 【態】進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。
7 月	カンジーはかせの都道府県の旅 2 2 時間（知・技②） ◎第4 学年までに配当されている漢字	1～2	1 都道府県名を用いた例文の全体を読み、学習の内容を把握する。 2 都道府県名を使って文を作る。	【知・技】第4 学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。

4 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ■都道府県名を使った文を作る。 ▲地域に目を向ける題材(社会)		3 同じ都道府県を選んだ相手や異なる都道府県を選んだ相手とさまざまなペアになり、書いた文 4 都道府県名に用いられる漢字を使った言葉を探し、発表する。	(1)エ) 【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
7月	夏の楽しみ 2時間(書②) ○様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏の行事などを俳句にする。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	1～2	1 挿絵や写真を見たり、短歌や俳句を音読したりして、夏の自然の様子や行事を表す言葉を考える。 ・絵や写真を見て、自分の知っている言葉を書き出し、交流する。 ・教科書にはないが、自分の地域に伝わる行事を表す言葉がないか、話し合う。 ・短歌や俳句を読み、夏の風景を表す言葉からその様子を豊かに想像する 2 夏の行事に関する言葉の一つ選んで、夏の行事の様子を表した俳句を作る。 3 繰り返し声に出して読み返したり、友達と読み合ったりして、感想を伝え合う。 ・季節を言葉で表現するよさを味わう。	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に夏の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、夏の行事の様子を俳句で表現しようとしている。
7月	本は友達 本のポップや帯を作ろう 神様の階段 5時間(読⑤) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■読んでほしい1冊をポップや帯で紹介する。 ☆読書生活の充実(図書館活用)	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・図書館や書店で、本のポップや帯を見た経験を語り合う。 ・学習の課題を設定し、学習計画を立てる。 2 本の読み方について話し合う。 3 P106を参考にして、読みたい本を選んで読む。 4 P108「神様の階段」を読み、紹介してみたいことを話し合う。 5 紹介したい事柄のはっきりするよう、本を読み返し、帯やポップにまとめる。 ・P107のポップや帯の例などを参考に、内容に盛り込む事柄を確かめる。 ・選んだ本を読み返し、心に残る場面や叙述、作品を読んで感じたことや考えたことなどを確かめる。 ・帯やポップの内容構成を具体的に考える 6 読んだ本のよさを紹介する。 7 学習を振り返る。 ・「読書に親しむために」で、本の読み方を押さえる。	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) 【態】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって、本をポップや帯で紹介しようとしている。
9月	忘れもの ぼくは川 2時間(読②) ○詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■詩から受けた印象を伝え合う。	1～2	1 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、声に出して読む。 2 それぞれの詩の特徴的な表現に着目し、何が何にたとえられているかを考えて、様子を思い浮たえを使った表現によってどんな印象を受けたかを話し合う。	【知・技】詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) 【態】進んで二つの詩を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習課題に沿って、詩から受けた印象を伝え合おうとしている。
9月	あなたなら、どう言う 3時間(話・聞③) ○考えとそれを支える理由との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■グループで役割を決めて、それぞれの立場で話し合いをする。 ☆ICT端末の活用による録音、録画(ICT活用)	1～2 3	1 P120の状況を踏まえ、グループで役割を決めて、それぞれの立場でやり取りをする。 ・役割を交代してやり取りを積み重ねることで、それぞれの立場での思いを理解する。 ・なぜそのような言い方をしたのかを話し合う。 2 よりよい言い方を考え、自分とは違う立場になって考えることのよさについて考える。 3 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・考えとそれを支える理由との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】積極的に着目し、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習課題に沿って、異なる立場に立って話し合いをしようとしている。
9月	パンフレットを読もう 2時間(読②) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■パンフレットの工夫について話し合	1 2	1 身の回りでどんなパンフレットを見たことがあるかを紹介し合う。 ・それぞれのパンフレットに共通することを出し合い、パンフレットの特性を明らかにする。 2 P124-125のパンフレットやパンフレットの実物を読んで、気づいたことを話し合う。 3 知りたい情報を得るためには、パンフレットをどのように読めばいいか考える。 4 パンフレットの工夫について話し合う。 ・パンフレットには、作られた目的や伝えたい相手に応じて工夫がなされていることを知る。	【知・技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) 【態】積極的に目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に

4 年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	う。 ☆調べ学習における情報収集（社会、総合的な学習の時間）		5 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	沿って、パンフレットの工夫について話し合おうとしている。
9月	どう直したらいいかな 2時間（書②） ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。（知・技(1)カ） ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。（知・技(1)キ） ■文章を推敲する。 ☆日常生活や学習面での記述とその見直し（各教科等）	1 2	1 文章を書いた後、これまでどのように見直していたかを想起する。 2 推敲の際に気をつけることを、文例を通して押さえる。 ・P126-127の卓球クラブの紹介文例を比べて読み、どこをどのように直したのか、なぜそのように直したのかを考えて話し合う。 ・推敲の際には、間違いを直したり、相手や目的に合うように書き換えたりすることを確認める。 3 P127の町の特徴を説明する文例を、1年生に読んでもらう文章に書き直す。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえ、この後の「書くこと」単元でも活用することを確認める。	【知・技】 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（(1)カ） ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（(1)キ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】進んで文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、学習の見通しをもって、文章を推敲し
9月	いろいろな意味をもつ言葉 2時間（知・技②） ◎様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○国語辞典の使い方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ）	1 2	1 同音異義語があることを理解する。 ・「問いをもとう」を基に、同音異義語に出会った経験について想起する。 ・詩「とる」を参考にして、同音異義語のそれぞれの意味について考え、課題に取り組む。 2 国語辞典を使って、例示されている言葉の意味を調べ、意味の異なる用例を集めたり、言葉遊びの詩を作ったりして紹介し合う。 3 学習を振り返る。 ・「いかそう」を確認める。	【知・技】 ・様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・国語辞典の使い方を理解し使っている。（(2)イ） 【態】進んで様子や行動を表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、言葉遊びの詩を作ろうとしている。
9月	ローマ字を使いこなそう 2時間（知・技②） ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書くことができる。（知・技(1)ウ） ☆パソコンのキーボード入力など、必要な場面におけるローマ字の活用（ICT活用） ☆ローマ字表記と英語の違いの確認（外国語活動）	1 2	1 ローマ字の使われ方を知る。 ・「問いをもとう」を基に、ローマ字で書かれている言葉にはどのようなものがあるのかを、日常生活を振り返って確認める。 2 ローマ字で表記する際、二つの書き方（訓令式、ヘボン式）があることを知る。 3 例示された言葉や身の回りの言葉を、訓令式とヘボン式でそれぞれ書く。 4 場面に応じた訓令式とヘボン式の使い分けについて考える。 5 日本語のローマ字表記と英語は、違うことを知る。 6 学習を振り返る。 ・「いかそう」を確認める。	【知・技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。（(1)ウ） 【態】積極的にローマ字の表記を考え、これまでの学習をいかして、ローマ字を書こうとしている。
9月	漢字の広場③ 2時間（書②） ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○接続する語句の役割について理解することができる。（知・技(1)カ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 教科書の絵を見て、場面や出来事を想像し、提示された言葉を使いながら、「おむすびころりん」と「浦島太郎」の話を完成させる。 ・「そして」「しかし」などのつなぎ言葉を使って書く。 2 書いたものを読み返し、間違いを直すなどして推敲する。 3 書いたものを友達と読み合い、漢字を正しく用いることのよさを実感する。	【知・技】 ・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） ・接続する語句の役割について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしてい

4 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
9月 ～ 10月	気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう ごんぎつね 【コラム】言葉进行分类しよう 12時間（知・技①、読①） ◎言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語の結末についての感想を書く。	1 2～6 7～8 9 10～11 12	1 扉の詩・目次・P5「国語の学びを見わたそう」を読み、下巻の国語の学習を見通す。 2 学習の見通しをもつ。 ・P13を見て、題名やリード文から物語を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を読む。 3 登場人物に焦点を当てて読み、登場人物の行動や気持ちを確かめる。 ・初読の感想を書き留めておく。 ・登場人物の言動から、その人物の性格や境遇、気持ちを考える。 4 登場人物の気持ちの変化を捉える。 ・情景から、人物の様子、気持ちを考える。 ・場面と場面を結び付けたり比べたりして、登場人物の気持ちの変化を考える。 5 登場人物の気持ちの変化について考えたことを基に、物語の結末についての感想をまとめる。 6 書いた感想をグループで読み合う。 ・新たに考えたことや思ったことを書き加える。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。 ・単元で身につけた力をいかして、P150「手ぶくろを買いに」を読む。 8 P35「言葉进行分类しよう」を読む。 ・性質による言葉の分類があることに気づく。	【知・技】言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C(1)オ） 【態】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習の見通しをもって、物語の結末についての感想を書こうとしている。
10月	漢字を正しく使おう 2時間（知・技②） ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書くことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 書くときや読むときに迷ってしまう漢字について考える。 ・漢字を正しく用いるためにはどのようなことに注意すればよいのかについて、関心を高めよう。 2 仮名で書くと同じになる言葉を取り上げて、適切な漢字の用い方について考える。 3 送り仮名の適切な付け方について考える。 4 いろいろな読み方をもつ漢字を取り上げて、それぞれの読み方とその用い方について考える。	【知・技】 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ・第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書いている。（(1)エ） 【態】進んで同音異義語や送り仮名の付け方などについて理解し、学習課題に沿って、漢字を文や文章の中で使おうとしている。
10月	秋の楽しみ 2時間（書②） ◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■秋の行事の楽しさを伝える手紙を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	1～2	1 挿絵や写真を見たり、短歌や俳句を音読したりして、秋の自然の様子や行事を表す言葉を考える。 ・絵や写真を見て、自分の知っている言葉を書き出し、交流する。 ・教科書にはないが、自分の地域に伝わる行事を表す言葉がないか、話し合う。 ・短歌や俳句を読み、秋の風景を表す言葉からその様子を豊かに想像する。 2 好きな秋の行事の楽しさを知らせる手紙を書く。書いた手紙を紹介し合い、感想を伝え合う。 ・日付や宛名等、手紙の書き方を確認する。 ・送る相手や伝える内容を明確にし、秋の自然の様子や行事を表す語句を使って手紙を書く。 手紙を言葉で表現するときを味おう	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に秋の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、秋の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。
10月	役わりをいしきしながら話し合おう クラスみんなで決めるには 8時間（話・聞⑧） ◎比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)オ） ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■役割を意識しながらクラス全体で話し合おう	1 2 3～4	1 学習の見通しをもつ。 ・クラスで話し合いたい議題を考える。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 役割を決め、目的と議題を確かめる。 ・話し合いにおける役割を理解し、分担する。 ・日常生活の中から必要性の高い議題を選ぶ。 3 話し合いの準備をする。 ・P42-45の話し合いの例を、二次元コードで見られる動画で視聴したり、文章で読んだりして、気をつけるとよいことを考え、交流する。 ・司会グループや提案者、参加者がそれぞれ気をつけるとよいことを確かめる。 ・司会グループは進行計画を立て、提案者や参加者は議題に対する自分の考えをまとめておく	【知・技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（A(1)オ） 【態】積極的に役割を果たし、話し合い

4 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	し合って考えをまとめる。 ☆役割を意識して話し合う姿勢を育てる題材（特別活動） ☆自分と違う考えと接するときに、約束に則って適切に判断する態度について考える題材（道徳） ☆ICT端末を活用した録音・録画（ICT活用）	5～8	4 クラス全体で話し合いを行い、気づいたことを振り返る。 ・話し合いを振り返り、よかったところや次に気をつけたいところを伝え合う。振り返ったことを基に、別の議題で役割を変えて話し合う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【愚】積極的に役割を果たしながら話し合い、学習課題に沿って、考えをまとめようとしている。
11月	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書く 未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 12時間（書⑥、読⑥） ◎事典の使い方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。（思・判・表C(1)ウ） ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■調べて分かったことなどをまとめて書く。 ☆インターネットを活用した情報収集（ICT活用） ☆図書館を活用した調べ学習（図書館活用） ☆我が国の伝統と文化を大切にすることを育てる題材（道徳）	1 2～3 4 5～6 7 8 9 10～11 12	1 学習の見通しをもつ。 ・P47を見て、題名やリード文から工芸品に対するイメージを広げる。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 中心となる語や文を見つけて要約する。 ・筆者の伝えたいことは何かを考えながら読み、文章の構成を捉える。 ・まとまりごとに中心となる語や文を確かめ、それを用いて文章全体を200字以内で要約する。その際、4上P90「要約するとき」を参考にすること。 3 工芸品や筆者の考えについて考えたことを、ノートにまとめる。 4 要約した文章を使いながら、考えたことを伝え 5 工芸品に関する資料や図鑑を読み、内容を友達に伝える。 6 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。 7 工芸品についてのリーフレットを作る流れを確かめる。 ・P56「問いをもとう」「目標」を基に、学習のめあてを確かめる。 8 紹介したい工芸品について詳しく調べ、分かったことを書き出して整理する。 9 組み立てや資料の使い方を考える。 ・P58-59の作例を読み、資料の使い方など、リーフレットの書き方のよさを見つけ、自分の書く文章の組み立てや資料の使い方を考える。 10 考えた組み立てに沿って文章を書く。 ・表紙や裏表紙を作って仕上げる。 ・元になる資料や事典の文章を読み返し、自分が伝えたいことの中心となる語や文が含まれているかを確かめる。 11 リーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 12 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・事典の使い方を理解し使っている。（(2)イ） ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。（C(1)ウ） 【態】積極的に、中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって、調べて分かったことをまとめて書こうとしている。
11月	慣用句 2時間（知・技①、書①） ◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。（知・技(3)イ） ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■慣用句の意味を調べて文を作る。	1～2	1 教材文を読み、昔から伝わる慣用句について知 2 国語辞典を使って、P61の慣用句や興味のある慣用句の意味を調べる。 ・国語辞典にどのように例文が書かれているかを確かめる。 3 国語辞典を作る人になったつもりで、提示された慣用句の例文を作る。 ・慣用句の意味を調べ、例文を作る。 ・作った例文を友達と交換し、正しく慣用句を使っているかどうか確かめ合う。	【知・技】長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。（(3)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】進んで慣用句の意味を知り、学習の見通しをもって、慣用句を使った文を書こうとしている。
11月	短歌・俳句に親しもう（二） 1時間（知・技①） ◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ■短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しむ。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	1	1 短歌・俳句を何度も声に出して読み、言葉の調子や響きを楽しむ。 ・おおよその意味が書かれた文を参考にして、言葉の響きやリズムを感じながら声に出して読み、風景や作者の心情を思い浮かべ、話し合う。 ・気に入った短歌や俳句を暗唱して楽しむ。	【知・技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
11月	漢字の広場④ 2時間（書②） ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えてい	1～2	1 絵を見て学校の様子を想像し、3年生までに習った漢字を使って、文章を書く。 2 書いたものを読み返し、間違いを直すなどして推敲する。 ・漢字や送り仮名、句読点等が正しく使えているかを確かめ、間違いを直す。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えてい

4 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	感じた表現になつて、自分の考えを確かめたりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。		3 書いたものを友達と読み合い、漢字を正しく用いることのよさを実感する。	かたじけなく、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
12月	つながりを見つけながら読み、おもしろいと思ったことを話し合う 友情のかべ新聞 8時間（読⑧） ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■おもしろいと思ったところを伝え合う。 ☆関連図書の読書（図書館活用）	1 2 3～4 5 6～8	1 学習の見通しをもつ。 ・P65を見て、題名やリード文から物語を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・「この本、読もう」で取り上げられている本などのミステリーから読みたい本を選び、並行して読む準備をする。 2 登場人物の性格や行動を確かめる。 3 書かれていることをつながりを見つけながら読み、人物の気持ちや関係の変化、「ぼく」は何を手がかりに推理したかを考える。 ・叙述と叙述とを結び付けながら、どのような謎が、どのような叙述のつながりで解き明かせそうかを考える。 4 おもしろいと思ったところについて、理由とともに書きまとめる。 ・着目した謎と、それを解き明かす証拠の叙述を結び付けて、おもしろさを説明する文章に書く。 5 書いた文章を基に、おもしろいと思ったことを話し合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で取り上げられている本などのミステリーを読んでおもしろいと思ったところを伝え合う。	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとしている。
12月	理由や例を挙げて、考えを書こう もしものときにそなえよう 10時間（書⑩） ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■調べて考えたことを文章に書く。 ☆自然災害に備えた防災学習（社会、理科） ☆インターネットを活用した情報収集（ICT活用） ☆図書館を活用した調べ学習（図書館活用）	1 2～4 5～6 7～8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・自然災害への備えについて知っていることを出し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 テーマを決めて調べ、整理する。 ・「大雨」「津波」など、大きなテーマを選び、その中から特に詳しく知りたいことを決める。 ・さまざまな本や資料、インターネットを活用して情報を調べる。 ・分かったことはカードに書くなどして整理する。 文章の組み立てを考える。 3 P87の作例を読み、自分の考えを伝えるための書き方の工夫を見つけ、気づいたことを話し合う。 4 自分の考えをまとめた文章を書く。 ・挙げている理由や事例が考えを支えるものとなっているかを確かめる。 ・文章の最後には、引用文献、参考文献をそれぞれ書く。 5 書いた文章を読み返す。 6 文章を読み合い、感想を伝える。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にし、学習の見通しをもって、調べて考えたことを文章に書こうとしている。
12月	冬の楽しみ 2時間（書②） ◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■冬の行事の楽しさを伝えるかるたを作る。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	1～2	1 挿絵や写真を見たり、俳句を読んだりして、冬の行事や様子を表す言葉を考える。 ・絵を見て、自分の知っている言葉を書き出し、交流する。 ・教科書にはないが、自分の地域に伝わる行事を表す言葉がないか、話し合う。 2 自分の住む地域の冬の行事の楽しさを知らせるかるたを作る。 ・読み札と取り札の書き方を確認する。 ・地域の冬の行事の楽しさを表す語句を使って読み札を作り、それに対応した取り札を作る。 ・完成したかるたで遊んだり、読み札の表現で工夫しているところを見つけて、伝え合ったりする。 ・季節を言葉で表現するよさを味わう。	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に冬の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、冬の行事の楽しさを知らせるかるたを作ろうとしている。

4 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
1 月	自分だけの詩集を作ろう 4 時間（書②、読②） ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。（思・判・表C(1)カ） ■詩や詩集を読み、自分だけの詩集を作る。 ☆テーマに合った詩の収集（図書館活用）	1 2 3～4	1 3 編の詩を読んで、それぞれの「月」の様子を思い浮かべ、感じたことを伝え合う。 ・ 3 編の詩から想像される「月」が全く違うものであることや、自分と友達との感じ方に違いがあることに気づき、同じテーマで複数の作品を読むことの楽しさや感想を交流することのよさを感じて、詩を集める。 2 言葉の使い方や書かれ方に目を向け、集めた詩とその理由をノートに書き出す。 3 集めた詩の中から自分の詩集に載せる詩を選ぶ。 ・ 自分の意図するテーマが明確になるように、集めた中からどの詩を載せるか検討し、載せる 4 詩を選んだ理由を最後のページに書き、表紙や目次を付けて、本にする。 ・ 自分の意図するテーマについて、最後のページで説明をする。 5 できあがった詩集を読み合う。 ・ 友達と詩集を読み合い、テーマが伝わるかどうかや感じ方の違いについて交流する。	【知・技】 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】 ・ 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・ 「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。（C(1)カ） 【態】 進んで目的を意識して詩を選び、学習の見通しをもって、自分だけの詩集を作ろうとしている。
1 月	言葉から連想を広げて 2 時間（書②） ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ○必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ■連想したことを基にひと言で詩を書く。	1～2	1 まど・みちお作「ニンジン」を読み、連想を広げてひと言で詩を書くことに興味を高める。 2 P95の「にんじん」を中心にしたマップを例に、表現したいことからさまざまな発想を広げ、思いついた言葉を書き出す。 3 書き出した言葉を組み合わせたり、順序を変えたりして、どのように表現するのかを考える。 4 ひと言で詩を書き、互いに読み合う。 ・ 身の回りから題材を選んでひと言で詩を書く。 ・ 互いに読み合い、相手がなぜそのように表現しているのかを説明し合う。 5 学習を振り返る。 ・ 「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえ、この後の「書くこと」単元でも活用することを確かめる。	【知・技】 必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】 進んで連想を広げ、書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、ひと言で詩を書こうとしている。
1 月	熟語の意味 2 時間（知・技②） ◎第 4 学年までに配当されている漢字を読むことができる。（知・技(1)エ）	1～2	1 「熟語」の意味を理解する。 2 訓を手がかりに熟語の意味を考える。 ・ 熟語を訓で読んでその意味を考え、友達と説明し合う。 3 漢字の組み合わせから熟語の意味を考える。 ・ 漢字の組み合わせを手がかりに熟語の意味を考え、友達と説明し合う。 ・ 国語辞典や漢字辞典を引き、熟語の意味と自分たちの説明が一致するか確かめる。	【知・技】 第 4 学年までに配当されている漢字を読んでいる。（(1)エ） 【態】 進んで第 4 学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、漢字や熟語を正しく読んだり書いたりしようとしている。
1 月	漢字の広場⑤ 2 時間（書②） ◎第 3 学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 教科書の絵を見て、休日の様子を想像し、3 年生までに習った漢字を使って、文章を書く。 2 書いたものを読み返し、間違いを直すなどして推敲する。 ・ 漢字や送り仮名、句読点等が正しく使えているかを確認、間違いを直す。 3 書いたものを友達と読み合い、漢字を正しく用いることよさを実感する。	【知・技】 第 3 学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】 進んで第 3 学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
1 月	きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう 風船でうちゅうへ 8 時間（読⑧） ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。（思・判・表C(1)カ） ○様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■読んだ文章の中心となる語句を、自分の言葉で言い換えてみる。	1 2 3～6	1 学習の見通しをもつ。 ・ P99を見て、題名やリード文から、文章の内容を想像する。 ・ 教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 文章の内容を確かめ、興味をもったところをはっきりさせる。 ・ 「もつと読もう」も併せて読み、自分が最も興味をもったことを明確にする。 3 興味をもったことに沿って大事な言葉や文を書き出して要約し、友達と読み合う。 ・ 書き出した言葉や文を使ったり、自分の言葉を用いたりして文章を要約する。 ・ 交流を通して、興味をもったところが違えば要約のしかたも異なることに気づく。	【知・技】 ・ 様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C(1)オ） ・ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。（C(1)カ） 【態】 進んで第 4 学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、漢字や熟語を正しく読んだり書いたりしようとしている。

4 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	■興味をもったところを中心に要約して紹介する文章を書く。 ☆調査・結果・考察など、記録・報告における事実と考えの整理（理科、総合的な学習の時間）	7 8	4 教材文を紹介する文章を書く。 ・要約した文章を使い、感想とともに教材文を紹介する文章を書く。 ・「何の話か」「要約」「感想」という構成で、教材文を紹介する文章を書く。 5 友達と紹介文を読み合う。 ・自分との違いや、「いいな。」と思うところを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【愚】進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書こうとしている。
2 月	言葉について考えよう つながりに気をつけよう 4 時間（知・技①、書③） ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができ る。（知・技(1)カ） ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)エ） ■つながりに気をつけて文章を書く。	1 2～3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・P113を読み、「問いをもとう」を基に、分かりやすく書くために必要なことを考える。 2 言葉と言葉のつながりについて考える。 3 例文を比較して、文と文のつながりについて考 4 例文を比較して、1 文の長さについて考える。 ・例文を読み、1 文にまとめることで分かりやすくなることもあることを知る。 5 P116の文章を、分かりやすくなるように書き直 す。 ・これまでの学習内容をいかして書き直す。 ・友達と、どこをどのように直したのかを説明 6 学習を振り返る。	【知・技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。（B(1)エ） 【態】進んで、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気をつけて文章を書
2 月	言葉を選んで詩を書き、友達と読み合おう 心が動いたことを言葉に 7 時間（書⑦） ◎書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解することができる。（知・技(1)カ） ■心が動いたことを詩に書いて友達と読み合う。	1 2～3 4 5～6 7	1 学習の見通しをもつ。 ・心を動かされたことを振り返り、紹介し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題 2 詩に書きたいことについて詳しく書き出す。 ・心を動かされたことの中から、最も伝えたい題材を選ぶ。 3 詩の組み立てを考える。 ・どんな詩を書きたいか、行数や連の数などから考えてみる。 4 言葉を選んで、詩を書く。 ・心を動かされたときのことについて、いちばん伝えたいことを中心に連想を広げて言葉を書き出す。 ・書いた作品を読み返し、心が動かされたとき 5 友達の詩の工夫を見つけ、感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)オ） 【態】進んで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして、心が動いたことを言葉にして書いた詩を読み合っている。
2 月 ～ 3 月	調べて分かったことを話そう 調べて話そう、生活調査隊 8 時間（話・聞⑧） ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。（知・技(1)イ） ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができ	1 2～4 5～6	1 学習の見通しをもつ。 ・普段の生活の中で疑問に思ったことを出し合い、題材への関心を高める。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 調べたいことを決める。 ・自分やみんなの生活について、感じていることをグループで出し合い、調べたいテーマを決 3 アンケートを取り、結果を整理する。 ・4 上P98「アンケート調査のしかた」を参考に、アンケート調査をした経験をいかしてアンケートを取る。 4 組み立てを考え、資料を作る。 ・アンケートから分かったことを明確にして、グラフや表にまとめる。 5 発表する準備をする。 ・P123「発表の例」を読んだり、動画を見たりして分かりやすく伝えるための工夫を考える。 ・互いの練習の様子を動画で撮影して工夫点を確かめる。	【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（(1)イ） ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識し

4 年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	る。(思・判・表A(1)イ) ■調査の報告をする。 ☆目的を意識して調査結果を整理、発表(社会、理科、総合的な学習の時間) ☆ICT端末を活用した録音・録画(ICT活用)	7～8	6 発表し、感じたことを伝え合う。 ・話し方の工夫を意識して発表する。 ・自分の生活と比べながら聞き、質問をしたり発表のよかったところを伝えたりする。 ・友達感想から、自分の考えが正しく伝わっているか考える。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	て、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) 【態】進んで、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。
3月	読んで考えたことを、友達と伝え合おう			
	スワンレイクのほりりて 7時間(読⑦) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を読んで考えたことを伝え合う。	1 2 3～5 6 7	1 学習の見通しをもつ。 ・P125を見て、題名やリード文から物語を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を確認する。 2 物語の組み立てや、登場人物の気持ちを確かめる。 3 登場人物の気持ちの変化を、観点を選んで考える。 ・同じ観点や違う観点のひと、どのような考え 4 物語の最後で、登場人物が書こうとしていることは何かを、理由とともに考える。 5 考えたことを伝え合い、自分の考えと比べながら聞いて、感じたことを話す。 ・交流を通して新たに気づいたことや、一人一人の解釈や感じ方の違いを振り返る。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) 【態】進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
3月	漢字の広場⑥ 2時間(書②) ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	1～2	1 教科書の絵を見て、1年間の出来事を振り返ったり想像したりし、3年生までに習った漢字を使って、学級新聞の記事を書く。 2 書いた記事を読み返し、間違いを直すなどして推敲する。 ・漢字や送り仮名、句読点等が正しく使えているかを確認し、間違いを直す。 3 書いたものを友達と読み合い、漢字を正しく用いることよさを実感する。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) 【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
3月	四年生をふり返って 1時間(書①) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返り、書く。	1	1 1年間の学び全体を振り返る。 2 P146「『たいせつ』のまとめ」などを見て、どのようなことを学んだのか確かめる。 3 特に身についたと思う言葉の力を書きまとめる。	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで経験したことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4月	ひみつの言葉を引き出そう 1時間（話・聞①） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア） ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。（思・判・表A(1)エ） ■友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話す。	1	1 扉の詩、目次、P9「国語の学びを見わたそう」を見て、学習の進め方確かめたり、見通しをもったりする。 2 P17を読み、5年生の国語学習での目標や楽しみなことを書く。 3 P18-19を読み、活動のしかたを確かめる。 4 気持ちや様子を表す言葉を、一人一つずつカードに書く。他の人に言葉が見えないように、グループの中で交換する。 5 一人がカードを持ち、グループで2分間話す。 ・カードを持たないメンバーは、どうすればカードを持つ人が「ひみつの言葉」を口にするかを考えながら話す。 6 カードに書かれている言葉を確認、会話を振り返る。 7 カードを持つ人を交代して、再度行う。 8 話してみても感じたことを振り返る。	【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。（A(1)エ） 【態】進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。
4月	かんがえるのって おもしろい 1時間（読①） ◎詩を音読することができる。（知・技(1)ケ） ○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■音読して、想像したことを伝え合う。	1	1 詩を声に出して読んだり、友達の音読を聞いたりと、描かれていることを想像する。 ・「どこかとおく」「しらないけしき」などの言葉が表していることを考える。 2 思い浮かべた様子や自分の経験と重ねて感じたことをノートに書く。 3 ノートに書いたことを基にして、詩を読んで感じたことを伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】詩を音読している。（(1)ケ） 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
4月	名前を使って、自己しょうかい 続けてみよう 1時間（書①） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。（知・技(1)カ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ） ■自分を紹介する文章を書く。	1	1 P23の作例を基に、名前を使って自分を紹介する文章の書き方を確かめる。 2 自分を紹介する文章を書く。 ・名前の文字から始まる言葉を思い浮かべ、自分の書きたいことに合ったものを選ぶ。 ・前後の文とのつながりを考えながら、文章を書いた文章をグループで読み合い、感想を伝える。 4 「いいな。」と思った作品を、クラス全体に紹介する。 5 名前を使って自己紹介をしてみても気づいたことを振り返る。 6 P24「続けてみよう」を読み、日々のことを記録することの大切さに気づき、ノートの書き方について学ぶ。	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア） ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)カ） 【態】積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。
4月	人物の心情や人物どうしの関わりをとらえ、印象に残ったことを伝え合おう 銀色の裏地 5時間（読⑤） ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ■印象に残ったことを伝え合う。 ☆友情、信頼や相互理解に関わる題材（道徳）	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・P25を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「理緒」の心情や、他の人物との関係を捉える。 ・P36「言葉に着目しよう」を参考に、「理緒」の心情や、他の人物との関わりが表れているところに線を引く。 ・P37「関係を図に表す」を参考に、線を引いたところを基に、登場人物の心情や人物どうしの関係が、どのように変化したのかについて想像する。 ・変化のきっかけになった出来事や言動について考える。 ・「理緒」から見た「高橋さん」の人物像について考える。 ・題名でもある「銀色の裏地」という言葉の意味について考える。 4 P37「考えのまとめ方」を参考に、強く印象に残ったことをまとめる。 ・物語の中の印象的な表現や、自分の経験と重ねて感じたことから考える。 5 考えたことを伝え合い、新たに考えたことや感じたことをノートに書く。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	
4月	図書館を使いこなそう 1時間（知・技①） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■本を探して、記録カードを書く。 ☆図書館で本を探す活動（図書館活用）	1	1 何かをさまざまな角度から調べるときに、どのように本を探しているかについて、経験を紹介 2 図書館での本の探し方について理解する。 ・「日本十進分類法」について知る。 ・著作権の観点から、図書を活用する際の留意点を確かめる。 3 図書館で、複数の棚から本を探す。 ・自分でテーマやキーワードを決めて探す。 4 P41の記録カードの例を見て、読書記録のつけ方を知る。	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。（(3)オ） 【態】進んで読書が自分の考えを広げることに関与することに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。
4月	漢字の成り立ち 2時間（知・技②） ◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。（知・技(3)ウ）	1 2	1 漢字には、大きく分けて四つの成り立ちがあることを、例とともに確認する。 2 P43の設問1に取り組む。 ・漢字辞典を使って、形声文字について確かめ 3 P43の設問2に取り組む。 ・漢字辞典を使って、漢字の成り立ちを確かめ 4 学習を振り返る。	【知・技】漢字の由来、特質などについて理解している。（(3)ウ） 【態】進んで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
4月	春の空 1時間（書①） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■春らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）	1	1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 2 「枕草子」やP45の春に関わる言葉、俳句を参考にし、春らしいものや様子を文章に書く。 3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア） 【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。
5月	話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう			
	きいて、きいて、きいてみよう 6時間（話・聞⑥） ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)エ） ○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。（知・技(1)イ） ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア） ■インタビューをし、報告する。 ☆インタビューを行い、報告する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆インタビューの録音・録画（ICT活用）	1 2 3 4～5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・生活の中で、どのような「きく」があるのかを出し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 インタビューの順番を決め、話題を考える。 ・話し手との関わりを思い出しながら、きいてみたい話題を幾つか挙げる。 ・その人の人柄を引き出せそうな話題を考え、質問を挙げる。 3 インタビューのためのメモを用意する。 ・絞った話題について、質問に対する答えを予想し、インタビューのためのメモを書く。 4 活動のしかたや気をつける点を確かめる。 ・P48-49を読み、きき手、話し手、記録者の役割やインタビューの具体的なやり取り、報告のしかたなどについて、全体で確認する。 5 役割を交代しながらインタビューをする。 6 記録したメモを基に報告の準備をする。 7 記録者がインタビューの内容について報告を行い、報告を聞いて気づいたことを伝え合う。 8 「きくこと」について考えたことを伝え合う。 ・役割の違いによって、きき方がどのように違うのかについて話し合う。 9 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。（(1)イ） ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（A(1)エ） 【態】粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。
5月 ～ 6月	文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう 見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果 7時間（知・技①、読⑥） ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア）	1～2	1 学習の見通しをもつ。 ・P51を見て、文化や言葉とものの見方の関わりについて考える。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「見立てる」を読み、事例や文章構成に着目して筆者の主張を見つけて、自分の考えを伝え合	【知・技】 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・原因と結果など情報と情報との関

- 54 -

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）		5 学習を振り返る。	
6月	【情報】目的に応じて引用するとき 2時間（書②） ◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)エ） ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ■引用カードを書く。 ☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動（理科、社会、総合的な学習の時間）	1～2	1 P76上段を見て、自分にも似た体験がないか想起して紹介し合い、目的に応じた引用の重要性について考えることを押さえる。 2 P76下段を読んで、情報を書き留めるときに気をつけることを確認する。 3 P77の文章と「山下さんの引用カード」を読んで、気づいたことを話し合う。 4 「山下さんの引用カード」を参考にして、「手洗いの際に、蛇口を閉めることの大切さを説明する文章を書く場合」という設定で、引用カードのような引用カードを書いたのか、伝え合 6 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。	【知・技】情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)エ） 【態】進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。
6月 ～ 7月	伝えたいことを整理して、報告しよう みんなが使いやすいデザイン 8時間（書⑧） ◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ■報告する文章を書く。 ☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材（道徳、総合的な学習の時間） ☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動（理科、社会、総合的な学習の時間） ☆インターネットによる情報収集（ICT活用）	1 2 3～4 5 6 7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・ユニバーサルデザインについて、知っていることを紹介し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 調べたいことを見つける。 ・P79を参考にして、家や町の中にあるものから、誰もが使いやすいように工夫されているものを探す。 3 調べ方を選んで取材し、集めた情報を整理する。 ・P80「さまざまな調べ方と特長」を参考に、適切な方法を選んで調べる。 ・P76「目的に応じて引用するとき」の学習を参考に、調べたことを記録する。 ・P80「さまざまな調べ方と特長」を参考にしながら、集めた情報を整理する方法について考える。 4 報告する文章の構成を考える。 ・P82の作例や二次元コードから見られる作例（全文）を参考にして、文章の構成を考える。 5 報告する文章の下書きを書く。 ・小見出しを立てるなどして、まとまりが分かるように書く。 ・本などから引用する場合は、他と区別して書く。 ・まとめは、それまでに述べてきたことと対応させる。 6 下書きを読み直して、清書する。 7 書いた文章を読み合って感想を伝え合う。 ・どんなところがよかったか、そう感じた理由とともに、感想を伝え合う。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。
7月	同じ読み方の漢字 2時間（知・技②） ◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	1 2	1 P84上段の問題に取り組み、同じ訓をもつ漢字でも、意味や使い方に違いがあることに気づく。 2 P84の設問1・2に取り組む。 3 P85上段を読み、同じ音をもつ熟語でも、意味や使い方に違いがあることに気づく。 4 P85の設問3・4に取り組む。 5 学習を振り返る。	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【態】進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。
7月	夏の夜 1時間（書①） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■夏らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）	1	1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 2 「枕草子」やP87の夏に関わる言葉、俳句を参考に、夏らしいものや様子を文章に書く。 3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んで、（B(1)ア） 【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。
7月	本は友達			

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	作家で広げるわたしたちの読書 モモ 5時間（読⑤） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することができる。（知・技(3)オ） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■本の魅力を伝え合う。 ☆作家を意識して選んだ本を読む活動（図書館活用）	1 2～4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・普段、どのように本を探しているかを想起する。 2 自分の本の選び方について、友達と話す。 ・さまざまな観点があってよいが、作家に着目した発言が出るようにしたい。 3 「モモ」を読んで、感想を伝え合う。 4 これから読みたい作家を決めて、その作家の本を探して読む。 5 P91の作例を参考に「しょうかいカード」を書き、本を紹介し合う。 6 自分の選んだ作家や作品の魅力を紹介し合い、気づいたことを伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「読書に親しむために」で、本の読み方を押さえる。	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。
9月	かぼちゃのつるが われは草なり 2時間（読②） ◎比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ■考えたことを伝え合う。	1 2	1 二つの詩を音読する。 ・繰り返しの表現に着目しながら読む。 2 「かぼちゃのつるが」を読み、繰り返しの表現により、どのような様子が想像されるかについて、話し合う。 ・「はい上がり」「葉をひろげ」が、どう繰り返され、何を表しているかを考える。 3 「われは草なり」を読み、「われは草なり」とは、どのようなことを表しているかについて考える。 ・繰り返しの表現が、各連の中で、他の表現と二つの詩を読んで、繰り返しの表現があることの効果について、考えをまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ） 【態】進んで比喻や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
9月	どちらを選びますか 2時間（話・聞②） ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。（知・技(1)オ） ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思・判・表A(1)オ） ■立場に分かれて話し合う。 ☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動（特別活動）	1～2	1 P104-105を読み、学習の進め方を確認する。 2 海を薦めるチーム（二人）と、山を薦めるチーム（二人）に分かれて、チームごとに薦める理由を考えてノートに書き出す。 3 話し合いを行う。 ・それぞれのチームが意見を言った後、質疑応答をして、互いの考えの違いをはっきりさせる。 ・各チームは、質疑応答を踏まえて考えを整理し、改めて意見を述べる。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。（(1)オ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ） 【態】積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。
9月	新聞を読もう 2時間（読②） ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたら、論の進め方について考えたりすることができる。（思・判・表C(1)ウ） ○文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（思・判・表C(1)ア） ■新聞記事を読む。 ☆新聞記事等による情報収集（社会、総合的な学習の時間）	1 2	1 新聞の1面の構成について確認する。 ・実際の新聞を用意し、構成を確認しながら、気づいたことや疑問点などをノートに書く。 ・新聞のそれぞれの面には、どのような分野の記事が書かれているかを確認する。 2 P108-109の二つの記事を読み、どんな違いがあるか、どうして違うのかを考え、ノートに書く。 3 二つの記事を比べて考えたことについて話し合う。 4 新聞の中から自分が興味をもったニュースを一つ選び、そのニュースについて、複数の記事を読み比べ、思ったことや考えたことをノートに書く。 5 ノートに書いたことを基に、自分の選んだニュースや記事について紹介し合う。 6 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（C(1)ア） ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたら、論の進め方について考えたりしている。（C(1)ウ） 【態】進んで必要な情報を見つけたら、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。
9月	文章に説得力をもたせるには 2時間（書②） ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ■考えたことを伝え合う。	1 2	1 意見文における「主張」と「根拠」について知 2 P110-111の意見文の例を読み、「主張」と「根拠」がどのように書かれているかを確認する。 ・「予想される反論」と「反論に対する考え」があるのとないのとでは、主張の伝わり方がどのように変わってくるかを考える。 ・「まとめ」で「主張」と同じ内容が繰り返されていることの効果を考える。 3 自分が毎日を安全に過ごすための方法について意見文を書くことと仮定して、構成や、どのまとまりにどんなことを書くかを考えて、伝え合う。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（B(1)イ） 【態】積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
9月	漢字の広場② 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、その漢字の読みや意味について理解することができる。（知・技(1)カ）	1	1 P112に提示された言葉を使いながら、作家になったつもりで、登山家の半生を文章に書く。 2 書いた文章を読み返し、構成などを整える。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。		3 書いた文章を友達と読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
9月 ～ 10月	物語の全体像を想像し、考えたことを伝え合おう たずねびと 6時間(読⑥) ◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ○比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ■考えたことを伝え合う。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳) ☆紹介された本を選んで読む活動(図書館活用)	1 2 3～4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・P113を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 本文を読んで、「綾」の心情の変化を捉える。 ・それぞれの場面で「綾」が出会ったものや、登場人物を確かめる。 ・P128「心情の変化をとらえる」を参考に、行動や会話、心情や情景を表す表現に着目して、「綾」の心情の変化を捉える。 3 P129「言葉に着目しよう」を参考にし、物語の全体像を想像する。 ・「きれいな川」や「ただの名前」が、「綾」にとってどんなものになったかを考える。 ・原爆や戦争に対する「綾」の見方がどう変わったかを考える。 ・「綾」が訪ねた場所や出会った人が、それぞれ「綾」に何を伝える役割をしていたかについて考える。 4 自分の思いや考えにどのような変化があったかについて、ノートにまとめる。 ・P129「考えをまとめる例」を参考にする。 5 まとめたことを友達と伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・単元で身につけた力をいかして、P260「チェロの木」を読むことを確かめる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。(知・技(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) 【態】粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
10月	漢字の広場③ 1時間(書①) ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。	1	1 P131に提示された言葉を使いながら、各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように文章を書く。 2 書いた文章を読み返し、構成などを整える。 3 書いた文章を友達と読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
10月	方言と共通語 2時間(知・技②) ◎共通語と方言との違いを理解することができる。(知・技(3)ウ)	1～2	1 方言と共通語について知る。 ・「問いをもとう」を基に、言葉の中には方言があることに気づく。 ・「方言分布図」を参照し、自分の住んでいる地方で、塩の味を表す言葉としてどう言うか、 2 方言と共通語の特徴と必要性を確かめる。 3 設問に取り組む。 ・自分の住む地域の方言を知る。 ・「たずねびと」の方言の効果について話し合う。 ・方言を使った場合と共通語を使った場合のそ 4 学習を振り返る。 ・「いかそう」を読み、これからの生活にいかす視点をもつ。	【知・技】共通語と方言との違いを理解している。(3)ウ) 【態】進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
10月	秋の夕 1時間(書①) ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を	1	1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 2 「枕草子」やP135の秋に関わる言葉、俳句を参考にし、秋らしいものや様子を文章に書く。 3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親し

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■秋らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材（道徳）		4 学習を振り返る。	して、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。（B(1)ア） 【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書くようにしている。
10月	たがいの立場を明確にして、話し合おう			
	よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには6時間（話・聞⑥） ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア） ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思・判・表A(1)オ） ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。（知・技(1)オ） ■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。 ☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習（特別活動、社会、総合的な学習の時間） ☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動（ICT活用）	1 2 3 4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・学校生活の中でこうなるといいと思うことについて、考えを出し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 学校生活の中から、議題を決める。 ・新たにしてみたいことや解決したい身近な課題を見つけて、ノートに書く。 ・書いた課題を基にクラスで一つの課題を選び、議題を決める。 3 自分の立場を明らかにするために、考えを書き出す。 ・P138「自分の考えを明らかにするときは」を参考にする。 ・議題についての自分の意見を付箋等に書き出して整理しておく。 4 話し合いのしかたを全体で確認して、進行計画を立てる。 ・P138「進め方の例」を参考にする。 ・グループごとに司会や記録などの役割や、時間配分等を決める。 5 話し合いのときに気をつけることを確認する。 ・「考えを広げる話し合い」「考えをまとめる話し合い」それぞれについて、よりよい意見の伝え方や質問のしかた、意見のまとめ方などを確かめる。 ・P142「意見が対立したときには」を読み、意見が対立したときの話し合いの仕方について知る。 6 計画に沿って、グループで話し合う。 ・前時までの学習をいかして話し合う。 ・各自の考えを書いた付箋を利用して、それぞれの考えを整理する。P140「ふせんを使って整理する例」を参考にする。 7 話し合った結果をクラス全体へ報告し、感想を伝え合う。 ・話し合いの中でよかったところを伝え合い、話し合いのよりよい進め方として確かめ合う。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。（(1)オ） ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ） 【態】粘り強く互いの立場や意図を明確にしながら、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。
11月	浦島太郎——「御伽草子」より 1時間（知・技①） ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（知・技(3)イ） ○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○時間の経過による言葉の変化に気づくことができる。（知・技(3)ウ） ■古典の文章を読み、知っている話と比べて思ったことを話す。 ☆二次元コードから朗読を視聴（ICT活用）	1	1 P144-145を読み、「浦島太郎」の結末について知ることを発表し合う。 2 二次元コードを活用して古典の文章の朗読を聞いたのち、繰り返し音読する。 3 「知っている話と違う」「今の自分たちにも、気持ちがかかる」などの視点で考えをもち、友達と話し合う。 4 学習を振り返る。 ・昔の言葉と今の言葉を比べたり、昔の人のものの見方や感じ方について感想をもったりしてまとめる。	【知・技】 ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（(3)イ） ・時間の経過による言葉の変化に気づいている。（(3)ウ） 【態】進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。
11月	和語・漢語・外来語 2時間（知・技②） ◎語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づくことができる。（知・技(3)ウ） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ）	1	1 言葉には、「和語」「漢語」「外来語」があることを知る。 ・「問いをもとう」を基に、違う言い方があることに気づき、使い分け方について考える。 ・P146の①と②を読み、それぞれから受ける印象の違いについて伝え合う。 ・和語、漢語、外来語の定義を理解する。 2 P147の設問に取り組み、漢語と和語で意味が異なる場合があることを知る。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。（(3)ウ） 【態】進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		2	3 和語・漢語・外来語の使い分けについて考える。 4 身の回りにある文章から、和語・漢語・外来語を探して発表し合い、どのような文章の中に多く見られるかを確かめる。 5 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。	る。
11月	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう	1	1 学習の見通しをもつ。 ・P149を見て、固有種について知っていることや、自然環境について関心のあることなどを出し合う。 ・自然環境について、自分の考えを文章に書くことを確かめる。 ・教材文を読み、P158「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題と設定し、学習計画をたてる。 2 「固有種が教えてくれること」を読むことで、初めて知ったことや興味をもったことを出し合う。 ・筆者の説明の工夫に着目して読んでいくこと 3 文章の構成を整理して、内容を捉える。 ・「初め」「中」「終わり」のまとまりを確かめる。 ・筆者の考えの中心を捉える。 ・「中」のそれぞれの段落に見出しをつけて整理して、「中」を大きく二つに分ける。 4 筆者が図表やグラフ、写真を使った意図と効果を考える。 ・P158「資料の効果を考えるときは」を読み、意図や効果を考えるときの手がかりにする。 5 筆者の考えや説明の工夫について、資料の効果にも触れながら、自分の考えをまとめる。 ・図表やグラフ等の効果についても触れる。 6 筆者の説明の工夫について、グループで伝え合 7 学校図書館などで、環境に関する図書を読み、内容や説明のしかたについて感想を伝え合う。 8 学習を振り返り、次の学習の見通しをもつ。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。 ・P160「問いをもとう」「目標」を基に、見通しをもつ。	【知・技】 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) 【態】粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。
	固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方 10時間（書⑤、読⑤） ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 （知・技(2)ア） ◎引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 （思・判・表B(1)エ） ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。（思・判・表C(1)ウ） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 （思・判・表C(1)ア） ■筆者の説明のしかたの工夫について、考えをまとめて話し合ったり、統計資料を根拠にして意見文を書いたりする。 ☆図表・グラフ等と文章を関連させながら、説明されていることを読み取る活動（社会、算数、理科） ☆理由や根拠を明確にししながら自分の考えを記述する活動（社会、理科、家庭科） ☆固有種や環境について目を向けて考える題材（理科） ☆統計資料がある本を読む活動（図書館活用） ☆グラフや表の作成（ICT活用）	2～3	9 前時までの学習をいかし、環境問題について自分の考えを書くことを確かめる。 ・「問いをもとう」の二次元コードから見られる動画を参考に、日本や世界にある環境問題の中で、特に解決したいものを考える。 10 統計資料を集め、自分の考えをもつ。 ・P161の二次元コードから、環境問題に関するさまざまな統計資料を見てみる。 ・統計資料とそこから分かることを紹介し合う。 11 自然環境について、自分の考えをもつ。 ・P162-163の作例を読み、自分の書く文章の見通しをもつ。 ・自分の考えの根拠に適した統計資料を決める。 12 「初め」「中」「終わり」の構成で、書くことを整理する。 ・付箋紙やカードなどを使って、何を、どの順序で書くのかを決める。	
		4～5	13 グラフや表を用いて、考えを書く。 ・自分の考えに合った資料を用いる。 ・P162「グラフや表を用いて書くときは」、P163「グラフや表を用いて書くときの言葉」を読んで、説得力のある文章になるように工夫する。 ・書き上げたら読み返して、説得力のある文章になっているかを確かめる。 14 書いた文章を友達と読み合い、説得力のあるところについて、意見や感想を交流する。 15 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
11月	カンジエ博士の暗号解読 2時間（知・技②） ◎第5学年までに配当されている漢字	1～2	1 P166を読み、暗号の解読のしかたを確かめる。 ・同音の漢字が解読の鍵であることに気づく。 ・漢字辞典や国語辞典を使って、漢字を確かめ	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	を読むとともに、漸次書き、又や又草 の中で使うことができる。（知・技 (1)エ）		2 設問に取り組み、グループで確かめ合う。 3 暗号文を作り、グループで解き合う。	(1)エ) 【態】進んで漢字の読み方に関心をもち、これまでの学習をいかして漸次書きをしようとしている。
12月	古典の世界（二） 1時間（知・技①） ◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（知・技(3)イ） ■漢文を音読する。 ☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	1	1 教師の範読（朗読CD、デジタル教科書、二次元コードの音声）を聞き、読み方やリズムを知 2 「論語」や漢詩「春曉」を声に出して読む。 ・漢文特有の言い回しやリズムを味わう。 ・日本語訳（大意）を参考にして意味を捉え、問答の場面や、漢詩の情景を想像する。 ・内容を自分に引き寄せて感想をもち、紹介し 3 グループで交互に音読を聞き合いながら、漢文特有の言い回しやリズムを楽しむ。	【知・技】 ・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） ・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（(3)イ） 【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。
12月	漢字の広場④ 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書く。	1	1 P170に提示された言葉（県名）を使いながら、それぞれの県に入る文を書く。 2 書いた文を読み返すなどして、構成などを考え 3 書いた文を見せ合って紹介し合うとともに、示された漢字を確認する。 ・クラスやグループで都道府県すごろくを完成させ、遊んで楽しむ中で、漢字に親しむ。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
12月	伝記を読み、自分の生き方について考えよう やなせたかし——アンパンマンの勇氣 5時間（読⑤） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。 ☆自分の郷土に目を向けさせる題材（総合的な学習の時間） ☆伝記の選書（図書館活用）	1 2～3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・P171を見て、やなせたかしについて、知っていることを出し合う。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習の見通しをもつ。 ・P181「この本、読もう」も参考にしながら、興味のある伝記を選ぶ。 2 伝記に取り上げられている出来事を確かめる。 ・P182「伝記の表現」から、特色を知る。 ・それぞれの出来事で「たかし」がしたことや考えたこと、人生における意味を確かめる。 3 考え方に着目して、「たかし」の人物像をまと 4 「たかし」の行動や考え方について、自分の考えを書く。 5 選んで読んだ本（伝記）について、考えたことを200字程度で書く。 6 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえ	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） 【態】積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。
12月	意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう あなたは、どう考える 6時間（書⑥） ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■意見文を書く。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動（社会、総合的な学習の時間） ☆意見や理由とその根拠を説明する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章の構成を考える活動（ICT活用）	1 2 3 4～5	1 学習の見通しをもつ。 ・他の人の意見を読んで共感したり、意見をもったりした経験について発表する。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 自分の関心のあることから題材を決め、主張を考える。 ・P187の作例を読み、よいところを見つける。 ・P185の投書の例や「題材の例」を参考にし、題材を集めて、その中から決める。 ・P185「主張をはっきりさせるには」を参考に主張の理由や根拠を書き出す。 3 自分の考えを見直したり、グループで見せ合ったりして、他の立場から自分の考えを見直す。 ・主張や理由、根拠について、説得力があると感じたところや補ったほうがよいところを友達と伝え合う。 ・友達の見解を参考にして、自分の主張に対する反論を予想する。 ・必要に応じて、実際にあった出来事を思い出し、図書館やインターネットで情報を調べ文章の構成を考える。 ・P186の倉田さんの例を参考に、集めた情報から、どれをどの順番で取り上げるかを決める。 ・P186「学びをいかそう」を参考にし、説得力を意識した文章構成になるように確かめる。 4 構成を基に、意見文を書く。 ・P187「考えを表す言葉」を参考にする。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)カ） 【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。

- 61 -

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	想像力のスイッチを入れよう 6時間（読⑥） ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■メディアとの関わりについて考えを伝え合う。 ☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ題材（総合的な学習の時間、日常生活）	1 2～3 4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・P199を見て、「想像力のスイッチ」という言葉から連想することを出し合う。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 筆者が伝えようとしていることを捉える。 ・文章のまとまりごとに述べられていることをまとめて、概略をつかむ。 3 筆者が挙げた事例と、それぞれの事例に対する筆者の意見をまとめる。 4 事例を挙げて説明することの効果について話し 5 筆者が考える「想像力のスイッチ」について、まとめる。 ・なぜその表現にしたのかを考える。 ・表現に対する自分の意見をもつ。 6 P206「もっと読もう」を参考にして、自分の経験を想起して、メディアとの関わり方についての自分の考えを文章に書く。 7 書いたものを読み合い、互いの考え方の類似点や相違点を見つけて伝え合う。 ・取り入れたい友達の考えを明らかにする。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】 積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。
1月	複合語 2時間（知・技②） ◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ）	1 2	1 複合語について知る。 ・「問いをもとう」を基に、言葉と言葉が結び付いて、新しい意味をもつことに気づく。 2 複合語の種類を確かめる。 ・複合語の組み合わせ方を理解して、設問1に取り組む。 3 複合語の特徴を確かめる。 ・長い複合語や略語について理解する。 ・発音や音の高低が変わる複合語があることを確かめる。 ・設問2に取り組む。 4 学習を振り返る。 ・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。	【知・技】 語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） 【態】 進んで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
2月	言葉について考えよう 言葉を使い分けよう 3時間（知・技①、書②） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■手紙を書く。	1 2 3	1 学習の見通しをもつ。 ・P213を読み、「問いをもとう」を基にどんなことを考えていくかの見通しをもつ。 2 相手に応じた言葉の選び方について考える。 ・「お知らせをどう書き換えればいいか」について話し合う。 ・P214「言葉を選ぶときは」を読んで、選び方について確認する。 3 相手や場に応じた言い方について考える。 ・「お知らせ」をどう書き換えればいいかについて話し合う。 ・P215「言い方を変えるときは」を読んで、よりよい言い方について確認する。 4 P215の課題に取り組む。 ・相手に合わせて言葉を選び、相手や場に応じた言い方をするの大切さを確認する。 5 言葉や表現に気をつけて手紙の文面を考える。 ・友達と評価し合う。 6 学習を振り返る。 ・これからの生活や学習にいかす視点をもつ。	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） 【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】 積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。
2月	読む人を意識して構成を考え、物語を書こう もう一つの物語 6時間（書⑥） ◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ■別の物語に書き換える。	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・別の展開について考えてみたい物語を想起する。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題 2 作例を基に、「何を」「どのように」書き換えているかをつかむ。 3 書き換えたい物語を選び、変える部分を考える。 ・P218「変える部分を考えるときは」を読み、変え方の参考にする。 ・変える部分を友達と紹介し合って、書き換える	【知・技】 話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（B(1)イ） 【態】 粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		3	4 読む人を意識して、物語の構成を考える。 ・P219「物語の基本的な構成」「塩谷さんの構成メモ」を参考にして、構成メモを作成する。 ・塩谷さんの構成の工夫を見つけて、読む人にどう楽しんでもらおうとしているかを予想する。 ・P219「物語の構成を考えたときは」を読んだ構成を参考に作る。	
		4	5 表現を工夫して、物語の下書きをする。 ・読む人にどう感じてほしいかを意識して、物語の「どこに」「何を」書けばよいかを考える。 ・物語の場面を想像して、会話文や登場人物の描写を丁寧にする。	
		5	6 物語を清書する。 ・P220「学びをいかそう」を参考にして、表現を工夫する。 ・推敲して、仕上げる。	
		6	7 読み合って、感想を伝え合う。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
2月 ～ 3月	事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう			
	「子ども未来科」で何をする 6時間（話・聞⑥） ◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。（知・技(1)イ） ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。（思・判・表A(1)イ） ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■提案するスピーチを行う。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動（社会、総合的な学習の時間） ☆意見や理由と根拠を説明する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆練習時のスピーチの録音・録画（ICT活用）	1	1 学習の見通しをもつ。 ・自分が学んでみたいことを考え、発表し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。（(1)イ） ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。（A(1)ウ） 【態】粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。
		2	2 P225「山下さんのスピーチ」を参考に、「何を」「どのように」に伝えるスピーチなのかの	
		3	3 考えてみたいテーマを決める。 ・どんな課題があるかを想起して、自分が考えたいテーマを決める。 ・課題にしようとしているテーマについて、グループで情報交換する。	
		4	4 テーマから課題を考え、情報を集める。 ・自分が決めたテーマについての課題を挙げて、「子ども未来科」で学べそうなことを考える。 ・P223「情報を集めるときは」を参考に、説得	
		5	5 スピーチの構成を考える。 ・内容や話す順序を考え、スピーチメモを作る。 ・提示する資料を作る。 ・P224「構成を考えたときは」「資料を作ると	
		6	6 スピーチメモを基にして、練習をする。 ・P225「山下さんのスピーチ」や二次元コードを参考に、効果的な言葉の選び方や話し方、資料の示し方などを工夫する。	
			7 スピーチをする。 ・動画に撮っておき、見返す。	
			8 感想を伝え合う。 ・話の構成、話し方の両面から、友達のスピーチのよかったところを伝え合う。	
			9 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
3月	登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみりよくを伝え合おう			
	大造じいさんとガン 6時間（読⑥） ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○文章を音読したり朗読したりすることができる。（知・技(1)ケ） ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語の魅力を伝える文章を書く。 ■物語の魅力が表れているところを朗読する。	1	1 学習の見通しをもつ。 ・P227を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） ・文章を音読したり朗読したりしている。（(1)ケ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。
		2～3	2 「残雪」に対する「大造じいさん」の心情と、その変化に着目して、物語の内容を捉える。 ・P246「言葉に着目しよう」を参考に、「大造じいさん」の心情を表す情景描写の効果について、	
			3 物語の山場について考える。 ・「大造じいさん」の心情が大きく変わるところを探す。	
		4	4 読み深める観点を選んで、物語の魅力を見つけて自分の言葉でまとめる。 ・P247「選んで読み深めよう」を参考にする。 ・観点が同じ人どうしや違う人どうしで考えを伝え合い、考えを深める。	

5 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		5～6	5 物語の魅力とそう考える理由をまとめる。 ・物語の魅力がよく表れている場面や文を選んで、そう思う理由を書き表す。 6 選んだ場面や文を朗読で表現する。 ・物語の魅力について書いた文章や朗読について、グループで紹介し合い、考えを比べる。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	
3月	漢字の広場⑥ 1時間（書①） ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■示された言葉を使って、出来事を報道する文を書く。	1	1 P249に提示された言葉を使いながら、新聞記者になったつもりで、出来事を報道する文章を書く 2 書いた文章を読み返すなどして、構成などを考える 3 書いた文章を見せ合い、交流するとともに、示された漢字を確認する。	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
3月	五年生をふり返って 1時間（書①） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。	1	1 1年間の国語学習を振り返る。 ・P252「『たいせつ』のまとめ」を読んで、領域ごとに自分が大切だと思ったことを書き加える。 ・学習で使ったノートやワークシートなどを見る 2 「自分自身について言葉の力」と「その力のいかし方」について、自分の考えをまとめて書く 3 書いた考えを友達と紹介し合う。	【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア） 【態】進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4月	つないで、つないで、一つのお話 1時間（話・聞①） ◎自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)エ） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ■グループで一人1文ずつつないで、一つのまとまった話を作る。 ☆よりよい人間関係の形成に関する題材（特別活動）	1	1 扉の詩、目次、P9「国語の学びを見わたそう」を見て、学習の進め方を確かめたり、見通しをもったりする。 2 P17を読み、6年生の国語学習の目標を書く。 3 「つないで、つないで、一つのお話」の活動の目的と流れを確かめる。 4 最初と最後の1文を決め、グループで2周する間にお話が完結するように1文ずつ話をつなぐ。時間に余裕があれば、「もっと楽しもう」 5 できたお話を発表して感想を伝え合ったり、友達とお話を作ってどう感じたかを振り返ったりする。	【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。（A(1)エ） 【態】進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、これまでの学習をいかしてお話作りに取り組もうとしている。
4月	準備 1時間（読①） ◎詩を音読することができる。（知・技(1)ケ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ■詩の音読を聞き合い、感じたことを伝え合う。 ☆希望と勇気、努力と強い意志に関する題材（道徳）	1	1 詩の内容や情景を思い浮かべながら音読する。 ・誰に向かって、何を呼びかけているのかを考える。 ・言葉の順序や繰り返しの表現など、詩に用いられている表現の工夫に着目する。 ・心に強く響いた言葉が、聞く人の印象に残る。 2 音読を聞き合い、互いに感じたことを伝え合う。 3 学習のまとめをする。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） ・詩を音読している。（(1)ケ） 【思・判・表】「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ） 【態】進んで詩を音読し、学習課題に沿って感じたことを伝え合おうとしている。
4月	伝わるかな、好きな食べ物 続けてみよう 1時間（書①） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ） ■文章を読み合い、紹介されている食べ物を当て合う。 ☆食生活への関心を高める題材（家庭科）	1	1 「伝わるかな、好きな食べ物」の活動の目的と流れを確かめる。 2 紹介する食べ物を決め、見た目や食感などの特徴を想起し、書く内容を考える。 3 比喩を用いるなど表現を工夫しながら、おいしさが伝わるように文章を書く。 4 文章を読み合い、何の食べ物かを当て合う。時間に余裕があれば、「もっと楽しもう」に挑戦 5 自分が書いた文章のよさや、友達が書いた文章で印象に残った表現について振り返る。 6 P24「続けてみよう」を読み、年間を通した継続的な活動に取り組む意欲をもち、ノートの書き方について学ぶ。	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)カ） 【態】積極的に表現を工夫し、これまでの学習をいかして互いの文章を読み合おうとしている。
4月	視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう 帰り道 5時間（読⑤） ◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ■物語を読み、印象に残ったことについて考えをまとめ、伝え合う。 ☆友情や信頼、相互理解や寛容に関する題材（道徳）	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・P25を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「律」と「周也」の心情や関係の変化を考える。 ・P38「展開にそって比べよう」を参考に、同じ出来事や言葉に対する登場人物の捉え方や心情、考え方をまとめる。 ・二人の心情が伝わるように音読する。 ・P39「言葉に着目しよう」を参考に、複数の表現を関連づけて、天気雨の前後で二人の心情と関係がどう変わったのかを捉えよう。 3 「律」と「周也」の人物像を考え、交流する。 ・さまざまな視点から二人の人物像を考える。 ・「1」と「2」に分けて書かれていることの効果を考え、友達と話し合う。 4 特に印象に残ったことについて考えをまとめる。 ・P39「考えをまとめるときの観点の例」を参考に、構成、内容、表現など、さまざまな観点から考えたことを伝え合う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合おうとしている。
4月	公共図書館を活用しよう 1時間（知・技①） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ☆公共図書館の資料やサービスの利用	1	1 公共図書館を利用した経験を想起する。 ・学校図書館との違いを考える。 2 公共図書館で利用できる資料やサービスを確かめ、利用してみたいものを申し出る。 3 P42「図書館以外の施設も活用しよう」を読み、図書館以外の施設にどんなものがあるかを知	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【態】進んで公共図書館の役割や特徴について知り、学習課題に沿って利用してみたいもののメモの記録のし

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	☆公共図書館の資料サービスの利用 (図書館活用、社会) ☆公共図書館のウェブサイトや電子図書館の利用 (ICT活用)		4 P43の記録カードの例を参考に、読んだ本や調べたことの記録のしかたを知る。 ・実際に、学校図書館や公共図書館で調べたことを記録カードに書く経験をするといよい。	利用してみたいものや本の記録のしかたについて考えようとしている。
4月	漢字の形と音・意味 2時間 (知・技②) ◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ) ○第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	1 2	1 同じ部分をもつ漢字には、音も共通する場合があることを理解する。 ・P44の設問1に取り組む。 2 同じ部分をもつ漢字には、意味のうえでつながりがある場合があることを理解する。 ・P45の設問2に取り組む。 3 学習のまとめをする。 ・形(部分)、音、意味の関係に着目して、漢字を読んだり書いたりしようとする意識をもつ。	【知・技】 ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ) 【態】進んで漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして漢字を文や文章の中で使おうとしている。
4月	春のいぶき 1時間 (書①) ◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■身の回りで感じた「春」を、俳句や短歌に表す。 ☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)	1	1 春のイメージを広げる。 ・身の回りで感じた「春」を交流する。 ・教科書に示されている二十四節気を確認したり、俳句、短歌を声に出して読み、おおまかな意味を捉えたりする。 2 自分の地域の今の「春」を、俳句や短歌に表す。 ・俳句や短歌の形式や決まりを確認する。 ・自分が感じた、どのような「春」を伝えたいか。 3 書いた作品をグループで読み合う。 ・春の感じ方、言葉の選び方や使い方、語感など、内容と表現の工夫に着目して感想を伝え合う。	【知・技】語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして俳句や短歌を作ろうとしている。
5月	インタビューをして、自分の考えと比べながら聞こう 聞いて、考えを深めよう 6時間 (話・聞⑥) ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ■インタビューをする。 ☆よりよい学校生活、集団生活の充実に関する題材(道徳) ☆礼儀や敬語が円滑な人とのつながりをつくることを実感する活動(道徳) ☆インタビューを通して必要な情報を集め、自分の考えを深める教材(社会、総合的な学習の時間) ☆ICレコーダーなどの機器によるインタビューの録音 (ICT活用)	1 2 3~4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・学校のよいところや学校にどんな人が関わっているかを想起する。 ・「問いをもと」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 インタビューの相手を決め、知りたいことを明らかにする。 ・P49「インタビューの相手を考えるときは」を参考に、学校のよいところとの関連を考えながら、インタビューの相手を決める。 ・P49「インタビューの準備をするときは」を参考に、質問や自分の考えをまとめ、インタビューの準備をする。 3 インタビューをする。 ・P50-51の桜井さんのインタビューを読んだり、二次元コードから動画「インタビューの様子」を視聴したりして、相手の思いや考えを引き出すために気をつけたいことを、友達と出し合う。 ・P50「インタビューをするときは」を参考に、相手の思いや考えを引き出すために気をつけたいことを、友達と出し合う。 4 話を聞いて考えたことを、伝え合う。 ・考えが深まったり、変化したりした点を明確にする。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1)キ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】進んで話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習課題に沿ってインタビューをしようとしている。
5月 ~ 6月	漢字の広場① 1時間 (書①) ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■絵の中の出来事を伝える記事を書く。	1	1 教科書の絵を見て、町のあちこちで起こっている出来事を想像する。 2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を正しく用いて、それぞれの出来事を町の人に伝える記事を書く。	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態】積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして記事を書こうとしている。
5月 ~ 6月	主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 【情報】主張と事例 7時間 (知・技①、読⑥) ◎原因と結果および感情と感情との関係	1~2	1 学習の見通しをもつ。 ・P53を見て、心の動きが体や時間とどのように関わっているかを考える。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【知・技】 ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（思・判・表C(1)ア） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ■主張を述べた文章を読み、自分の考えを伝え合う。 ☆物事を科学的に考えるよさに目を向ける題材（理科）	3 4 5 6 7	2 「笑うから楽しい」を、筆者の考えと事例の関係に着目しながら読む。 ・どの段落に筆者の考えと、その基となる事例が書かれているかを確かめる。 ・事例を挙げることの効果について考える。 ・この文章に対する自分の考えを友達と話す。 3 「時計の時間と心の時間」を読む。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習のめあてを確かめる。 4 文章全体の構成を捉える。 ・「時計の時間」「心の時間」の定義を確かめる。 ・「笑うから楽しい」の学習を振り返ったり、P65「主張と事例」を読んだりして、どの段落に筆者の考えが書かれているか、どんな事例が挙げられているかを考える。 5 筆者が複数の事例を挙げた意図を話し合う。 ・それぞれの事例について、自分の経験を振り返ったり、実験結果を詳しく読み取ったりする。 ・P62-63「話し合いの例」を参考に、複数の事例について話し合う。 6 筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 ・共感・納得したり、疑問に思ったりしたことを、自分の経験を踏まえてまとめる。 7 考えをグループで伝え合う。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） 【態】進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。
6月	文の組み立て 2時間（知・技②） ◎文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。（知・技(1)カ）	1 2	1 言葉の順序について理解する。 ・「問いをもとう」を基に、日本語の文の語順の特徴について、友達と考えを出し合う。 2 主語と述語の関係について理解する。 ・一つの文の中に主語と述語の関係が二つ以上出てくる場合があることを知る。 ・主語と述語の関係が複数ある場合には、短い文に分けると読みやすくなることを確かめる。 3 P67の設問1・2に取り組む。 4 学習のまとめをする。 ・「いかそう」を読み、文の組み立て方について、今後いかしたい場面を考える。	【知・技】文の中での語句の係り方や語順について理解している。（(1)カ） 【態】進んで文の中での語句の係り方や語順について理解し、これまでの学習をいかして設問に取り組もうとしている。
6月	表現を工夫して短歌を作り、読み合おう たのしみは 3時間（書③） ◎短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■日常の中の楽しみや喜びを短歌に表す。 ☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材（社会、道徳）	1 2 3	1 学習の見通しをもつ。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 短歌に表したい場面を決める。 ・P69の短歌二首を読み、内容を理解する。 ・P69「題材を決めるときは」を参考に、生活の中にある「たのしみ」を探し、そのときの様子や気持ちを細かく思い出す。 3 短歌を作る。 ・短歌が5・7・5・7・7の31音でできていることを確かめ、「たのしみは」で始まる短歌の形にする。 ・比喻を用いたり、言葉の順序を変えたりし、表現を工夫する。 4 短歌を読み合い、感想を伝え合う。 ・P70「感想を伝え合うときは」を参考に、「たのしみ」を感じた題材や場面の切り取り方、それを伝える言葉の使い方などで工夫している点について交流する。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「書くこと」において、短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。（B(1)カ） 【態】学習の見通しをもって短歌を作り、積極的に短歌に対する感想や意見を伝え合おうとしている。
6月	天地の文 1時間（知・技①） ◎近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。（知・技	1	1 教材文を音読する。 ・リード文を読んで、「天地の文」の成り立ちやおおまかな内容を理解する。 ・二次元コードの音声「天地の文」を参考に、文語調のリズムや響きに親しみ、音読する。 2 大意を参考に内容を捉え、繰り返し音読する。 ・時間や週日など、暮らしの基本となる決め事が書かれていることを確かめる。	【知・技】 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（(3)イ） 【態】進んで言葉の響きやリズムに

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	(3)イ) ■文語調の文章を音読する。 ☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材（社会、道徳）		3 学習のまとめをする。 ・文語調ならではの言葉の響きやリズム、筆者の考えなどについて感想をもつ。	【知・技】文語調の言葉の響きやリズム、筆者の考えなどについて感想をもつ。
6月	【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき 2時間（書②） ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■条件に即して、報告書を書き直す。 ☆調べた情報を整理して伝える方法を学ぶ教材（理科、社会、総合的な学習の時間）	1 2	1 情報を整理して伝える必要性を理解する。 ・P74の矢島さんの例を見て、情報どうしの関係を整理することの大切さを感じる。 ・身近な例を取り上げて、情報と情報にはどのような関係があるか、またその関係を伝えるための言葉や表現を知る。 2 P75の設問（▼）に取り組む。 ・「地産地消」の定義を付け加えたり、情報と情報をつなぐ言葉を挿入したりする。 ・複数の情報の共通点を見つけ、まとめの文を書く。 3 学習を振り返る。 ・「いかそう」を読み、書くときだけでなく、文章を読むときにも、情報と情報との関係に着目するとよいことを確認する。	【知・技】情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】進んで情報と情報との関係づけのしかたについて理解を深め、学習課題に沿って報告書を書き直すとしている。
6月 ～ 7月	構成を考えて、提案する文章を書こう デジタル機器と私たち 8時間（書⑧） ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ○文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ■考えたことや伝えたいことを基に提案する文章を書く。 ☆デジタル機器への関心を高める題材（ICT活用） ☆図書館での情報収集（図書館活用） ☆インターネットによる情報収集や、文書作成ソフトによる制作（ICT活用） ☆インタビューによる情報収集（社会、総合的な学習の時間） ☆調べたことを基に、提案する文章を書く活動（社会、総合的な学習の時間）	1 2～3 4～5 6～7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・デジタル機器との付き合い方を振り返る。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 グループでテーマを決める。 ・P77「テーマを決めるときは」を参考に、さまざまな観点からテーマを考える。 3 情報を集めて、提案内容を考える。 ・本やインターネットで調べたり、身近な人にインタビューしたりする。 ・集めた情報に関連する体験を出し合い、提案内容を検討する。 4 提案する文章の構成を考える。 ・P78「提案する文章の構成を考えるときは」や、P79「ふせんを使って、構成を考える例」を参考に、文章の構成を話し合う。 ・P278「課題解決に向けて考える」を参考にするとよい。 ・話し合いを振り返り、どのように構成を決めたかをノートに書く。 5 提案する文章を書く。 ・P80「岩木さんたちが書いた、提案する文章」や二次元コードから見られる作例（全文）を基に、提案する文章のイメージを共有し、グループで分担を決める。 ・P79「提案する文章を書くときの言葉」やP74「情報と情報をつなげて伝えるとき」の学習を参考にする。 ・文書作成ソフトを用いてもよい。 ・書き終わったらグループで読み返し、説得力があるかどうかを確かめる。 6 読み合って、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	【知・技】 ・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（B(1)イ） 【態】積極的に文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書こうとしている。
7月	夏のさかり 1時間（書①） ◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■季節を感じる語句を使って、手紙を書く。 ☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材（社会、道徳）	1	1 夏のイメージを広げる。 ・身の回りで感じた「夏」を交流する。 ・教科書に示されている二十四節気を確認したり、俳句、短歌を声に出して読み、おおまかな意味を捉えたりする。 2 自分の地域の今の「夏」を、手紙に書く。 ・手紙の形式を確かめる。 ・自分が感じた、どのような「夏」を伝えたいのかを考え、それが表れるような言葉を選んで書く。 3 書いた手紙をグループで読み合う。 ・夏の感じ方、言葉の選び方や使い方、語感など、内容と表現の工夫に着目して感想を伝え合う。	【知・技】語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
7月	本は友達 私と本 星空を届けたい 5時間（読⑤） ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに関与することができる。（知・技(3)オ） ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■テーマに沿って読んだ本を紹介するブックトークを行う。 ☆ブックトークに向けた読書（図書館活用） ☆共生社会に目を向ける題材（道徳）	1 2 3 4 5	1 学習の見直しをもつ。 ・リード文を読み、自分の読書生活を振り返る。 ・「見直しをもつ」を基に、学習計画を立てる。 2 本を読むことをきっかけに、どのように知識や考えを広げたり深めたりしているかを話し合う。 3 印象深い本について、友達と話す。 ・これまでに読んだ中で、心に残っている本を想起し、その本がもつテーマについて、友達と 4 テーマに着目して、複数の本を読む。 ・P87「テーマと本の例」やP280「本の世界を広げよう」を参考に、一つのテーマに関する複数の本について、並行読書を始めてもよい。 5 「星空を届けたい」を読み、ブックトークの手順を確かめる。 ・「星空を届けたい」を読んで、印象に残ったことを交流する。 ・P88「ブックトークの例」を読み、「初め」「中」「終わり」の構成で、テーマに沿って本を紹介することを理解する。 6 ブックトークをする。 7 学習を振り返る。 ・「読書に親しむために」で本の読み方を押さえる。	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに関与している。（(3)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】進んで読書が自分の考えを広げることに関与することに関与し、これまでの学習をいかしてブックトークをしようとしている。
9月	せんねん まんねん 名づけられた葉 2時間（読②） ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ◎詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ■詩を読み、考えたことを伝え合う。 ☆個性の尊重、努力と強い意志に関する題材（道徳）	1 2	1 二つの詩を音読する。 2 表現の工夫に着目して、詩の内容を捉える。 3 二つの詩の題名が表していることや、描かれている思いについて、話し合う。 ・繰り返しの表現や比喩など、表現の工夫に着目する。	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） 【態】積極的に表現の工夫に気づき、これまでの学習をいかして考えたことを伝え合おうとしている。
9月	いちばん大事なものは 2時間（話・聞②） ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思・判・表A(1)オ） ■メンバーを替えながら、グループで考えを尋ね合う。 ☆よりよい人間関係の形成に関する題材（特別活動） ☆相互理解、寛容に関する題材（道徳）	1 2	1 これからの生活で、どのようなものや考え方を大事にしていきたいか、自分の考えをノートに書く。 2 3人組のグループをつくり、考えを伝え合う。 ・互いの考えがよく分かるように、理由や、これまでの経験などを尋ね合う。 ・メンバーを二度入れ替え、同様に考えを聞き合ったり、前のグループで出た話題などを共有したりする。 ・最後に、初めのグループに戻って、各々が最終的な考えをまとめ、交流する。 ・変わったり深まったりした自分の考えを、ノートに書く。 ・書いたものを見せ合い、互いの「いちばん大事なものは」や、対話する意義について交流する。	【知・技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ） 【態】積極的に考えを広げ、学習課題に沿って考えを尋ね合おうとしている。
9月	インターネットでニュースを読もう 3時間（読③） ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。（思・判・表C(1)ウ） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ■ニュースサイトと新聞を比較して読む。 ☆インターネットによる情報収集（ICT活用）	1 2 3	1 ニュースサイトの読み方や活用のしかたについて学習することを理解する。 ・P105脚注を基に、「ニュースサイト」とは何かを確認する。 2 ニュースサイトのトップページの特徴を知る。 ・P105「トップページの例」を参考に、トップページの特徴を考える。 ・ニュースサイトを利用した経験を話し合う。 3 ニュースサイトと新聞の記事を比べる。 ・P106の恐竜化石に関するニュースを基に、ニュースサイトと新聞の相違点を考える。 ・P107の吹き出しとニュースサイトの記事を照らし合わせ、情報の正しい読み取り方について考える。 ・さらに情報を得たいときの検索のしかたについて、友達と話し合う。 4 実際にニュースサイトにアクセスし、興味のあるニュースを読んだり、さらに知りたいことを検索したりする。 5 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。	【知・技】文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。（C(1)ウ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） 【態】進んでニュースサイトの特徴を理解し、これまでの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読もうとしている。
9月	文章を推敲しよう	1	1 P108とP308を読み、「推敲」について知る。	【知・技】文の中での語句の係り方

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	2時間（書②） ◎文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ○文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。（知・技(1)カ） ■文章を推敲する。 ☆持続可能な社会に関する題材（社会）	2	2 P108の設問（▼）に取り組む。 ・P108「書きこみの例」を参考に、文章に赤字で書き込む。 3 P109の設問（▼）に取り組む。 ・桜井さんの直した文章と、自分が赤字で書き込んだ点とを比べる。 ・気づいたことを、グループで話し合う。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえ、この後の「書くこと」単元でも活用することを確かめる。	や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】進んで文章全体の構成や書き表し方などに着目し、学習課題に沿って文章を推敲しようとしている。
9月	漢字の広場② 1時間（書①） ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■絵の中の人々の行動を説明する文章を書く。	1	1 教科書の絵を見て、遊園地での人々の行動を想像する。 2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を正しく用いて、遊園地での人々の行動を、文章に書く。	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
9月 ～ 10月	作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合う やまなし 【資料】イーハトーヴの夢 8時間（読⑧） ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ◎物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ■物語と資料を重ねて読み、作品世界について考えたことを書いて、伝え合う。 ☆生命や自然との関わりに関する題材（道徳） ☆キャリア形成と自己実現に目を向ける題材（特別活動）	1 2～3 4～5 6 7 8	1 学習の見通しをもつ。 ・P111を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「やまなし」の作品世界を捉える。 ・二枚の青い幻灯に描かれた谷川の風景が分かる言葉や文を探す。 ・資料「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方について感想を伝え合う。 3 「やまなし」の作品世界を読み深める。 ・作者の独特な表現に着目し、心を引かれる表現から情景を豊かに想像する。 ・かんの様子、水や光の様子、上から来たものについて、「五月」と「十二月」の場面で使われている言葉に着目して対比する。 ・作者がなぜ「十二月」にしか出てこない「やまなし」を題名にしたのかを考える。 4 作者が作品に込めた思いを考える。 ・P133「考えをまとめるとき」を参考に、自分の考えを文章にまとめる。 5 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 ・友達のと違うところや、「いいな。」と思ったところを伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつとともに、P266「物語の世界を作る表現」で表現や構成に着目して本を読むことへの意欲を高める。	【知・技】 ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ） 【態】粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。
10月	漢字の広場③ 1時間（書①） ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■絵を基に、冒険物語を書く。	1	1 教科書の絵を見て、絵の中の魔法使いを主人公にした冒険物語のストーリーを考える。 2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を正しく用いて、魔法使いが冒険する物語を書く。	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして物語を書こうとしている。
10月	熟語の成り立ち 2時間（知・技②） ◎語句の構成や変化について理解することができる。（知・技(1)オ） ○第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	1 2	1 漢字二字の熟語の成り立ちを理解する。 ・漢字二字の熟語には、4通りの成り立ちがあることを理解する。 ・P136の設問1に取り組む。 2 漢字三字の熟語の成り立ちを理解する。 ・漢字三字の熟語には、3通りの成り立ちがあることを理解する。 3 漢字四字以上の熟語の成り立ちを理解する。 ・普通は、幾つかの語の組み合わせでできていることを確認する。 4 P137の設問2に取り組む。 ・新聞や本などから、漢字三字以上の熟語を探してもよい。	【知・技】 ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） ・語句の構成や変化について理解している。（(1)オ） 【態】進んで熟語の構成についての理解を深め、学習課題に沿って熟語を探したり組み合わせを考えたりしようとしている。

- 71 -

- 72 -

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	道に注意して正しく書くことができる。 （知・技(1)ウ） ○第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	2	3 P171の設問1・2・3に取り組む。	る。（1)ウ） ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（1)エ） 【態】工夫して漢字学習を行うことに進んで取り組み、これまでの学習をいかして漢字を正しく書こうとしている。
12月	漢字の広場④ 1時間（書①） ○第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■絵の中の出来事などを説明する文章を書く。	1	1 教科書の絵を見て、テレビ局の様子や出来事を想像する。 2 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を正しく用いて、どこで、どんなことが行われていたかなど、見学したことを家の人に分かりやすく伝える文章を書く。	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
12月	物語を読んで考えたことを、伝え合おう ぼくのブック・ウーマン 4時間（読④） ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表C(1)オ） ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与していることに気づくことができる。（知・技(3)オ） ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書経験と結び付けてまとめ、語り合う。 ☆本の役割や読書の意義に目を向ける題材（図書館活用） ☆翻訳作品についての関連読書（図書館活用）	1 2 3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・P173を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 物語の設定を確かめる。 3 物語全体を通して、「カル」がどのように変化したのかを考える。 ・「カル」の視点から語られていることの効果を考える。 ・「カル」の、「ブック・ウーマン」や本に対する見方の変化が分かる表現を探す。 ・本が読めるようになったことに対する「カル」の思いが、物語全体にもつ意味を考える。 4 物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書経験などと結び付けながらノートにまとめる。 ・P185「生活や読書経験と結び付ける観点の例」「考えをまとめる例」を参考に、考えをまとめたものをグループで読み合い、考えの共通点や相違点を語り合う。 5 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・「この本、読もう」で、翻訳作品を読むことへの意欲を高める。	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与していることに気づいている。（3)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C(1)オ） 【態】進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
12月	相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう おすすめパンフレットを作ろう 6時間（書⑥） ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)エ） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ■推薦したいものを、パンフレットにまとめる。 ☆図書館での情報収集（図書館活用） ☆インターネットによる情報収集（ICT活用）	1 2 3 4～5	1 学習の見通しをもつ。 ・リード文を読み、元気がなったり感動したりした映画や音楽、本などを想起する。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 グループで推薦したいもののテーマを決め、情報を集める。 ・P189「取り上げるものの例」を参考にテーマを決め、どんな人に推薦したいかを考える。 ・P311「図を使って考えよう」を参考に、出てきたアイデアを整理する。 3 集めた情報を基に、グループでパンフレットの構成を考える。 ・P190「パンフレットの構成を考えるときは」を参考に構成を考え、分担を決める。 4 担当するページの割り付けと、推薦する文章の構成を考える。 5 推薦する文章を書く。 ・P192「すいせんする文章の例」を読み、どんな工夫があるかを友達と話し合う。 ・書き終わったら、P192「書き表し方を工夫するときは」を用いて、自分が書いた文章を確認したり、グループみんなで推敲したりする。 ・P108「文章を推敲しよう」で学習したことを振り返り、推敲する際の参考にする。 ・P191「参考にした資料を示すときは」を参考に、裏表紙を書く。 ・グループ全員の分が完成したら、1冊にまとめる。	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（1)ア） ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（1)カ） 【思・判・表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)エ） 【態】進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		6	6 読み合って、感想を伝え合う。 ・心を動かされた内容だけでなく、言葉や写真の選び方、割り付けのしかたなど、書き表し方についてもよいところを伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
12月	冬のおとずれ 1時間（書①） ◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■季節を感じる語句を使って、手紙を書く。 ☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材（社会、道徳）	1	1 冬のイメージを広げる。 ・身の回りで感じた「冬」を交流する。 ・教科書に示されている二十四節気を確認したり、俳句、短歌を声に出して読み、おおまかな意味を捉えたりする。 2 自分の地域の今の「冬」を、手紙に書く。 ・手紙の形式を確認する。 ・自分が感じた、どのような「冬」を伝えたいのかを考え、それが表れるような言葉を選んで書く。 3 書いた手紙をグループで読み合う。 ・冬の感じ方、言葉の選び方や使い方、語感など、内容と表現の工夫に着目して感想を伝え合う。	【知・技】語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
1月	詩を朗読してしようかいしよう 2時間（読②） ◎詩を朗読することができる。（知・技(1)ケ） ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ○詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■お気に入りの詩を朗読して紹介する。 ☆詩集からお気に入りの詩を選ぶ活動	1 2	1 三つの詩を朗読する。 ・詩を読んで感じた様子や思いが伝わるように、工夫する。 2 お気に入りの詩を朗読する。 ・これまでに読んだ詩や、詩集などから、お気に入りの詩を選ぶ。 ・選んだ詩について、どこが心に響いたのかを、表現や内容から考える。 ・お気に入りの詩を朗読し、友達に紹介する。詩から感じたことも伝える。	【知・技】 ・詩を朗読している。（(1)ケ） ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。（(3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】進んで詩を朗読し、これまでの学習をいかしてお気に入りの詩を紹介しようとしている。
1月	知ってほしい、この名言 2時間（書②） ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■名言を紹介する。 ☆本やことわざ辞典、名言集などによる情報収集（図書館活用） ☆インターネットによる情報収集（ICT活用）	1 2	1 名言だと思う言葉を集める。 ・本やテレビ、インターネットなどで集めたり、ことわざ辞典や名言集などから選んだりする。 2 集めた言葉を整理する。 ・集めた言葉を、「自分にとって大事か」「みんなに教えたか」などの点から整理する。 ・P311「図を使って考えよう」を参考にするとよい。 3 言葉を選んでカードに書き、読み合う。 ・紹介したい言葉を幾つか選び、誰の言葉か（出典）、その言葉の意味、紹介したい理由などをカードに書く。 ・カードを読み合い、友達が紹介した言葉の中で心に残ったものをノートに書く。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえ、この後の「書くこと」単元でも活用することを確かめる。	【知・技】情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】進んで集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習課題に沿って名言を紹介しようとしている。
1月	日本の文字文化 【コラム】仮名づかい 2時間（知・技②） ◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。（知・技(1)ウ） ◎語句の由来などに関心をもち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。（知・技(3)ウ） ☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材（社会、道徳）	1 2	1 「問いをもとう」を基に、身の回りで使われている文字や、その特徴について考える。 2 P200-201「日本語の表記」を読む。 ・「漢字仮名交じり文」「表意文字」「表音文字」などの言葉を知るとともに、日本語の表記の特徴を理解する。 3 P201の設問1に取り組む。 4 P201-202「仮名の由来」を読む。 ・平仮名や片仮名の成り立ちを理解する。 ・二次元コードから見られる資料「万葉仮名」を使って、周りにある言葉を万葉仮名で表してもよい。 ・P203「仮名づかい」を読み、注意が必要な言葉について考える。	【知・技】 ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（(1)ウ） ・語句の由来などに関心をもち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（(3)ウ） 【態】進んで仮名及び漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして適切な表記を考えようとしている。

6 年

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			5 学習のまとめをする。 ・P276「言葉の交流」と関連を図ることも考えられる。 ・「いかそう」を読み、漢字や仮名、ローマ字の使い分けに関し、今後にいかす視点をもつ。	
1 月	漢字の広場⑤ 1 時間（書①） ◎第5 学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。（思・判・表B(1)オ） ■絵の中の様子を説明する文章を書く。	1	1 教科書の絵を見て、商店街の通りやお店の中の様子、人々の会話を想像する。 2 提示された言葉を使い、5 年生までに習った漢字を正しく用いて、商店街の様子を表す文章を書く。	【知・技】第5 学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（B(1)オ） 【態】積極的に第5 学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
1 月	筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合う			
	「考える」とは 6 時間（読⑥） ◎文章の構成や展開、文章の種類とそ の特徴について理解することができる。 （知・技(1)カ） ◎文章を読んで理解したことに基づい て、自分の考えをまとめることができる。 （思・判・表C(1)オ） ◎文章を読んでまとめた意見や感想を 共有し、自分の考えを広げることがで きる。（思・判・表C(1)カ） ◎思考に関わる語句の量を増し、話や 文章の中で使うことができる。（知・ 技(1)オ） ■複数の文章を読み、考えたことを伝 え合う。 ☆一人一人のキャリア形成と自己実現 に関する題材（特別活動） ☆真理の探究に関する題材（道徳）	1 2 3～4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・P205を見て、「考える」とは何かを考える。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を 基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 それぞれの文章で筆者が最も伝えたいことを考 える。 ・筆者が最も伝えたいことが書かれている叙述 を探す。 ・それぞれの筆者が「考える」ことをどのよう に捉えているかを、短い文で表す。 3 筆者がどのように自分の考えを伝えようとして いるか、文章の特徴を明らかにする。 ・論の展開のしかたや構成、事例に着目する。 ・P212「言葉に着目しよう」を参考に、筆者の 書き方の特徴が表れている言葉や表現を見つけ る。 4 三つの文章を読んで考えたことをまとめる。 ・特に印象に残ったこととその理由、自分の知 識や経験と比べて気づいたこと、自分の考えと の共通点や相違点などを書く。 ・「考える」ということに対する、自分の考え を書く。 5 グループで考えを伝え合い、自分の考えを広げ たり深めたりする。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返ると ともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけ た力を押さえる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話 や文章の中で使っている。（(1)オ） ・文章の構成や展開、文章の種類と その特徴について理解している。 （(1)カ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読 んで理解したことに基づいて、自分 の考えをまとめている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読 んでまとめた意見や感想を共有し、 自分の考えを広げている。（C(1) カ） 【態】粘り強く文章を読んで理解し たことに基づいて自分の考えをまと め、学習課題に沿って考えたことを 伝え合おうとしている。
1 月	使える言葉にするために 1 時間（知・技①） ◎第6 学年までに配当されている漢字 を読み、漸次書き、文や文章の中で使 うことができる。（知・技(1)エ） ☆各教科の学習の中で使われる言葉 （社会、算数、理科）	1	1 言葉を使う場面や、使い方を理解するために、 どのようなことをすればよいか、友達と話し合 う。 ・言葉を覚えてよかったこと、読み方や表記が 分からなかったときの対処法などについて、考 えをまとめる。 2 P216の設問（▼）に示されている言葉につい て、読み方や意味が分からないものがあれば、 辞書で調べる。	【知・技】第6 学年までに配当され ている漢字を読み、漸次書き、文や 文章の中で使っている。（(1)エ） 【態】進んで第6 学年までに配当さ れている漢字を読み、これまでの学 習をいかして、読み方や意味が分 からない言葉を辞書で調べようとし ている。
1 月 ～ 2 月	言葉について考えよう 日本語の特徴 3 時間（知・技①、書②） ○語句と語句との関係、語句の構成や 変化について理解し、語彙を豊かにす るとともに、語感や言葉の使い方に対 する感覚を意識して、語や語句を使う ことができる。（知・技(1)オ） ○文の中の語句の係り方や語順につ いて理解することができる。（知・技 (1)カ） ○目的や意図に応じて簡単に書いたり 詳しく書いたりするとともに、事実と 感想、意見とを区別して書いたりする など、自分の考えが伝わるように書き 表し方を工夫することができる。	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・P217を読み、「問いをもとう」を基に日本語 の特徴を考える。 2 同じ内容について書かれた、日本語と英語の文 を比べ、気づいたことを話し合う。 ・P218の吹き出しを例に、文の組み立て（語 順）、表記などに目を向けて考える。 ・英語以外の言語とも比べる。 3 P219の説明や「言語の特徴を考えるとときは」を 参考に、日本語の特徴をまとめる。 ・文の組み立てと表記に着目して、特徴を押さ える。 ・雨に関係する表現が豊富にある理由を考え、 日本語の語彙の特徴を見いだす。	【知・技】 ・語句と語句との関係、語句の構成 や変化について理解し、語彙を豊か にするとともに、語感や言葉の使い 方に対する感覚を意識して、語や語 句を使っている。（(1)オ） ・文の中での語句の係り方や語順に ついて理解している。（(1)カ） 【思・判・表】「書くこと」におい て、目的や意図に応じて簡単に書い たり詳しく書いたりするとともに、 事実と感想、意見とを区別して書い たりするなど、自分の考えが伝わる ように書き表し方を工夫している。 （B(1)ウ） 【態】積極的に第6 学年までに配当さ れている漢字を使い、これまでの学 習をいかして、読み方や意味が分 からない言葉を辞書で調べようとし ている。

- 76 -

- 77 -

教科	社会	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わたしたちの江戸川 1 学校のまわりの様子	6	学校のまわりの様子について観察や調査活動を通して、調べたことを絵地図や白地図にまとめるとともに、場所による様子の違いや身近な地域の特色やよさを考え、適切に表現する。	①観点に基づいて見学や調査を行ったり、地図や写真資料などの資料を活用したりして必要な情報を集め、学校のまわりの様子を理解している。 ②調べたことを主な地図記号や四方位などを用いて絵地図や白地図にまとめ、学校のまわりの特色を理解している。	①場所による違いに着目して問いを見出し、学校のまわりの様子について考え、表現している。 ②見学した場所による違いを適切に表現している。	①学校のまわりの様子について予想したり、学習計画を立てたりして、学習問題を追求し、解決しようとしている。
2 江戸川区の様子	11	江戸川区の様子について、東京都における区の位置や地形や土地利用、交通の広がり、区役所などの主な公共施設などの場所と働き、古くから残る建造物の分布等に着目し、観察・調査したり地図などの資料を調べたりして白地図にまとめ、区の様子や場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの区の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度を養う。	①都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所の主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、区の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの区の様子について大まかに理解している。	①都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物などの分布などに着目して問いを見出し、区の様子について考え、表現している。 ②土地利用を地形的な条件や社会的な条件と関連付けたり、分布の様子を相互に比較したりして、区の様子や場所による違いを考え、適切に表現している。	①区の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追求し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

2. わたしたちのくらしと人々の仕事 1 わたしたちのくらしと商店の仕事	11	○買い物調べやお店見学などを通して、販売の仕事をしている人々が、消費者の願いに応じて工夫や努力をしており、自分たちの生活を支えていることを理解する。 ○販売における特色や自分たちの地域が消費生活を通して国内外の他地域とかかわりがあることについて調べ、白地図などにまとめる。	①販売の仕方、他地域との関りについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして販売に携わっている人々の工夫を理解している。 ②調べたことを白地図や新聞などにまとめ、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるように工夫して行われていることを理解している。	①買い物調べや商店の様子に着目して問いを見いだし、販売に携わる人々の仕事の様子について考え表現している。 ②消費者の願いと関連付けて、販売に携わる人々の工夫を考え表現している。	①地域に見られる販売の仕事について、予想をもとに見学計画を立てたりして、主体的に学習を追求し解決しようとしている。
2 わたしたちのくらしと農家の仕事 3 わたしたちのくらしと工場の仕事 ＊（2と3は選択）	11	観察・調査・表現などの学習活動を通して、農家の生産の特色や働く人の工夫や努力、他地域とのかかわりなどについて具体的に考え、農家の仕事は消費者の生活を支えていることを理解する。 ○身近な地域の、工場の仕事の様子について調べ、仕事に携わる人々の生活と密接なかかわりをもっていることを理解する。 ○工場の特色や製品の原材料や出荷された製品が、自分たちの地域と国内外の他地域とかかわりがあることについて調べ、白地図などにまとめるなど、主体的に学習問題を追求解決しようとする態度を養う。	①仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり、地図などで調べたりして、農家の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や新聞などにまとめ、農家の仕事は地域の人々の生活と密接な関わりをもっていることを理解している。 ①地域の工場について、原材料の仕入れや製品の作り方、国内外の他地域への販売などについて調べ、工場働く人々の努力や工夫を理解している。 ②資料や見学などで調べたことを、ワークシートや白地図にまとめ、自分たちの地域が国内外とかかわりがあることを理解している。	①仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して問いを見いだし、生産に携わっている人々の様子について考え、表現している。 ②農家の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。 ①原材料から製品への変化に着目して問いを見出し、工場働く人々の様子について考え表現している。 ②資料や見学で分かったことを、比較・関連付け、総合などをして工場働く人々の工夫を考えたり、学習したことを基に、地域と自分とのかかわり方について選択・判断したりして、適切に表現している。	①地域にある農家の仕事について、予想や学習計画を立てたりして、主体的に学習問題を追求し、解決しようとしている。 ①地域の工場の様子について予想したり、学習計画を立てたりしても通しをもち、主体的に学習問題を解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

3. わたしたちのくらしと安全を守る仕事 1 火事のない町をめざして	9	○火災から人々の安全を守るための工夫や努力について、見学・調査したり、資料を活用したりして調べ、火災を防ぐための消防署を中心とした関係機関や諸団体の働きについて表現することをとを通して、そこに従事する人々や地域の人々が協力していることを理解する。 ○火災から人々の安全を守るための工夫や努力について、学習問題を主体的に調べ解決しようとするとともに、火事から人々の安全を守るためにできることを考えようとする態度を養う。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、火災や地域の安全を守る働きは、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。 ②火災から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活に関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、火災から地域や自分自身の安全を守るためにできる自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①火災から地域の人々の安全を守るための働きについて、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追求・解決しようとしている。 ②学習したことを基に、火災から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。
2 事件や事故のない町をめざして	6	○地域安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応に着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べてりしてまとめ、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や受持する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に関連して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解する。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、事故や事件から地域の安全を守る働きは、相互に連携して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事件や事故の防止に努めていることを理解している。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。 ②事件や事故から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活に関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、事件や事故から地域や自分自身の安全を守るためにできる自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①事件や事故から地域の人々の安全を守るための働きについて、予想や学習問題をたてたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追求し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、事件や事故から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

4. 区のうつりかわり	15	○江戸川区の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目し、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして年表にまとめ、それらの変化を考え、表現することを通して、江戸川区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解する。 ○江戸川区の移り変わりについて、学習問題を主体的に調べ、解決しようとするとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いなどについて、聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、江戸川区や人々の生活の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、江戸川区や人々の生活の様子は時代の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して問いを見出し、江戸川区や人々の生活の様子について考え、表現している。江戸川区や人々の生活の様子の変化について、文章で記述したり説明したり話し合ったりしている。 ②公共施設ができたこと、人口が変化したこと、土地利用の様子や生活の道具が変わってきたことなどを相互に関連付けたり、区の様子の変化と生活の様子の変化を結び付けたりして、江戸川区や人々の生活の様子の変化を考え、適切に表現している。	①江戸川区の様子の移り変わりについて関心をもち、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②これからの江戸川区の発展について関心をもち、江戸川区の将来の姿について考えようとしている。

教科	社会	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わたしたちの東京都	8	都道府県の様子について、我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現することを通して、自分たちの県の地理的環境の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについて地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの県の地理的環境の概要を理解している。	①我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、問いを見出し、県の様子について考え表現している。 ②県の位置や県全体の地形、主な産業、交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え、適切に表現している。	①県の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
2 住みよいくらしをささえる 1 くらしをささえる水	10	飲料水は、計画的に作りだされ、他地域の協力を得て確保されていることを調べ、飲料水が蛇口に届くまでの経路や水道曲の仕事とそれに携わる人々の工夫や努力を理解して、進んで水を大切にしようとする態度を養う。	①供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。	①供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。 ②飲料水の供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付け、飲料水の供給のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。	①飲料水を供給する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

2 ごみの処理と再利用	12	ごみを処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料を活用して調べまとめる。また、それらの事業が果たす役割を考え、表現することを通して、ごみを処理する事業は、衛星的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上を支えていることを理解できるようにする。	①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。	①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ②廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。	①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。
3. 自然災害から人々を守る	11	自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。 ②調べたことを年表や図表、文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解している。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、問いを見出し、災害から人々を守る活動について考え表現している。 ②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、その働きを考えたり、学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。	①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

4. 東京都の伝統や文化	18	県内の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受けついできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。	①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、県内の文化財や年中行事には地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。	①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、問いを見出し、県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。 ②文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを基に地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして、表現している。	①県内の文化財や伝統行事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとしている。
5. 郷土の発展に尽くす 青山士と荒川	11	荒川放水路建設に尽くした先人（青山士と工事に参加した人々）の業績について洪水に悩まされた当時の人々の生活や思いに着目して地図や写真等の資料で調べ、当時の生活の向上や地域の発展と関連付けて青山士の働きを考えることを通して、青山士は様々な努力や苦心により当時の生活の向上や地域の発展に貢献したことを理解できるようにするとともに、地域の発展に尽くした先人の働きについて関心をもって意欲的に調べ、考えようとする態度を養う。	①青山士らが苦労や努力を重ねて放水路の開削を進めていったことや、放水路開削の歴史的背景、水害に苦しむ人々の願いなどについて、写真や映像資料や地図などで調べて必要な情報を集め、読み取り、荒川の完成により当時の人々の生活が変化・向上していったことを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	①水害に苦しむ当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見出し、水害から地域の人々を守るために尽力した青山士らの業績について考え、表現している。 ②青山士らの業績と洪水に苦しむ人々の思い、開削工事が進む様子等を関連付けて考え、表現している。	①地域の発展に尽くした先人の働きについて、予想をもとにして学習問題を立て、問題解決の見通しをもち、主体的に学習問題を追求・解決しようとしている。 ②地域の発展に尽くした先人の働きに関心をもち、地域のより良い発展を考えている。

7.特色のある地域と人々のくらし	20	県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	①特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ②特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。	①県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

教科	社会	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わたしたちの国土 (オリエンテーション)	1	写真や地球儀を見て、調べた と思ったことを話し合う。			
1 世界の中の国土	4	我が国の国土の様子につい て、世界の大陸と主な海洋、主 な国の位置、海洋に囲まれ多 数の島からなる国土の構成な どに着目して、地図帳や地球 儀、各種の資料で調べ、まと めることで我が国の国土の様 子を捉え、その特色を考え、 表現することを通して、世界 における我が国の国土の位置 、国土の構成、領土の範囲な どを大まかに理解できるよう にするとともに、主体的に学 習問題を解決しようとする。	①世界の大陸と主な海洋、主 な国の位置、海洋に囲まれ多 数の島からなる国土の構成な どについて地図帳や地球儀、 各種の資料で調べて必要な情 報を集め、読み取り、我が国 の国土の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文など にまとめ、世界における我が 国の国土の位置、国土の構成 、領土の範囲などを大まかに 理解している。	①世界の大陸と主な海洋、主 な国の位置、海洋に囲まれ多 数の島からなる国土の構成な どに着目して、問いを見いだ し、我が国の国土の様子につ いて考え表現している。 ②我が国の国土の位置や形 状、面積などの情報を総合し て我が国の国土の特色を考え 、適切に表現している。	①我が国の国土の様子につい て、予想や学習計画を立てた り、見直したりして、主体的 に学習問題を追究し、解決し ようとしている。
2 国土の地形の特色	3	我が国の国土の様子につい て、国土の地形に着目して、地 図帳や地球儀、各種の資料で 調べ、まとめることで国土の 自然などの様子や地形に特色 ある地域の人々の生活を捉え 、国土の自然環境の特色やそ れらと国民生活との関連を考 え、表現することを通して、 我が国の国土の地形の概要を 理解できるようにするととも に、主体的に学習問題を解決 しようとする。	①国土の地形などについて地 図帳や地球儀、各種の資料で 調べて、必要な情報を集め、 読み取り、国土の自然などの 様子や地形に特色ある地域の 人々の生活を理解している。 ②調べたことを図表や文など にまとめ、我が国の国土の地 形の概要を理解している。	①国土の地形などに着目して 、問いを見いだし、国土の自 然などの様子や自然条件から 見て特色ある地域の人々の 生活について考え表現してい る。 ②我が国の位置や地形から、 我が国の国土の自然環境の特 色を考え、適切に表現してい る。	①我が国の国土の地形につい て、予想や学習計画を立てた り、見直したりして、主体的 に学習問題を追究し、解決し ようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

3 低い土地の暮らし (選択)	5	我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで低い土地の自然などの様子や低い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。	①国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	①国土の地形などに着目して、問いを見だし、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活について考え表現している。 ②我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	①低い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
3 高い土地の暮らし (選択)	5	我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで高い土地の自然などの様子や高い土地の人々の生活をとらえ、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	① 国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活を理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、高い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	① 国土の地形などに着目して、問いを見出し、国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活について考え表現している。 ②我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、高い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	①高い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

4 国土の気候の特色	3	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の気候の様子をとらえ、国土の気候の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	① 国土の気候について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の気候の様子を理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の国土の気候の概要を理解している。	① 国土の気候に着目して、問いを見出し、国土の気候の様子について考え表現している。	我が国の国土の気候の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
5 あたたかい土地の暮らし (選択)	4	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることであたたかい土地の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活をとらえ、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	① 国土の気候などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活を理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、あたたかい土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	① 国土の気候などに着目して、問いを見出し、国土の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活について考え表現している。 ② 我が国の位置や気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、あたたかい土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	① あたたかい土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

5 寒い土地の暮らし (選択)	4	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで寒い土地の自然などの様子や寒い土地の人々の生活をとりえ、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	① 国土の気候などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を理解している。 ② 調べたことを図表や文などにまとめ、寒い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	① 国土の気候などに着目して、問いを見出し、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活について考え表現している。 ② 我が国の位置や気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、寒い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	① 寒い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
2. わたしたちの生活と食料生産 (オリエンテーション)	1	ふだん、どのようなものを食べているのかについて話し合う。			
1 暮らしを支える食料生産	4	我が国の農業や水産業における食料生産について、生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の概要をとりえ、食料生産が国民に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	① 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ② 調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。	① 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、食料生産の概要について考え表現している。 ② 我が国の農産物や水産物の種類や生産量、農業や水産業がさかんな地域の分布などの情報を総合したり、農業や水産業における食料生産と国民生活を関連付けたりして食料生産が国民生活に果たす役割を考え、適切に表現している。	① 我が国の食料生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

2 米づくりのさかんな地域	8	我が国の米の生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料で調べ、まとめることで、米づくりに関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考え、表現することを通して、我が国の米づくりに関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の米づくりに関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見出し、米づくりに関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②米づくりの仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて米づくりに関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	①我が国の米の生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
3 水産業のさかんな地域	7	我が国の水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料で調べ、まとめることで、水産業に関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考え、表現することを通して、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	①水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見出し、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて水産業に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	①水産業における食料生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4. これからの食料生産とわたしたち	5	我が国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の課題をとらえ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの農業などの発展について考えようとする態度を養う。	①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。	①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出し、食料生産の課題について考え表現している。 ②食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことをもとに、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。	①これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの農業などの発展について考えようとしている。
3. わたしたちの生活と工業生産 (オリエンテーション)	1	工業は、生活にどのように関わっているのかについて話し合う。			

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

1 暮らしを支える工業生産	3	我が国の工業生産について、工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の概要をとらえ、工業生産と国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国ではさまざまな工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国ではさまざまな工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。	①工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見出し、工業生産の概要について考え表現している。	①工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
2 自動車をつくる工業	7	我が国の自動車生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで自動車生産に関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考え、表現することを通して、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するようさまざまな工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するようさまざまな工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。	①自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見出し、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	①自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

3 工業生産を支える輸送と貿易	5	我が国の工業生産について、交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで貿易や運輸の様子をとらえ、それらの役割を考え、表現することを通して、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①交通網の広がり、外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。	①交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、貿易や運輸の様子について考え表現している。 ②工業生産と貿易や運輸の働きを関連付けて貿易や運輸が工業生産に果たす役割を考え、適切に表現している。	①工業生産における貿易や運輸について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
4 これからの工業生産とわたしたち	5	我が国の工業生産について、伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の課題をとらえ、工業生産の発展と国民生活との関連を考え、表現することを通して、原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの工業の発展について考えようとする態度を養う。	①伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の課題を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解している。	①伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、問いを見出し、工業生産の課題について考え表現している。 ②工業生産について学習してきたことを総合して工業生産の課題について考え、学習したことをもとに、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について考え表現している。	①これからの工業生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの工業の発展について考えようとしている。
4. 情報化した社会と産業の発展 (オリエンテーション)	1	どのような情報とどのようにかわっているのかについて話合う。			

1 情報産業とわたしたちのくらし	6	放送などの情報産業で働く人々について、情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで放送などの情報産業の様子をとらえ、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、放送などの情報産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとする態度を養う。	①放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、放送などの情報産業の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、放送などの情報産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。	①放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、問いを見出し、放送などの情報産業の様子について考え表現している。 ②放送局などから発信される情報と自分たちの生活に関連付けて、放送などの産業が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことをもとに情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えたりして表現している。	①放送などの産業と情報との関わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

2 情報を生かす産業	5	我が国の産業と情報との関わりについて、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで産業における情報活用の現状をとらえ、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとする態度を養う。	①情報の種類、情報の活用のしかたなどについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。	①情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、問いを見出し、産業における情報活用の現状について考え表現している。 ②情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、学習したことをもとに産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考え表現している。	①大量の情報や情報通信技術の活用について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
3 情報を生かすわたしたち	4	情報活用のあり方について、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、各種の資料で調べ、まとめることで情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたをとらえ、情報が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①情報の種類、情報の活用のしかたなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたを理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解している。	①情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題などに着目して、問いを見出し、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたについて考え表現している。 ②学習してきたことを総合して、情報活用のあり方について考え、表現している。	①情報活用のあり方について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、多角的に考えて、情報化の進展に伴う国民生活における良さや課題について考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

5. わたしたちの生活と環境 (オリエンテーション)	1	自分たちの生活はどのような自然環境に囲まれているのかについて話し合う。			
1 自然災害を防ぐ	5	我が国の国土の自然環境と国民生活について、災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで国土の自然災害の状況をとらえ、自然条件との関連を考え、表現することを通して、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などがさまざまな対策や事業を進めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然災害の状況を理解している。 ②調べたことを白地図や図表などにまとめ、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などがさまざまな対策や事業を進めていることを理解している。	①災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、問いを見出し、国土の自然災害の状況について考え表現している。 ②我が国で発生するさまざまな自然災害と国土の自然条件を関連付けて、国や県などの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現している。	①自然災害について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている
2 わたしたちの生活と森林	6	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、森林資源の分布や働きなどに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで国土の環境をとらえ、森林資源が果たす役割を考え、表現することを通して、森林は、その育成や保護に従事している人々のさまざまな工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。	①森林資源の分布や働きなどについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の環境を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、森林は、その育成や保護に従事している人々のさまざまな工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。	①森林資源の分布や働きなどに着目して、問いを見出し、国土の環境について考え表現している。 ②我が国の国土における森林の分布と国民の生活舞台である国土の保全を関連付けて、森林資源が果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。	①森林資源の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。

3 環境を守るわたしたち	5	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで公害防止の取り組みをとらえ、その働きを考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々のさまざまな努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちができることなどを考えようとする態度を養う。	①公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、公害防止の取り組みを理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、関係機関や地域の人々のさまざまな努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。	①公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見出し、国土の環境について考え表現している。 ②公害防止の取り組みと環境改善や人々の健康な生活に関連付けて、公害防止の取り組みの働きを考えたり、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちができることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。	①公害防止の取り組みについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちができることなどを考えようとしている。
いかす	1	自然を守りながら、人が生活をしていくためには、どのようなことを大切にしなければならないのかについて話し合う。			

教科	社会	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わたしたちの生活と政治 (オリエンテーション)	1	くらしと政治は、どのように結び ついているのかについて話し合 う。			
1 わたしたちのくらしと日本国 憲法	6	我が国の政治の働きについ て、日本国憲法の基本的な考 え方に着目して、見学・調査し たり各種の資料で調べたりし て、まとめることで我が国の民 主政治を捉え、日本国憲法が 国民生活に果たす役割を考 え、表現することを通して、日 本国憲法は国家の理想、天皇の 地位、国民としての権利及び義 務など国家や国民生活の基本 を定めていることや、現在の我 が国の民主政治は日本国憲法 の基本的な考え方に基づいて いることを理解するとともに、主 体的に学習問題を追究・解決し ようとする態度を養う。	①日本国憲法の基本的な考え 方について、見学・調査したり 各種の資料で調べたりして、必 要な情報を集め、読み取り、我 が国の民主政治を理解してい る。 ②調べたことを図表や文などに まとめ、日本国憲法は国家の 理想、天皇の地位、国民として の権利及び義務など国家や国 民生活の基本を定めていること や、現在の我が国の民主政治 は日本国憲法の基本的な考え 方に基づいていることを理解し ている。	①日本国憲法の基本的な考え 方に着目して、問いを見出し、 我が国の民主政治について考 え表現している。 ②日本国憲法の基本的な考え 方と国民生活を関連付けて、日 本国憲法が国民生活に果たす 役割を考え、表現している。	①日本国憲法の基本的な考え 方について、予想や学習計画 を立てたり、学習をふり返った りして、学習問題を追究し、解 決しようとしている。

2 国の政治のしくみと選挙	4	我が国の政治の仕組みについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで、我が国の民主政治を捉え、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解するとともに、主体的に問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとする態度を養う。	①国会、内閣、裁判所のそれぞれの役割などについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、図表や文などにまとめ、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。	①国会、内閣、裁判所の働きと国民を関連付けて考えたり、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして、表現している。	
3 子育て支援の願いを実現する政治(選択)	7	我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。	①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見出し、国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 ②国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え、表現している。	①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

3 復興支援の願いを実現する政治(選択)	7	我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。	①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見出し、国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 ②国や地方公共団体の政治の取組と国民生活に関連付けて政治の働きを考え、表現している。	①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
いかす (第1単元全体)	1	政治や憲法に関連した新聞記事から、気になったことを出し合う。			
2. 日本の歴史 (オリエンテーション)	2	国の歴史には、どのようなできごとがあり、どのような人物の働きがあったのかについて話し合う。			
1 縄文のむらから古墳のくにへ	7	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や地図、年表などの資料で調べ、世の中の変化の様子を考え、表現することを通して、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、遺跡や地図、年表などの資料で調べ、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、むらからくにへと変化したことを理解している。	①世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)について考え表現している。 ②狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子に関連付けたり総合したりして、世の中の変化の様子を考え、適切に表現している。	①狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

2 天皇中心の国づくり	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について考え表現している。 ②大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
3 貴族のくらし	3	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や年表、その他の資料で調べ、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。	①貴族の生活や文化などについて、文化財や年表、その他の資料で調べ、日本風の文化が生まれたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、貴族のくらしやこの頃の文化の特色を考え、表現している。	①主体的に学習問題を追究・解決し、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

4 武士の世の中へ	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きなどに着目して、地図や年表などの資料で調べ、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きなどについて、地図や年表などの資料で調べ、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きなどに着目して、問いを見出し、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて考え表現している。 ②源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
5 今に伝わる室町文化	3	我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。	①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、文化財や地図、年表などの資料で調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。	①人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画や、この頃の文化の特色を考え、表現している。	①主体的に学習問題を追究・解決し、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

6 戦国の世から天下統一へ	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表、その他の資料で調べ、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現することを通して、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表、その他の資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、戦国の世が統一されたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや文化遺産などに着目して、問いを見出し、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 ②キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。	①キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
7 江戸幕府と政治の安定	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え表現している。 ②江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。	①江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

8 町人の文化と新しい学問	5	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や年表、その他の資料で調べ、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え、表現することを通して、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や年表、その他の資料で調べ、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え、適切に表現している。	①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
9 明治の国づくりを進めた人々	7	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え表現している。 ②黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。	①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

10 世界に歩み出した日本	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表などの資料で調べ、明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表などの資料で調べ、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて考え表現している。 ②日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。	①日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
11 長く続いた戦争と人々のくらし	7	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、代表的な文化遺産に着目して、地図や年表などの資料で調べたり聞き取り調査をしたりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考え、表現することを通して、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを手掛かりに、我が国と中国との戦いが全面化したことや、連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、地図や年表などの資料で調べたり聞き取り調査をしたりして、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国と中国との戦いが全面化したことや、連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解している。	①世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて考え表現している。 ②日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考えたり、学習してきたことを基に、歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。	①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

12 新しい日本, 平和な日本へ	7	我が国の歴史上の主な事象について, 世の中の様子などに着目して, 地図や年表などの資料で調べ, 我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや, 我が国が国際社会において果たしてきた役割を考え, 表現することを通して, 日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに, 戦後我が国は民主的な国家として出発し, 国民生活が向上し, 国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに, 主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や, 学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や, 歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。	①世の中の様子などについて, 地図や年表などの資料で調べ, 日本国憲法の制定, オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ, 戦後我が国は民主的な国家として出発し, 国民生活が向上し, 国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。	①世の中の様子などに着目して, 問いを見出し, 日本国憲法の制定, オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え表現している。 ②日本国憲法の制定, オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして, 我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや, 我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり, 学習してきたことを基に, 歴史を学ぶ意味について考えたりして, 適切に表現している。	①日本国憲法の制定, オリンピック・パラリンピックの開催などについて, 予想や学習計画を立てたり, 学習をふり返ったり見直したりして, 学習問題を追究し, 解決しようとしている。 ②学習したことを基に戦後の日本の歩みを振り返り, 我が国の課題やそのよりよい解決方法について考えようとしている。
いかす (第2単元全体)	1	学習したことをもとに, これからの日本のために自分たちができることを考える。			
3. 世界の中の日本 (オリエンテーション)	1	人類は, どのような共通の願いをもっているのかについて話し合う。			

1 日本とつながりの深い国々	7	グローバル化する世界の日本の役割について、外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現することを通して、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようする態度を養う。	①外国の人々の生活の様子などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。	①外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見出し、日本の文化や習慣との違いについて考え表現している。 ②世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、国際交流の果たす役割を考えたり、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択・判断したりして、表現している。	①外国の人々の生活の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。

2 世界の未来と日本の役割	6	グローバル化する世界の日本の役割について、地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとする態度を養う。	①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。	①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見出し、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え表現している。 ②地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子に関連付けて、国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、学習したことを基に今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりして、表現している。	①国際社会において我が国が果たしている役割について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
しぜんのかんさつ	4	身の回りの様々な生物を比較しながらその特徴を調べる活動を通して、生物の姿や生物と環境との関わりについての理解を図るとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだす力や、生物を愛護する態度を育成することができるようにする。	○身の回りの生物のようすを、虫眼鏡などを正しく扱いながら、細部まで調べたり、諸感覚で確認したりして、わかりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解し、すんでいる場所も違うことから、周辺の環境と関わって生きていると考え、表現している。	○自分の見つけた生物や、他の児童が見つけた生物について、詳しく知りたいことを考え、それらを調べるための方法を表現している。 ○自分や他の児童の観察結果を色、形、大きさ、すんでいる場所などの視点で比較し、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○自然を大切にしながら、この時期に見られる身近な生物を、体全体の諸感覚を使って、意欲的に見つけようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の育ち方[1] たねまき	5	植物の種をまき、世話をしながら育てていく中で、植物の成長の過程や体のつくりを比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察に関する技能を身につけるとともに、差異点や共通点を基に、植物の育ち方や体のつくりについての問題を見いだす力や植物を愛護しようとする態度を育成することができるようにする。	○種のまき方を知り、正しく種をまいたり、困っている他の児童に正しい種のまき方を教えたりしている。 ○植物の栽培をしながら、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、植物の成長を以前のようすと比較したり、他の植物と比較したりしながら詳しく観察して、わかりやすく記録している。	○植物どうしを比較して、差異点や共通点を見つけ出し、それらをもとに、植物はどのように育つのか、また、今後どのように育つのかを自分なりに考え、表現している。	○植物を育てた経験について進んで紹介し、植物の育ち方を意欲的に調べようとしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
こん虫の育ち方	10	チョウの育ち方や体のつくりに興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、育ち方には一定の順序があることと体のつくりの特徴を捉えることができるようにするとともに、生命を尊重する態度を養うことができるようにする。	○虫眼鏡などを正しく扱って、チョウの卵や幼虫の成長を観察し、採餌のようすや糞の量の変化などの細部についても、わかりやすく記録している。 ○チョウは、卵から幼虫が生まれ、皮を脱いで大きくなり、やがてさなぎから成虫の順に育つことを理解し、説明することができる。 ○虫眼鏡などを正しく扱い、体の分かれ方や目や触角のつき方、脚や翅のつき方や数など、チョウの成虫の体を詳しく調べ、わかりやすく記録している。 ○チョウの成虫の体は、頭、胸および腹からできていることに加えて、腹には節があること、目は人間のそれとは異なることなど細部に関しても理解している。	○チョウの卵や幼虫がどのように育つのか、観察結果をもとに考え、今後どのように育っていくのかも自分なり考えて表現している。 ○チョウが卵から成虫までどのように育つのか、自分と他の児童の観察結果を比較して考察し、大きさ、糞の量、形の変化など細部に関することも交えながら表現している。	○花が咲いていない植物(キャベツ等)にチョウが集まる理由や、チョウの体のつくりに興味をもち、他の児童の考えも取り入れながら、意欲的に調べようとしている。 ○他のチョウやチョウ以外の昆虫を、自ら進んで探したり、飼育・観察したりして、学習や生活に生かそうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の育ち方[2] 葉・くき・根	2	植物の世話をしながら育てていく中で、植物の育ちや体のつくりを比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基に植物の育ちや体のつくりについての問題を見だし、表現するとともに、植物の成長による体の変化や植物は根・茎・葉からできているという体のつくりとそれぞれの特徴について捉える。	○植物の育ちについて、虫眼鏡を正しく扱いながら、葉の数や大きさ、草丈、茎の太さなどに着目して調べ、前回の観察結果と比較しながらわかりやすく記録している。 ○植物の体は、根、茎および葉からできていることに加えて、葉のつき方や根のようすなど細部に関しても理解している。	○複数の観察結果を比較して、差異点と共通点の両方をとらえたうえで、葉のつき方など細部に関することも交えながら、自分の考えを表現している。	○自分や他の児童が育てている植物の育ち方に興味・関心をもち、継続的に進んで調べようとしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゴムや風の力	7	風やゴムで動くものをつくったり動かしたりする活動を通して、風やゴムの力をはたらかせたときの現象の違いを比較する能力を育てるとともに、風やゴムの力でものを動かせることの理解を図り、風やゴムのはたらきについての考えをもつことができるようにする。	○送風機などを正しく扱いながら、風の力のはたらきを調べるためには、風の強さ以外の条件をそろえることに気づいて実験し、結果をわかりやすく記録している。 ○風の力は、ものを動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わるとを、実験結果や生活経験と関係づけて理解している。 ○器具を正しく扱いながら、ゴムの力のはたらきを調べるためには、ゴムを伸ばす長さ以外の条件をそろえることに気づいて実験し、結果をわかりやすく記録している。 ○ゴムの力は、ものを動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わるとを、実験結果や生活経験と関係づけて理解している。	○試走結果や自分の生活経験から、風の強さと車が動く距離の関係について、問題を見いだしている。 ○自分と他の児童の結果を総合して比較し、風の強さが変わると、ものが動くようすも変わると考察し、自分の考えを表現している。 ○自分と他の児童の結果を総合して比較し、ゴムを伸ばす長さが変わると、ものが動くようすも変わると考察し、自分の考えを表現している。	○風やゴムの力を利用した道具には何があるかを調べようとしていたり、風やゴムの強さによって、ものの動きや体への感じ方などが違ったりすることを進んで紹介したりしている。 ○風とゴムの力のはたらきを活用したものづくりや、風とゴムの力のはたらきを利用したものを進んで見つけようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音のふしぎ	6	トライアングルで音を出したりや糸電話で音を伝えたりする活動を通して、音を出したときの震え方の違いを比較する能力を育てるとともに、音の大小と震え方の関係への理解を図り、音の性質についての考えをもつことができるようにする。	○ものから音が出るとき、ものは震えていること、また、音の大きさが変わるときものの震え方が変わることを理解し、実験結果や生活経験と結びつけて説明できる。 ○糸電話を正しく扱って、糸に触れたりつまんだりして、手ごたえや体感をもとにして詳しく調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○ものから音が伝わる時、ものは震えていることを理解し、実験結果や生活経験と結びつけて説明できる。	○音を出す活動や日常経験をもとに、音が出ているときのもののようすや音の大小との関係について問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○自分と他の児童の実験結果を総合して比較し、音が出ているときのもののようすや、音の大小と震え方の関係を考察し、自分の考えを表現している。	音を出した経験や、その際に感じたことなどを進んで紹介している。 ○身の回りではどのように音の性質が利用されているのか進んで調べようとしていたり、生活に生かそうとしていたりしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の育ち方[3]花	2	植物の花がさいているようすに興味・関心をもち、植物の育ちを前の観察記録と比較したり、他の植物と比較したりしながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基に植物の育ちについての問題を見だし、表現するとともに、植物の成長による体の変化や花がさいているようすについて捉える。	○植物の育ちについて、虫眼鏡を正しく扱いながら、葉の数や大きさ、草丈、茎の太さ、花のようすなどに着目して調べ、前回の観察結果と比較しながらわかりやすく記録している。		○自分や他の児童が育てている植物の育ち方や花のようすに興味・関心をもち、継続的に進んで調べようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動物のすみか	5	身の回りのいろいろな昆虫を比較する活動を通して、それぞれ色、形、大きさなどの姿が違ふこと、食べ物やすみかなどの周辺の環境とかかわって生きていることをとらえるようにする。また、昆虫の体のつくりや育ちには一定のきまりがあるという考えをもつことができるようにする。	○生物は、食べ物やすみかを通して周辺の環境と関わって生きていることを理解し、その具体例を挙げることができる。 ○以前の学習で調べたチョウなど、複数の昆虫の成虫の体のつくりを比較し、昆虫の成虫の体は頭、胸および腹からできていることを理解している。 ○昆虫には、卵→幼虫→さなぎ→成虫の順に育つものと、卵→幼虫→成虫の順に育つものがあることを理解し、いずれについても複数の例を挙げることができる。	○昆虫は、それぞれ体の色、形、大きさに特徴があり、それらが生活場所や食べ物に関係していることを考え、表現している。 ○昆虫の育ち方について観察結果を比較し、差異点や共通点から昆虫によって育ち方が違うことを考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの昆虫について、これまで昆虫と関わった経験などを進んで紹介し、意欲的に昆虫を探して、飼育・観察しようとしている。 ○昆虫を自ら進んで探したり、飼育・観察したりして、学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の育ち方[4] 花がさいた後	4	植物の実ができたようすに興味・関心をもち、植物の育ちを前の観察記録と比較したり、他の植物と比較したりしながら植物の一生をまとめる活動を通して、植物の育ち方には、たねから発芽し、子葉が出て、葉が茂り、花が咲き、実ができた後に枯死するという植物の成長の順序があることを捉えるとともに、生物を愛護する態度を育てる。	○植物の育ち方には一定の順序があることを、これまでの観察記録や生活経験と結びつけて理解している。 ○植物を自ら進んで調べたり、栽培・観察したりして、学習や生活に生かそうとしている。	○複数の観察結果を比較して、差異点と共通点の両方をとらえたうえで、どの植物も育ち方が同じであるということを具体例を交えながら、自分の考えを表現している。	○自分や他の児童が育てている植物の育ち方や実のようすに興味・関心をもち、継続的に進んで調べようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地面のようすと太陽	10	日なたと日陰の様子に着目して、それらを比較しながら、太陽の位置と地面の様子を調べる活動を通して、方位磁針や温度計を用いた観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に日陰の位置や日なたと日陰の地面の様子との差異点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養い、太陽と地面の様子との関係についての考えをもつことができるようにする。	○影はどんなものも太陽の反対側にでき、向きが同じであることを、観察結果や日常生活と結びつけて理解している。 ○影と太陽の位置について、方位磁針や遮光板などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。また、困っている他の児童に正しい扱い方を教えるなどしている。 ○日陰の位置は、太陽の位置の変化によって変わること、観察結果や生活経験と結びつけて理解し、方位を用いて説明できる。 ○温度計を安全に正しく扱って、日なたと日陰の地面の温度を調べ、結果をわかりやすく記録している。また、困っている他の児童に正しい扱い方を教えるなどしている。 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰の地面の暖かさや湿り気には違いがあると理解し、朝より昼ごろのほうが地面の温度が高い理由を、観察結果や生活経験と結びつけて説明できる。	○生活経験や教科書の写真をもとに、時刻を変えたときの日陰の位置を比較して問題を見だし、太陽の位置の変化について、自分の考えを表現している。 ○生活経験などをもとに、日なたと日陰の地面のようすを比較して問題を見だし、明るさ、暖かさ、湿り気などについて考え、表現している。 ○自分と他の児童の結果を総合して比較し、日なたと日陰の地面の温度について数値を使って考察し、自分の考えを表現している。	○これまでの経験を思い出したり、日光でできる影に気づいたりして、影のでき方について意欲的に調べようとしている。 ○身の回りでどのように日光や影が利用されているのか進んで調べようとしたり、生活に生かそうとしたりしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
太陽の光	7	光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質を調べる活動を通して、平面鏡や虫眼鏡を用いた観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主にはね返した日光の明るさや暖かさの差異点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養い、光の性質についての考えをもつことができるようにする。	○日光は直進し、反射させることができることを、実験結果や木漏れ日などの日常生活とも結びつけて理解している。 ○的の明るさや温度について、鏡や温度計などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。また、困っている他の児童に正しい扱い方を教えるなどしている。 ○日光は集めることができること、ものに日光を当てると明るさや暖かさが変わることを理解し、実験結果をもとに説明することができる。 ○鏡や虫眼鏡を使って日光を集めると、光の集まる量で、ものの明るさや暖かさが変わり、虫眼鏡を使うと高温になることを理解している。	○自分と他の児童の実験結果を総合して比較し、鏡で反射させた日光の数と明るさ・温度の関係を考察し、自分の考えを表現している。 ○前時の実験結果から、既習事項を生かした予想をもち、自分の考えを表現している。	○鏡を正しく扱って日光を反射させ、反射させた日光を重ねたり、日光の通り道に手をかざしたりするなどして、光の性質を意欲的に調べようとしている。 ○身の回りでどのように光の性質が利用されているのか進んで調べようとしたり、生活に生かそうとしたりしている。

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電気の通り道	9	乾電池、豆電球、ソケット、導線を使い、豆電球が点灯するつなぎ方と点灯しないつなぎ方とを比較したり、回路の一部にいろいろなものを入れて点灯するかどうかを調べたりし、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、電気の回路のつなぎ方や電気を通すものについての考えをもつことができるようにする。	○電気の回路について、乾電池や豆電球を正しく扱いながら、1つのつなぎ方だけでなく、いろいろなつなぎ方で調べ、その結果をわかりやすく記録している。 ○電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解し、「回路」という言葉を使って具体例を挙げながら説明できる。 ○ものには、電気を通すものと通さないものがあることを理解し、「金属」という言葉を使って具体例を挙げながら説明できる。	○自分と他の児童の実験結果を総合して比較し、豆電球のようすとつなぎ方の関係を考察し、自分の考えを表現している。 ○電気を通すものについて、ものの材質や日常経験をもとにした予想をもち、自分の考えを表現している。 ○自分と他の児童の実験結果を総合して比較し、豆電球のようすと途中にはさんだものの材質との関係を考察し、自分の考えを表現している。	○電気の明かりに興味をもち、身の回りの電気を利用したものについて進んで紹介している。 ○身の回りでどのように電気が利用されているのか進んで調べようとしたり、生活に生かそうとしたりしている。

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
じしゃくのふしぎ	8	身の回りの磁石の性質を利用した道具などから見いだした問題について、興味・関心をもって追究する活動を通して、磁石につくものとつかないものを表などに分類、整理しながら比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、磁石の性質についての考えをもつことができるようにする。	○磁石につくものについて、磁石などを正しく扱いながら、既習事項をもとにいろいろなもので調べ、その結果をわかりやすく記録している。 ○磁石につくものとつかないものがあることを理解し、磁石につくものは鉄であると、実験結果をもとに説明することができる。 ○磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解し、「S極」や「N極」といった言葉を使って関係を説明できる。 ○磁石に近づけると磁石になるものがあることを理解し、鉄釘が磁石になった理由を既習事項をもとに説明できる。	○電気を通すものと通さないものの学習や、日常経験をもとにした予想をもち、自分の考えを表現している。 ○磁石につくものとつかないものの差異点や共通点をもとに、金属でも磁石につくものとつかないものがあることなどを考察し、自分の考えを表現している。 ○磁石につける前とつけた後の鉄釘のはたらきを比較し、鉄釘が磁石になったと考える理由を、これまで学習した磁石の性質をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○磁石をものにつける活動から、家庭や学校にある磁石などについて進んで紹介したり、どうしてそのような現象が起きるのか不思議に思い意欲的に調べたりしようとしている。 ○身の回りでのどのように磁石の性質が利用されているのか進んで調べようとしていたり、生活に生かそうとしていたりしている。

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものの重さ	6	物の形や体積に着目して、物の重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、自動上皿ばかりを用いた観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主にもものの形や種類による重さの差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養い、物の性質についての考えをもつことができるようにする。	○自動上皿はかりを正しく扱って調べ、形を変えたときのものの重さを比べるためには、粘土が減ったり増えたりしないようにすることに気づき、結果をわかりやすく記録している。 ○ものの形を変えたり、ものを分割したりしても、ものが増えたり減ったりしないため、重さは変わらないことを理解している。 ○ものは、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解し、実験結果や生活経験と結びつけて説明できる。	○ものの形を変えたときの重さを比較して問題を見だし、ものの量が増えたり減ったりしていないことから、ものの形だけを変えて重さを調べてみたいなど、自分の考えを表現している。 ○実験結果を比較し、同じ体積でも、ものの種類が異なると重さが異なることを、具体的なものの名前や重さの数値を挙げながら、自分の考えを表現している。	○1つひとつものを持って重さを体感したり、両手に異なるものを持って重さ比べをしたりして、はっきり差がわからないものについて、さらに詳しく調べようとしている。 ○ものの形や体積と重さの関係を理解し、身の回りのさまざまなものを重さや体積の視点で詳しく見直そうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

教科	理科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
おもちゃショー	3	風とゴムの力のはたらき，光と音の性質，乾電池や豆電球，磁石，ものの体積と重さの関係などを利用したおもちゃづくりを通して，学習したことについて興味・関心をもって追究する能力を育てるようにする。	○器具を正しく扱いながら，計画をよりよく修正しておもちゃを製作している。	○これまで学習したことを意識して，おもちゃのしくみや必要な材料などを考え，具体的に計画を立てている。	○これまで学習したことについて進んで紹介し，意欲的におもちゃの製作に取り組もうとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[1] 春の始まり	1	春の生命の息吹の中で、動物の活動や植物の成長に興味・関心を持ち、1年間を通した観察計画を立てて継続観察を行い記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と、気温や水温などの環境とのかかわりをとらえるようにする。	○気温や水温を測る際の温度計の使い方を正しく理解し、記録している。 ○ヒョウタンなどを育てて、芽生えと成長のようすやそのときの気温などを繰り返し調べ、以前と比べながら結果を図や言葉でわかりやすく記録している。 ○春の生き物のようす理解し、発表するために友達と情報交換をしながら、これまでの観察記録を整理し、わかりやすくまとめている。	○1年間観察する生き物のようすについて、観察の観点や方法、記録することなどを考え、1年間継続して観察するための計画を立てて表現している。 ○春の生き物のようすについて、気温や水温の変化と関係づけて考察し、根拠を明確にして自分の考えを表現している。	○春の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、身の回りの生物について、冬のような違いを見つけようとしている。 ○ヒョウタンなどの成長に進んでかかわり、他者とかかわりながら、調べたり、これからの成長を予想したりしながら意欲的に世話をしている。 ○春の生き物について学んだことを学習や生活に生かそうとし、意欲的にこれからの変化についても考えようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天気と気温	7	晴れや曇り、雨の日に、1日の気温の変化を調べ、天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることをとらえるようにする。	○温度計を正しく扱いながら、天気や1日の気温の変化のしかたを調べ、測定した天気や気温を記録し、天気と気温の変化を関係づけてわかりやすくまとめている。 ○天気によって、1日の気温の変化のしかたに違いがあり、太陽の熱や雲と関係があると理解している。	○天気によるあたたかさの違いや1日の気温の変化について予想や仮説を発想し、筋道立てて自分の考えを表現している。 ○1日の気温の変化を表したグラフと天気を関係づけて、観察した結果から考察し、表現している。	○これまでの学習や生活経験をもとにして、天気によるあたたかさの違いや1日の気温の変化に進んでかかわり、他者とかかわりながら、調べようとしている。 ○天気と1日の気温の変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしたり、1日の気温の変化のしかたについて予想したりして、行動しようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[2]春	7	春の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○ヒョウタンなどを育てて、成長のようすやそのときの気温を繰り返し調べ、以前と比べながら結果を図や言葉でわかりやすく記録している。 ○春の生き物のようす理解し、発表するために友達と情報交換をしながら、これまでの観察記録を整理し、わかりやすくまとめている。		○春の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、春の観察経験を生かして、身の回りの生き物のようすを観察しようとしている。 ○春の生き物について学んだことを学習や生活に生かそうとし、意欲的にこれからの変化についても考えようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電池のはたらき	8	乾電池の数や回路を流れる電流の大きさや向きと、モーターの回り方や豆電球のようすに着目し、それらを関係づけて電気のはたらきについて根拠のある予想や仮説を発想することができるようになるとともに、乾電池を使ったおもちゃづくりを通して、電気のはたらきに興味・関心をもって追究する態度を育てる。	○簡易検流計を正しく使って、乾電池をつなぐ向きを変えたときの簡易検流計の針が振れる向きや、モーターの回る向きを調べている。 ○乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回る速さが変わることを理解し、電流の大きさととの関係で説明している。	○乾電池をつなぐ向きを変えると、モーターの回る向きも変わると予想し、自分の考えを表現している。 ○乾電池2個のつなぎ方を考えて様々な回路をつくり、乾電池のつなぎ方、モーターの回り方、電流の大きさを表に整理しながら表現している。	○乾電池とモーターを使ったおもちゃを動かすことに進んでかかわり、他者とかかわりながら、モーターがよく回る方法を考え動かそうとしている。 ○電気のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしたり、電気の利用の方法を考えたりしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
とじこめた空気や水	6	空気を閉じ込めた袋や空気鉄砲を使った活動や、注射器に閉じ込めた空気を圧し縮める実験を通して、閉じ込めた空気を圧した時の現象について、主体的に調べることができるようにするとともに、水についても同様の実験を行い、それぞれの結果を比較して、空気と水の性質の違いをとらえるようにする。	○注射器が倒れないように気をつけて力を加えるなど安全に使い、注射器の目盛りに着目したり、石鹼水の泡を入れたりして、空気の体積の変化を詳しく調べている。 ○閉じ込めた空気を圧すと体積が小さくなり、強く圧して体積が小さくなるほど、押し返す力は大きくなることを、図などを使ってまとめている。 ○閉じ込めた水を圧したとき、体積がどうなるかを、空気を圧したときと比較しながら調べ、記録している。 ○閉じ込めた水を圧しても、空気と違って体積が変わらないことを理解し、空気と比べながら図などで説明している。	○空気鉄砲を使った活動から、空気を圧したとき、体積がどうなるかを予想し、それを調べる具体的な方法について、自分の考えを表現している。 ○閉じ込めた水を圧したときの体積の変化について、実験の結果から、空気の場合と比較して考察し、自分の考えを図や文を使って表現している。	○閉じ込めた空気を使った活動に進んでかかわり、他者とかかわりながら、空気鉄砲の玉が飛ぶ理由について空気に着目して気づいたことを挙げ、閉じ込めた空気の性質を調べようとしている。 ○空気や水の性質を利用してものづくりをしたり、空気や水の性質を利用したものを日常生活の中に見つけ、説明したりしようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[3]夏	5	夏の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○ヒョウタンなどを育てて、成長のようすやそのときの気温を繰り返し調べ、以前と比べながら結果を図や言葉でわかりやすく記録している。 ○夏になると、動物はより活発に活動し、植物はより成長することを理解し、春のようすと比較しながら説明している。		○夏の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、春の観察経験を生かして、身の回りの生き物のようすを観察し、春のころとの違いを見つけようとしている。 ○夏の生き物について学んだことを学習や生活に生かそうとし、意欲的にこれからの変化についても考えようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
星や月[1] 月の明るさや色	3	月や星を観察して、その位置の変化を時間と関係づけて調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにするとともに、天体に対する豊かな心情を育てる。	○方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、太陽と同じように1日のうちでも時刻によって位置が変わり、月の形が違って動きは同じであることを理解している。 ○星の集まりは、1日のうちでも時刻によって並び方は変わらないが位置が変わることを理解し、星の位置の目安となる目印を決めて星の位置や並び方を調べている。	○月を見た経験などから、月も太陽と同じように東から西へ動く予想や仮説を発想し、より具体的に自分の考えを表現している。 ○星の位置の変化を時刻と関係づけて考察し、観察した星や星座の名前、時刻などを具体的に挙げて表現している。	○月の動き方に進んでかわり、他者とかかわりながら、月が見られる位置や時刻、形などに注目して、月の動きを調べようとしている。 ○月や星の動きについて、学んだことを学習や生活に生かそうとし、資料を使って月や星を調べたり、観察したりしようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[4]夏の終わり	2	夏の終わりの動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○ヒョウタンなどを育てて、成長のようすやそのときの気温を繰り返し調べ、以前と比べながら結果を図や言葉でわかりやすく記録している。 ○夏の終わりの動物の活動や、植物の成長の様子を理解し、夏のようすと比較しながら説明している。		○夏の終わりの生き物に進んでかわり、他者とかかわりながら、春の観察経験を生かして、身の回りの生き物のようすを観察し、春のころとの違いを見つけようとしている。 ○夏の終わりの生き物について学んだことを学習や生活に生かそうとし、意欲的にこれからの変化についても考えようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
雨水のゆくえ	10	水は熱しなくても蒸発して空気中に出ていったり、目に見えない水蒸気が冷やされて再び水の姿で現れたりするという考えをもつことができるようにするとともに、自然界の水の姿と関係づける能力や、興味・関心をもって追究する態度を育てる。	○水の自然蒸発のようすを調べ、容器にふたをしたときと、していないときの違いに着目して、その結果をわかりやすく記録している。 ○水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれることを理解し、水たまりがなくなったことや洗濯物が乾く理由を説明している。 ○空気中の水蒸気は結露して再び水になって現れることがあることを理解し、わかりやすく説明しようとしている。	○水は熱しなくても、蒸発して空気中に出ていくかについて予想や仮説を発想し、それを確かめる方法を含めて、自分の考えを図や文で表現している。 ○ビーカーの外側に水滴がつくことと、ビーカーの水が減っていないことを関係づけて考察し、水滴は空気中の水蒸気が冷やされて水になったものであることを、自分の言葉で表現している。	○校庭やアスファルトの水たまりが、なくなっていくようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、水たまりの水がどこへいったかを、熱した水のゆくえや洗濯物が乾く理由と関係づけて調べようとしている。 ○水のゆくえについて学んだことを学習や生活に生かそうとしたり、水の姿が変わる現象を、身の回りから見つけて説明したりしようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
星や月[2] 月と星の位置の変化	8	月や星を観察して、その位置の変化を時間と関係づけて調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにするとともに、天体に対する豊かな心情を育てる。	○方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、太陽と同じように1日のうちでも時刻によって位置が変わり、月の形が違って動きは同じであることを理解している。 ○星の集まりは、1日のうちでも時刻によって並び方は変わらないが位置が変わることを理解し、星の位置の目安となる目印を決めて星の位置や並び方を調べている。	○月を見た経験などから、月も太陽と同じように東から西へ動く予想や仮説を発想し、より具体的に自分の考えを表現している。 ○星の位置の変化を時刻と関係づけて考察し、観察した星や星座の名前、時刻などを具体的に挙げて表現している。	○月の動き方に進んでかかわり、他者とかかわりながら、月が見られる位置や時刻、形などに注目して、月の動きを調べようとしている。 ○月や星の動きについて、学んだことを学習や生活に生かそうと、資料を使って月や星を調べたり、観察したりしようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしたちの体と運動	9	運動しているときのヒトやほかの動物の体の動きについて、骨や筋肉のはたらきと関係づけながら調べていくことで問題を見だし、興味・関心をもって追究する活動を通して、ヒトの体のつくりと運動についての考えをもつことができるようにする。	○自分の体を触って曲げられるところを見つけたり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを詳しく調べている。 ○ヒトが体を動かすときの、骨や筋肉の動きや変化を正しくとらえ、体の動くしくみを理解している。 ○ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、図鑑やインターネットなど様々な方法で詳しく調べている。	○運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようなになっているか予想をもち、自分の考えを図や文を使って表現している。 ○ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、ヒトと関係づけて考察し、根拠のある自分の考えを図や文を使って表現している。	○ヒトの体のつくりに進んでかかわり、他者とかかわりながら、体育でのようすを思い出したり、運動しているときの腕の中での骨や筋肉のようすを予想したりしながら、運動と体のつくりとの関係を調べようとしている。 ○ヒトやほかの動物の体のつくりと運動のかかわりを学んだことから、生命の巧みさを感じ、いろいろな生命を尊重していこうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[5]秋	4	秋の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○ヒョウタンなどを育てて、成長のようすやそのときの気温を繰り返し調べ、以前と比べながら結果を図や言葉でわかりやすく記録している。 ○秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まったり、実が大きくなったりすることを理解し、夏のようにと比較しながら説明している。		○秋の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、春や夏の観察経験を生かして、身の回りの生き物のようすを観察し、春や夏のころとの違いを見つけようとしている。 ○秋の生き物について学んだことを学習や生活に生かそうとし、意欲的にこれからの変化についても考えようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものの温度と体積	8	空気・水・金属は，温度が高くなると膨張し，低くなると収縮するといった，温度の変化と空気・水・金属の体積の変化との関係を見だし，中でも空気の体積変化は最も大きいことをとらえるようにする。また，既習の内容や生活経験をもとに，根拠ある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育てる。	○空気は，あたためると体積が大きくなり，冷やすと体積が小さくなることを理解し，導入の活動で栓が飛び出した理由について説明できる。 ○水は，あたためると体積が大きくなり，冷やすと体積が小さくなることを理解し，水面の位置が上下した理由を説明している。 ○加熱器具などを安全に正しく使って，熱した金属が非常に高温になることを理解した上で，金属をあたためたり冷やしたりしたときの体積の変化を調べている。 ○金属はあたためると体積が大きくなり，冷やすと体積が小さくなるが，その変化は空気や水よりも小さいことを理解し，空気・水・金属によって性質が異なることも理解している。	○閉じ込めた空気をあたためたとき，栓が飛び出した理由について予想や仮説を発想し，それを確かめる方法も含めて自分の考えを図や文で表現している。 ○空気の温度と体積の変化について，実験の結果から考察し，導入の活動で栓が飛び出した理由について自分の考えを表現している。 ○水をあたためたり冷やしたりしたときの水の体積変化を，水面の位置をしっかりとらえて，実験の結果から考察し，表現している。 ○温度による金属の体積変化が，空気や水の場合と比較して非常に小さいことをわかりやすくまとめ，自分の考えを表現している。	○容器に閉じ込めた空気をあたためる活動に進んでかかわり，他者とかかわりながら，様々な方法であたためた空気の性質を調べようとしている。 ○温度によるものの体積変化を利用してものづくりをしたり，温度によるものの体積変化を利用したものを日常生活の中に見つけ，説明したりしようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
星や月[3]冬の星	2	星の観察を繰り返すことを通して、星の特徴や動きについての考えが深まるようにする。また、星の動きと時間とを関係づけて調べる能力が育つようにする。	○夏や秋に夜空の星を観察したときと同じように、冬の夜空にも、明るさや色の違う星があり、時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。		○冬の夜空に輝く星に進んでかかわり、他者とかかわりながら、星座や神話を調べたり、星の方位を確かめたりしながら観察しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[6]冬	6	冬の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○ヒョウタンなどのようすと気温を調べ、以前と比べながら結果を図や言葉でわかりやすく記録している。 ○冬になると、動物は見られなくなり、植物はたねを残して枯れたり、枝に芽をつけて冬を越したりすることを理解し、これまでのようすと比較しながら説明している。		○冬の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、これまでの観察経験を生かして、身の回りの生き物のようすを観察し、これまでとの違いを見つけようとしている。 ○冬の生き物について学んだことを学習や生活に生かそうとし、意欲的にこれからの変化についても考えようとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
もののあたたまり方	8	金属は熱せられた部分から順にあたたまるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたたまることをとらえるようにする。また、ものには熱に対する性質の違いがあるという考えをもつとともに、それらの性質を確かめる活動を通して、既習の内容や生活体験をもとに根拠ある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育てる。	○加熱器具などを安全に正しく使い、熱した金属が非常に高温になることを理解した上で、金属のあたたまり方を調べている。 ○金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理解し、図や文を使って説明している。 ○水のあたたまり方を調べ、底を熱したときと、水面近くを熱したときの違いに着目して、その過程や結果を記録している。 ○水はあたためられた部分が上へ動いて全体があたたまっていくことを理解し、金属のあたたまり方との違いを明確にしながら説明している。 ○空気は、水と同じように、あたためられた部分が上へ動いて、全体があたたまっていくことを、金属のあたたまり方との違いも含めて理解している。	○金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想し、それを確かめる方法も含めて自分の考えを図や文で表現している。 ○示温インクの色の変化や動きと水のあたたまり方を関係づけて考察し、自分の考えを図や文を使って表現している。 ○部屋の空気の温度や線香の煙の動き方と空気のあたたまり方を関係づけて考察し、自分の考えを図や文を使って表現している。	○フライパンを熱したときのように進んでかかわり、他者とかかわりながら、2枚のサーモグラフィーの画像を見比べ、金属のあたたまり方を調べようとしている。 ○もののあたたまり方について学んだことを学習や生活に生かしたり、身の回りから探したりして、ものがあたたまる現象を見直そうとしている。

教科	理科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すがたを変える水	8	水は温度によって状態が変化し、氷になると体積が増えるという考えをもつとともに、水蒸気や氷に姿を変える水の状態変化と温度とを関係づける能力や、興味・関心をもって追究する態度を育てる。	○実験装置を正しく組み立て、加熱器具などを安全に正しく使って、熱したときの水の様子を調べ、わかりやすく記録している。 ○水を冷やし続けたときの水温の変化について、凍り始めた温度を正確に測定して表に記録したり、わかりやすく折れ線グラフに表したりしている。 ○液体の水は、温度によって気体である水蒸気や、固体である氷などに姿を変えることを理解し、水の状態変化と温度を関係づけて説明できる。	○しぼんだ袋に水がたまっていたことと、ビーカーの水が減っていたことを関係づけて考察し、沸騰したときに出る泡の正体は水であると考え、図や文を使って表現している。 ○水は0℃になると凍り始め、全部が氷になるまで、温度が変わらないことや、水が氷になると体積が増えることを実験結果を根拠にして考察し、表現している。	○身の回りで、水が氷になったり、水を熱すると湯気や泡が出たりする現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら、温度による水の状態変化を意欲的に調べようとしている。 ○温度による水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしたり、水が温度によって姿を変えたものを、身の回りから探して、水が温度によって姿を変えた現象を説明したりしようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物[7]春のおとずれ	1	生き物を観察し、季節ごとの動物の活動や植物の成長を、興味・関心をもって調べた1年間の記録をもとに、季節による動物の活動や植物の成長の違いをとらえるようにする。また、観察や栽培をした経験や季節ごとの追究する活動を通して、動物の活動や植物の成長と季節とを関係づける能力を育てるとともに、生物を愛護する態度を育て、生命の多様性と共通性、生命の連続性についての考えをもつことができるようにする。	○1年間の観察記録を見直し、季節と生き物のようすの関係について、図や表などを使って、わかりやすくまとめている。 ○季節による動物の活動や植物の成長の違いを理解して、それぞれ生命をつないでいることを説明できる。		○季節と生き物のようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節ごとの生き物の特徴を調べようとしている。 ○季節と生き物のようすについて、学んだことを学習や生活に生かそうとし、命のサイクルについて考えようとしている。

教科	理科	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天気と情報[1] 天気の変化	7	雲の形や量、動きに着目して、それらと天気の変化とを関係づけて調べ、天気の変化のしかたをとらえられるようにする。また、数日間の雲の動きを調べることを通して、天気はおよそ西から東へ変化していくという規則性をとらえ、映像などの気象情報を用いて予想ができるという考えをもつことができるようにする。	○空を観察しながら、1日の雲の量や動きなどを調べ、結果を適切に記録し、時間変化にも着目して整理している。 ○天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解し、雲の種類と天気の変化の関係についても調べている。 ○気象情報を収集した経験を生かして、映像などの気象情報を的確に理解しながら、天気の変化を予想できることを理解している。 ○雨や雪などの天気の変化による災害や備え、もたらされる多くの恵みについて、地域の特徴と照らし合わせながら、資料を目的に応じて選択して調べている。	○天気の変化と雲の量や動きなどの関係について、予想や仮説をもとに、自らの考えを表現し、調べる方法も立案している。 ○収集した気象情報を的確に整理し、雲画像やアメダスと各地の空のようすの関係をとらえながら、天気の変化の規則性を見だし、表現している。	○雲と天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、時間変化にも着目して、雲のようすを調べようとしている。 ○天気の変化は、わたしたちの生活に不可欠であることから、よりよいくらしのあり方について、具体例を挙げながら、考えようとしている。 雲のようすや気象情報をもとにした天気の予想を日常生活で活用し、実際の天気と比べながら、自らの予想や考えを修正しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命のつながり[1] 植物の発芽と成長	13	植物の発芽や成長のようすに興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、発芽や成長にかかわる条件を関係づけてとらえるようにするとともに、生命を尊重する態度を養い、生命の連続性についての考えをもつことができるようにする。	○変える条件と同じにする条件を明確にししながら、植物の発芽に水が必要かどうかを調べ、実験の方法や結果を適切に整理して記録している。 ○植物の発芽には、水・温度・空気が関係していることを理解し、インゲンマメの発芽には、日光は必要ないこともとらえている。 ○ヨウ素液などを適切に使って観察し、種子としぼんだ子葉の反応の違いに着目しながら記録している。 ○植物は、種子の中の養分をもとにして発芽することを、子葉の変化などと結びつけて理解している。 ○植物の成長には、発芽の条件のほかに日光や肥料が関係していることを、日常生活と関連づけて理解している。	○植物の発芽について既習内容や生活経験をもとに予想や仮説をもち、条件に着目しながら実験を計画し、表現している。 ○植物の発芽について、ほかのグループの実験結果も参考にしながら、条件と関係づけて考察し、表現している。 ○植物の成長について既習内容や生活経験をもとに予想や仮説をもち、条件に着目しながら実験を計画し、適切に表現している。 ○植物の成長について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、これまでの栽培経験にも触れながら表現している。	○植物の発芽や成長に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、それらの変化の条件を季節や環境と結びつけて調べようとしている。 ○植物の成長には、発芽の条件のほかに日光や肥料が関係していることを、日常生活と関連づけて理解している。

教科	理科	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命のつながり[2] メダカのたんじょう	10	メダカを育て、雌雄の体の違いや受精卵のようすを観察し、発生の条件や過程をとらえられるようにする。時間の経過と関係づけて、発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成することができるようにする。	○メダカを飼育して、雌雄の体の特徴や行動などを詳しく観察し、結果を適切に整理して記録している。 ○解剖顕微鏡などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、メダカの受精卵の変化のようすを詳しく観察し、結果を適切に整理して記録している。 メダカには雌雄があり、受精卵は卵の中の養分を使って日がたつにつれて体の形ができるなど変化し、やがて子メダカが誕生し、しばらくは腹の中の養分を使って育つことを理解している。	○メダカの発生や成長について予想や仮説を発想し、図や言葉を用いて表現したり、観察計画を具体的に立てたりしている。 ○メダカの発生とその変化にかかわる時間に関係づけて考察し、自分の予想と比べながら考えを表現している。	○メダカの卵の成長や雌雄の特徴について、進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、これまでの学習や生活経験をもとに意欲的に調べようとしている。 メダカの誕生について学んだことをもとに、いろいろな生物の誕生について見直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天気と情報[2] 天気の変化	4	日本の夏から秋にかけて、南の海上から北上してくる台風の動きや進路について、気象情報を活用してその特徴をとらえてまとめることができるようにする。また、夏休み前に、気象情報の読み取り方や、台風による災害と災害への備えについて学ぶことで、防災・減災意識を高めるようにする。	○台風の動きと天気の変化について、テレビや新聞、インターネットなどを活用して、計画的に情報を収集し、時間的な変化で適切に整理している。 ○台風による災害には、気象情報と地域の情報を活用した日ごろから備えが大切であることを、具体例を挙げながら説明している。	○台風の動きと天気の変化、天気の変化による災害の状況に関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○台風の動きと天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、幅広く生活経験を想起したり、意欲的に調べようとしていたりしている。 ○台風とわたしたちのよりよいくらしのあり方について、具体的に考えようとしている。

教科	理科	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命のつながり[3] 植物の実や種子のでき方	7	植物の花のつくりや実のでき方に興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、花の役割や受粉と結実との関係をとらえるとともに、生命を尊重する態度を養い、生命の連続性についての考えをもつことができるようにする。	○顕微鏡などの器具のしくみも理解しながら、適切に操作し、花のつくりや花粉を観察している。 植物の結実の条件について、受粉させない花と比較しながら計画的に詳しく実験を行い、実験の方法や結果などを適切に記録している。 ○昆虫などによって受粉するとめしべのものが実になり、実の中に種子ができ、その種子がまた発芽して生命が受け継がれていくことを理解している。	○めばなどおぼなの花のつくりの違いについて、1つの花にめしべとおしべがそろった花とも比べながら、問題を見だし、表現している。 ○1つの花にめしべとおしべがそろった花とも比べながら、ヘチマのめしべやおしべの観察結果を考察し、おしべの花粉がめしべに運ばれることを表現している。 ○動物の受精の学習内容を生かしながら、植物の結実について予想や仮説を発想し、条件に着目した実験を計画し、表現している。 植物の結実について、実験結果をもとに昆虫などはたらきによって受粉することとをえ、予想や仮説と照らし合わせながら考察している。	○植物の花が実へと変化し、種子ができることで、新たな生命へと受け継がれることに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、そのしくみを意欲的に調べようとしている。 ○植物の受粉と結実について学んだことを、植物と動物のかかわりや生命の連続性といった、つながりのある視点で見直し、生かそうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
流れる水のはたらきと土地の変化	14	流れる水のはたらきと土地の変化に興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、流れる水には地面を削ったり、石や土を運んだり積もらせたりするはたらきがあることや、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形が違うことをとらえることができるようにする。また、長雨や集中豪雨に伴う川の増水による災害や、防災・減災、くらしを支える水資源についても意識を高めるようにする。	○器具を正しく使って、流れる水の速さの違いに着目しながら、流れる水による地面の変化を調べる実験方法を工夫し、計画的に実験している。 ○流れる水には、地面を侵食したり、土などを運搬したり堆積させたりするはたらきがあることを、流れる水の速さと関係づけて理解している。 ○流れる水の量の変化による地面の変化の違いを調べる実験方法を工夫し、水の量を的確に制御して、計画的に実験を行い、得られた結果を適切に記録している。 ○流れる水の量が変化すると、侵食や運搬のはたらきが変化することを、実際の川にも当てはめながら理解している。 ○流れる水の量が変化すると、侵食や運搬のはたらきが変化することを、実際の川にも当てはめながら理解している。 ○野外観察を計画的かつ安全に行ったり、映像資料などを活用して調べたりして、流れる水のはたらきという視点で、適切に記録している。	○流れる水のはたらきについて、根拠のある予想や仮説をもち、条件に着目しながら実験を計画し、表現している。 ○実際の川での流れる水のはたらきと土地の変化について、流水実験で見いだした決まりを実際の川に当てはめながら、関係づけて考察し、表現している。	○流れる水のはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、既習内容や生活経験を生かして、調べようとしている。 ○流れる水のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かし、地域の特性を見直そうとしている。

教科	理科	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
もののとけ方	13	ものが水に溶ける量やようすに着目して、水の量や温度などの条件を制御しながら、ものの溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験に関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成することができるようにする。	○ものが水に溶けると、溶かしたものは水の中に存在していて、水とものとは合わせた重さは溶かす前後で変わらないことを理解している。 ○ものの溶け方の違いを調べる工夫をし、電子てんびんやメスシリンダーを目的に応じて用意し、安全に正しく操作して定量的に実験をしている。 ○ものが水に溶ける量には、限度があることを詳しく理解し、説明できる。 ○水の量を増やすと、水に溶けるものの量も増えることを実験結果をもとに説明できる。 ○ものが水に溶ける量は、水の温度、溶けるものによって違いがあることを実験結果をもとに説明できる。 ○溶けているものを取り出す方法を工夫し、ろ過器具などを目的に応じて用意し、操作の意味を理解しながら、安全に正しく使って溶けているものを取り出し、実験している。	○水に溶けた食塩などのゆくえや、水に溶けた後の水溶液の重さなどについて、発想した予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を計画的に発想し、表現している。 ○ものが水に溶ける量について生活経験をもとに予想や仮説を発想し、条件に着目して解決の方法を計画的に発想し、表現している。 ○ものが溶ける量を水の温度と関係づけて考察し、ものによって水の温度で溶ける量が違うと考え、表現している。	○ものを水に溶かすことに進んでかわり、粘り強く、他者とかわりながら、ものの溶け方や溶けたもののゆくえなどの疑問について進んで調べようとしている。 ○ものが水に溶けるときの規則性について学んだことを、工場での塩をつくる流れなどを例に、学習や生活で幅広く見直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ふりこの動き	10	振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験に関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成することができるようにする。	○振り子の運動の規則性を調べる工夫をし、それぞれの実験器具を目的に応じて用意し、安全に正しく操作し、計画的に正確に実験している。 ○振り子の運動の規則性を調べ、その過程を適切に記録し、結果を定量的に正確に計算して記録している。 ○振り子が1往復する時間は、おもりの重さや振れ幅に関係なく、振り子の長さによって変わることから、振り子の1往復する時間を自由に変えられることを理解している。	○振り子の運動の変化とその要因について根拠のある予想や仮説をもち、正確に調べるために条件に着目して複数回の実験を計画し、表現している。 ○振り子の運動の変化とその要因とを誤差を認識して関係づけて考察し、表現している。	○振り子の運動に進んでかわり、粘り強く、他者とかわりながら、おもりの重さや振り子の長さ、振れ幅をいろいろ変えて振り子の運動の規則性を意欲的に調べようとしている。 ○振り子の運動の規則性を利用したものづくりや、振り子の運動の規則性について学んだことを生かして、いろいろなもののしくみを進んで見直し、行動しようとする。

教科	理科	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電磁石の性質	12	電磁石の導線に電流を流すと鉄を引きつけるようすから電磁石の性質について興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、電磁石の極の性質や電磁石の強さが変化する要因についてとらえるとともに、電流がつくる磁力についての考えをもつことができるようにする。	○電磁石を正しくつくり、電流を流してそのはたらきを永久磁石と比較しながら詳しく調べ、見つけた疑問を、図などを用いて適切に記録している。 ○コイルに鉄心を入れて電流を流すと鉄心を磁化するのはたらきがあることや、永久磁石の極は変わらないが、電磁石は電流の向きが変わると極も変わることを理解している。 ○電流計などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、電磁石の強さの変化を計画的に詳しく調べ、その過程や結果を定量的に適切に記録している。 ○永久磁石が鉄を引きつける強さは変わらないが、コイルに流れる電流を大きくしたり、コイルの巻数を増やしたりすると、電磁石が鉄を引きつける強さは強くなることを理解している。	○電磁石のはたらきについて、永久磁石と似ているところや違うところに注目しながら比べることで、問題を見だし、表現している。 ○電磁石に電流を流したときの極の変化とその要因について、永久磁石の性質をもとにして予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○電磁石の極の変化と電流の向きを関係づけて、永久磁石の性質と比較しながら考察し、表現している。 ○電磁石に電流を流したときの電磁石の強さとその要因について既習事項を根拠に予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○実験の結果から、電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻数を関係づけて考察し、永久磁石との違いと合わせて表現している。	○電磁石の導線に電流を流したときに起こる現象に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、永久磁石の性質を思い出し、電磁石のはたらきを調べようとしている。 ○電磁石の性質やはたらきについて学んだことを、リニアモーターカーなどを例に、学習や生活で幅広く見直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命のつながり[4] 人のたんじょう	9	身の回りの様々な生物を比較しながらその特徴を調べる活動を通して、生物の姿や生物と環境との関わりについての理解を図るとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだす力や、生物を愛護する態度を育成することができるようにする。	○ヒトが母体内で成長していくようすを目的に応じて図鑑やインターネット、模型、インタビューなどの複数の方法を選択して詳しく調べている。 ○ヒトが母体内で成長していくようすについて調べた結果を工夫して記録している。	○ヒトの母体内での成長のようすについて、具体的な体の部分の変化について予想や仮説を発想し、絵や言葉を用いて表現している。 ○ヒトの母体内での成長のようすについて、自らの予想や仮説と比べながら動物の発生や成長とその変化を関係づけて考察し、表現している。	○ヒトの母体内での成長のようすに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、自らの変化や成長について進んで話し合い、調べる方法を意欲的に探している。 ○ヒトの誕生について学んだことをもとに、いろいろな生物の誕生について見直そうとしている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものの燃え方	9	ものの燃焼のしくみについて興味・関心をもって多面的に調べる活動を通して、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて、ものの質的变化について推論する能力を育てるとともに、追究していく過程において、燃焼したときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現できるようにする。	○線香やろうそく、集気瓶などを適切に使って、ろうそくの燃え方と空気の流れを関係づけながら、くふうして計画的に実験を行い、適切に記録している。 ○気体検知管や石灰水などを安全に正しく使って、ものが燃える前と後の空気の変化について詳しく調べ、結果を整理し、適切に記録している。 ○ろうそくや木などの植物体が燃えると、空気中の酸素が使われ二酸化炭素ができることをもとに、空気が入れ替わるとよく燃えることを理解している。	○ものの燃え方と空気の動きについて、問題を見だし、空気の入口や出口の位置と関係づけて予想や仮説をもち、条件に着目しながら実験を計画し、表現している。 ○実験結果から、気体の種類によるものを燃やすはたらきの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、酸素中では空気中よりも激しく燃えることも考察しながら、表現している。	○ものの燃え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、燃焼のしくみを空気の動きに着目して調べようとしている。 ○ものの燃焼のしくみについて学んだことを学習や生活に生かし、身の回りの現象を見直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の成長と日光の関わり	5	植物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、植物と日光の関係、植物が養分をつくるはたらきについての学習を通して、植物に対する理解を深めていくとともに、植物が重要なはたらきをしているという考えをもつことができるようにする。	○植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○植物の葉に日光が当たるとデンプンができることを理解している。	○植物の体のつくりと働きについて問題を見出し、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	○身近な植物と日光との関係のさまざまな例を考えながら、養分の作られ方について進んで調べようとしている。 ○植物の体のつくりとはたらきについて学んだことを、動物についての学習と結びつけたり、生活に生かす例を調べようとしたりしている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体のつくりとはたらき	12	ヒトやほかの動物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、消化、呼吸、循環および排出のはたらきについての学習を通して、児童が自らの体について理解を深めていくとともに、体の各器官が相互にかかり合って生命を維持しているという考えをもつことができるようにする。	○口から取り入れられた食べ物は、胃、腸など消化管を通る間に消化され、養分は小腸で吸収されて肝臓に蓄えられ、吸収されなかったものは排出されることを理解している。 ○これまでの学習経験から、気体検知管や石灰水を正しく扱い、吸気と呼気における酸素と二酸化炭素の濃度変化を詳しく調べている。 ○ヒトや動物は呼吸によって肺などで酸素を取り入れ、二酸化炭素や水分を出しているが、動物によって呼吸のしくみに違いがあることを理解している。 ○血液の流れや腎臓のつくりとはたらきについて、これまでの学習と関連づけて調べ、工夫を加えて結果をまとめている。 ○血液は心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素などを運んでいることを、体に必要なもの・不要なものを運ぶ役割として、整理して理解している。	○だ液によるでんぶんの変化について、実験を通して、食べ物は体の中でどのように消化され、養分として吸収されていくのかを考察し、自分の考えを表現している。 ○養分や酸素を取り入れた血液は、心臓のはたらきで全身に送られ、二酸化炭素などを運び出していると考え、心臓の拍動と脈拍との関係も踏まえて自分の考えを表現している。 ○	○ヒトや動物の体のつくりとはたらきに興味をもち、自分や友達の発言や疑問を整理して学習問題にまとめ、進んで調べようとしている。 ○ヒトや動物の体のつくりとはたらきについて学んだことから、生命のたくみさや多様性を見つけるなどして、身の回りの生命をとらえ直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の成長と水の関わり	5	植物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、根から取り入れられた水のゆけや植物と空気の関係、植物が養分をつくるはたらきについての学習を通して、植物に対する理解を深めていくとともに、植物が重要なはたらきをしているという考えをもつことができるようにする。	○植物の水の通り道を染め、根や茎、葉それぞれの水の通り道のようすを観察し、特徴をとらえながら結果を適切に記録している。 ○蒸散を理解し、また、植物が生きていくためには、水を取り入れる必要があることを理解している。 ○気体検知管などを正しく使って、植物と空気の間を「2.ヒトや動物の体」の学習と比較しながら詳しく調べている。 ○実験の目的に応じて、日光を当てた葉と当てなかった葉などを用意し、比較しながら詳しく調べている。	○葉まで運ばれた水がその後どうなるかについて、生活場面や既習内容など、幅広い根拠から予想や仮説を発想し、表現している。 ○葉に日光が当たると、でんぶんができることから考察し、植物は自分で養分をつくっていることなど、植物のはたらきについてより妥当な考えをつくり出し、表現している。	○身近な植物と水との関係のさまざまな例を考えながら、根から取り入れた水の通り道を進んで調べようとしている。 ○植物の体のつくりとはたらきについて学んだことを、動物についての学習と結びつけたり、生活に生かす例を調べようとしていたりしている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物どうしの関わり	7		○食べ物のもとが植物であり、植物は自分で養分をつくることができるが、動物はほかの動物や植物を食べることで養分を取り入れていることを理解している。 ○顕微鏡を正しく有効に使って、水中の小さな生物を詳しく観察し、結果を適切に記録している。 ○池や川のメダカなどの魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていて、食物連鎖でつながり合っていることを理解している。 ○これまでの学習を総合的に関係づけて、生物の空気や水を通したかかわり合いについて理解している。	○これまでの学習と関連づけて、生物が、植物を始まりとした食物連鎖で、網の目のようにつながっているという仮説を立て、表現している。 ○植物に日光が当たると二酸化炭素を取り入れて酸素を出し、動物は呼吸して酸素を取り入れていることや、生物と水について考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。	○これまでの学習から、食べ物を通しての生物どうしの関係に興味をもち、いろいろな資料を活用して意欲的に調べようとしている。 ○生物どうしがかかわり合ったり、周囲の環境の影響を受けたりして生きていることに、生命のたくみさを感じ、自然界のつながりを大切にしようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
月と太陽	8	月の位置や形の変化に興味・関心をもち、月の輝いている側に太陽があることをとらえとともに、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追究し、月の形の見え方が規則正しく変化する理由について、より妥当な考えをつくりだし、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	○ボールの位置による見える形の変化を予想しながら、ボールを適切な位置に移動させて調べ、適切に記録している。 ○月の形の見え方は、地球から見た太陽と月の位置関係によって変わることを理解し、月は、太陽との位置関係を毎日少しずつ変え、約1か月で変化を繰り返すことをとらえている。	○月の形や月と太陽の位置関係について、問題を見だし、予想や仮説をもとに具体的なモデル実験としての解決の方法を発想し、思考を整理しながら実験を計画している。 ○モデル実験や観察の結果から、月の位置によって、太陽に照らされた部分の見え方が変わっていくことを予想しながら、いろいろな形の月に当てはめて説明している。	○月の形の見え方に進んでかかわり、既習内容を生かしながら、粘り強く、意欲的に他者とかがわり、調べたい問題を整理している。 ○月の形の見え方は、地球から見た太陽と月の位置関係によって変わることを理解し、月は、太陽との位置関係を毎日少しずつ変え、約1か月で変化を繰り返すことをとらえている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水よう液の性質	12	いろいろな水溶液を、溶けているものを調べたり、リトマス紙などを使って3つの性質にまとめたり、金属と反応するようすを調べたりする活動を通して、水溶液の性質やはたらきについての考えをもつことができるようにする。	○いろいろな水溶液やビベット、ガスコンロなどを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、水溶液の違いを手際よく調べている。 ○水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解し、固体が溶けているものとの違いなどを理解している。 ○リトマス紙などを正しく使って水溶液の性質を調べ、比較しやすいように適切に記録しながら、3つの性質に仲間分けしている。 ○水溶液は、酸性・中性・アルカリ性の3つの仲間に分けられることを理解し、リトマス紙などの色の変化と水溶液の性質との関係を理解している。 ○薄い塩酸やビベットなどを安全に正しく使って、金属が薄い塩酸によって小さくなって泡が出たり、あたたかくなったりするようすなどを詳しく調べている。 ○ガスコンロや溶液を安全に正しく使って実験を行い、水を蒸発させて出てきた固体に着目し、特徴を適切に記録している。	○5種類の水溶液の区別のしかたについて、既習事項や経験を生かした予想や仮説をもち、自分の考えを表現している。 ○金属に薄い塩酸を加えたときのようなすから、金属に起こった変化について予想や仮説をもち、どんな実験をすれば解決できるかを具体的に表現している。 ○蒸発皿に残ったものの性質を調べた結果と既習事項を関係づけて、薄い塩酸によって金属が別のものに変化したと結論づけ、表現している。	○身の回りの水溶液に興味をもち、使われる場面やその理由など、水溶液の性質について意欲的に考えようとしている。 ○水溶液の性質やはたらきを適用し、自ら例を探すなどして、身の回りの事物や現象をとらえ直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. 土地のつくりと変化	12	地層などを観察し、地層のつくりやでき方について多面的に調べる活動を通じて、大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくり、変化してきたという考えをもつことができるようにする。また、火山活動や地震による大地の変化と災害とを関係づけて調べ、災害への備えについて考えるとともに、自然の力の大きさを感じ取ることができるようにする。	○地層のようすを空間的にとらえ、調べる器具などを正しく扱いながら観察し、適切なスケッチなどとともに記録している。 ○地層の構成物と、地層に重なりや広がりがあることを、いくつかの地点の層を結びつけて考えることも理解している。 ○堆積のモデルを運搬・堆積の場としてとらえ、ペットボトルでの方法の経験を生かし、地層のでき方を粒の大きさの違いの視点で調べている。 ○双眼顕微鏡などの器具を正しく操作しながら、火山灰を観察し、海岸の砂粒とも比較しながら、水のはたらきによる地層の構成物との違いを適切に記録している。 ○地層は、れき、砂、泥や火山灰などからできており、層となっていて広がっていることを理解し、長い年月をかけて岩石に変わったり、水のはたらきで侵食されたり、堆積したりしていることをとらえている。	○構成物の違いから地層がしま模様に見えると予想し、地層のようすを調べる適切な方法について、自分の考えを表現している。 ○地層のでき方について、既習内容をもとに問題を見だし、水のはたらきとの関連で、繰り返し堆積することで積み重なることを予想して、堆積の場を調べる実験を計画し、表現している。 ○地層が固まってできた岩石や化石を調べ、長い時間の経過と合わせて考察し、岩石や化石が当時のようすを知る手がかりになることも見だしている。	○大地のつくりと変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、既習内容や生活経験を生かして、調べようとしている。 ○大地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かし、そこにくらすわたしたちとの関係について、具体例をあげながら、見直そうとしている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
てこのはたらき	11	てこの手ごたえや、てこがつり合うときを調べる実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てこがつり合うときの規則性についての考えをもつことができるようにする。また、小さな力で重いものを動かせるという視点で、身の回りを観察し、さまざまな道具でてこの規則性が利用されていることをとらえるようにする。	○変える条件と同じにする条件を明確に区別しながら、力点・作用点の位置を変え、てこを使うときの手ごたえを調べ、結果を適切に記録している。 ○実験用てこを使って、左右のおもりの重さや位置を変えながら、実験1での経験を生かして、てこがつり合うときの規則性を予想し、調べている。 ○てこがつり合うときの規則性や、支点から等距離でつり合うときはおもりの重さも等しいことを理解し、実験結果をもとに、その関係を説明できる。 ○てこを利用した道具を目的に応じて用意し、安全に正しく使いながら、道具のはたらきと関連づけて、支点・力点・作用点について調べている。 ○身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを、支点・力点・作用点の位置関係と道具のはたらきとを関連づけて理解している。	○てこを使って重いものを小さな力で持ち上げる方法について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、条件に着目しながら実験を計画し、表現している。 ○てこの手ごたえと支点・力点・作用点の位置関係について考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、支点・力点・作用点の言葉的確に使いながら表現している。 ○実験結果をもとに、てこの規則性について、より妥当な考えをつくりだし、算数で学習した反比例を用いながら、自分の考えを表現している。 ○てこの規則性を利用した道具の支点・力点・作用点の並びには3タイプあり、それとはたらき力の関係について、それぞれの共通点や差異点に着目して、自分の考えを表現している。	○てこのしくみやはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、既習内容や生活経験を生かして、規則性を調べようとしている。 てこの規則性について学んだことを生かして、ものづくりをしたり、自ら例を探すなどしたりして、日常生活に使われているてこの規則性を利用した道具を見直そうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私たちの生活と電気	11	電気はつくり出したり蓄えたりすることができることを知り、その電気をさまざまな器具に流すことによって、電気は、光、音、熱などに変えることができるという考えをもつことができるようにする。また、身の回りには電気をつくり出したり蓄えたり、光、音、熱などに変えるさまざまな道具があることを知るとともに、より妥当な考えをつくりだす力を育成する。	○手回し発電機などを正しく扱いながら、発電のようすを条件を制御して調べ、手回し発電機の条件と器具のようすの結果を記録し、表などで適切に整理している。 ○光電池や鏡などを正しく使って、手回し発電機での経験をもとに条件を適切に制御しながら実験を行い、結果を表などに記録している。 ○豆電球と発光ダイオードを比較する条件に着目して、コンデンサーを正しく扱いながら、そのはたらきを調べ、結果を適切に記録している。 ○身の回りには、発電したり、電気を蓄えたり、変換したりするなどの電気の性質やはたらきを利用したさまざまな道具があることを、いろいろな例に当てはめて理解している。	○発電について問題を見だし、豆電球やモーターを使うことで電流の向きや大きさを調べられることを発想し、手回し発電機を使った実験を計画している。 ○光電池の発電について、手回し発電機での発電や乾電池と比較しながら考察し、いろいろな発電方法での結果を整理しながら、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 ○発光ダイオードは豆電球に比べ、長く明かりがついたことから、発光ダイオードのほうが電気を使う量が少なく、効率的であることを考察し、表現している。 ○電気をむだなく使うための工夫について、自動的に電球の明かりがつく以外の例でも、問題を見だし、予想した条件や動作の組み合わせをもとに、解決の方法を発想し、プログラミングしている。	○発電と電気の利用に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、幅広く生活経験を想起したり、既習内容を生かしたりして調べようとしている。 ○発電と電気の利用について学んだことを生かして、ものづくりをしたり、自ら例を探すなどしたりして、日常生活に使われている電気を利用した道具を見直そうとしている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物と地球環境	8	ヒトやほかの生物と環境がどのようにかかわり合っているかを調べたり、身近な環境問題を調べたりして、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにするとともに、自然を大切にしようとする態度を育てる。	○ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを、空気・水・食べ物の視点で整理しながら、身近な環境とも関連づけて理解している。 ○資料などを目的に応じて選択し、ヒトの活動と環境が互いに与えている影響について調べ、環境を守る取り組みについても関連づけながら記録している。	○身近な環境とのかかわりや与えている影響などの調べたことをもとに、より妥当な考えをつくりだし、自分たちの生活を見直して、保全のための取り組みを行っている。	○身の回りの環境に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、既習内容や生活経験を生かして、意欲的に調べようとしている。

教科	理科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生き物をさがそう	4	身の回りの様々な生物を比較しながらその特徴を調べる活動を通して、生物の姿や生物と環境との関わりについての理解を図るとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだす力や、生物を愛護する態度を育成することができるようにする。	○身の回りの生物のようすを、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、分かりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。 ○身の回りの生物について、そのようすや周辺的环境に着目して比較し、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生き物をさがそう	4	身の回りの様々な生物を比較しながらその特徴を調べる活動を通して、生物の姿や生物と環境との関わりについての理解を図るとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだす力や、生物を愛護する態度を育成することができるようにする。	○身の回りの生物のようすを、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、分かりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。 ○身の回りの生物について、そのようすや周辺的环境に着目して比較し、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。

教科	算数	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 いくつか	14	○10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。	・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2. なんばんめ	2	集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。	・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

3 いまなんじ	8	時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・日常生活の中で時刻をよむことができる。	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
4 いくつといくつ	9	○10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるることができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみることができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
5 ぜんぶでいくつ	5	○加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

6 のこりはいくつ	2	○減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
7 どれだけおい	9	○減法の意味(求差)や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・減法の意味(求差)を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
8 10より大きいかず	1	○30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

9 かずをせいりして	3	○絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができるとともに、データの個数に着目して身のまわりの事象の特徴を捉える力を身につける。また、数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。＜思・判・表＞	・数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
10 かたちあそび	4	○立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。＜知・技＞	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
11 3つのかずのたしざん、ひきざん	10	○3口の数加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

12 たしざん	4	○1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
13. ひきざん	10	○十何－1位数で繰り下がりのある減法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・十何－1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
14 くらべかた	14	○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。＜思・判・表＞	・身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

15 大きなかず	1	○2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
16. なんじなんぷん	2	○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。＜知・技＞	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。＜思・判・表＞	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞
17 どんなしきになるかな	5	○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。＜態度＞

18. かたちづくり	5	○平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。<思・判・表>	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

教科	算数	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 表とグラフ	3	○簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。また、データを整理することに進んで関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。<思・判・表>	・データを整理することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
2 たし算	8	○2位数の加法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・2位数+2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・加法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

3 ひき算	8	○2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・2位数－2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。 <知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
4 長さ	9	○長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味と単位を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>
5 100より大きい数	12	○3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力を身につけるとともに、十や百を単位としてみて、何十や何百の加法及び減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

6 たし算とひき算	8	○百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下がりがない3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・2位数+1・2位数=百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数、百の位からの繰り下がりがない3位数-1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、()の意味や使い方について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
7 時こくと時間	2	○時刻と時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知り、日常生活の中で用いる力を身につける。また、時刻と時間を表すことに進んで関わろうとする態度を養う。	・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。<知・技>	・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。<思・判・表>	・時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
8 水のかさ	5	○かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさを測定する力を身につける。また、かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味と単位との関係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

9 三角形と四角形	10	○三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりものの形を三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。＜知・技＞	・三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えると、身のまわりものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。＜思・判・表＞	・三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
10 かけ算	10	○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5、2、3、4の段)＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
11 かけ算九九づくり	22	○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6、7、8、9、1の段)＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

12 長いものの長さ	17	○長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・長さの単位「m」について知り、単位の間接を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
13 九九の表	11	○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質について考えることに進んで関わり、それらを用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
14 はこの形]	6	○長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、箱の形の特徴を見いだすことに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・箱の形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

15 1000より大きい数	5	○4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
16 図をつかって考えよう	5	○加法と減法との相互関係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけてたりして解決のしかたを考える力を身につける。また、問題場面を図に表すことに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。＜知・技＞	・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけてたりして解決のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・問題場面を図に表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
17 1を分けて	5	○ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ など簡単な分数について知っている。＜知・技＞	・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。＜思・判・表＞	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

令和2年度 評価規準(例)

学校名：江戸川区立新田小学校

教科	算数	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 かけ算のきまり	9	○乗法に関して成り立つ性質について理解し、交換法則、結合法則、分配法則などが成り立つことを図や式などを用いて考える力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、その過程を振り返り、計算の工夫などに生かせるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
2 時こくと時間	4	○時間の単位「秒」について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができ、日常生活に生かしている。また、時刻と時間を表したり求めたりすることに進んで関わろうとする態度を養う。	・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

3 たし算とひき算	9	○3位数や4位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
4 わり算	8	○除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
5 長さ	7	○長さの単位「km」、道のりと距離の意味、及び巻尺について知り、計器を適切に選んで長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・長さの単位「km」について知り、単位の間隔を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。<知・技>	・測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。<思・判・表>	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

6 表とぼうグラフ	3	○棒グラフや二次元表について理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する力を身につける。また、データを分析することに進んで関わり、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。<思・判・表>	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
7 あまりのあるわり算	7	○あまりのある除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考えたり、計算の確かめのしかたを考えたりする力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
8 10000より大きい数	10	○万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ にした大きさの数について理解し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考える力を身につける。また、整数の表し方に進んで関わり、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ にした大きさの数について理解し、表すことができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。<思・判・表>	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

9 円と球	11	○円とその中心、半径、直径について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円に関連して、球についても理解する。また、円や球に進んで関わり、身のまわりのものの形を円や球として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。<知・技>	・円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。<思・判・表>	・円や球に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
10 かけ算の筆算	4	○2位数や3位数に1位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
11 重さ	8	○重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して重さを測定する力を身につけるとともに、長さ、かさ、重さの単位の間を統合的に考察する力を身につける。また、重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位の間を関係を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、単位の間を統合的に考察している。<思・判・表>	・重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

12 分数	12	○分数の意味と表し方、及び簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。<思・判・表>	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
13 三角形	9	○二等辺三角形、正三角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、基本的な図形と関連して角について知る。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりのものの形を二等辺三角形、正三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。<知・技>	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。<思・判・表>	・二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
14 □を使った式と図	10	○数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりする力を身につける。また、□を用いた式に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、□に数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>	・数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりしている。<思・判・表>	・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

15 小数	4	○小数の意味と表し方、及び小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、小数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに、小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。<思・判・表>	・小数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
16 2けたの数のかけ算	10	○2位数や3位数に2位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
17 倍の計算	3	○ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解するとともに、図や式などを用いて数量の関係を考察する力を身につける。また、倍の計算に進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。<知・技>	・ある数量ともう一方の数量との関係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。<思・判・表>	・倍の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

17. 三角形を調べよう [三角形と角]	8	円を用いた作図を通して二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて理解し、図形の特徴を捉えることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形を構成する要素や構成の仕方を考える力を養い、辺の長さや角の大きさに着目し、図形を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に生かそうとする態度を養う。	二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の意味や、作図の仕方を理解している。	図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに、それらの作図の仕方について考え、説明している。	辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの活動によって模様の美しさや平面の広がりを感じ、今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
18 そろばん	10	○そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の計算のしかたを考える力を身につける。また、そろばんに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

教科	算数	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 大きな数	7	○億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方、計算のしかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
2 わり算の筆算	9	○除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

3 折れ線グラフ	11	○折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。<思・判・表>	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
4 角	9	○角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができるとともに、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。<知・技>	・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。<思・判・表>	・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
5 2けたの数のわり算	13	○除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算ができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

そろばん	2	そろばんの仕組みについて理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の計算の仕方を考える力を養うとともに、そろばんの仕組みを考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。	十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。	そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。
6 がい数	14	○概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるとともに、目的に合った数の処理のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、概数を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・概数が用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。＜知・技＞	・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
7 垂直、平行と四角形	4	○直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。＜思・判・表＞	・台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

7. およその数の使い方と表し方を調べよう[がい数の使い方と表し方]	8	概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して目的に合った数の処理の仕方を考える力を養うとともに、概数を用いて考えた過程を振り返り、日常の事象に生かそうとする態度を養う。	概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。	日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理するよさについて考え、説明している。	日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8 式と計算	8	○数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができるとともに、数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>	・問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数量の關係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることにについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
9 面積	13	○平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・面積の単位「 cm^2 、 m^2 、 km^2 、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。<知・技>	・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。<思・判・表>	・長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

10 整理のしかた	9	○データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができるとともに、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。<知・技>	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。<思・判・表>	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
11 くらべ方	4	○倍の数量関係について理解を深めるとともに、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。<知・技>	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方を考察している。<思・判・表>	・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
12 小数のしくみとたし算、ひき算	11	○小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

13 変わり方	15	○伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができるとともに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、関数の考えのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。<知・技>	・伴って変わる2つの数量を見だして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。<思・判・表>	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
14 そろばん	9	○そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)、A(8)イ(ア)】	・そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
15 小数と整数のかけ算、わり算		○小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。<知・技>	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

16 立体		○直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。<知・技>	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。<思・判・表>	・直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
17 分数の大きさとたし算、ひき算		○簡単な場合について大きさの等しい分数があることを知り、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

教科	算数	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 整数と小数	5	○整数及び小数の表し方を理解し、そのしくみについてまとめたり、数と式の表現や計算などに有効に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ 、 $1/100$ などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。<知・技>	・整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。<思・判・表>	・整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
2 体積	8	○立体図形の体積について理解し、直方体や立方体の体積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、体積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・体積の単位「 cm^3 、 m^3 」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。<知・技>	・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。<思・判・表>	・直方体や立方体の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

3 2つの量の変わり方	4	○簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量の関係について表や式を用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度を養う。	・簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。＜知・技＞	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。＜思・判・表＞	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
4 小数のかけ算	9	○乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	・乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
5 合同と三角形、四角形	9	○図形の合同について理解し、図形間の関係を合同の観点で考察したり、合同な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、三角形や四角形などの内角の和の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が 180° になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。＜思・判・表＞	・図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

6 小数のわり算	5	○除数が小数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	・除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
7 整数の見方	8	○偶数と奇数、倍数、約数など整数の性質について理解し、観点を決めて整数を分類するしかたを考えたり、数の構成について考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、整数の性質に着目することのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・整数は観点を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。＜知・技＞	・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を分類するしかたを考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・整数の性質や整数の構成を調べることにについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
8 分数の大きさとたし算、ひき算		○分数の意味と表し方について理解を深め、分数の相等や大小関係について考える力を身につけるとともに、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができる。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・分数の意味と表し方、異分母の分数の加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

9 平均		○平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、平均を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・いくつかの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するとよいことを理解し、平均を求めることができる。<知・技>	・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。<思・判・表>	・平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>
10 単位量あたりの大きさ		○異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。<知・技>	・異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>
11 わり算と分数		○整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるとともに、分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。<知・技>	・分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。<思・判・表>	・分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

12 割合		○ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解するとともに、その意味や求め方を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。＜知・技＞	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・割合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
13 割合とグラフ		○帯グラフと円グラフ及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。＜知・技＞	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。＜思・判・表＞	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
14 四角形や三角形の面積		○四角形や三角形の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。＜思・判・表＞	・四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

15 正多角形と円		○正多角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円周率について理解し、円周の長さや直径の長さの求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。＜思・判・表＞	・正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
16 角柱と円柱		○角柱や円柱について理解し、図形の性質を見いだしたり、その性質をもとに既習の図形を捉え直したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。＜思・判・表＞	・角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞

教科	算数	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 文字を使った式	6	○数量を表す言葉や□、○、△などの記号の代わりに、x、a、bなどの文字を用いて式に表すことを理解し、問題場面の数量の関係を、式を用いて簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、文字を用いた式の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・数量を表す言葉や□、○、△などの記号の代わりに、x、a、bなどの文字を用いて式に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>	・問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。<思・判・表>	・文字を用いた式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>
2 分数と整数のかけ算、わり算	7	○分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。<知・技>	・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算のしかたを多面的に捉え考えている。<思・判・表>	・分数×整数の乗法、分数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

3 対称な図形	12	○対称な図形について理解し、対称性といった観点から図形の性質を考察したり、線対称な図形や点対称な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・対称な図形について理解し、線対称な図形や点対称な図形を作図することができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
4 分数のかけ算	11	○乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、分数の乗法の計算ができる。また、分数の乘法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、乗数が分数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・分数の乘法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
5 分数のわり算	12	○除数が分数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・除数が分数である場合の除法の意味について理解し、分数の除法の計算ができる。また、分数の除法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。＜知・技＞	・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、除数が分数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・分数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

6 データの見方	12	○代表値や、度数分布を表す表とグラフ、及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、統計的な問題解決のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。また、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。<知・技>	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断しているとともに、その妥当性について批判的に考察している。<思・判・表>	・データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>
7 円の面積	11	○円の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・円の面積の計算による求め方について理解している。<知・技>	・図形を構成する要素などに着目し、円の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。<思・判・表>	・円の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>
8 比例と反比例	13	○比例の関係について理解し、比例の关系を用いた問題解決の方法や、反比例の关系について知るとともに、伴って変わる2つの数量の关系について表や式、グラフを用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の关系について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・比例の关系の意味や性質を理解している。また、比例の关系を用いた問題解決の方法や、反比例の关系について知っている。<知・技>	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだしているとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

9 角柱と円柱の体積	6	○角柱及び円柱の体積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、体積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	・角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらの体積を公式を用いて求めることができる。<知・技>	・図形を構成する要素に着目し、角柱及び円柱の体積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。<思・判・表>	・角柱及び円柱の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
10 比	10	○比について理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができるとともに、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、比を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。<知・技>	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・比について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>
11 拡大図と縮図	11	○拡大図や縮図について理解し、2つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察したり、構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・拡大図や縮図について理解し、それらの図形を作図することができる。<知・技>	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、日常生活に生かしている。<思・判・表>	・拡大図や縮図について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

12 並べ方と組み合わせ	8	○起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を知り、落ちや重なりなく調べる方法を考察する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を知っている。<知・技>	・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。<思・判・表>	・起こり得る場合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

教科	生活	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
がっこう だいすき	20	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。	○学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	○学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	○学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。
きれいに さいてね	8	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
なつが やって きた	8	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。	○夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	○夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	○夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

いきものと なかよし	6	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとするができるようにする。	○身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
たのしい あき いっぱい	21	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。	○秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	○秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	○秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。
じぶんで できるよ	12	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分のできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

ふゆを たのしもう	9	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。	○冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	○冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	○冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。
もう すぐ 2ねんせい	18	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとする。	○入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	○入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	○入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

教科	生活	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春だ 今日から 2年生	6	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようにすることができるようにする。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付いている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の働きを見付けたりしている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。
ぐんぐん そだて わたしの 野さい	10	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするようにすることができるようにする。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。
どきどき わくわく まちたんけん	10	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを見付け、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとするようにすることができるようにする。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

生きもの なかよし 大作せん	10	動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとするができるようにする。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。
うごく うごく わたしの おもちゃ	12	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
みんなで つかう まちの しせつ	6	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするができるようにする。	○公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。

もっと なかよし まちたんけん	12	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。	○地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。
つながる 広がる わたしの生活	12	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようにする。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。
あしたへ ジャンプ	27	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする	○自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付いている。	○自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	○自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

教科	音楽	学年	第1学年

題材名	時数	題材の到達目標（小単元のねらい）	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
うたって うごいて みんなで おんがく	7	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。 (2) リズム、速度、旋律、強弱、拍、呼びかけとこたえ、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにしてしようとする態度を養う。	○曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

はくと リズム	7	(1) 曲想とリズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2) リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。 (2) 拍に合わせていろいろなリズムで表現することや歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや拍などに親しむ。	○曲想とリズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。	○拍に合わせていろいろなリズムで表現することや歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うみ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

どれみとなかよし	4	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。 (2) 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	○曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈こんにちは けんぱんハーモニカ〉	14	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、鍵盤楽器に親しむ。	○鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。	○旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	○鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

うたの もりあがり	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

ねいろとつよさ	7	(1) 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付ける。 (2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。	○打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いたりしている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付けている。	○音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。	○様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

うたで まねっこ	4	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。 (2) フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	○曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう	3	(1) 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	○曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	○いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

おんがくの ながれ	3	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	○曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。	○旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」	5	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	○曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。	○旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	○楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

みんなの おんがく	3	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりやリズムのつなげ方や重ね方の特徴に気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもつ。 (3) 歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもっている。	○歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくをつくろう	3	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律を聴き取り、その働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。 (3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律や音の重なりに親しむ。	○旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○旋律を聴き取り、その働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。	○短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	音楽	学年	第2学年

題材名	時数	題材の到達目標（小単元のねらい）	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「朝の リズム」	2	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。	○旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈スキルアップ〉 (手びょうしりレーであそぼう)	2	(1) 手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (2) 強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、身の回りの様々な音や音楽に親しむ。	○手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	○手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

強さと はやさ	8	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 強弱や速度の変化、反復や呼びかけとこたえに気付いて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、遊び歌に親しむ。	○曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○強弱や速度の変化、反復や呼びかけとこたえに気付いて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

はくやドレミと なかよし	10	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、ドレミ(音名)で歌ったり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	○曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。	○歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音の スケッチ〉 音の かさなりや リズムを えら んで 合わせよう	3	(1) 音の重なりや、フレーズのつ なげ方の特徴に、それらが生 み出す面白さなどに関わらせて 気付くとともに、思いに合った表 現をするために必要な、音楽の 仕組みを用いて簡単な音楽をつ くる技能を身に付ける。 (2) 音の重なりやリズムを聴き 取り、それらの働きが生み出す よさや面白さを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、どの ように音を音楽にしていかに ついて思いをもつ。 (3) 音の重なりを選んで表現す ることに興味をもち、音楽活動 を楽しみながら、主体的・協働 的に学習活動に取り組み、和 音の響きや鍵盤楽器に親し む。	○音の重なりや、フレーズのつ なげ方の特徴に、それらが生 み出す面白さなどに関わらせて 気付いている。 ○思いに合った表現をするた めに必要な、音楽の仕組みを 用いて、簡単な音楽をつくる技 能を身に付けている。	○音の重なりやリズムを聴き取 り、それらの働きが生み出すよ さや面白さを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、どの ように音を音楽にしていかに ついて思いをもっている。	○音の重なりを選んで表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽き名人〉 「かっこう」 「ドレミのトンネル」	6	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	○楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたりリズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。	○旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	○ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

きよくに 合った 歌い方	4	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などをていねいに聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などをていねいに聴いたりする活動などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈音の スケッチ〉 どんな 音が きこえるかな	2	(1) 身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付く。 (2) 音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。 (3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音に親しむ。	○身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。	○音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。	○身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

音色とリズム	4	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。 (3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	○曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。	音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「タやけ こやけ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感想を取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感想を取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽き名人〉 「こぎつね」	6	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) 曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	○曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。	○旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	○曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

おまつりの 音楽	3	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴く。 (3) いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、お祭りの音楽に親しむ。	○曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。	○いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音の スケッチ〉 おまつりの 音楽をつくろう	3	(1) 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつないだりして表現する技能を身に付ける。 (2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	○太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。	○太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

音楽の ながれ	2	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	○音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	○音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

くりかえしとかさなり	3	(1) 曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	○曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

みんなの 音楽	4	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもつ。 (3) 曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。	○曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春が きた」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音の スケッチ〉 みんなの 音楽時計をつくろう	3	(1) 音型の反復について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 音型を組み合わせることで音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	○音型の反復について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○音型を組み合わせることで音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

クリスマスソングを歌おう	1	(1) 音型の反復について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていく (3) 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。かについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	○音型の反復について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	音楽	学年	第3学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「小さな世界」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈スキルアップ〉 「ア ラム サム サム」	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈スキルアップ〉 〈リズムなかま〉で 楽しもう！	1	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	○リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	○リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	○リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春の小川」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

楽ふとドレミ	4	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音階や鍵盤楽器に親しむ。	○曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「茶つみ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈こんにちは リコーダー〉	4	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。 (3) リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	○リコーダーで様々な表現をするこ とに興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習活動 に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

ひびきのある歌声	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 いろいろな声で表げんしょう	3	(1) いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	○いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得ている。	○いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うさぎ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽き名人〉 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」	4	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

せんりつと音色	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	○音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

曲に合った歌い方	4	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。	○音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

日本と世界の音楽	5	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり、体を動かしたり、演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、拍、速度、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 日本や世界の歌や音楽を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しむ。	○曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりする技能を身に付けている。	○旋律やリズム、拍、速度、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏したりするかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 ばんそうに合わせてせんりつをつくろう 「雪のおどり」	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。 (2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱や、5音をもとにした旋律づくりに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。	○音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	○曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

パートの役わり	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、アメリカ民謡や合唱奏に親しむ。	○曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽き名人〉 「あくびのうた」 「冬さん、さようなら」	2	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) リコーダーの響きや声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏、二部合奏に親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○音色、旋律、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○リコーダーの響きや声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	○音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	○楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

思いに合った表げん	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽しもう	2	(1) 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、様々な打楽器の音色に親しむ。	○打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	○音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」	2	(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 物語を音楽で表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。	○曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○物語を音楽で表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	音楽	学年	第4学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「ありがとうの花」	2	(1) 曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じる。	○曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈スキルアップ〉 「早口」 早口言葉でラップを楽しもう！	2	(1) リズムのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○リズムのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	○リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	○言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「さくら さくら」(共通教材) ◎さくら変そう曲	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、箏の音楽に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いている。	○日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

はくとせんりつ	6	(1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	○曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	○拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

ひびきのある歌声	4	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。 (3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。	○いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「まきばの朝」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈音のスケッチ〉 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう	2	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。 (3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律やフレーズに親しむ。	○音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	○音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽器名人〉 「ハロー サミング」 「もののけ姫」から	5	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーの二重奏、二部合奏に親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けている。	○旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

曲に合った歌い方	4	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

かけ合いと重なり	3	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器の響きやかかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	○曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○楽器の響きやかかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

くにつぽんのうた みんなのうた> 「もみじ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

日本と世界の音楽	6	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりする。 (3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりしている。	○我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 音階をもとにして音楽をつくろう	2	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。	○様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	○音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

パートの役わり	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、タンゴの音楽や合奏に親しむ。	○曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	○音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

思いに合った表げん 選択A 器楽	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 役わりをもとに音楽をつくろう	4	(1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。 (3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	○フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。	○役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈いろいろな歌声を楽しもう〉 歌げき「魔笛」から	2	(1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。 (3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	○フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。	○役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	音楽	学年	第5学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「夢色シンフォニー」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈スキルアップ〉 「花のおくりもの」	2	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	○曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「こいのぼり」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

和音や低音のはたらき	4	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	○曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 和音に合わせてせんりつをつくろう	2	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	○和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	○旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	○和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。

アンサンブルのみりよく〈合唱〉	6	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。 (3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	○曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽器名人〉 「星笛」	2	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感想を取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーアンサンブルに親しむ。	○曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感想を取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

アンサンブルのみりよく〈オーケストラ〉	3	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感想を取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	○曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感想を取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈につぼんのうた みんなのうた〉 「赤とんぼ」	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

パートの役わり	2	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	○曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

日本の音楽	4	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	○我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

豊かな表現	4	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱曲や日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 いろいろな声で音楽をつくろう	2	(1) 多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3) 詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽に対する感性を育む。	○多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解している。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。	○詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付けている。	○旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。	○旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

思いをこめた表現 選択B 歌唱	3	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 ずれの音楽を楽しもう	2	(1) 反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ。	○反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。	○リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	○リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈変奏曲を楽しもう〉 ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章から	2	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。	○旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	○変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	音楽	学年	第6学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「つばさをください」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	○曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈スキルアップ〉 ワイバンバ	2	(1) 曲想と、旋律や音楽の縦と横との関係など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱の音楽に親しむ。	○曲想と旋律や音楽の縦と横との関係などの音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈音のスケッチ〉 言葉をもとにリズムで遊ぼう	2	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	○リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。	○リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	○言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「おぼろ月夜」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

短調のひびき	3	(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	○曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。	○長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

アンサンブルのみりよく	4	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	○曲想と強弱など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

〈めざせ 楽器名人〉 「The Sound of Music」	2	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。	○曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 われは海の子(共通教材)	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

せん律のひびき合い	4	(1) 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多声音楽に親しむ。	○曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。	○音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴く。 (3) 楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンとピアノのアンサンブルに親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。	○音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴いている。	○楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

豊かな表現 選択A 歌唱	5	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	○曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈音のスケッチ〉 じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう	2	(1) 和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。 (2) 和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。 (3) 和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コード(繰り返す和音進行)の音楽に親しむ。	○和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。	○和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。	○和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

世界の音楽	2	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	○諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

日本の音楽	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったりする。 (3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったりしている。	○我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

思いをこめた表現 選択A「ふるさと」+ 器楽	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈音のスケッチ〉 役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう	2	(1) 音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、全音音階や黒鍵だけの五音音階に親しむ。	○音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。	○音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

〈ジャズとクラシック音楽の出会い〉 ラプソディー イン ブルー	1	(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴く。 (3) ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。	○曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴いている。	○ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	図画工作	学年	第1学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきなもの いっぱい	2	○形や色を工夫しよう。 ○好きなものをいろいろ見つけよう。 ○好きなものをいろいろ描いたのしもう。	○好きなものを描き、作品を見せ合うことを通して、形や色の面白さやよさに気づいている。 ○クレヨンやパスなどの扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。	○経験したことや想像したことをもとに表したいものを見つけ、どのように表すかを考えている。	○思いつくままに絵を描くことに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。
ねんどと なかよし	2	○手をたくさん動かそう。 ○いろいろな形を見つけよう。 ○粘土の触り心地をたのしもう。	○粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気づいている。 ○丸める、のぼす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	○粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○粘土の触り心地のよさを味わいながら、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。
クレヨンや パスと なかよし	2	○形や色を工夫しよう。 ○いろいろな描き方や塗り方を考えよう。 ○クレヨンやパスで描くことをたのしもう。	○クレヨンやパスのいろいろな表し方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さに気づいている。 ○こすって写したり、塗り重ねたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。	○いろいろな描き方をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○クレヨンやパスのいろいろな表し方に関心をもち、たのしく取り組もうとしている。
いろいろ ならべて	2	○身近な材料の並べ方を工夫しよう。 ○好きな並べ方を考えよう。 ○たのしく活動しよう。	○同じ形を並べる活動を通して、形や色、並べ方の面白さなどに気づいている。 ○形や色に着目して材料を並べるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	○材料の形や色、大きさなどの特徴をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○材料の形や色に関心をもち、いろいろな材料の並べ方を試しながら、たのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

チョッキン パツで かざろう	6	○紙の折り方や切り方を工夫しよう。 ○切った形のつなげ方を考えよう。 ○つくったり飾ったりすることをたのしもう。	○紙の折り方や切り方を変えたり、それらを組み合わせたりすることを通して、いろいろな形や色の模様が表せることに気づいている。 ○紙の折り方や切り方をさまざまに試すなど、新しい表し方を見つけながら工夫して表している。	○紙を折ったり切ったりしてできる形をもとに表したい模様を見つけ、どのように表すかを考えている。	○紙の折り方や切り方を変えることで、いろいろな形や模様が表せることに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
ながーい かみから	2	○描き方を工夫しよう。 ○紙の形から描きたいものを考えよう。 ○長い紙で描くことをたのしもう。	○細長い紙に描き、互いの作品を見せ合うことを通して、画用紙の形とテーマの関係の面白さに気づいている。 ○表したいことをもとに、形や色、描き方を工夫して表している。	○長い画用紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 ○いつもと違う形の画用紙に絵を描くことに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。	
うきうきボックス	4	○箱の飾り方を工夫しよう。 ○箱の形を生かした飾りを考えよう。 ○箱をたのしく飾ろう。	○飾り付けを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、箱の形や色を生かした表現の面白さやよさに気づいている。 ○箱の形や色を生かした飾り付けをするなど、表し方を工夫して表している。	○空き箱の形や色をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○空き箱の形の特徴を生かしてつくる活動に関心をもち、たのしく取り組もうとしている。
さわって かくの きもちいい!	2	○手や指を使った描き方を工夫しよう。 ○描きたいことやものを見つけよう。 ○手や指で描く気持ちよさを感じてたのしもう。	○手や指で描くことを通して、絵の具の跡の形や色の違いに気づいている。 ○指や手のひらを動かす勢いや強さなどを変えるなど、手の感覚を働かせながら工夫して表している。	○指や手のひらで思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○とろとろ絵の具を指や手のひらにつけて描いたり塗ったりする快さを味わいながら、たのしく取り組もうとしている。
みて、みて、いっぱい つくったよ	2	○いろいろなつくり方を工夫しよう。 ○つくりたいものをいろいろ見つけよう。 ○たくさんつくることをたのしもう。	○粘土を使ったいろいろな表し方に気づいている。 ○粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○これまでの経験や想像したことをもとに粘土でつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○粘土で好きなものをたくさんつくることに興味をもち、粘土の心地よい感触を味わいながらたのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

せんの かんじ いいかんじ	2	○線の描き方や色の使い方を工夫しよう。 ○線のいい感じを見つけよう。 ○のびのびと描くことをたのしもう。	○筆の太さや手を動かす速さや強さを変えることを通して、筆触や色の違いに気づいている。 ○筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。	○思いのままに描いた絵の具の跡から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。
ふわふわ ゴー	4	○風で動くおもちゃのつくり方を工夫しよう。 ○動きを確かめてどんなものをつくりたいか考えよう。 ○つくったり遊んだりしてたのしもう。	○互いの作品で遊ぶことを通して、飾りの形・色の面白さやよさに気づいている。 ○動きの特徴を生かした飾りをつけたり、絵を描いたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○浮く仕組みや動きの特徴をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○風で動くおもちゃをつくる活動に関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
さらさら だろだろ いいきもち	2	○土を掘ったり積んだり丸めたりすることを工夫しよう。 ○土でどんなことができるか考えよう。 ○土の触り心地を味わい、活動することをたのしもう。	○土を掘ったり、積んだり、丸めたりする活動を通して、土の触った感じに気づいている。 ○掘る、積む、並べる、水と混ぜるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	○土と水の組み合わせをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○土の触った感じを体全体で味わいながら、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。
はって かさねて…	2	○貼り方や重ね方を工夫しよう。 ○貼りながらつくりたいものを考えよう。 ○材料の形や色をたのしもう。	○材料を貼り重ねることを通して、それぞれの材料のもつ形や色、触った感じの特徴や面白さに気づいている。 ○材料の特徴を生かした重ね方、貼り方を試しながら、工夫して表している。	○貼り重ねた材料の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○材料の形や色、触った感じに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
ちぎってはって	2	○ちぎった紙の並べ方や貼り方を工夫しよう。 ○ちぎった紙を使って、絵にしたいことを考えよう。 ○紙をちぎったり貼ったりしてたのしもう。	○ちぎった色画用紙を並べたり貼ったりすることを通して、形や色の美しさや面白さに気づいている。 ○ちぎった色画用紙の並べ方や貼り方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○ちぎった色画用紙の形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○ちぎり絵で表すよさを味わいながら、たのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

あそぼうよ、パクパクさん	6	○仕組みを生かしたつくり方を工夫しよう。 ○仕組みからたのしい「パクパクさん」を考えよう。 ○「パクパクさん」でたのしく遊ぼう。	○仕組みを生かした作品をつくり、遊ぶことを通して、飾り付けの形や色の面白さやよさに気づいている。 ○動きの特徴に合わせた飾りをつけたり、絵を描いたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○動く仕組みや動きの特徴をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○パクパクと動く様子やその仕組みに関心をもち、活動にたのしく取り組もうとしている。
スタンプ、スタンプ！	2	○いろいろな写し方を工夫しよう。 ○写しながら形を見つけよう。 ○スタンプ遊びをたのしもう。	○いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気づいている。 ○転がす・並べる・ずらすなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	○身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。
ひかりのくにの なかまたち	6	○形や色を工夫しよう。 ○光を通す材料からつくりたいものを考えよう。 ○たのしくつくって飾ろう。	○材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色の面白さに気づいている。 ○袋の形を考えたり中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○材料の形や色などをもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○光を通した材料の美しさや面白さに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。
お知らせします！ にっこりニュース	2	○形や色、描き方を工夫しよう。 ○一番知らせたいことを考えよう。 ○みんなに知らせたいことをたのしく描こう。	○絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。 ○伝えたい気持ちをもとに、形や色、描き方を工夫して表している。	○自分の経験したことをもとに伝えたいニュースを思いつき、どのように表すかを考えている。	○伝えたいことを絵に表すことに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。
みて、さわって、かんじて	2	○いろいろな紙の違いを知ろう。 ○紙からどんなことができるか考えよう。 ○いろいろな紙の形や色、触った感じをたのしもう。	○いろいろな種類の紙を見たり触ったりする活動を通して、形や色、触った感じなどの違いに気づいている。	○いろいろな種類の紙の、形や大きさ、色、触った感じなどの違いや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○いろいろな紙の形や色、触った感じに関心をもち、手や体全体の感覚を働かせてたのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

くしゃくしゃしたら だいへんしん	2	○紙の形や色を工夫しよう。 ○紙をくしゃくしゃして、どんなものができるか考えよう。 ○紙の触り心地を味わおう。	○薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色、触った感じなどに気づいている。 ○表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。	○くしゃくしゃにした薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけている。	○くしゃくしゃにした薄紙から形を見つけて表すことに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
できたらいいな こんなこと	4	○描き方を工夫しよう。 ○絵の中でできるたのしいことを考えよう。 ○思いついたことをたのしく描こう。	○互いの作品を見合うことを通して、描かれているものの形や色のよさに気づいている。 ○伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。	○経験したことや想像したことをもとに「やってみたいこと」を思いつき、どのように表すかを考えている。	○経験したことから自由に想像を広げながら、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。
はこと はこを くみあわせて	4	○箱の組み合わせやつけ方を工夫しよう。 ○箱を組み合わせて、つくりたいものを考えよう。 ○箱を組み合わせてたのしくつくろう。	○いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色の面白さに気づいている。 ○紙箱の組み合わせ方や飾り付け、接着の方法など、表したいことをもとに工夫して表している。	○紙箱の形や色などをもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○箱を組み合わせることでいろいろな形ができることに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
こころの はなを さかせよう	4	○花の形や色を工夫しよう。 ○見た人がたのしくなるような花を考えよう。 ○心を込めて描き、友達と飾ろう。	○みんなで作品を飾ることを通して、花の形や色のよさや面白さに気づいている。 ○伝えたい気持ちをもとに、花の形や色の表し方を工夫して表している。	○新入生や卒業生への思いをもとに飾りたい花を思いつき、どのように表すかを考えている。	○新入生や卒業生に喜んでもらおうと、気持ちを込めて絵を描く活動に取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	図画工作	学年	第2学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきなことなあに	2	○形や色を工夫しよう。 ○描きたい場面を考えよう。 ○描くことをたのしもう。	○絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。 ○表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表し	○経験をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○自分が好きなことを絵に表すことに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
ねん土がうごき出す！	2	○手の使い方を工夫しよう。 ○いろいろな形を見つけよう。 ○粘土の重さを感じて触り心地をたのしもう。	○粘土に働きかけることを通して、触った感じや形の変化に気づいている。 ○粘土を握る、穴を開ける、たたいてのばすなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○粘土に積極的に働きかけ、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。
新聞紙とあそぼう	2	○新聞紙をねじったり裂いたりして、活動を工夫しよう。 ○新聞紙でどんなことができるか考えよう。 ○体全体を使って新聞紙をたのしもう。	○新聞紙に働きかけることを通して、形や触った感じの変化に気づいている。 ○新聞紙をねじったり裂いたり穴を開けたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○全身で新聞紙に働きかけながら、いろいろな形や触った感じの変化などを見つけることをたのしもうとしている。
ぼかしあそびで	2	○いろいろなぼかし方を工夫しよう。 ○ぼかしてできた形や色から描きたいものを考えよう。 ○ぼかし遊びをたのしもう。	○いろいろなこすり方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づいている。 ○いろいろなこすり方を試したり組み合わせたりしながら工夫して表している。	○クレヨンやパスをぼかした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○クレヨンやパスを用いたぼかし遊びに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

ふしぎないきものあらわれた	2	○描き方や塗り方を工夫しよう。 ○あらわれたら面白い生き物を考えよう。 ○はじき絵をたのしもう。	○絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、はじき絵から生まれた形や色の面白さに気づいている。 ○生き物の形や、生き物のまわりの色づかいなどの表し方を工夫して表している。	○はじき絵の技法から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○はじき絵の技法に関心を持ち、あらわれたら面白い生き物を描く活動にたのしく取り組もうとしている。
みんなでワイワイ！紙けん玉	4	○けん玉の形や色、つくり方を工夫しよう。 ○仕組みからつくりたいけん玉を考えよう。 ○けん玉をつくったり、遊んだりすることをたのしもう。	○紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色の面白さやよさに気づいている。 ○好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すかを考えている。	○けん玉をつくって遊ぶ活動に関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
えのぐじま	2	○形や色、筆の使い方を工夫しよう。 ○描きたい えのぐじまを考えよう。 ○絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしもう。	○筆をのびのびと動かして描くことを通して、互いの「えのぐじま」の形や色、筆触の違いなどに気づいている。 ○筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表して	○「えのぐじま」「カラフルななみ」などの言葉から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。
くっつきマスコット	6	○紙粘土に磁石をつけて、形や色を工夫しよう。 ○磁石でくっつくマスコットを考えよう。 ○つくることをたのしもう。	○紙粘土と磁石でマスコットをつくることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。 ○くっついたり、離れたりする磁石の特性を生かした形や色、しかけなどを試しながら工夫して表している。	○磁石の特性をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○磁石を利用したおもちゃや飾りをつくることに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
大きくそだて、びっくりやさい	2	○形や色を工夫しよう。 ○びっくり野菜の秘密を考えよう。 ○びっくり野菜を描くことをたのしもう。	○大きく育つ野菜を描くことを通して、「びっくりやさい」の形や色のよさや違いに気づいている。 ○クレヨンやカラーペン、共同絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して	○「びっくりやさい」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○「びっくりやさい」という言葉から自由に想像を広げ、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

こんにちは、むぎゆたん	2	○ひねったりつまんだりして形を工夫しよう。 ○粘土から想像して、つくりたい生き物を考えよう。 ○粘土でつくることをたのしもう。	○手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形や質感がさまざまに変化する面白さに気づいている。 ○粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。	○粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○自分らしい「むぎゆたん」を表すことに興味をもち、粘土に積極的に働きかけながらたのしく取り組もうとしている。
見つけたよ、わたしの色水	2	○色水のつくり方や並べ方を工夫しよう。 ○色水をつくりながら、どのように活動するか考えよう。 ○色水でたのしく活動しよう。	○色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときの色の変化や並べたときの形や色の面白さに気づいている。 ○いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。	○つくった色水の色や、容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○色水をつくったり、並べたりすることに興味をもち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。
いろいろもよう	2	○模様のつくり方を工夫しよう。 ○いろいろな模様を試したり見つけたりしよう。 ○模様をつくることをたのしもう。	○いろいろな描画材料を使って模様を表すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さや違いに気づいている。 ○泡の形を写したり、折り染めをしたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。	○それぞれの技法の特徴をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○模様のいろいろな表し方に興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
のりのりおはながみ	6	○模様のいろいろな表し方に興味をもち、たのしく取り組もうとしている。 ○並べて、重ねて、好きな感じを見つけよう。 ○お花紙の手触りをたのしもう。	○作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じの心地よさや、重なったお花紙の形や色の面白さに気づいている。 ○お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○お花紙を並べたり重ねたりしたときの色や形、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○お花紙の触り心地を味わいながら、飾りをつくる活動にたのしく取り組もうとしている。
えのぐをたらしたかたちから	4	○形や色を工夫しよう。 ○絵の具の模様からお話を考えよう。 ○絵を描くことをたのしもう。	○絵の具をたらすことを通して、そこから偶然に生まれる線の形や色の面白さに気づいている。 ○絵の具の色を選んだり、たらす向きや、重なりをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫している。	○偶然にできた絵の具の形や色をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○たらしでできる絵の具の模様から絵に表すことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

えのぐひっぱレインボー	2	○絵の具ののばし方を工夫しよう。 ○絵の具の形から表したいことを考えよう。 ○絵の具をのばして、描くことをたのしもう。	○友達と作品を見せ合うことを通して、互いの描いた「虹」の形や色、その生かし方の違いに気づいている。 ○絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、工夫して表している。	○厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○絵の具を厚紙でのばす快さを味わいながら、たのしく取り組みもうとしている。
しぜんからのおくりもので	2	○材料の並べ方を工夫しよう。 ○材料の形や色からどんなことができるか考えよう。 ○自然の材料でたのしく活動しよう。	○自然の材料を集め、並べたりつないだりすることを通して、材料の形や色、触った感じの面白さに気づいている。 ○自然の材料を並べたりつないだりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○自然の材料の形や色に関心をもち、思いついた活動にたのしく取り組みもうとしている。
どうぶつさんといっしょに	4	○描きたい場面になるように形や色を工夫しよう。 ○描きたい場面を考えよう。 ○動物と自分を描くことをたのしもう。	○動物と関わった場面を描くことを通して、動物やまわりの様子の形や色のよさに気づいている。 ○表してみたい場面になるように、形や色、描き方を工夫して	○動物を見たり、動物と遊んだりしたときの気持ちをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○動物を見たり、動物と遊んだりしたときのことを思い出しながら、たのしく活動に取り組みもうとしている。
すけるんたんじょう	2	○切った形のひねり方や、つなぎ方を工夫しよう。 ○丸めたりひねったりして、つくりたいものを考えよう。 ○「すけるん」をたのしくつくろう。	○透明ファイルを操作することを通して、透明な材料が重なったり組み合わせたりしたときにできる色や影、形の面白さに気づいている。 ○透明ファイルの切り方やひねり方、組み合わせ方などをいろいろ試すなど、工夫して表して	○透明ファイルを切ったりひねったりしてできた形をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	○透明な材料に興味をもち、自分らしい「すけるん」を表す活動にたのしく取り組みもうとしている。
へんしんしょう	2	○身近にあるものの形や色を知ろう。 ○身近にあるものをどのように使うか、考えよう。 ○身近なものを使って、何かになることをたのしもう。	○身近なものを変身させる活動を通して、それぞれの形や色、触った感じの特徴や違いに気づいている。	○身近なものの形や色、触った感じなどの特徴や面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○身近なものの形や色などを再度違った角度から見直しながら、変身させる活動にたのしく取り組みもうとしている。

令和2年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立新田小学校

あなのむこうはふしぎなせかい	2	○穴を生かした絵の描き方を工夫しよう。 ○穴でつながる二つの世界を考えよう。 ○友達と作品を見せ合ってたのしもう。	○穴でつながる二つの世界を描くことを通して、穴の形の生かし方や、まわりの様子の形や色のよさに気づいている。 ○好きな色を選んだり、気に入った形になるようにいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。	○「あな」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○穴でつながる二つの世界を描くことに関心をもち、想像を広げながらたのしく取り組もうとしている。
めざせ！カッターナイフ名人	2	○カッターナイフの使い方に慣れよう。 ○切ってできた形から、つくりたいものを考えよう。 ○紙を切るたのしさを味わおう。	○カッターナイフで切ることを通して、カッターナイフが生む鋭い形の面白さやよさに気づいている。 ○安全で正しいカッターナイフの扱いに慣れ、いろいろな線の	○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。
まどのあるたてもの	4	○建物の形や窓の開け方を工夫しよう。 ○窓の形やつくりたい建物を考えよう。 ○友達と作品を見せ合ってたのしもう。	○カッターナイフで窓を切った建物をつくることを通して、建物や窓の形の面白さに気づいている。 ○カッターナイフの扱いに慣れ、表したいことをもとに建物	○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組もうとしている。
いっばいうつして	4	○繰り返しや重なりなど写し方を工夫しよう。 ○写し方を試しながら、表したいことを考えよう。 ○型紙版画で写すことをたのしもう。	○版を並べたり重ねたりして写すことを通して、写るものの形や色の美しさや面白さに気づいている。 ○版の並べ方や重ね方、写す位置をいろいろと試すなど、工夫して表している。	○ローラー遊びや型紙版画の表現から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○ローラー遊びや型紙版画の表現から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。
かぶってへんしん	6	○形や色、紙の貼り方を工夫しよう。 ○つくりたいお面を考えよう。 ○お面をつくったり、かぶったりしてたのしもう。	○お面をつくり、遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや機能性などに気づいている。 ○土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをいろいろと試すなど、工夫して表している。	○自分が変身してみたい姿をもとにつくりたいお面を思いつき、どのように表すかを考えている。	○お面をつくって変身することに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	図画工作	学年	第3学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具と水のハーモニー	8	○筆の使い方や水の量を工夫しよう。 ○絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。 ○絵の具で描くことをたのしもう。	○筆の動かし方や水の量を変えるなどすることを通して、あらわれる形や色などの感じを理解している。 ○水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。	○絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて、表したい感じを考えている。	○水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことを楽しもうとしている。
ふわふわ空気の積み木	2	○積み方やつなぎ方を工夫しよう。 ○袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。 ○空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。	○膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっていく。 ○膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりして、どのように活動するか考えている。	○膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。
ねん土ランドへようこそ	2	○粘土でできることを生かして表し方を工夫しよう。 ○つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えよう。 ○友達と協力して、つくることをたのしもう。	○粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形などの感じがわかっていく。 ○握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土でできそうなこと、やってみたいことなどを工夫している。	○粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。	○友達と協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

ふくろの中には、何が…	4	○いろいろな材料の使い方を工夫しよう。 ○袋の中に広がる世界を考えよう。 ○いろいろな材料でつくことをたのしもう。	○いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じがわかっていいる。 ○いろいろな材料の使い方を、想像した世界に合わせて工夫している。	○自分のイメージをもち、袋の中に表したい世界を思いつき、材料や袋の形を生かしながら表すことを考えている。	○いろいろな材料で袋の中の世界をつくることをたのしもうとしている。
ふしぎな乗り物	4	○形や色などの描き方を工夫しよう。 ○不思議な乗り物やお話を考えよう。 ○不思議な乗り物を描くことをたのしもう。	○どのようなものが乗り物になったらたのしいかを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかっていいる。 ○不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫している。	○身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。	○想像を膨らませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。
にじんで広がる色の世界	4	○にじみでできる形や色の組み合わせを工夫しよう。 ○にじみでできた形や色からお話を考えよう。 ○にじみで表すことをたのしもう。	○クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっていいる。 ○にじみでできる形や色をつくり、それらの組み合わせを工夫して表している。	○にじみでできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。	○にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。
つかってたのしいカラフルねん土	4	○たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。 ○カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。 ○カラフル粘土でつくことをたのしもう。	○カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっていいる。 ○これまでの経験を生かし紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ってたのしいものを工夫して表している。	○カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。	○カラフル粘土でつくことをたのしもうとしている。
光サンドイッチ	4	○光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。 ○光を通した材料からつくりたい飾りを考えよう。 ○光を通した美しさをたのしもう。	○光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときに材料の形や色などの感じがわかっていいる。 ○光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。	○光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すかについて考えている。	○光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

あみあみ大さくせん	2	○網の使い方を工夫しよう。 ○網をいろいろな場所に引っかけて、たのしい活動を考えよう。 ○網を使って、友達と協力して活動しよう。	○網に触れたり、場所に関わったりしながら、材料やまわりの環境の形や色の感じがわかっていいる。 ○網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	○大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、場所なども生かしながら、活動を思いついたり、変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。	○場所を見つけ、網を使った活動を友達と協力しながら、たのしもうとしている。
でこぼこさん大集合	4	○版のつくり方や写し方を工夫しよう。 ○「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。 ○版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	○凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかっていいる。 ○いろいろな材料を組み合わせ、版をつくったり、刷り色の組み合わせや写し方を工夫したりしている。	○いろいろな材料を組み合わせ、版をつくったり、刷り色の組み合わせや写し方を工夫したりしている。	○いろいろな材料を組み合わせ、版をつくったり、写したりすることをたのしもうとしている。
集めて、ならべてマイコレクシ	2	○材料の形や色の特徴を知ろう。 ○互いのコレクションのよさを見つけよう。 ○身近な材料を集めたり、並べたりすることをたのしもう。	○自然のものを集めて、実際に触れながら、形や色の特徴やその感じがわかっていいる。 ○形や色、手触りなどから、自分なりのいろいろな仲間分けを思いついている。	○コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさを見つけようとしている。	○形や色、手触りなど自分の気に入った感じの自然の材料を集めたり、箱に並べたりすることをたのしもうとしている。
トントンくぎ打ち、コンコンビー玉	4	○釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。 ○ビー玉が転がるたのしいコースを考えよう。 ○みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぼう。	○金づちを使って釘を打ったり、材料をつけたりしながら、形や色の感じがわかっていいる。 ○釘や金づちの扱いに慣れ親しみながら、材料のつけ方を工夫してコースをつくっている。	○釘打ちのできる、ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えている。	○友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

未来にタイムスリップ	4	○場面に合った表し方を工夫しよう。 ○夢をかなえた場面を考えよう。 ○自分の夢を表すことをたのしもう。	○夢をかなえた瞬間を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかってる。 ○描画材料を使った経験などを生かしながら、夢をかなえた瞬間の場面に合った表し方を工夫している。	○将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。	○自分の夢を絵に表すことをたのしもうとしている。
さわってわくわく	2	○材料の組み合わせ方を工夫しよう。 ○触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。 ○材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。	○材料を触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じをとらえている。 ○材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせ方を変えたりなどの工夫をして表している。	○触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。	○材料の触り心地のよさや違いをたのしもうとしている。
生まれかわったなかまたち	4	○材料の形や色の組み合わせを工夫しよう。 ○材料からつくりたいなかまを考えよう。 ○材料を変身させることをたのしもう。	○材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかってる。 ○材料の変化を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫を	○靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなかまを考えている。	○靴下や手袋などの材料の形を変えていくことをたのしもうとしている。
のこぎりひいてザク、ザク、ザク	4	○のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。 ○木切れから、つくりたいものを考えよう。 ○のこぎりで木を切ることをたのしもう。	○のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかってる。 ○のこぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのこぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫して	○切ってできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせで表すかを考えている。	○木の感触に親しみながら、のこぎりを使って角材を切ることをたのしもうとしている。
線と線が集まって	2	○線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫しよう。 ○線がつくる形から、描きたいことを考えよう。 ○線から生まれる形をたのしもう。	○たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら、形や色などの感じがわかってる。 ○自分が感じた形や色の面白さなどから、線の組み合わせや色の塗り方を工夫している。	○線がつくる形や色などの感じから、自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、形の組み合わせや色の塗り方などを考えている。	○線の組み合わせで生まれる形を表すことをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

へん身だんボール	2	○段ボールの形や穴の開け方、つなげ方を工夫しよう。 ○段ボールでどんな変身をしたか考えよう。 ○つくった変身段ボールを身につけてたのしもう。	○段ボールに触れながら、形などの感じや加工の方法についてわかっている。 ○体全体を使って、段ボールの切り方や穴の開け方、つなげ方などを工夫している。	○段ボールの形の感じや特徴からイメージを広げ、思いついた自分が変身したいものをどのように表すかを考えている。	○段ボール箱でつくった変身するものを身につけてたのしもうとしている。
みんなでオン・ステージ！	4	○楽器の形や色、つくり方を工夫しよう。 ○どんな弦楽器にするか、考えよう。 ○友達と一緒につくったり、演奏したりすることをたのしもう。	○空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。 ○箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。	○輪ゴムのかけ方やネックの取り付け方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表すかを考えている。	○弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

教科	図画工作	学年	第4学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	2	○身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。 ○絵の具の新しい使い方を見つけよう。 ○思いがけない形や色をたのしもう。	○身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、作り出した形や色などの感じがわかっていく。 ○身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。	○思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけている。	○いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしている。
つけて、のばして、生まれる形	2	○いろいろな形の表し方を工夫しよう。 ○粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。 ○粘土の感触を味わいながら、つくすることをたのしもう。	○粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっていく。 ○握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。	粘土をつけたりのばしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいか考えている。	○粘土の感触を味わいながら、進んでつくすることをたのしもうとしている。
木々を見つめて	4	○色づくりや筆使いを工夫しよう。 ○木を見たり触ったりして、表したいことを考よう。 ○木を描くことをたのしもう。	○身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっていく。 ○絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。	○身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。	○身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。
つないで組んで、すてきな形	4	○紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫しよう。 ○使ったり飾ったりするものを考えよう。 ○作品を使ったり飾ったりしてたのしもう。	○紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかっていく。 ○紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。	○自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。	○紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾るものをつくることに主体的に取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

つながれ、広がれ！ だんボール	2	○段ボールの切り方やつなぎ方を工夫しよう。 ○段ボールでどんなことができるか考えよう。 ○友達と力を合わせて活動しよう。	○段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっていいる。 ○体全体を使って、切り方やつなぎ方を工夫し、段ボールの形を変えていく活動を工夫してつづけている。	○段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を変化させたりしながら、どのように活動するかを考えている。	○自分の思いを追求したり友達と協力したりしながら、主体的に活動をしようとしている。
かみわざ！ 小物入れ	4	○箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。 ○使ってたのしい小物入れを考えよう。 ○小物入れをたのしくつくろう。	○色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたらしながら、形や色などの感じがわかっていいる。 ○はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。	○自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにするかを考えていいる。	○小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。
へんてこ山の物語	6	○描く材料を選んだり、形や色などを工夫したりしよう。 ○へんてこ山の形から、お話を考えよう。 ○へんてこ山を描くことをたのしもう。	○「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっていいる。 ○描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を表している。	○「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えていいる。	○「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。
どろどろカッチン	4	○布の形や固め方を工夫しよう。 ○布が固まった形から、表したいことを考えよう。 ○液体粘土の感触を味わおう。	○布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっていいる。 ○布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫し	○固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えていいる。	○液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。
本から飛び出した物語	6	○形や色を組み合わせ、つくり方を工夫しよう。 ○物語の場面が伝わるように考えよう。 ○お気に入りの場面を伝え合うことをたのしもう。	○お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっていいる。 ○表したい場面に合わせて、形や色、身近な材料の使い方やつくり方などを工夫している。	○物語を読んだり聴いたりして、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や、登場人物の気持ちなどイメージしたことから、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいかについて考えていいる。	○お気に入りの場面を表し、伝え合うことをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

わくわくネイチャーランド	2	○場所に合った活動を工夫しよう。 ○自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。 ○友達と協力してたのしく活動しよう。	○活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色、場所の感じがわかっていいる。 ○見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然材料の形や色などの感じを生かして活動を工夫してつくっている。	○自然の場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、活動を思いついたり、変化させたりしながらどのように活動するかを考えている。	○身近な場所や自然材料に関心をもち、自分の思いを追求したり、友達と協力したりして、たのしく活動しようとしている。
飛び出すハッピーカード	4	○飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 ○贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。 ○カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	○飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっていいる。 ○飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。	○贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。	○つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。
何にかこうかな	2	○材料に合った描き方を工夫しよう。 ○材料の特徴から描きたいことを考えよう。 ○画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもう。	○画用紙以外のものに描くことを通して、材料の特徴や感じがわかっていいる。 ○材料に合った描画材料を使い、表したいことの描き方を工夫している。	○材料の特徴をもとに、自分のイメージを広げて表したいことを見つけ、どのように描くか考えている。	○画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもうとしている。
キラキラワールド	2	○材料を生かした組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料の特徴から表したいことを考えよう。 ○キラキラ紙を使って、絵にすることをたのしもう。	○キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっていいる。 ○キラキラ光る材料の形や色、触感などを生かして、組み合わせや重なりなどを工夫している。	○キラキラ光る材料の特徴からイメージを広げ、表したいことを考えている。	○キラキラ光る材料を使って絵に表すことをたのしもうとしている。
絵から聞こえる音	2	○感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫しよう。 ○感じた音から、形や色で表すことを考えよう。 ○互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。	○自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっていいる。 ○感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫している。	○自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。	○互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのしんだりしようとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

つくって、つかって、たのしんで	4	○板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。 ○使ってたのしいものを考えよう。 ○作品をつくってたのしもう。	○のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色やその組み合わせの感じがわかっていく。 ○のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	○板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見直しをもって考えている。	○つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。
ほって表す不思議な花	6	○彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫しよう。 ○表したい花を考えよう。 ○彫って刷ることをたのしもう。	○彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	○彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。	○版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。
ゆめいろらんぷ	4	○ランプの材料や色の組み合わせを工夫しよう。 ○光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。 ○ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。	○光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっていく。 ○用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。	○映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。	○材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	図画工作	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節を感じて	4	○季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫しよう。 ○季節から受けたイメージを大切に、表し方を考えよう。 ○季節の感じを味わい、たのしく描こう。	○外に出て季節を見たり感じたりすることから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。 ○季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫して表している。	○季節から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。	○季節の感じを味わい、主体的に絵に表そうとしている。
みんなでたのしく、「はい、ポーズ」	2	○ねじったりひねったりして、動きのあるポーズを工夫しよう。 ○動きをとらえ、表したいポーズを考えよう。 ○粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	○ねじったりひねったりすることから、立体の動きやバランスを理解している。 ○粘土をねじったり塊からひねり出したりするなどして、動きのある表し方を工夫している。	○動きやバランスなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもちながら、表したいポーズを考えている。	○粘土の手触りを味わい、主体的に動きを表そうとしている。
形を集めて	2	○形の集め方や並べ方を工夫しよう。 ○どんな形を集めて、何を表すか考えよう。 ○形を集めて表すことをたのしもう。	○集めたり並べたりすることから、形や色の動き、バランスなどを理解している。 ○身近にあるものの形を生かし、形の集め方や並べ方を工夫している。	○形や色の動きやバランスをもとに、どんな形を集めて、何を表すか考えている。	○形が集まる面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。
糸のこの寄り道散歩	6	○板の切り方や組み合わせ方を工夫しよう。 ○曲線切りをした板の形から表したいものを考えよう。 ○電動糸のこぎりで板を切ることをたのしもう。	○板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。 ○電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	○切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている	○電動糸のこぎりで板を自由に切ることのたのしさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

同じもの、たくさん	2	○場所と材料の組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。 ○力を合わせてたのしく活動しよう。	○場所と材料を組み合わせることを通して、形や色、動きや奥行きを理解している。 ○身近にあるものを材料として活用し、場所との組み合わせ方を工夫している。	○材料や場所の特徴や組み合わせから発想し、自分のイメージをもちながら活動したいことを考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。
動きの不思議	2	○人の形を大きくとらえ、動きの表し方を工夫しよう。 ○動きをどのように生かすか考えよう。 ○いろいろな表し方で、たくさん描いてたのしもう。	○自分の体を動かしたり描いたりすることから、人体の形や動きを理解している。 ○人の形を大きくとらえ、体の動きの表し方を工夫している。	○人の形を大きくとらえ、体の動きの表し方を工夫している。	○たくさん描くことをたのしみながら、主体的にいろいろな表し方をしようとしている。
わたしのおすすめ	4	○伝えたい気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。 ○地域のものやことなど、表したいことを考えよう。 ○地域のよさを伝えることをたのしもう。	○地域にあるすてきなものやことに着目し、描くことを通して、その造形的な特徴を理解している。 ○伝えたい気持ちが伝わるように、材料や表し方を工夫している。	○伝えたいことや表したいことから発想し、どのように表すか考えている	○地域のよさを伝えることに主体的に取り組もうとしている。
見つけて！ ワイヤードリーム	6	○針金を曲げたりつなげたりして、つくり方を工夫しよう。 ○針金で表したい世界を考えよう。 ○針金でつくることをたのしもう。	○針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。 ○針金の特性を生かし、金づちやきりなどの用具を活用しながら表し方を工夫している。	○針金を曲げたりつないだりすることから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。	○針金に主体的に手を加えながら、つくることのたのしさを味わおうとしている。
あったらいい町、どんな町	4	○形や色の組み合わせを工夫しよう。 ○想像を膨らませて表したい町を考えよう。 ○表したい町を描くことをたのしもう。	○絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。 ○想像したことに合わせて、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら形や色の組み合わせを工夫している。	○あったらいいなという町の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。	○想像を広げて描くことの喜びを味わい、自分のイメージを積極的に表そうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

地球は大きなキャンバスだ	2	○自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。 ○力を合わせてたのしく活動しよう。	○自然の材料と場所との組み合わせから、奥行きや色の鮮やかさを理解している。 ○これまでの経験を生かして、身近にある自然の材料や場所に進んで働きかけることから、材料と場所の組み合わせを工夫している。	○材料を集めたり場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考え合わせながら活動したいことを考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。
比べてみよう	2	○作品のよさや違いを見つけよう。 ○作品の似ているところや違っているところを考えよう。 ○互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	○作品のよさや違いを見つけるところから、形や色、描き方など造形的な特徴を理解している。	○作品を比べて似ているところや違うところから、表現の意図や特徴などを感じ取っている。	○気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。
進め！ ローラー大ぼうけん	2	○ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 ○ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考えよう。 ○ローラーを使ってたのしく活動しよう。	○ローラーを使った表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさなどを理解している。 ○ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫している。	○ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考えている。	○ローラーを使って表すことのたのしさを味わい、自分なりの表し方に取り組もうとしている。
色を重ねて広がる形	6	○彫る形や刷る色などを工夫しよう。 ○彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えよう。 ○彫り進み版画をたのしもう。	○版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。 ○版による表現の特徴を生かして、彫る形や刷る色などを工夫している。	○彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、表したいことを考えている。	○彫り進みによる表現の面白さを味わい、主体的に版で表す活動に取り組もうとしている。
Myキャラが動き出す	6	○キャラクターの動かし方を工夫しよう。 ○キャラクターを使ったお話を考えよう。 ○友達と協力してつくることをたのしもう。	○オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。 ○お話をもとにキャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫している。	○キャラクターからお話を想像し、動かし方をどのように表すか考えている。	○互いのアイデアを出し合いながら、協力してつくろうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	図画工作	学年	第6学年

題材名	時数	題材の到達目標(小単元のねらい)	題材のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしのお気に入りの場所	4	○気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。 ○お気に入りの場所から表したいことを考えよう。 ○お気に入りの場所をたのしく描こう。	○これまでの生活の中で感じ取ってきたことから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。 ○気持ちが伝わるように色使いや筆使いを工夫して表している。	○お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを大切にして、どのように主題を表すか考えている。	○お気に入りの場所を描くたのしさを味わい、主体的に絵に表そうとしている。
今の気持ちを形に	2	○粘土の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 ○今の自分の気持ちを表す形を考えよう。 ○粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	○粘土を回していろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。 ○粘土の特徴を生かして、今の気持ちが表れるように表し方を工夫している。	○今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方向から見ながらどのように表すか考えている。	○粘土の手触りを味わい、主体的に自分の気持ちを表そうとしている。
いろどり、いろいろ	2	○材料や用具の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 ○材料や用具から表すことを考えよう。 ○形や色の面白さをたのしもう。	○いろいろな表し方を試すことから、形や色の動きやバランスなどを理解している。 ○材料や用具の特徴を生かし、絵の具や筆ではできない表し方を工夫している。	○材料や用具の特徴をもとに、表し方をいろいろ試すことから表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。	○形や色の面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。
木と金属でチャレンジ	6	○材料の特徴を生かしたつくり方を工夫しよう。 ○木と金属を組み合わせて表したいものを考えよう。 ○作品を飾ってたのしもう。	○異なる材料の組み合わせから生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。 ○材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫している。	○異なる材料の組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。	○異なる材料の組み合わせによる面白さや美しさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。
入り口の向こうには…	2	○材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料や場所の特徴を生かしてできることを考えよう。 ○力を合わせてたのしく活動しよう。	○見慣れた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。 ○身近にあるものを材料として活用し、場所との組み合わせ方を工夫している。	○材料や場所の特徴を生かした組み合わせから発想し、「入り口」という言葉からイメージを広げながら活動したいことを考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的に学習に取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

ゆらゆら、どきどき	4	○バランスや動き方を工夫しよう。 ○動きから表したいものを考えよう。 ○動きのあるおもちゃづくりをたのしもう。	○針金を曲げたり揺れを指先で感じたりすることから、動きやバランスを理解している。 ○針金の特性を生かし、揺れる仕組みをもとに表し方を工夫している。	○針金を曲げたり組み合わせたりすることから生まれる動きから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。	○いろいろな動き方を味わい、主体的におもちゃづくりに取り組もうとしている。
カット、ペタッと、すてきな形	4	○紙の切り方や重ね方を工夫しよう。 ○切った紙の形や色から何を表すか考えよう。 ○切ったり重ねたりして、いろいろな表し方をたのしもう。	○色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさなどを理解している。 ○これまでの経験を生かしてはさみやカッターナイフなどを活用し、紙の切り方や重ね方を工夫している。	○切ってできた紙の形や色、その組み合わせから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。	○重ねた感じを味わいながら、主体的にいろいろな表し方に取り組もうとしている。
きらめき劇場	4	○光と材料の組み合わせ方を工夫しよう。 ○光の効果を試しながら、表したいものを考えよう。 ○友達と協力して表すことをたのしもう。	○LEDライトとさまざまな材料の組み合わせから、色の鮮やかさや奥行きを理解している。 ○ライトや材料の特徴を生かしながら、その組み合わせ方を工夫している。	○光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、表現の可能性を見つけていこうとしている。
時空をこえて	6	○表したいことが伝わるように、描き方を工夫しよう。 ○行きたい場所や時間から表したいことを考えよう。 ○友達や自分の表現を味わい、たのしもう。	○絵の具やクレヨンなどを使って想像した場所を描くことによって、バランスや奥行きを理解している。 ○表したいことが伝わるように、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら表し方を工夫している。	○行きたい時代や場所の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。	○想像を広げて描くことをたのしんだり、友達や自分の表現のよさを味わったりする活動に主体的に取り組もうとしている。
学校へようこそ	2	○これまでに使った材料で、つくり方を工夫しよう。 ○学校の場所を生かして、来る人をたのしませるアイデアを考えよう。 ○学校の場所を生かして、来る人をたのしませるアイデアを考えよう。	○これまで使った材料と場所を組み合わせることで活動することを通して、造形的な奥行きや色の鮮やかさを理解している。 ○これまでの経験を生かし、材料や場所に働きかけることから表し方を工夫している。	○場所の形や特徴をもとに、来る人をどのようにたのしませるか考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかける活動に主体的に取り組もうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

[illegible]

教科	家庭	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		○4年生までの学習や生活をふり返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心を持ち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって2年間の学習に取り組もうとする意欲を持つ。	○家庭科の目標や内容並びに生活を見つめる見方・考え方や学び方について理解している。また、自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。		○家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
1. 私の生活、大発見	3	○家庭の仕事について、家族との協力などの視点から、課題をもち、基礎的・基本的な知識を身に付けるとともに、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。	○家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。	○家庭の仕事について課題を見つけ、その解決を目指し、知識を活用して家族との協力などの視点から、家庭の仕事の計画を考え、工夫している。	○家族との協力などの視点から、家庭仕事をよりよく理解し、工夫しようとしている。
2. おいしい楽しい調理の力	6	○ゆでる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	○ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	○おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

3. ひと針に心をこめて	9	○生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、「健康・快適・安全」の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	○製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	○生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
4. 持続可能な暮らしへ 物や お金の使い方	6	○物や金銭の使い方と買い物について、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。	○物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	○物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
5. 食べて元気！ご飯とみそ汁	10	○食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	○食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。	○食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
6. 物を生かして住みやすく	7	○気持ちのよい住まい方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切にしたい物の使い方などを考え、工夫することができる。	○住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。	○住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

7. 気持ちがつながる 家族の時間	2	○家族との関わりについて、家族の「協力」などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。	○家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。	○家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
8. ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活	11	○生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	○製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	○生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
5年生のまとめ	1	○5年生の学習でできるようになったことをふり返って、家庭や地域に生かそう。			○これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家庭の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。

教科	家庭	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9. 見つめてみよう 生活時間	2	○生活時間について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。	○生活時間の有効な使い方について理解している。	○家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
10. 朝食から健康な1日の生活を	10	○朝食の役割と栄養、いためる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。	○食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。	○食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
11. 夏をすずしくさわやかに	8	○夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、夏をすずしく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。	○住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。	○季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立新田小学校

12. 思いを形にして 生活を豊かに	14	○生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。	○製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解していると、適切にできる。	○生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
13. まかせてね 今日の食事	10	○栄養を考えた食事について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。	○1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解していると、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	○1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
14. 冬を明るく暖かく	5	○冬の快適な住まい方や衣服の着方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。	○住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。	○季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
15. あなたは家庭や地域の宝物	2	○家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。	○家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。	○家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

2年間のまとめ	1	○2年間の学習でできるようになったことをふり返って、家庭や地域に生かそう。			○これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	5	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	・体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒にを行うと楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を考えて選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・体を動かすと気持ちがいよことや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に伝えている。	・体ほぐしの運動遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
・体の動きを高める運動	16	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力を試したりしたいろいろな動きをして、その動きを工夫する。	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動遊び 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けている。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒にを行うと楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を考えて選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ・用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

			(イ)体を移動する運動遊び 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでのかけ足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動遊び 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動遊び 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。		

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械・器具を使っの運動遊び ・固定施設遊び	4	・ジャングルジム, 登り棒, 肋木の遊び方を知って, いろいろな遊びを試してみる。	・固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ジャングルジムを使った運動遊び ・登り下り, 渡り歩き, ぶら下がりをすることができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや足抜き回りなどを行うことができる。 ○肋木を使った運動遊び ・登り下りや横移動, 壁登り逆立ちなどを行うことができる。	・それぞれの固定施設を使って, 楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え, 選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり, 学習カードに書いたりしている。	・固定施設遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り, 誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを, 友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに, 危ないものが無いか, 近くに人がいないか, 器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械・器具を使っの運動遊び ・マット遊び	4	・マットを使っていろいろな遊びをする。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご，前転がり，だるま転がり，丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり，いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○うさぎ跳び，かえるの足打ち，壁登り逆立ち，支持での川跳びなど。 ・手や背中で体を支えていろいろな姿勢で逆立ちしたり，移動したりすることができる。	・複数のコースでいろいろな方向に転がることのできるような場を選んだり，動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりしている。	・マット遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなどに，危ないものが無いか，近くに人がいないか，器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

器械・器具を使っの運動遊び ・鉄棒遊び	4	・鉄棒の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、さる、だんごむし、ぶら下がりなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ○跳び上がり、後ろ跳び下り ・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がり前後に足抜き回りをしたりすることができる。	・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・鉄棒遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

器械・器具を使っの運動遊び ・跳び箱遊び	5	・いろいろな跳び方で跳んだり、 跳び方を工夫したりして楽し む。 ・跳び箱を使った運動遊びの行 い方がわかる。 ○踏み越し跳び ・片足で踏み切って跳び箱に跳 び乗ったり、ジャンプをして跳び 下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下 り、支持で跳び乗り・跳び下り ・数歩の助走から両足で踏み 切り、跳び箱に両手を着いてま たぎ乗ったり、またいだ姿勢で 手を支点に体重を移動させて またぎ下りたりすることができ る。 ・数歩の助走から両足で踏み 切り、跳び箱に両手を着いて両 足で跳び乗ったり、ジャンプをし て跳び下りたりすることができ る。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すこ とができる。	・跳び乗った後、手を叩いたり、 回ったりなど自分の力に合った 着地の仕方を考え、選んでい る。 ・友達のよい跳び方を擬態語や 擬音語で表現したり、学習カー ドに書いたりしている。	・跳び箱遊びに進んで取り組ん でいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも 仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付け を、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、 危ないものが無いか、近くに人 がいないか、マットや跳び箱な どの器械・器具が安全に置か れているかなどの場の安全に 気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

走・跳の運動遊び ・かけっこ	6	・いろいろなくねくねコースを作って走ったり、友達の作ったコースを走ったりする。	・くねくねコースを走るかけっこの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・直線や曲線、ジグザグなどいろいろなくねくね走のコースを工夫して作っている。 ・くねくね走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・かけっこに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動遊び ・ハードルリレー	5	・いろいろなコースを作って走って跳び越したり、リレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた低い障害物を走り越えることができる。 ・相手の手の平にタッチをして走ることができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。	・ハードルリレーのコースを工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動遊び ・幅跳び遊び	5	・いろいろな川を作って跳んだり、跳び比べをしたりする。	・幅跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足跳びや両足跳びでしっかり地面を蹴っているいろいろな川を連続して前方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って前方に跳ぶことができる。	・幅跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・幅跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・幅跳び遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの跳ぶ場所の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水遊び	10	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。	【水の中を移動する運動遊び】 ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・胸まで水につかって大きく息を吸ったり吐いたりすることができる。 ・水を手ですくって体のいろいろな部分にかけたり、いろいろな方向に飛ばしたり、友達と水をかけ合ったりすることができる。 ・カニ、ウサギ、ワニなど動物のまねをしながら歩いたり、腰や膝を伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりすることができる。 ・水につかっの電車ごっこや鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 【もぐる・浮く運動遊び】 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めたり吐いたりしながらじゃんけんやにらめっこ、宝探しなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っていろいろな姿勢でもぐることができる。 ・壁や補助具につかまったり、友達に支えてもらったりしているいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。 ・息を吸って止め、全身の力を抜いていろいろな姿勢で浮くことができる。	・自分の力に合った水の中のできる動物の動きを選んだり、友達が選んだ動物の動きを取り入れたりしている。 ・試した動物の動きや、友達が行った動物のよい動きを伝えている。 ・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・水遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体(爪、耳、鼻、頭髪等)を清潔にしている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・いろいろな鬼遊び	5	・逃げ方や捕まえ方を工夫して、いろいろな鬼遊びをする。	・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタッチされないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をおかわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をおかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク(タグなど)を取ったりすることができる。	・楽しく鬼遊びをするための遊び方や規則の中から、自分の力に合った遊び方や規則を選んでいる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をおかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・鬼遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ボール投げゲーム(的当てゲーム)	8	・ボールの投げ方や、的の狙い方を工夫して、ボール投げゲームをする。	・的に当てるボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げ、的に当てたり得点したりすることができる。 ・ボールを手で捕ったり、手や足ではじいたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・的に当てるためのボールの投げ方や攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えて	・ボール投げゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ボール投げゲーム(ながれぼしゲーム)	5	・投げ方や攻め方を工夫してながれぼしゲームをする。	・ながれぼしゲームの行い方がわかる。 ・ポリ袋に入れたボールを相手コート ^① のねらったところに投げて、得点することができる。 ・相手コートにボールを投げ入れたり、捕ったりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくながれぼしゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・相手コートにボールを落とすための攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを投げたり捕ったりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ながれぼしゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ボール蹴りゲーム(的当てゲーム)	6	・蹴り方や攻め方を工夫して、的当てゲームをする。	・的に当てるボール蹴りゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って、的に当てたり得点したりすることができる。 ・ボールを手や足で止めたりはじいたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール蹴りゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・的に当てるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っていて考える。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール蹴りゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ボール運び鬼	6	・走り方や攻め方を工夫して、ボール運び鬼をする。	・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタグを取られないように、空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身かわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	・楽しくボール運び鬼ができるための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール運び鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現リズム遊び 表現遊び・大好き！動物ランド	3	・いろいろな動物になりきって全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな動物の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！○○だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。	・いろいろな動物の特徴的な様子を捉え、表現したい動物の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現リズム遊び 表現遊び・いろいろなものに変身！	4	・いろいろなものに変身して全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな変身対象の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に急変する場面を入れて、簡単な話にして続けて踊ることができる。	・動きで表せる変身対象の特徴的な様子を捉え、表現したい対象の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

教科	体育	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現リズム遊び ・リズム遊び	4	・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。	・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ(体幹部)でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。 ・ジェンカは、軽やかに体を弾ませながら踊ることができる。	・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・リズム遊びに進んで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
体づくり運動 ・体ほぐしの運動遊び	5	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	・体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。
・多様な動きをつくる運動遊び	16	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力試しをしたりする、いろいろな動きを楽しむ。 ・動きを考えたり友達の考えた動きに挑戦したりする。	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動遊び 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。

			(イ)体を移動する運動遊び 姿勢, 速さ, リズム, 方向などを 変えて, 這う, 歩く, 走る, 跳ぶ, はねるなどの動きで構成される 運動遊びや一定の速さでのかけ足 などの運動遊びを通して, 様々な 行い方で体を移動する動きを身に 付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動遊び 用具をつかむ, 持つ, 降ろす, 回す, 転がす, くぐる, 運ぶ, 投げる, 捕る, 跳ぶ, 用具に乗るなどの動きで構成 される運動遊びを通して, 用具を操 作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動遊び 人を押す, 引く, 運ぶ, 支えるなど したり, 力比べをしたりするなどの 動きで構成される運動遊びを通し て, 力を出しきったり, 力を入れたり 緩めたりする力試しの動きを身に 付けることができる。
教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械・器具を使っの運動遊び ・固定施設遊び	4	・固定施設のいろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ジャングルジムを使った運動遊び ・登り下り、渡り歩き、逆さの姿勢などを行うことができる。 ○雲梯を使った運動遊び ・懸垂移行や渡り歩きなどを行うことができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや逆さの姿勢などを行うことができる。 ○平均台を使った運動遊び ・渡り歩きや跳び下りなどを行うことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械・器具を使つての運動遊び ・マット遊び	4	・マットを使っていろいろな遊びをする。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、後ろ転がり、丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○背支持倒立(首倒立)、うさぎ跳び、かえるの足打ち、かえるの逆立ち、壁登り逆立ち、支持での川跳び、ブリッジなど。 ・手や背中で体を支えていろいろな姿勢で逆立ちしたり、移動したり、体を反らしてブリッジをしたり、友達がつくったブリッジをくぐったりすることができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械・器具を使つての運動遊び ・鉄棒遊び	4	・いろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、こうもり、さるなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○跳び上がりや跳び下り ・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がって前後に足抜き回りをしたりすることができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

器械・器具を使つての運動遊び ・跳び箱遊び	5	・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。	・跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み越し跳び ・片足で踏み切つて跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り、支持で跳び乗り・跳び下り ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いて両足で跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
走・跳の運動遊び ・かけっこ・リレー	6	・いろいろなジグザグコースを作つて走ったり、友達と競走したりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・相手の手の平にタッチをしたりして走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

走・跳の運動遊び ・ハードルリレー	6	・いろいろなコースを作り、走って跳び越したり、自分や友達の作ったコースでリレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた高さの違う障害物を走り越えることができる。 ・リレーにおけるバトンの受け渡しをスムーズに行うことができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
走・跳の運動遊び ・高跳び遊び	5	・いろいろな場を選んで、いろいろな跳び方で高く跳ぶ。	・高跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足や両足で連続して上方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って上方に跳ぶことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
走・跳の運動遊び ・ボール投げ遊び	1	・いろいろな場でボールを投げ、友達とボール投げ競争をする。	・ボール投げ遊びの行い方がわかる。 ・体重移動を行い、ボールを遠くに投げることができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

水遊び	8	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。	【水の中を移動する運動遊び】 ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・水につかっのり遊び、鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 ・手で水をかいたり、足でプールの底を力強く蹴ったりジャンプをしたりしながら速く走ることができる。 【もぐる・浮く運動遊び】 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めたり吐いたりしながら、じゃんけんや輪くぐりなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っているいろいろな姿勢でもぐることができる。 ・壁や補助具につかまったり、友達に支えてもらったりしていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。 ・息を吸って止め、全身の力を抜いていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳び上がって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐるることができる。 ・膝を曲げたり伸ばしたりして、跳び上がる動きを繰り返すことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ・宝取り鬼	5	・走り方や攻め方を工夫して、宝取り鬼をする。	・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタグを取られないように、空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ・ボール投げゲーム	6	・ボールの投げ方や攻め方を工夫してボール投げゲームをする。	・ボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げたり、パスを出したり、得点したりすることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ・ボール運び鬼	6	・走り方や攻め方を工夫してボール運び鬼をする。	・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタグを取られないように、空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身かわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ・ボール蹴りゲーム(キックベースボール)	6	・ボールを蹴って得点を入れたり, ボールを取ってアウトにしたりして, キックベースボールをする。	・キックベースボールの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んだり, 転がったりしてくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ・ボール蹴りゲーム(ドーナツ・サッカー)	6	・蹴り方や攻め方を工夫して、ドーナツ・サッカーをする。	・ドーナツ・サッカーの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを止めることができる。 ・ボールが転がってくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現リズム遊び ・表現遊び・遊園地へゴー！	4	・好きな遊園地の乗り物になり きって、全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・遊園地のいろいろな乗り物の 様子を具体的な動きでいくつか 捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這 う、素早く走る、高・低の差や速 さに変化のある動きなどの全身 の動きで即興的に踊ることがで きる。 ・動きの中に「大変だ！○○ だ！」など、急変する場面を入 れて簡単な話にして続けて踊る ことができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現リズム遊び ・表現遊び・生き物ランドで変身！	4	・いろいろな生き物に変身して全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな生き物の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！○○だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。

教科	体育	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現リズム遊び ・リズム遊び	4	・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。	・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ(体幹部)でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。 ・タタロチカは、大きな掛け声をかけたり、友達の顔を見たりしながら元気に踊ることができる。

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・友達の感想や気付きを聞いた り、友達の動きを見たりして、で きそうな運動遊びや友達と一緒 に行うと楽しい運動遊びを考 え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中か ら操作しやすい物を考えて選ん だり、楽しく動くことができる場 をを考えて選んだりしている。 ・体を動かすと気持ちがいよ いことや汗が出ることなどの気付 いたことを言葉で表したり、気持 ちを表すカードなどを用いたり して、友達に伝えている。	・体ほぐしの運動遊びに進んで 取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも 仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付 けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつ からない十分な間隔があるか などの場の安全に気を付けて いる。
・友達の感想や気付きを聞いた り、友達の動きを見たりして、で きそうな運動遊びや友達と一緒 に行うと楽しい運動遊びを考 え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中か ら操作しやすい物を考えて選ん だり、楽しく動くことができる場 をを考えて選んだりしている。	・多様な動きをつくる運動遊び に進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも 仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付 けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつ からない十分な間隔があるか などの場の安全に気を付けて いる。

・友達の動きを見て見つけたよい動きや、行ってみて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ・用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。	

単元のまとめりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・固定施設遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・マット遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・鉄棒遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・跳び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考え、選んでいる。 ・友達のよい跳び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・跳び箱遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、マットや跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ジグザグ走のコースや折り返しリレーのコースを工夫して作っている。 ・ジグザグ走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ハードルリレーのコースをいろいろな用具を使い、置き方を工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・高跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・高跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・高跳び遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ボールを遠くに投げるための投げ方を工夫したり，練習の場を選んだりしている。 ・ボール投げ遊びの感想や投げ方のポイント，友達のよい投げ方を書いたり，発表したりして友達に伝えている。	・ボール投げ遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを，友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・ボールを投げる場所に危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・楽しくできるバブリングやボビングの遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 ・スムーズに歩いたり走ったりするために、方向や速さを変えるときの手や足の使い方を見付け、友達に伝えている。	・水遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（爪、耳、鼻、頭髮等）を清潔にしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・楽しく宝取り鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、宝を取るための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・宝取り鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいく。 ・得点につなげるためのパスの仕方やボールの投げ方、攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール投げゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・楽しくボール運び鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール運び鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・楽しくキックベースボールをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいく。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見付けて友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	・キックベースボールに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・楽しくドーナツ・サッカーをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	・ドーナツ・サッカーに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・遊園地のいろいろな乗り物の特徴的な様子を捉え、表現したい乗り物の様子を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・いろいろな生き物の特徴的な様子を捉え、表現したい生き物の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・リズム遊びに進んで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	5	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなと豊かに関わり合ったりすることができる。
体づくり運動 ・多様な動きをつくる運動	11	・体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。

			(イ)体を移動する運動 姿勢, 速さ, リズム, 方向などを変えて, 這う, 歩く, 走る, 跳ぶ, はねる, 登る, 下りるなどの動きで構成される運動や, 一定の速さでのかけ足などの運動を通して, 体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ, 持つ, 降ろす, 回す, 転がす, くぐる, 運ぶ, 投げる, 捕る, 跳ぶ, 用具に乗る, 跳び越すなどの動きで構成される運動を通して, 巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動 人や物を押す, 引く, 運ぶ, 支える, ぶら下がるなどの動きや, 力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り, 力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する, 用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり, 連続して行ったりする運動を通して, 基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。
教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・マット運動	6	・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転 ○後転 ○開脚後転 ○補助倒立ブリッジ ○側方倒立回転 ○壁倒立 ○壁登り倒立 ○頭倒立

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	知識・技能

器械運動 ・鉄棒運動	6	・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技ができる。 ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り ○かかえ込み前回り ○転向前下り ○膝掛け振り上がり ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり ○かかえ込み後ろ回り ○後方片膝掛け回転

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・跳び箱運動	8	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び（発展技：かかえ込み跳び） ○台上前転 ○首はね跳び

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	知識・技能

走・跳の運動 ・かけっこ・リレー	6	・いろいろなくねくねコースで競走したり、決まりを決めてリレーをしたりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・折り返すときにコーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

走・跳の運動 ・小型ハードル走	6	・小型ハードルをいろいろなリズムで走り越したり, 自分に合ったリズムで走り越したりして, 競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の间隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

走・跳の運動 ・走り幅跳び	6	・短い助走から強く踏み切って遠くに跳び、きまりを工夫して記録に挑戦したり、跳び比べをしたりする。	・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能
水泳運動		・いろいろな浮き方やもぐり方、	【浮いて進む運動】

	8	泳ぎ方をする。 ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎなど、頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・浮く運動】 ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股ぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。 ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて、背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ゴール型(タグラグビー)	7	・相手をかわしたり、パスをしたりしながら、攻め方を工夫してタグラグビーをする。	・タグラグビーの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをトライすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ・ベースボール型(ラケットベースボール)	6	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ラケットベースボールをする。	・ラケットベースボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げる事ができる。 ・向かってくるボールの正面に移動し、ボールを捕ることができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ネット型(フロアーボール)	6	・ボールをはじいたり打ったりしながら、攻め方を工夫して、フロアーボールをする。	・フロアーボールの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手もしくは両手を使ってはじいたり、打ちつけたりすることができる。 ・相手コートから転がってきたボールを片手もしくは両手を使って相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ゴール型(セストボール)	8	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫してセストボールをする。	・セストボールの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現運動 表現・忍者参上！	6	・忍者の忍びや、対決などの特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	・表現「忍者参上！」の行い方がわかる。 ・表現「忍者参上！」ならではのふさわしい動き(忍び込む、戦うなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「忍者参上！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶー転がる、素早く動くー急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、「追いつ・追われつ」や「戦い・対決」などの2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現運動 リズムダンス	6	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。	・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

保健 健康って、なに？	1	・心や体の調子がよい状態が健康だとい うこと、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解できるようにする。 ・健康でいるためには何が大切なのかを考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・健康の状態や健康のよさについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・健康の状態には、気持ちが意欲的であること、元気なこと、具合の悪いところがないことなどの心や体の調子がよい状態があることを理解している。 ・健康の状態には、1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因が関わっていることを理解している。 ・心や体が健康であることは、人と関わりながら明るく充実した毎日の生活を送れることにつながり、健康がかけがえのないものであると理解している。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 健康な一日の生活	1	・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活が続けることが大切であると理解できるようにする。 ・健康な生活に関わる課題を見つけ、その解決に向けて考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・自分の1日の生活を振り返り、健康増進のために進んで学習に取り組むことができるようにする。	・健康の保持増進には、1日の生活の仕方が深く関わっており、1日の生活のリズムに合わせて、運動、食事、休養及び睡眠をとることが必要であることを理解している。 ・日常生活に運動を取り入れることの大切さについて理解している。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

保健 体の清潔	1	・毎日を健康に過ごすには、体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解できるようにする。 ・学習したことや自分の生活を振り返り、体の清潔について考え、書いたり伝えたりする。 ・体や衣服などの清潔に関心をもち、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・健康の保持増進には、手や足などの清潔、ハンカチや衣服などの清潔を保つことが必要であると理解している。

教科	体育	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 身の回りの環境	1	・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。 ・部屋の明るさの調節や換気などの学習したことと、自分の生活とを比べたり関連付けたりして、生活環境を整えるための方法を考えることができるようにする。 ・自分の生活を見直すことを通して、生活環境を整えるために自分でできることに気づかせ、実践する意欲を持つことができるようにする。	・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えることが必要であると理解している。

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・工夫してロープを使ったりくねくねコースや、折り返しリレーなどのコースを作っている。 ・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合ったり決めたり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいく。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・いろいろな小型ハードル走のコースや、調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合ったり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り幅跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り幅跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分で立てためあてに挑戦	・水泳運動に進んで取り組んで

し、自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 ・自分で試したいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。	いる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくタグラグビーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・タグを取ったり、トライするために、簡単な作戦を話し合っ て決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたこ とを、動作や言葉、絵図などで 友達に伝えている。	・タグラグビーに進んで取り組 んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくし ている。 ・使用する用具などの準備や片 付けを、友達と一緒にしてい る。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し 合ったりして見付けた動きのよ さや課題を伝え合う際に、友達 の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて 場の危険物を取り除くなど、周 囲を見て場や用具の安全を確 かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくラケットベースボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・ラケットベースボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくフロアーボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・フロアーボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくセストボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・セストボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・表現「忍者参上！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「忍者参上！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	・表現「忍者参上！」に進んで取り組んでいる。 ・表現「忍者参上！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。	・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因から健康に関わる課題を見付けている。 ・こうしているから健康でいられるということを、自分の体と回りの環境に分けて考え、説明している。 ・健康な心身の状態や、健康のよさについて考え、説明している。 ・健康に過ごすために考えた方法を学習カードなどに書いたり、発表したりして伝え合っている。	・健康や、自分の1日の生活の仕方に関心を示し、規則正しい生活の仕方について、自分の日常生活と照らし合わせて注意を向けている。 ・自分が健康でいるために毎日の運動、運動、休養・睡眠に関心を示し、自分の毎日の生活をよりよくしようとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・運動, 食事, 休養・睡眠などの生活のリズムが崩れるとどうなるかを考え, 説明している。 ・運動, 食事, 休養及び睡眠について学習したことと, 自分の生活とを比べて, 自分の生活リズムを整えるための方法を考え, 伝え合っている。	・毎日の運動, 食事, 休養・睡眠に関心を示し, 生活の仕方に気をつけて自分に合った生活リズムを進んでつくろうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・手を洗う必要性について考え、発表したりして伝え合っている。 ・自分の生活を振り返り、手洗いするとよい場面について考え、伝え合っている。 ・ハンカチや衣服を毎日取り換える理由について考え、発表している。	・体や衣服を清潔にすることについて関心をもち、清潔に保とうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・暗い部屋でのものの見え方について考え、説明している。 ・窓を閉め切った室内にいと部屋の空気はどうなるかを考え、説明している。 ・部屋の明るさの調節や換気などの観点から、自分の生活で見直すべき課題を見付け、解決方法を伝えている。	・健康な生活に関心をもち、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えようとしている。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	7	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。
・多様な動きをつくる運動	10	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。

・多様な動きをつくる運動			(イ)体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを 変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。
教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・マット運動	8	・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転（発展技：開脚前転） ○易しい場での開脚前転 ○開脚後転（発展技：伸膝後転） ○補助倒立ブリッジ（発展技：倒立ブリッジ） ○側方倒立回転（発展技：ロンドアート） ○首はね起き（発展技：頭はね起き） ○頭倒立

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	
			知識・技能

器械運動 ・鉄棒運動	5	・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り(発展技:前方支持回転) ○かかえ込み前回り(発展技:前方支持回転) ○転向前下り(発展技:片足踏み越し下り) ○膝掛け振り上がり(発展技:膝掛け上がり) ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり(発展技:逆上がり) ○かかえ込み後ろ回り(発展技:後方支持回転) ○後方片膝掛け回転 ○両膝掛け倒立下り

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・跳び箱運動	7	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び（発展技：かかえ込み跳び） ○台上前転（発展技：伸膝台上前転） ○首はね跳び（発展技：頭はね跳び）

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	知識・技能

走・跳の運動 ・かけっこ・リレー	3	・いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

走・跳の運動 ・小型ハードル走	5	・いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の间隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

走・跳の運動 ・走り高跳び	5	・短い助走から強く踏み切って跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

走・跳の運動 ・ボール投げ	2	・いろいろな場でボールを投げて、ボールを遠くに投げる。	・ボール投げの行い方がわかる。 ・投げる手と反対の足を踏み出して体重移動をスムーズに行い、腕を大きく振ってボールを遠くまで投げることができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

水泳運動	8	・いろいろな浮き方やもぐり方, 簡単なクロールや平泳ぎをする。	【浮いて進む運動】 ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して, 伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き, 呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け, 手や足をゆっくりと動かし進むなど, 呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ, 簡単なクロールや平泳ぎなど, 頭の上方に腕を伸ばした姿勢で, 手や足をバランスよく動かし, 呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・浮く運動】 ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ, 股ぐり, 変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。 ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き, だるま浮き, 変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
ゲーム ・ゴール型(フラッグフットボール)	9	・作戦を基に攻め方を工夫して、フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ・ベースボール型(ティーボール)	7	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ティーボールをする。	・ティーボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げる事ができる。 ・向かってくるボールの正面に移動することができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ネット型(キャッチバレー)	8	・みんなで繋いで、落とすための工夫をして、キャッチバレーをする。	・キャッチバレーの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 ・相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ゴール型(グリッドサッカー)	7	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。	・グリッドサッカーの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現運動 表現・ジャングル探検に出発！	6	・ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	・表現「ジャングル探検に出発！」の行い方がわかる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」ならではのふさわしい動き(草むらや暗い洞窟を進む、折れそうな橋を渡るなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶー転がる、素早く動くー急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム リズムダンス	4	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。	・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 変化していく体	1	・体は、年齢とともに発育し、変化すること、発育には個人差があることを理解できるようにする。 ・体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 ・これまでとこれからの、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心をもち、肯定的に捉えることができるようにする。	・体は年齢とともに発育、変化することがわかる。 ・身長は毎年同じように伸びるのではないこと、どれぐらい伸びるか、どのように伸びるかは一人ひとり違うことがわかる。 ・体重の増え方も人によって違うことがわかる。 ・発育の仕方には個人差があることがわかる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 思春期の体の変化 ①体の外 にあらわれる変化	1	・思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。 ・思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。 ・思春期の体の変化に関心を持ち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。	・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることがわかる。 ・思春期には体つきが変わるほかに、変声、発毛が起こることがわかる。 ・体の変化が始まる時期や、変化の現れ方には個人差があること、これらは大人の体に近づく現象であることがわかる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 思春期の体の変化② 体の中にあらわれる変化	1	・思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。 ・新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・思春期には体つきが変わるほかに、初経・精通が起こることがわかる。 ・初経・精通が起こる時期は個人差があることがわかる。 ・初経・精通は、大人の体に近づき、新しい生命を生み出す準備が始まっていることがわかる。 ・思春期になると男女の性の違いに気づきやすくなり、異性のことが気になったり、好きになったりする思いが高まる一方で、反発し合うこともある。これらの心の変化は自然なことであること、変化のしかたは人によって違うことがわかる。

教科	体育	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 よりよい発育のために	1	・よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような所に気をつけたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。 ・よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。	・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることがわかる。 ・運動は、生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待されることがわかる。 ・食事については、特に、体をつくる基になるたん白質、不足しがちなカルシウム、不可欠なビタミンなどを摂取する必要があることがわかる。 ・十分な休養・睡眠をとることは、体と心の疲れをとるだけでなく、体の発育にも関係があることがわかる。

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り高跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに投げるための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ボール投げに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに投げるための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ボール投げに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・フラッグを取ったり、タッチダウンするための簡単な作戦を話し合ったり決めて、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・フラッグフットボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・ティーボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合っ決めて、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・キャッチバレーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくグリッドサッカーができるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・グリッドサッカーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・表現「ジャングル探検に出発！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「ジャングル探検に出発！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	・表現「ジャングル探検に出発！」に進んで取り組んでいる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。	・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・身長伸び方は毎年違うことを、記録することから見付けている。 ・小さいころと比べて今の自分が大きくなったことを、身長伸び以外のことから説明している。 ・身長伸び方に個人差があることを6人の身長伸び方から読み取り、気づいたことを説明している。	・体の発育に関心を持ち、自己の発育について確かめようとしている。 ・発育の仕方には個人差があることをおさえたうえで、自分のこれからの発育に希望や期待をもとうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・1年生のころの写真と大人の写真から、大人に近づくにつれて男女の体つきにはどんな違いが現れてくるのかを考え、発表している。 ・思春期に起こる体の外の変化にはどのようなものがあるのか、調べ、説明している。 ・思春期に起こる体の変化について、自分の成長と結び付けて考えようとしている。	・思春期に起こる体の変化の学習に関心をもとうとしている。 ・思春期に起こる体の変化について、自己の変化を他者と比べて不安になることなく、自分や友達に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・思春期には、体の中でどのような変化が起こるのかを調べ、変化が起こるしくみを説明している。 ・思春期の心の変化について小さいころと比べて違いを説明している。	・思春期に起こる体の中の変化に関心を持ち、自分や友達の体の変化、あるいは異性の体の変化に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。 ・思春期の心の変化を、変化しない場合も含めて、自然なこととして受け入れている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・無理なく、毎日続けられる運動にはどんなものがあるのかを考え、自分に合った無理のない運動をいくつか見付けている。 ・適切な運動を毎日続けていると体にどんな効果があるのかを調べて、説明している。 ・よりよい発育のために、どんな食品を食べるのがよいのかを調べて、発表している。 ・バランスのよい食事にするために、どんな食品をとったらよいのかを考え、他者に伝えている。 ・よりよい発育と、休養・睡眠の関係について考え、説明している。	・毎日無理なくできる運動に興味をもって探し、実施しようとしている。 ・食事のとり方に関心を持ち、多くの種類の食品をバランスよく食べることを心がけようとしている。 ・発育と睡眠の関係に関心を持ち、よい睡眠をとれるよう心がけようとしている。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。
・体の動きを高める運動	7	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。

			(ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせで一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・マット運動	6	・できる技を安定して行ったり、できそうな技に挑戦したり、技を組み合わせたりする。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせ、演技をつくったりできる。 ○開脚前転 ○補助倒立前転(更なる発展技:倒立前転) ○伸膝後転 ○倒立ブリッジ ○ロンダート ○頭はね起き ○補助倒立

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

器械運動 ・鉄棒運動	4	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転 ○片足踏み越し下り ○膝掛け上がり ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転 ○後方もも掛け回転 ○両膝掛け振動下り

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・跳び箱運動	7	・いろいろな技に挑戦し、美しく安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び(更なる発展技:屈身跳び) ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び(更なる発展技:前方屈腕倒立回転跳び)

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

陸上運動 ・短距離走・リレー	5	・素早いスタートからいろいろな短距離走をしたり、みんなの力を生かす作戦を工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

陸上運動 ・ハードル走	5	・ハードルの間を3歩のリズムで調子よく走り越して、記録に挑戦したり競走したりする。	・ハードル走の行い方がわかる。 ・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越えることができる。 ・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真っ直ぐ走ることができる。 ・インターバルを3歩または5歩で走ることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

陸上運動 ・走り幅跳び	5	・リズムカルな助走から力強く踏み切って遠くへ跳び、自分の記録に挑戦したり、走り幅跳びの競争をしたりする。	・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能
水泳運動		・安全確保に繋がる動きができ	【クロール】

るようになる。クロールや平泳ぎで長く泳げるようになる。

- ・クロールの行い方がわかる。
- ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。
- ・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をする事ができる。
- ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。
- ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。

【平泳ぎ】

- ・平泳ぎの行い方がわかる。
- ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。
- ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。
- ・手の動きに合わせて呼吸することができる。
- ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。

【水中確保につながる運動】

			【安全確保につながる運動】 ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。 ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。 ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押して沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。 ・息を一度に吐き出し呼吸することができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ゴール型(フラッグフットボール)	7	・作戦を基に、攻め方や動き方を工夫して、フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ベースボール型(ソフトボール)	8	・攻め方や守り方を工夫して、ソフトボールをする。	・ソフトボールの行い方がわかる。 ・止まったボールや易しく投げられたボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。 ・打球方向に移動し、捕球することができる。 ・捕球する相手に向かって、投げることができる。 ・塁間を全力で走塁することができる。 ・守備の隊形をとって得点を与えないようにすることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ゴール型(シートバスケットボール)	7	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをするすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

表現運動・ はげしく〇〇する！	6	・生活や自然の中から、激しい感じや急変する感じなどの題材を見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。	・表現「はげしく〇〇する」の行い方がわかる。 ・表現「はげしく〇〇する」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを、素早く走るー急に止まる、ねじるー回る、跳ぶー転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして、激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現運動 フォークダンス・日本の民踊	4	・「阿波踊り」「ソーラン節」「春駒」など、日本の踊りの特徴を捉えてみんなで踊る。	・日本の民踊の行い方がわかる。 ・日本の民踊の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・日本の民踊に共通する特徴やそれぞれの踊り方の特徴を捉え、構成された基本的な踊り方を身に付けて踊ることができる。 ・阿波踊り(徳島県)や春駒(岐阜県)などの軽快なリズムの踊りでは、軽快な足さばきや手振りで踊ることができる。 ・ソーラン節(北海道)の力強い踊りでは、低く踏みしめるような足取りや腰の動きで踊ることができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

保健 心の発達	1	・心は、人との関わり、あるいは自然とのふれあいなど、様々な生活経験や学習を通して、年齢とともに発達することを理解できるようにする。 ・心の発達について、自己の経験と学習したことを関連付けて、よりよく発達させる適切な方法を考えることができるようにする。 ・心の発達について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・心は、感情、社会性、思考力など様々なはたらきの総体として捉えることができることがわかる。 ・心は多くの人との関わりや自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することがわかる。 ・心が発達することで、自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したりすることができるようになることや筋道を立てて考えたりすることができるようになることがわかる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 心と体の関わり	1	・心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解できるようにする。 ・心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連付けて考えることができるようにする。 ・心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・不安や緊張時には、動悸が激しくなったり、腹痛を起こしたりすること、体調が悪いときには、集中できなかったり、落ち込んだ気持ちになったりすること、体調がよいときには、気持ちが明るくなったり、集中できるようになったりすることなど、心と体は深く影響し合っていることがわかる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 不安やなやみなどへの対処	1	・不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを知り、呼吸法などの対処のしかたをできるようにする。 ・不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選ぶことができるようにする。 ・不安や悩みの対処法を進んで考え、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・不安や悩みがあるということは誰もが経験することであり、そうした場合には、家族や先生、友達などと話したり、相談したりすること、仲間と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うことなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりするなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることを理解している。 ・自己の心に不安や悩みがあるという状態に気付くことや不安や悩みに対処するために様々な経験をすることは、心の発達のために大切なことを理解している。 ・不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うことができる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

けがの防止 けがや事故の起こり方	1	・けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、説明できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないことがわかる。 ・けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こっていることがわかる。 ・人の行動は、慌てていた、疲れていたなど、そのときの心の状態や体の調子とも関係していることがわかる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

けがの防止 学校や地域でのけがの防止	1	・学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解できるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習に取り組むことができるようにする。	・学校や地域でのけがを防ぐには、ルールを守るとともに、危険を予測して、正しい判断をし、安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・学校や地域でのけがを防ぐには、危険な場所の点検や修理などを通して、安全な環境をつくることも必要であることがわかる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

けがの防止 交通事故の防止	1	・交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを、理解できるようにする。 ・自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・交通事故の防止には、学校や地域でのけがの防止と同じように、危険を予測し、正しい判断をして安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・交通事故を防止するために様々な環境づくりが行われていることがわかる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

けがの防止 犯罪被害の防止	1	・犯罪被害にあわないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや、犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解できるようにする。 ・犯罪被害から身を守るために、危険を予測し、回避の方法を考えて、説明できるようにする。 ・犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組むことができるようにする。	・犯罪から身を守るには、犯罪被害にあいやすい場所を避けるなど、危険を予測し、安全な行動をとることが大切なことがわかる。 ・犯罪被害に巻き込まれそうになったら、すぐに逃げたり、大声で助けを求めたりすることが大切であることを理解している。 ・警察や地域の人々によって、危険な場所の点検などの活動を通して安全を守るための環境づくりが行われていることがわかる。

教科	体育	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

けがの防止 けがの手当	1	・自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを知り、手当ができるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、けがの適切な手当の方法を考えたり、選んだりできるようにする。 ・けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりして、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・けがをしたときには、けがの種類や程度などをできるだけ早く判断することが大切であることを理解している。 ・軽いけがのときはすばやく自分で手当をすることで、けがの悪化を防ぎ、治りも早くなることがわかる。 ・自分で手当ができない大きなけがのときや、自分で手当ができるかどうか判断がつかないときは、すぐに近くの人に知らせることが大切であることを理解している。 ・自分でできる手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、けがをしたところを冷やすなどの方法があることを知り、けがに合った適切な手当の仕方を選んで簡単な手当ができる。

単元のまとめりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいく。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいく。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいく。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。 ・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。	

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・短距離走やリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・短距離走やリレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ハードル走に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ハードル走の場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り幅跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びの場を整備したりするなど、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学習カードや掲示物などを活	・水泳運動が自己保全のため

用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。	に必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 ・水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・フラッグフットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくソフトボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・ソフトボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・表現「はげしく〇〇する」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいく。 ・表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいく。 ・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。	・表現「はげしく〇〇する」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・日本の民踊のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、日本の民踊で身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。	・日本の民踊で交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・日本の民踊に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・日本の民踊にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・日本の民踊を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・踊る場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・心はどのように成り立っているのかを調べたり、心は体のどこにあるのかを考えたりして、説明している。 ・心(感情, 社会性, 思考力など)は、どのように発達してきたのか、小さいころの自分と比べて考え、説明している。 ・自分の心はどんなことを通して発達してきたのか、自分の経験を振り返って人との関わりなどから考え、他者に伝えている。 ・よりよく心を発達させるための自己の課題を見付け、これからどんなことがしてみたいかを考えている。	・心の成り立ちやそのはたらきに関心を持ち、心が自分の小さいころと比べてどのように変わってきたか、進んで小さいころを思い出して比較しようとしている。 ・自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したり、自分の気持ちをうまく相手に伝えたりして、心をより豊かにしていこうとしている。 ・自己の気持ちを上手に伝えられるようになろうとするなど、他者とよりよいコミュニケーションを取れるようになろうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・緊張したときや、うれしいときに体の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・睡眠不足や適切な運動をしたときに心の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・心と体はどのようにつながっているのかを調べ、発表している。 ・自分のふだんの生活の中で、心と体が影響し合っていると思うことについて考え、記している。	・心配事があったときや緊張したときの体調の変化や、体の調子が悪かったとき・よかったときの心の状態を、自分の経験に照らし合わせて具体的に思い出そうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・小学生の悩みにはどんなものがあり、どんなことについていちばん悩んでいるのかを調べ、他者に伝えている。 ・不安や悩みへの対処法にはどんなものがあるのかを話し合い、自分に合った適切な対処法はなにかを考え、選択している。 ・心や体の緊張を和らげるための深呼吸を試し、深呼吸する前と後ではどんな変化があるのかを説明している。	・いろいろな悩みの例に注目し、自分も同じような悩みはないか照らし合わせるなど、それぞれの項目に関心をよせている。 ・不安や悩みの対処の仕方に関心をもち、自分に合った対処の仕方を選んで考えようとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・けがや事故は何が原因で起こるのか調べ、説明している。 ・学校生活でのけがは、いつどこで多く起こっているのかを知り、その理由を人の行動と環境から説明している。 ・様々な状況におけるけがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分けて考え、説明している。	・学校生活や日常の生活での事故やけがの原因に関心を持ち、危険予測に進んで取り組もうとしている。 ・事故やけがの起こり方の原則に照らし合わせて危険予測をし、いろいろな場面での事故やけがの具体的な原因を進んで探ろうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・けがにつながる「かくれた危険」を見つけ、その理由を説明している。 ・どうすれば学校や地域でのけがを防ぐことができるのかを調べ、説明している。 ・ある場面にどんな危険が潜んでいるのか危険の予測をし、安全な行動の仕方を考え、記している。 ・学校や地域では危険を防ぐためにどのような安全な環境づくりが行われているのかを調べ、発表している。	・けがの防止の原則に関心を持ち、学校生活で危険を予測した様々な場面について、進んであてはめてみようとしている。 ・学校や地域、家庭における安全な環境づくりについて、どのような工夫や備えをしているのか、進んで調べようとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・交通事故はどんな場所で、どんなときに起こりやすいのかを理解して、説明している。 ・ある場面における交通事故の危険を予測し、事故にあわないための安全な行動を考えて、記している。 ・交通事故を防ぐための安全な環境づくりとしてカーブミラーや横断禁止の標識をどこに設置すればよいのかを考え、その理由を説明している。 ・自分の家の近くや通学路で交通事故が起きそうな場所を思い浮かべて、交通事故を防ぐ安全な行動を考えて、その理由を書いている。	・危険を予測した場面の中から、交通事故に関連した危険な場面での行動の仕方について、けがの防止の原則に進んであてはめてみようとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・小学生が誘拐や暴力などの犯罪被害にあいやすい場所がわかり、犯罪被害にあいやすい理由を考え、説明している。 ・様々な場面において犯罪被害にあうとどんな危険があるのかを予測し、犯罪被害にあわないための安全な行動の仕方を考えている。 ・犯罪被害を防ぐための安全な環境づくりにはどんなものがあるのかを調べ、他者に伝えている。	・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害にあいやすい場所はどこか、進んで調べようとしている。 ・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害を防ぐためにどんな安全な環境づくりが行われているか、進んで調べようとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・学校で起きやすいけがをグラフから読み取っている。 ・けがをしたり、けがをしている人を見たりしたときに、まず何をすればよいのかを調べ、発表したりしている。 ・手当の仕方の原則を知り、いろいろなけがの手当について他者に伝えている。	・自分が校庭でけがをしたときのことを想定して、どのように行動すればよいのかを進んで考えている。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。
・体の動きを高める運動	4	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。

			(ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせで一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・マット運動	6	・技に挑戦したり、技を組み合わせてたり、仲間と動きを合わせたりする。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせ、演技をつくったりできる。 ○開脚前転(更なる発展技: 易しい場での伸膝前転) ○補助倒立前転(更なる発展技: 倒立前転, 跳び前転) ○伸膝後転(更なる発展技: 後転倒立) ○倒立ブリッジ(更なる発展技: 前方倒立回転) ○ロンダート ○補助倒立(更なる発展技: 倒立)

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・鉄棒運動	3	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転(更なる発展技:前方伸膝支持回転) ○片足踏み越し下り(更なる発展技:横とび越し下り) ○膝掛け上がり(更なる発展技:もも掛け上がり) ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転(更なる発展技:後方伸膝支持回転) ○後方もも掛け回転

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

器械運動 ・跳び箱運動	6	・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び(更なる発展技:屈身跳び) ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び(更なる発展技:前方屈腕倒立回転跳び)

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

陸上運動 ・短距離走・リレー	5	・よりよい走り方を身に付けて、短距離走の日本記録に挑戦したり、みんなの力を生かす作戦を工夫して、チームの合計記録を縮めることに挑戦したりする。	・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

陸上運動 走り高跳び	6	・リズムカルな助走から力強く踏み切って高く跳び、自分の記録に挑戦したり、走り高跳びの競争をしたりする。	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・上体を起こして力強く踏み切ることができる。 ・はさみ跳びで、足から着地することができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

陸上運動 ・2種競技(走り幅跳び・ソフトボール投げ)	5	・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技をして、記録に挑戦したり、得点競争をしたりする。	・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技の行い方がわかる。 【走り幅跳び】 ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。 【ソフトボール投げ】 ・投げる手と反対の足を踏み出すことができる。 ・踏み出す足に体重を乗せることができる。 ・手を大きく振って投げることができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能
水泳運動		・安全確保に繋がる動きができ	【クロール】

るようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。

- ・クロールの行い方がわかる。
- ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。
- ・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をする事ができる。
- ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。
- ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。

【平泳ぎ】

- ・平泳ぎの行い方がわかる。
- ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。
- ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。
- ・手の動きに合わせて呼吸することができる。
- ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。

【水中確保につながる運動】

			【安全確保につながる運動】 ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。 ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。 ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押して沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。 ・息を一度に吐き出し呼吸することができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

ゲーム ネット型(ソフトバレーボール))	6	・攻めの組み立て方を工夫して、ソフトバレーボールをする。	・ソフトバレーボールの行い方がわかる。 ・自陣のコート(中央付近)から相手コートに向けサービスを打ち入れることができる。 ・ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。 ・味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 ・片手、両手を使って、相手コートにボールを打ち返すことができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ゴール型(シートバスケットボール)	8	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをするすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

ゲーム ゴール型(フリーゾーンサッカー)	8	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、フリーゾーンサッカーをする。	・フリーゾーンサッカーの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

表現運動・ 表現運動・踊る！ 思い出の○○	8	・生活や自然, 社会のいろいろな題材の中から, 印象的なできごとを見つけ, 表したいイメージを感じを込めて踊る。	・表現「踊る！ 思い出の○○」の行い方がわかる。 ・表現「踊る！ 思い出の○○」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え, 表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり, グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え, そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを, 素早く走るー急に止まる, ねじるー回る, 跳ぶー転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして, 激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

表現運動 フォークダンス・世界のフォークダンス	4	・「マイム・マイム」「コロブチカ」「グスタフススコール」など、世界の踊りの特徴を捉えて踊る。 ・フォークダンスの行い方がわかる。 ・外国の踊り特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・マイム・マイム(イスラエル)などのシングルサークルで踊る力強い踊りでは、みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊ることができる。 ・コロブチカ(ロシア)などのパートナーチェンジのある軽快な踊りでは、パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップで動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊ることができる。 ・グスタフス・スコール(スウェーデン)などの特徴的な隊形と構成の踊りでは、前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチくぐりなどの変化を付けて、パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊ることができる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

保健 病気の起こり方	1	・病気は病原体, 体の抵抗力, 生活行動, 環境などが関わり合って起こることを理解できるようにする。 ・病気の原因について, 病原体, 体の抵抗力, 生活行動, 環境などの要因に分類して考え, 説明できるようにする。 ・いろいろな病気やその起こり方について関心をもち, 課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。	・体が冷えたときや, 夜ふかしなどの健康によくない生活を続けていたときに, かぜの病原体が体の中に入るとかぜをひきやすくなる。このように, かぜは様々な原因が関わり合って起こることがわかる。 ・病気は, 病原体, 体の抵抗力, 生活の仕方, 環境などが関わり合って起こることがわかる。 ・病気の予防には病気の起こり方を知っておくことが大切であることを理解している。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 感染症の予防	1	・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解できるようにする。 ・感染症の予防の仕方を考えたり、選んだりした方法がなぜ適切であるか、理由をあげて学習カードに書くことができるようにする。 ・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。	・病原体には多くの種類があり、体の中への入りからもさまざまである。インフルエンザや結核、はしか、風しんなどの病原体は、主に空気を通して体の中へ入ることがわかる。 ・食中毒の原因となるノロウイルスなどの病原体は、病原体が付いた手や食べ物を通して体の中へ入ることがわかる。 ・病原体の種類によって体に現れる症状も違うことがわかる。 ・感染症を予防するには、病原体が発生するもとをなくすこと、移る道筋を断ち切ることなど、病原体を体の中に入れないようにすることが必要であること。また、体の抵抗力を高めておくことで病気にかかりにくくなることがわかる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 不安生活習慣病の予防①	1	・生活習慣病を予防するには、運動、食事、睡眠などについて、健康によい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解できるようにする。 ・生活習慣病の原因となる生活習慣について考え、生活習慣病を予防する方法について説明することができるようにする。 ・生活習慣病に関心をもち、学習した知識をもとに自分の生活を振り返るなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・心臓病や脳卒中などの生活習慣病は、運動不足や、糖分、脂肪分、塩分の取り過ぎ、不規則な生活などが関係して起こることがわかる。 ・生活習慣病を予防するには、適切な運動、栄養のバランスのよい食事、十分な休養・睡眠など、毎日の生活の仕方に気をつけて、健康によい生活習慣を身に付けることが大切であることがわかる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 生活習慣病の予防②	1	・むし歯や歯周病の予防には、毎日の生活の仕方が関係していることを理解できるようにする。 ・むし歯や歯周病の予防方法について、学習した知識を活用して具体的に考え、説明できるようにする。 ・口腔の衛生を保つための生活習慣について、自己の生活を振り返ったり、これからの生活の仕方を考えたりしながら、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・むし歯は、歯垢の中の細菌が、糖분을酸に変え、その酸が歯を溶かすことで起こり、食事中や食後は酸が強くなるので、口の中を清潔にしておかないと、歯のとけた状態が長く続き、むし歯になりやすくなることがわかる。 ・むし歯や歯周病を予防するには、食後や寝る前に歯を磨いて、口の中をいつも清潔にしておくことが大切なこと。また、甘いものを控えめにするなど、糖分を取り過ぎないようにすることも予防になることがわかる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	知識・技能

保健 喫煙の害	1	・喫煙には、急性の害と慢性の害があることや受動喫煙により周囲の人々の健康にも害を及ぼすことを理解できるようにする。 ・喫煙と健康について、害や体への影響を考え、説明できるようにする。 ・喫煙の害について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・喫煙は、肺や心臓、脳、胃などに悪い影響を与えること。また、一度習慣になると簡単にはやめられなくなり、長い間吸い続けると、肺がんや心臓病などにかかりやすくなることがわかる。 ・たばこを吸い始めた時期が早く、吸っている期間が長いほど、体への害も大きくなるため、未成年の喫煙は法律で禁止されていることがわかる。 ・たばこの煙には、たくさんの有害物が含まれており、たばこを吸わない人でもたばこの煙を吸い込むこと(受動喫煙)で、健康に害が生じることがわかる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 飲酒の害	1	・飲酒は、判断力が鈍る、呼吸や胸が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることや、飲酒を長い間続けると肝臓がんなどの病気の原因になることを理解できるようにする。 ・飲酒の害や体への影響を考え、説明することができるようにする。 ・飲酒と健康について関心を持ち、課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。	・酒類に含まれているアルコールは、脳のはたらきを低下させるため、酒を飲むと注意力や判断力がにぶり、事故やけがを引き起こすこと。また、呼吸や胸が苦しくなるなど体への影響も現れることがわかる。 ・一度に多量の酒を飲むと急性アルコール中毒になって死亡することがあることがわかる。 ・飲酒の習慣は、肝臓、脳、胃、食道、腸、心臓などに負担をかけて多くの病気を引き起こすことがわかる。 ・体の発育する時期の飲酒は心身におよぼす害が特に大きいので、未成年の飲酒は法律で禁止されていることがわかる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能

保健 薬物乱用の害	1	・薬物乱用は、1回の乱用で死に至ることがあり、乱用を続けるとやめられなくなって、心身の健康に深刻な害を与えることを理解できるようにする。 ・薬物乱用の害や周りの人への影響を考え、説明することができるようにする。 ・薬物乱用について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。	・薬物乱用とは、医薬品を医療以外の目的で使ったり、シンナーなどの化学物質を本来の目的以外に不正に使ったりすることであり、1回の使用でも乱用になることがわかる。 ・薬物の乱用は心身に重大な障害を引き起こし、1回の乱用でも死ぬことがあることがわかる。 ・薬物には「依存性」があり、軽い気持ちで使うとやめられなくなる。また、乱用を続けると自分の心身の健康に重大な害をあたえるほか、犯罪や事故など、社会的な事件を引き起こし、周りの人にたいへんな迷惑をかけることがわかる。 ・薬物の乱用は法律で禁止されていることがわかる。

教科	体育	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	
			知識・技能

保健 地域の保健活動	1	・人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。 ・地域の様々な保健活動の取り組みの中から、人々の病気を予防するための取り組みを選ぶことができるようにする。 ・地域の保健活動について、課題の解決に向けての調べ学習や発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。	・保健所や保健センターでは、病気の予防や人々の健康づくりのために、健康的な生活習慣に関わる情報の提供や予防接種など、様々な活動が行われていることなどから、私たちの健康は地域の様々な活動に支えられていることがわかる。

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいく。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいく。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいく。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。 ・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。	

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・短距離走・リレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・短距離走・リレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り高跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り高跳びの場の危険物を取り除いたり、整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びやソフトボール投げの場の危険物を取り除いたり、それぞれの場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学習カードや掲示物などを活	・水泳運動が自己保全のため

用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。	に必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 ウ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確認してから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくソフトバレーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・ソフトバレーボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・誰もが楽しくフリーゾーンサッカーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・フリーゾーンサッカーの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・表現「踊る！ 思い出の○○」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。 ・表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。 ・表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいく。 ・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。	・表現「踊る！ 思い出の○○」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・外国のフォークダンスのポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。	・外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・フォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合うこと。 ・フォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合うこと。 ・フォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすこと。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配ること。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・どんなときにかぜをひくのか、自分の経験を思い出して、自分の考えを他者に伝えている。 ・かぜを参考にして、いろいろな病気はどんなことが関わり合っ て起こるのかを考え、説明して いる。	・日ごろ経験しているかぜなど の病気について、その原因を 進んで調べようとしている。 ・病気から体を守る様々なはた らきに関心をもち、資料等で調 べようとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・インフルエンザウイルスや食中毒の原因となる病原体がどのようにして体の中に入るのかを調べ、説明している。 ・感染症を予防するには、どうすればよいのかを病原体の体の中への入り方などから自分の考えを他者に伝えている。	・インフルエンザや結核、食中毒、エイズなどの病気について、その特徴や感染の仕方、予防の仕方を進んで調べようとしている。 ・自分の生活を振り返って、感染症を予防するためにこれから気をつけようと思うことやその理由を進んで考えている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・生活習慣病にはどんなものがあるのか、また、健康によくない生活と生活習慣病にはどんな関係があるのかを調べ、自分の考えを他者に伝えている。 ・具体的な事例における生活習慣病を予防するための方法を理由とともに考え、記している。	・自分の生活を振り返って、生活習慣病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え、日常生活に生かそうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・むし歯や歯周病がどのようにして起こるのか、その仕組みを調べ、他者に伝えている。 ・具体的な事例においてむし歯になりやすい生活習慣について考え、発表したりしている。 ・具体的な事例においてむし歯にならないためのアドバイスを考え、書いている。	・自分の生活を振り返って、むし歯や歯周病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え、日常生活に生かそうとしている。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・たばこを吸うと肺にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。 ・たばこを吸うと体にどんな影響があるのかを調べ、すぐに体に現れる害と長い間の喫煙によって現れる害に分けて発表している。 ・どんな場所が喫煙を制限したり、禁煙にしたりしているのか、その理由を考え、発表している。	・たばこを人からすすめられた場合には、声に出して、はっきりと断る意志と態度を示している。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・飲酒を続けていると脳にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。 ・飲酒を続けていると体にどんな影響があるのかを調べ、すぐに体に現れる害と長い間の飲酒によって現れる害に分けて発表している。	・酒を人からすすめられた場合には、声に出して、はっきりと断る意志と態度を示している。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・シンナーなどの薬物を乱用すると、体にどんな影響があるのかを調べ、発表している。 ・薬物乱用のこわさについて考え、他者に伝えたり、発表したりしている。	・薬物には手を出さないという自分の決意とその理由を書いて、強い意志を示している。

単元のまとまりの評価規準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

・健康のために自分が気をつけていること、また、学校で行われている活動について考えている。 ・人々の健康を守るために地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを調べ、発表したりしている。	・自分たちの住んでいる地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを進んで調べようとしている。

教科	特別活動	学年	第1学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校のきまりについて知ろう	7	学校のきまりについて、その意味を知り、きまりを守ることの大切さを考えて行動し、生活をより良いものにしようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
自己紹介をしよう	2	自己紹介を通して、自分を理解するとともに、友達の発表を聞き、学校にはいろいろな友達がいることを理解し、よりよい人間関係を形成しようとする態度を養う。	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
楽しい学校生活	1	健康診断の意義について理解し、健康診断における行動について考え、実践し、主体的に健康診断に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
めあてをたてよう・ふりかえりをしよう	6	自己の生活上の課題に気づき、それを解決するための行動の仕方を考えたり、めあてをたてて実行したりして、粘り強く解決に向けて取り組もうとする態度を養う。	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

係を決めよう	4	学級のために働くことの意義を理解し、活動を通して課題に気付き、他者と協力したり、自分のよさを生かしたりしてそれを解決しようと主体的に行動しようとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
展覧会を成功させよう	2	展覧会の意義や、日頃の学習成果を発表する方法などについて理解し、学年の一員としての自覚をもち、互いの努力を認め合い、積極的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
開校記念日を祝おう	1	開校記念日の意味について理解し、学校の歴史を振り返ることを通して、学校のよさについて考え、開校記念日を祝おうとする態度を養う。	儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方を協働するなどについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、新しい生活への展開や集団の場における規律などについて考え、判断し、実践している。	行事を節目としたこれからの活動に関心をもち、主体的に学校や学年の一員として厳粛な雰囲気の中で儀式的行事に取り組もうとしている。
持久走大会にむけて	1	持久走大会の意義について理解し、学年の一員としての自覚を持ち、運動会における行動の仕方について考え、判断し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
6年生を送る会を成功させよう	2	6年生との思い出を振り返ることを通して、6年生に感謝の気持ちをもち、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

新しい1年生を迎える準備をしよう。	2	1年間を振り返って、自分の成長を実感し、新しい1年生に対する期待感をもち、主体的に取り組もうとする態度を養う。	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
鬼退治をしよう	1	節分の意味について理解し、自分の1年間を振り返り、苦手なところやもう少しできそうなところを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
〇〇会をしよう	5	学級の生活上の課題に気づき、学級での話し合いなどを通して、自分の目標をきめて、実行しようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
みんなで協力して学校生活を充実させよう	8	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢集団により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解したり行動の仕方を身に付けたりしている。	児童会において、学校生活の充実と工場を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりしている。	自治的な集団生活を通して身に付けたことを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとしている。

クラブ活動

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動計画を立てて協力して活動を進めよう	10	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けている。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよくしたりしている。	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしたりしている。

学校行事

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよい行事をつくりあげよう	35	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属間や連帯感を深め、公共の精神を養う。	全校又は学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けている。	学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見だしたりして、大きな集団による集団活動や	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしたりしている。

教科	特別活動	学年	第2学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級目標を考えよう	2	学級での生活に目標をもち、学級のめあてを意識して生活できるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
学校のきまりを確認しよう	4	学校のきまりについて、その意味を知り、きまりを守ることの大切さを考えて行動し、生活をより良いものにしようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
めあてをたてよう・ふりかえりをしよう	4	自己の生活上の課題に気づき、それを解決するための行動の仕方を考えたり、めあてをたてて実行したりして、粘り強く解決に向けて取り組もうとする態度を養う。	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
係・当番活動を考えよう	5	学級のために働くことの意義を理解し、活動を通して課題に気づき、他者と協力したり、自分のよさを生かしたりしてそれを解決しようと主体的に行動しようとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

運動会にむけて	2	運動会の意義について理解し、学年の一員としての自覚を持ち、運動会における行動の仕方について考え、判断し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心を持ち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
お楽しみ会を開こう	9	お楽しみ会を成功させるために、進め方や役割について話し合い、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
作品展を成功させよう	2	作品展の意義や、日頃の学習成果を発表する方法などについて理解し、学年の一員としての自覚をもち、互いの努力を認め合い、積極的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心を持ち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
6年生を送る会を成功させよう	2	6年生との思い出を振り返ることを通して、6年生に感謝の気持ちをもち、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
学級会を開こう	5	学級の生活上の課題に気づき、学級での話し合いなどを通して、自分の目標をきめて、実行しようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。

児童会活動

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで協力して学校生活を充実させよう	8	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢集団により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解したり行動の仕方を身に付けたりしている。	児童会において、学校生活の充実と工場を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりしている。	自治的な集団生活を通して身に付けたことを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとしている。

クラブ活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動計画を立てて協力して活動を進めよう	10	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けている。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよくしたりしている。	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうしたりしている。

学校行事

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよい行事をつくりあげよう	35	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属間や連帯感を深め、公共の精神を養う。	全校又は学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けている。	学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見いだしたりして、大きな集団による集団活動や	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうしたりしている。

教科	特別活動	学年	第3学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級目標を考えよう	2	学級での生活に目標をもち、学級のためを意識して生活できるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
学校のきまりを確認しよう	4	学校のきまりについて、その意味を知り、きまりを守ることの大切さを考えて行動し、生活をより良いものにしようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
めあてをたてよう・ふりかえりをしよう	4	自己の生活上の課題に気づき、それを解決するための行動の仕方を考えたり、めあてをたてて実行したりして、粘り強く解決に向けて取り組もうとする態度を養う。	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
係・当番活動を考えよう	5	学級のために働くことの意義を理解し、活動を通して課題に気づき、他者と協力したり、自分のよさを生かしたりしてそれを解決しようと主体的に行動しようとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

運動会にむけて	2	運動会の意義について理解し、学年の一員としての自覚を持ち、運動会における行動の仕方について考え、判断し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心を持ち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
お楽しみ会を開こう	9	お楽しみ会を成功させるために、進め方や役割について話し合い、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
作品展を成功させよう	2	作品展の意義や、日頃の学習成果を発表する方法などについて理解し、学年の一員としての自覚をもち、互いの努力を認め合い、積極的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心を持ち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
6年生を送る会を成功させよう	2	6年生との思い出を振り返ることを通して、6年生に感謝の気持ちを持ち、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
学級会を開こう	5	学級の生活上の課題に気づき、学級での話し合いなどを通して、自分の目標をきめて、実行しようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

児童会活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで協力して学校生活を充実させよう	8	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢集団により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解したり行動の仕方を身に付けたりしている。	児童会において、学校生活の充実と工場を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりしている。	自治的な集団生活を通して身に付けたことを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとしている。

クラブ活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動計画を立てて協力して活動を進めよう	10	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けている。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよくしたりしている。	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうしたりしている。

学校行事

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよい行事をつくりあげよう	35	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属間や連帯感を深め、公共の精神を養う。	全校又は学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けている。	学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見だしたりして、大きな集団による集団活動や	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうしたりしている。

教科	特別活動	学年	第4学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級目標を考えよう	2	学級での生活に目標をもち、学級のめあてを意識して生活できるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
学校のきまりを確認しよう	6	学校のきまりについて、その意味を知り、きまりを守ることの大切さを考えて行動し、生活をより良いものにしようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
めあてをたてよう・ふりかえりしよう	5	自己の生活上の課題に気づき、それを解決するための行動の仕方を考えたり、めあてをたてて実行したりして、粘り強く解決に向けて取り組もうとする態度を養う。	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
係・当番活動を考えよう	7	学級のために働くことの意義を理解し、活動を通して課題に気づき、他者と協力したり、自分のよさを生かしたりしてそれを解決しようと主体的に行動しようとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

運動会にむけて	1	運動会の意義について理解し、学年の一員としての自覚を持ち、運動会における行動の仕方について考え、判断し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心を持ち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
お楽しみ会を開こう	1	お楽しみ会を成功させるために、進め方や役割について話し合い、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
作品展を成功させよう	3	作品展の意義や、日頃の学習成果を発表する方法などについて理解し、学年の一員としての自覚をもち、互いの努力を認め合い、積極的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心を持ち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
5年生に向けて	2	これまでの生活を振り返り、高学年の役割について考えることを通して、学校のためにどのように行動していけばよいかを考え、高学年として主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
学級会を開こう	8	学級の生活上の課題に気づき、学級での話し合いなどを通して、自分の目標をきめて、実行しようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

児童会活動

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで協力して学校生活を充実させよう	8	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢集団により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解したり行動の仕方を身に付けたりしている。	児童会において、学校生活の充実と工場を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりしている。	自治的な集団生活を通して身に付けたことを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとしている。

クラブ活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動計画を立てて協力して活動を進めよう	10	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けている。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよくしたりしている。	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうしたりしている。

学校行事

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよい行事をつくりあげよう	35	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属間や連帯感を深め、公共の精神を養う。	全校又は学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けている。	学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見いだしたりして、大きな集団による集団活動や	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうしたりしている。

教科	特別活動	学年	第5学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級目標を考えよう	2	学級での生活に目標をもち、学級のめあてを意識して生活できるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
めあてをたてよう・ふりかえりをしよう	7	自己の生活上の課題に気づき、それを解決するための行動の仕方を考えたり、めあてをたてて実行したりして、粘り強く解決に向けて取り組もうとする態度を養う。	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
1年生を迎える会を成功させよう	1	1年生を迎える会の意義について理解し、どのようにすれば1年生を喜ばせることができるかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
学校のきまりを確認しよう	3	学校のきまりについて、その意味を知り、きまりを守ることの大切さを考えて行動し、生活をより良いものにしようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

係・当番活動を考えよう	6	学級のために働くことの意義を理解し、活動を通して課題に気付き、他者と協力したり、自分のよさを生かしたりしてそれを解決しようと主体的に行動しようとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
委員会活動について考えよう	2	委員会活動の意義を理解し、前期の委員会での課題について考え、自己のよさを生かし、他者と協働して主体的に取り組もうとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
運動会にむけて	1	運動会の意義について理解し、学年の一員としての自覚を持ち、運動会における行動の仕方について考え、判断し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心を持ち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
作品展を成功させよう	6	作品展の意義や、日頃の学習成果を発表する方法などについて理解し、学年の一員としての自覚をもち、互いの努力を認め合い、積極的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心を持ち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

ウィンタースクールに向けて	3	ウィンタースクールの意義について理解し、規律ある集団行動のよさなどについて考え、主体的にウィンタースクールに取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
学級会を開こう	1	学級の生活上の課題に気づき、学級での話し合いなどを通して、自分の目標をきめて、実行しようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
6年生を送る会を成功させよう	3	お世話になった6年生に感謝の気持ちを表す大切な行事であることを理解し、最高学年に向けてどのように参加したらよいかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。

教科	特別活動	学年	第6学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級目標を考えよう	2	学級での生活に目標をもち、学級のめあてを意識して生活できるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
めあてをたてよう・ふりかえりをしよう	6	自己の生活上の課題に気づき、それを解決するための行動の仕方を考えたり、めあてをたてて実行したりして、粘り強く解決に向けて取り組もうとする態度を養う。	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
1年生を迎える会を成功させよう	1	1年生を迎える会の意義について理解し、最高学年としてどのように取り組めばよいかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
学校のきまりを確認しよう	5	学校のきまりについて、その意味を知り、きまりを守ることの大切さを考えて行動し、生活をより良いものにしようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

係・当番活動を考えよう	5	学級のために働くことの意義を理解し、活動を通して課題に気付き、他者と協力したり、自分のよさを生かしたりしてそれを解決しようと主体的に行動しようとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
委員会活動について考えよう	1	委員会活動の意義を理解し、前期の委員会での課題について考え、自己のよさを生かし、他者と協働して主体的に取り組もうとする態度を養う。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
運動会にむけて	1	運動会の意義について理解し、学年の一員としての自覚を持ち、運動会における行動の仕方について考え、判断し、主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
作品展を成功させよう	6	作品展の意義や、日頃の学習成果を発表する方法などについて理解し、学年の一員としての自覚をもち、互いの努力を認め合い、積極的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
陸上記録会に向けて	2	陸上記録会の意義について理解し、自分の目標をたて、それに向けて練習に取り組み、目標に向けて努力するなど主体的に取り組もうとする態度を養う。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

ありがとうの会にむけて	2	ありがとうの会の意義について理解し、今までにお世話になった人々のことを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
学級会を開こう	2	学級の生活上の課題に気づき、学級での話し合いなどを通して、自分の目標をきめて、実行しようとする態度を養う。	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
6年生を送る会を成功させよう	2	お世話になった新田小に感謝の気持ちを表す大切な行事であることを理解し、最高学年としてどのように参加したらよいかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
みんなで協力して学校生活を充実させよう	8	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢集団により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解したり行動の仕方を身に付けたりしている。	児童会において、学校生活の充実と工場を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりしている。	自治的な集団生活を通して身に付けたことを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとしている。

クラブ活動

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動計画を立てて協力して活動を進めよう	10	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことができる。	同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けている。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよくしたりしている。	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしたりしている。

学校行事

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よりよい行事をつくりあげよう	35	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属間や連帯感を深め、公共の精神を養う。	全校又は学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けている。	学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見だしたりして、大きな集団による集団活動や	クラブ活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしたりしている。

教科	外国語	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 Hello, friends. アルファベットの文字・紹介	8	自分の名前や、好きなもの・ことを外国語で伝えることができる。	○名前や好きなもの・ことを伝える語句や表現を身に付けている。【話すこと（やりとり）】←領域の記入については任意 ○活字体の大文字について理解している。【書くこと】 ○好きなもの・ことの英語表現について聞いたり話したりすることができる。【話すこと（やりとり）】【聞くこと】	○名前や好きなもの・ことを伝える目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。【話すこと（やりとり）】【読むこと】	○他者に配慮しながら、名前や好きなもの・ことを主体的に伝え合おうとしている。【話すこと（やりとり）】 ○自分について発表する活動において、名前や好きなもの・ことを外国語を用いて聞き手に伝えようとしている。【話すこと（発表）】

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

Lesson 3 How many? 数、身の回りの物	4	○進んで、数を尋ねたり答えたりする。 ○1～20の数の尋ね方に慣れ親しむ。 ○言語には、それぞれの特色があることに気づく。	○いくつかをたずねたり、1～20までの数で答えたりしている。	○数の表し方や数え方にも、国によって違いがあることに気付く。	○進んで数を数えたり答えようとしている。
Unit 6 Alphabet アルファベット文字遊び	4	○活字体の小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。 ○身の回りにある活字体の文字に気づく。	○活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。	○身の回りには活字体の文字であらわされているものがあることに気付く。	○進んで、活字体の小文字について尋ねたり答えたりする

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit 2 when is your biathday? 行事、誕生日	7	○誕生日について聞いたり行ったりすることができる。また、活字体の大文字を書くことができる。 ○祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いてわかったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりする。 ○他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について伝え合おうとする。	○いくつかをたずねたり、1～20までの数で答えたりしている。	○数の表し方や数え方にも、国によって違いがあることに気付く。	○進んで、誕生日やほしいものについて伝え合おうとしている。
Lesson 5 what do you like? 好きなもの	2	○進んで、好きなものについて尋ねたり答えたりしようとする。 ○色や形などの言い方に慣れ親しむ。	○いろいろな物の好みについて尋ねたり答えたりして、友達と交流している。	○外来語と英語の発音の違いに気付く。	○進んで好きなものについて尋ねようとする。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Lesoon 6 what do you want? 欲しいもの	3	○進んで、欲しいものについて尋ねたり答えようとしている。 ○活字体の大文字と、その読み方に慣れ親しむ。	○アルファベットの大文字とその読み方を一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現とともに使っている。	○アルファベットが身の回りに多く用いられていることに気づく	○積極的にアルファベットの大文字を読もうとしている、
Lesson 7 what't this? 身の回りの物	4	○進んで身の回りのものについて尋ねたり、それが何か答えようとする。 ○あるものが何かと、尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○日本語と英語で英語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気づく。	○身の回りのものについてなにか尋ねたり答えたりしている。	○日本語と英語の共通点や相違点に気付く。	○積極的にあるものが何か尋ねようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit 3 what do you have on Monday? 学校生活。強化。職業	7	○進んで教科について尋ねたり、答えたりしようとする。 ○活字体の大文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。 ○日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気づく。	○学校生活や教科、職業について尋ねたり答えたりする	○世界にある様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付く。	○進んで学校生活や教科について自分の考えを発表しようとする。
Unit 4 What time do you get up 1日の生活	8	○1日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の、小文字を書くことができる ○1日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容をとらえたり1日の生活について伝え合ったりする。 ○他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝え合おうとする。	○1日の生活や時刻について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	○文化や人に応じて生活習慣に違いがあることにきづく	○進んで1日の生活について伝え合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit 5 She can run fast. can jump high. こと	He できる	8	○自分や第三者について、できることやできないことを紹介しあおうとする。 ○できることや出来ないことを尋ねたり、答えたりする表現や、活字体の小文字に慣れ親しむ。 ○言語や人、それぞれに違いがあることに気づく。	○自分や第三者について、できることやできないことを尋ねたり言ったりしている。また、小文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。	○言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。	○積極的に自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介しあおうとする。
Unit 6 go to Italy い国や地域	I want to 行ってみた	8	○自分の行きたい国や地域について進んで話そうとする。 ○様々な国や地域、その特色について表すこと表現に慣れ親しむ。 ○世界にはさまざまな人々が様々な生活をしていることに気づく。	○国や地域をあらわす語句に慣れ親しみ、行きたい国や地域について答えたりする。	○世界の国や地域の特色や、日本との違いに気付く。	○積極的に自分の行きたい国」や地域についてまとめ、発表しようとする。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit 7 Where is the treasure? 位置と場所	8	○進んで場所を尋ねたり道案内をしようとしている。 ○道案内や物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○日本語と英語では、道案内の仕方に違いがあることに気付く。	○道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	○日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。	○進んで場所を尋ねたり、道案内しようとする。
Unit 8 What would you like? 食べ物・料理	8	○進んで、欲しいものについて丁寧に尋ねたり答えようとしている。 ○欲しいものについての丁寧な表現に慣れ親しむ。 ○世界には様々な食生活があることや、欲しいものを尋ねたり言ったりする際に、英語にも丁寧な表現があることに気付く。	○食生活に関する語句に慣れ親しみ、やりとりを通して、ランチメニューを考える。	○世界の様々な食生活があることや、日本との違いに気付く。	○自分の欲しいものを積極的に伝えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

Unit 9 Who is your hero? あこがれの人	8	○自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介しあおうとする。 ○第3者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。 ○英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。	○第3者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	○英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。	○自分が憧れたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介しあおうとする。

教科	外国語	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 This is me 自己紹介	自 7	○好きなことなどを含めて、自分のことを伝え合おうとする。 ○自己紹介に関する表現や、好きなことを表す表現に慣れ親しむ。	○好きなことを含めて自己紹介をしている。	○活字体の文字の書き方に気付く。	○積極的に自己紹介をしようとする。
Lesson 2 When is your birathday 行事・月・日付	4	○進んで誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。 ○月の言い方や誕生日を尋ねたり答えたりする表現、活字体の小文字の読み方に慣れ親しむ。 ○世界には、様々な祭りや行事があることに気付く。	○誕生日や行事について、月や日付を含めてやり取りをしようとしている。	○世界には様々な祭りや行事があることに気付く。	○積極的に友達の誕生日部を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりする。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit 2 Welcome to japan. 日本の文化	8	○日本文化について知り、身近な話題について伝え合おうとする。 ○行事や遊び、食べ物についての感想、味覚を表す表現に慣れ親しむ。	○基本的な表現を用いて、日本の行事や遊び食べ物などについて尋ねたり答えたりする。	○様々な日本の文化があることに気づく。	○進んで、自分の好きな日本文化について発表しようとする。
Unit 3 He is famous. She is great. 人物紹介	8	○身の回りの人やものについて質問やクイズを考え、お互いに伝え合う。 ○第三者や身の回りの物見つけて話す表現に慣れ親しむ。 ○英語と日本語の語順の違いに気付く。	○身の回りの人やものについて尋ねたり答えたりする。	○英語と日本語では語順が違っていることに気づく。	○積極的に第三者や身の回りのものについて説明しようとする。
Unit 4 I like my town. 自分たちの町・地域	8	○住んでいる街について、自分の考えを含めて積極的に発表したする。	○様々な施設を表す表現に慣れ親しみ、街にあるものやそこでできることについて尋ねたり答えたりする。	○英語の語と語の区切り方や、ポスターの効果的な書き方に気付く。	○進んで、自分の住んでいる地域について良い点など、自分の考えを含めて発表しようとする。
Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出	8	○進んで、夏休みの思い出について伝え合おうとする。 ○基本的な発表を用いて、夏休みの思い出について尋ねたり答えたりする。また、例を参考に夏休みの思い出を書くことができる。 ○英語の書き方の規則に気付く。	○過去を表す表現を用いて、夏休みを用いて、夏休みの思い出について質問したり答えたりする。	○世界と日本の夏休みの共通点や相違点に気付く。	○積極的に夏休みの思い出について発表しようとする。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Lesson5 Let's go to Italy 世界の国々・生活	4	○自分の行きたい国や地域について積極的に発表したり、他の人の発表を積極的に聞いたりする。 ○様々な国や地域の言い方に、慣れ親しむ。 ○世界には様々な人たちが、様々な生活をしていることに気付く。	○様々な国や地域の名前や、文化にかかわる表現を知り、行きたい国についてやりとりをしている。	○世界には様々な文化を持った国や地域があることに気づく。	○進んで、行きたい国や地域について自分の考えを含めて紹介しようとする。
Unit 6 What sport do you want to watch? オリンピック・パラリンピック	7	○オリンピックやパラリンピックで見たい競技について積極的に伝え合う。 ○オリンピックやパラリンピック、スポーツ、出場する国々についての語彙に慣れ親しみ、読んだり書いたりしようとする。	○オリンピック、パラリンピックの出場国や競技を表す表現を知り、見たい競技について尋ねたり答えたりする。	○オリンピック、パラリンピックには世界の様々な国や地域が参加するということに気づく。	○積極的にオリンピックやパラリンピックで観たい競技について考え、発表しようとする。
Lesson 6 What time do you get up? 世界の国々の生活	5	○積極的に一日の過ごし方を発表したり、他の人の発表を積極的に聞いたりする。 ○日課やその時刻を表す表現に慣れ親しむ。 ○人によってさまざまな日課があるということに気付く。	○基本的な表現を用いて、日課について尋ねたり自分の日課について話したりしている。	○いろいろな人物ごとに日課が異なっていることに気づく。	○進んで自分や第三者の日課について発表したり、ほかの人の発表を聞いたりしようとする。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit 7 My Best Memory 生活の思い出	My Best 小学校	7	○小学校生活について振り返り、思い出をまとめて積極的に発表したり、他の人の発表を聞いたりする。 ○学校行事を表す表現に慣れ親しむ思い出について伝え合う。 ○世界の学校生活と日本との相違点や共通点に気づく。	○学校行事に関する語彙や思い出やその理由を伝える表現を知り、友達と伝え合う。	○学校行事の表し方など、英語と日本語の相違点に気付く。	○進んで、小学校生活を振り返り自分の思い出についてまとめて発表しようとする。」
Lesson 8 What do you want to be? 職業・将来の夢	What 職業	4	○将来の夢について積極的に発表したり、他の人の発表を積極的に聞いたりする。 ○どのような職業に就きたいかを伝える表現に慣れ親しむ。 ○様々な職業があることや、英語と日本語での違いに気付く。	○職業や将来の夢について表す表現を知り、友達の夢を尋ねたり、自分の夢を答えたりして	○様々な職業があることや、英語と日本語の共通点や相違点に気づく。	○進んで、自分の将来の夢について紹介しようとする。
Unit 8 What do you want to be? 職業・将来の夢		8	○将来就きたい職業」などについて、聞いたり言ったりする。 ○将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。 ○他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとしている。	○職業や将来の夢について表す表現を知り、友達の夢を尋ねたり、自分の夢を答えたりしている	○世界のこどもたちの将来の夢や、友達の将来の夢について様々な内容があることに気づく。	○進んで、将来の夢について紹介しようとする。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

Unit 9 Junior High school life 中学校生活・部活動	7	○進んで、中学校生活でやりたいことについて発表したり他の人の発表を聞いたりする。 ○中学校での学校生活、教科、部活動などに関する表現に慣れ親しみ自分がやりたいことを伝え合う。 ○中学校生活と小学校生活の共通点や相違点に気づく。	○中学校での教科、部活動などを表す表現をしたり、時分のやりたい事について伝え合う。	○小学校生活と中学校生活の違いに気付く。	○基本的な表現を用いて、中学校生活でやりたいことについて、積極的に発表したりする。

教科	外国語活動	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello! あいさつをして友達になろう	2	○相手に伝わるよう工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。 ○挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ○世界には様々な言語があることに気付く。	○英語を使って挨拶したり、名前を伝えあったりしている。	○世界には様々な言語や挨拶の表現があるときづく。	○積極的に挨拶をしようとする。
Unit2 How are you? ごきげんいかが？	2	○表情やジェスチャーが相手に伝わるように工夫しながら、挨拶しあう。 ○感情や状態を表す表現に慣れ親しむ。 ○表情やジェスチャーの大切さや意味に気づく。	○感情や状態を表す表現に慣れ親しみ、友達と尋ねたり、答えたりしあう。	○様々なジェスチャーの意味や、文化によって相違点があることに気づく。	○表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶しようとする。
Unit3 How many? 数えてあそぼう	4	○積極的に数を数えたり、尋ねたりする中で、言語や文化を体験的に理解する。 ○1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ○数の数え方について、外国語で聞いたり話したりしながら、自分の考えや気持ちを伝え合う。 ○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る。	○1～20までの数え方を知り、身の回りのものの数について友達に尋ねたり、答えたりしている。	○世界の様々な数の数え方や、日本との共通点や相違点に気付く。	○積極的に、身の回りの物の数を数え、英語で言うとする。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit4 I like blue. 好きなものをつたえよう	4	○相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを伝えようとする。 ○色の言い方や好きかどうかや何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○多様な見方・考え方があることや、音声リズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付く。	○色の言い方や身の回りのものの言い方に慣れ親しみ、お互いに好みを尋ねたり伝えたりしている。	○外来語について、日本語と英語の音声やリズムの共通点や相違点に気付く。	○進んで、好みを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
Unit5 What do you like? 何が好き？	4	○相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。 ○身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○日本語と英語の音声の違いに気付く。	○身の回りのものの言い方に慣れ親しみ、友達に何が好きか好きかを尋ねたり自分の好きなものを答えたりしている。	○身の回りのものについて、日本語と英語での言い方や、音声の違いに気づく。	○積極的に、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとしている。
Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし	4	○相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を伝えあおうとする。 ○活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○身の回りには活字体の大文字で表されているものがあることに気づく。	○活字体の大文字とその読み方に慣れ親しみ、友達と伝え合っている。	○身の回りには活字体の大文字で表されているものがあることに気付く。	○積極的に、身の回りにある大文字や、じぶんの姓名の頭文字を伝え合おうとする。
Unit7 This is for you. カードをおくろう()	5	○相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。 ○形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○日本語と英語の音声の違いや、国によって様々文化や習慣があることに気付く。	○形の言い方や欲しいものを伝える表現に慣れ親しみ、欲しい形を尋ねたり答えたりする。	○グリーティングカードを通じて英語と日本語の音声の違いや、国によって文化や習慣が異なることに気付く。	○進んで、いろいろな形を集めてカードを作り、伝えたい内容を含めて出来上がった作品を紹介しようとする。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

Unit8 What's this? これなあに？（身の回りの物）	5	・日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 ・絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	○身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり、それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。	○外来語とそれが由来する外国語の違いに気付く。	○進んで、クイズを出したり答えたりしようとする。
Unit9 Who are you? ～"In the Autumn Forest"～ きみはだれ？（人・動物）	5	・日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 ・絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	○誰かと尋ねたり、それに答えたりする表現に慣れ親しむ。また、絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。	○進んで、絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、台詞をまねて言おうとする。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立新田小学校

教科	外国語活動	学年	第4学年			
単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello!world!	2	○様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、世界の挨拶に慣れ親しむ。 ○友達と挨拶し、好みなどを伝え合う。 ○相手に配慮しながら友達と挨拶し、自分の好み等を伝え合おうとする。	○英語を使って挨拶したり、好きなものを伝え合ったりしている。	○世界には様々な言語や挨拶の表現があると気付く。	○積極的に挨拶をしようとする。	
Unit2 Let's! play cards	4	○進んで友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。 ○様々な動作や遊び、天気の違いの言い方や、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 ○日本の遊びと世界の遊びの共通点や相違点を通して、様々な考え方に気付く。	○様々な動作や遊び、天気の言い方に慣れ親しみ、友達に好きな遊びを尋ねたり自分が答えたりしている。	○日本の遊びと世界の遊び、自然の様子などの共通点や相違点に気付く。	○積極的に好きな遊びについて話し、友達を誘おうとする。	
Unit3 I like Modays.	3	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。	○曜日の言い方や曜日の尋ねたり答えたりする表現を使ってやりとりしている。	○世界の同年代の子供たちの生活と、自分の身の回りとの共通点やそういてんに気づく。	○進んで自分の好きな曜日を伝えようとしている。	
Unit4 what's time is it?	4	○進んで、自分の好きな時間について伝え合おうとする。 ○時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 ○世界の国や地域によって時刻が異なることに気付く。	○時刻や生活時間の言い方に慣れ親しみ、いろいろな人の日課や好きな時刻を聞き取ったり自分のことを伝えたりしている。	○世界の国や地域によって時刻が異なることに気づく	○進んで気に入っている時刻とその理由について伝えようとする。	

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

Unit5 Do you have a pen?	4	○進んで文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。 ○文房具など学校で使うものの言い方や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	○文房具など学校で使うものの言いかたに、慣れ親しみ、友達の持ち物について尋ねたり自分が答えたりしている。	○文房具や持ち物を通して、英語と日本語の音声の違いや、世界と日本の学校生活の共通点や相違点に気付く。	○進んで、おすすめの文房具について紹介しようとする。
Unit6 Alphabet	4	○相手に伝わるように工夫しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。 ○活字体の小文字とその読み方に慣れ親しみ、身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。	○活字体の小文字とその読み方に慣れ親しみ、大文字と比較したり小文字に関するクイズを出し合ったりする。	○身の回りには活字体の小文字で表されているものがあることや、大文字と小文字の共通点や相違点に気付く。	○進んで、身の回りにあるアルファベットの小文字を、探したり伝えようとする。
Unit7 What do you want?	5	○食材の言い方や、ほしいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○欲しい食材を尋ねたり要求するとともに、考えたメニューを紹介しあう。 ○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。	○食材の言い方や欲しいものを尋ねたり要求したりする表現を用いてやりとりをしている。	○欲しいものを尋ねたり要求したりする文の特徴に気づく。	○進んで、自分のオリジナルメニューを考え発表しようとする。
	6	○進んで、自分が気に入ってる場所を伝え合おうとする。 ○教科名や教室名、案内の表現に慣れ親しむ。 ○世界と日本の学校生活の共通点を通して、多様な考え方があることに気付く。	○学校生活に関わる教科名や教室名、また道案内の表現に慣れ親しみ、友達と校内の好きな場所について伝え合っている。	○世界と日本の学校生活について、共通点や相違点に気付く。	○積極的に自分の気に入っている校内の場所について理由とともに伝えたり、案内したりしようとする。
Unit9 This is my day.	7	○進んで、絵本などの短い話を反応しながら聞こうとする。 ○日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。	○絵本の中に登場する日課を表す表現に慣れ親しみ、内容についての質問に答えている。	○読み聞かせを通じ、英語のリズムや音声の特徴に気づく。	○積極的に絵本などの短い話を聞き取ろうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第3学年

単元名		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
大豆をそだてよう	18	○探究的な活動を通して、食にかかわる活動に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○食にかかわる活動をする人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○大豆や小松菜を育てる活動など、目的意識をもって活動しようとしている。
和楽苑の人となかよくなろう	6	○探究的な活動を通して、高齢者に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○ボランティア活動をする人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○交流会の準備やイベントの企画など、目的意識をもって活動しようとしている。
新左近川に住む生き物を調べよう	11	○新左近川に住む生き物との関わりや生き物に関する調査活動、新左近川の環境を守るための取組をしている人々と関わる探求的な学習を通して、生き物やそれを取り巻く環境、人々の関わり方について理解し、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の暮らしに生かそうとする態度を育てる。	○新左近川の環境や地域住民との関係性、新左近川を守る取組について理解している。	○自ら設定した課題に対し、手段を選択しながら情報を収集し、適切にまとめ、報告会で表現している。	○自分のよさやできることに気付き、課題解決に向けて取り組もうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第4学年

単元名		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
福祉の世界を広げよう	14	○探究的な活動を通して、ボランティア活動に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○ボランティア活動をする人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○交流会の準備やイベントの企画など、目的意識をもって活動しようとしている。
地域の安全について調べよう	12	○地域の安全に関する調査活動、地域の安全を守るための取組をしている人々と関わる探究的な学習を通して、災害時の取り巻く環境、人々の関わり方について理解し、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の暮らしに生かそうとする態度を育てる。	○災害が起きた時の地域住民との関係性、地域の安全を守る取組について理解している。	○自ら設定した課題に対し、手段を選択しながら情報を収集し、適切にまとめ、報告会で表現している。	○学年発表や集団下校での発表など、目的意識をもって活動しようとしている。
5年生にむけて	9	○探究的な活動を通して、自分の成長に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○自分の成長にかかわる人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○自分のよさやできることに気付き、課題解決に向けて取り組もうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第5学年

単元名		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
自然に親しもう ～新田平野の米作り～	16	○探究的な活動を通して、食にかかわる活動に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○食にかかわる活動をする人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○米を育てる活動など、目的意識をもって活動しようとしている。
雪国の暮らし	9	○雪国の暮らしに関する調査活動、地球の環境を守るための取組をしている人々と関わる探究的な学習を通して、世界や日本を取り巻く環境、人々の関わり方について理解し、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の暮らしに生かそうとする態度を育てる。	○地球環境や地域の気候の特色を生かした暮らし方の関係性、雪国の特色を生かした取組について理解している。	○自ら設定した課題に対し、手段を選択しながら情報を収集し、適切にまとめ、報告会で表現している。	○雪国での体験活動など、目的意識をもって活動しようとしている。
新田小のリーダーへ	10	○探究的な活動を通して、学校のリーダーに対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○地域の人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○自分のよさやできることに気付き、課題解決に向けて取り組もうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第6学年

単元名		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
新田小のリーダーとして	15	○探究的な活動を通して、学校のリーダーに対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○地域の人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○自分のよさやできることに気づき、課題解決に向けて取り組もうとしている。
いろいろな職業を調べよう	12	○職業に関する調査活動、仕事をしている人々と関わる探究的な学習を通して、職業やそれを取り巻く環境、人々の関わり方について理解し、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の暮らしに生かそうとする態度を育てる。	○社会と職業の関係性、実社会で働く人々の姿と自己の将来について理解している。	○自ら設定した課題に対し、手段を選択しながら情報を収集し、適切にまとめ、報告会で表現している。	○実社会で働く人々との交流体験活動など、目的意識をもって活動しようとしている。
卒業に向けて	8	○探究的な活動を通して、自分の成長に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○自分の成長に携わった人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫している。	○自分のよさやできることに気づき、課題解決に向けて取り組もうとしている。

教科	読書科	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いきものクイズをつくろう	5	○図書館の利用方法が分かり、読みたい生き物の本をタイトルなどから探すことができる。 ○読書を通して、興味や関心をもった内容について短い文でまとめ、友達に紹介することができる。	○自分が好きな生き物の本を読んで、書いてあることを友達に伝えたり、指を指しながら読んだりしている。 ○図書館の利用方法が分かり、自分が読みたい生き物の本をタイトルなどから探している。 ○生き物のすごいところを見つけて付箋を貼ったり、カードに書き出したりしている。	○生活の中から、自分が調べたい生き物を見つけている。 ○記録したカードを見て、一番伝えたいカードを選んでいる。 ○生き物のすごいところが伝わるように、画用紙にまとめ、自分の感想を交えて友達に伝えている。	○生き物のすごいと思ったところを探そうと、進んで本を読み、見つけたことを楽しんで伝えようとしている。
しらべてつくろう！あたらしいのりもの	7	○図書館の利用方法が分かり、読みたい乗り物の本をタイトルなどから探すことができる。 ○読書を通して、興味や関心をもった内容について短い文や絵でまとめ、友達に紹介することができる。	○自分が好きな乗り物の本を読んで、書いてあることを友達に伝えたり、指を指しながら読んだりしている。 ○図書館の利用方法が分かり、自分が読みたい乗り物の本をタイトルなどから探している。 ○乗り物のよいところを見つけて短い文や絵でまとめている。	○乗り物のよいところを見つけ、今までにない新しい乗り物を考え、新しい乗り物のすごいところを絵や短い文でまとめている。 ○新しい乗り物の、すごいところを、まとめたものを基に、友達に伝えている。	○乗り物のすごいと思ったところを探そうと、進んで本を読み、見つけた「すごい」ことを楽しんで伝えようとしている。

教科	読書科	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新田動物園をつくろう	12	○調べたい生き物に関する資料を収集して記録を取り、その内容を理解し、発表したり、紹介したりできる。 ○動物などの生き物に関する「問い」をもち、その解決に向けて、図鑑などの本を読み、自分が調べたことを簡単な文にまとめたり、話し合ったりすることができる。 ○自分が見付けた「問い」に対して、進んで本を読み、調べようとする。	○自分が選んだ動物などの生き物の本を読んで、書いてあることを友達に伝えたり、指を指しながら読んだりしている。 ○図書館の利用方法やマナーを守り、情報ファイルや図鑑からも資料を探し出している。 ○面白いことや知りたいと思ったことを、カードに書き出したり、短い言葉や文で書いたりしている。	○身近な生活や体験の中から、動物などの生きものに関する「問い」を見つけている。 ○調べたことを比べたり、伝えたいことの順序を考えたりしている。 ○動物などの生きものについて調べたことや自分の考えをパンフレットにまとめている。発表会で、その内容を紹介している。	○自分で探した本や図書館資料をすすんで読もうとしている。 ○自分で「問い」を見つけ、動物などの生きものに対する思いをもって、調べたことを相手に伝えようと主体的に学習を進めている。

教科	読書科	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調べて発見！ 〇〇のひみつ (4時間)	4	○「問い」に対する必要な資料を収集して記録を取り、その内容を理解し、発表したり、紹介したりできる。 ○身近な生活に関する疑問を見付け、その解決に向けて、百科事典などの資料を収集し、自分が調べたことを絵や文章にまとめたり、話し合ったりすることができる。 ○自分が見付けた疑問に対して、進んで本を読み、調べようとする。	○自分が選んだ「問い」に関する本を選び、書いてあることをまとめたり、友達に伝えたりしながら読んでいる。 ○百科事典・図鑑の目次や索引などの仕組みを理解している。 ○自分で選んだ本を読み、その内容を理解して必要な情報を正確に書き抜いたり、文で表したりしている。	○身近な生活の中から調べたいことを見つけている。 ○調べたことを比べたり、伝えたいことの順番を考えたりしている。 ○調べたことを自分の感想を入れて、簡単な文や絵にまとめている。	○自分が見付けた「問い」に対して、進んで本を読み、調べようとしている。
野さい調べ	8	○「問い」に対する必要な資料を収集して記録を取り、その内容を理解し、発表したり、紹介したりできる。 ○野菜に関する「問い」を見付け、その解決に向けて、複数の本を読み、比較・分類し、自分が調べたことを簡単な文にまとめたり、話し合ったりすることができる。 ○自分が見付けた疑問に対して、進んで本を読み、調べようとする。	○野菜について自分が選んだ「問い」に関する本を選び、書いてあることをまとめたり、友達に伝えたりしながら読んでいる。 ○日本十進分類法に基づいて、図書館の本が並んでいることを理解し、百科事典・図鑑の目次や索引などの仕組みを理解している。 ○自分で選んだ本の中から、必要な情報を正確に書き出したり、短い言葉や文で表したりしている。	○野菜に関する「問い」を見付け、その解決に向けて、本を読み、情報を整理し、自分が調べたことを簡単な文にまとめたり、話し合ったりしている。 ○野菜についてしらべたことを自分の考えを入れてまとめ、それをもとに伝えあっている。	○自分が見付けた「問い」に対して、進んで本を読み、調べようとしている。

教科	読書科	学年	第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
SDGs～私たちのまち～	12	○SDGs(11・14・15)について、自分で見つけた「問い」に対する必要な資料を収集して記録を取り、その内容を理解し、発表したり、紹介したりできる。 ○身近な生活に関する疑問を見付け、その解決に向けて、百科事典などの資料を収集し、自分が調べたことを絵や文章にまとめたり、話し合ったりすることができる。 ○自分が見付けた疑問に対して、進んで本を読み、調べよう	○SDGsについて自分が探した本を、友達に伝えたり、付箋を貼ったりしながら読んでいる。 ○情報リストの必要性を理解して作成している。 ○自分の調べたい情報を得ることができそうな図書館の資料を効率よく探している。 ○自分で選んだ本を読み、その内容を理解して必要な情報を正確に書き抜いたり、要約して書き出したりしている。	○SDGsについて調べたい疑問を見つけている。 ○情報を記録したカードを使って、自分の「問い」に合っているか考えながら、整理・分析している。 ○SDGsについて調べたことや自分の考えを、まとめ方を選んでまとめている。	○「問い」の解決のために探したSDGsについての本を、すすんで読んでいる。 ○自分が見つけた「問い」について、主体的に学んでいこうとしている。

教科	読書科	学年	第5学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調べて発見！おすすめ都道府県	12	○日本に関わるさまざまな事象について、問題解決に適した仕方 方で、意欲的に情報を収集することができる。 ○必要な情報を引用したり要約したりして整理・分析し、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	○自分が選んだ図書館資料を読んで、紹介したいところに付箋を貼っている。 ○問題の解決のために、図書館資料の出典や作成時期などを確かめたり、インターネットの情報の信頼性に留意したりして必要な情報を収集している。また、統計資料などの図書館資料からも情報を効率よく確実に収集している。 ○問題の解決のために、図書館資料などを読み、目的に応じて必要な情報を引用したり、要約したりして書き出している。	○日本に関わるさまざまな事象を自分の考えや経験などに関連付け、問題を見つけている。 ○問題の解決のために収集した情報を整理し、自分の考えを交えて整理・分析している。 ○目的に合わせた方法を選んでまとめ、それをもとに友達に説明している。	○問題の解決のために探した本を、すすんで読んでいる。 ○自分が見つけた問題について、他者と関わり合いながら、粘り強く解決し、主体的に学んでいこうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立新田小学校

教科	読書科	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新田小の植物を調べよう	6	○新田小の植物について問題解決に適した仕方で、確実に情報を収集することができる。 ○必要な情報を引用したり要約したりして整理・分析し、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	○自分が選んだ図書館資料を読んで、紹介したいところに付箋を貼っている。 ○百科事典や図鑑などの図書館資料からも情報を効率よく確実に収集している。 ○問題の解決のために、選んだ図書館資料を読み、目的に応じて必要な情報を引用したり、要約したりして書き出している。	○新田小の植物について解決したい問題を見つけている。 ○問題の解決のために収集した情報を整理し、自分の考えを交えて整理・分析している。 ○目的に合わせた方法を選んでまとめ、それをもとに、友達に説明している。	○問題の解決のために探した本を、進んで読んでいる。 ○自分が見つけた問題について他者と関わり合いながら、粘り強く解決し、主体的に学んでいる。
偉人に学ぶ、生き方調べ	6	○自分の興味のある人物について、問題解決に適した仕方で、確実に情報を収集することができる。 ○必要な情報を引用したり要約したりして整理・分析し、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	○自分が選んだ本を読んで、印象に残ったところに付箋を貼っている。 ○自分が興味をもった人物の本を複数探している。 ○問題の解決のために、選んだ本を読み、印象に残ったことを引用したり、要旨をまとめたりして書き出している。	○自分の興味のある人物を見つけている。 ○自分の興味のある人物の人物や生き方が分かる情報を整理している。 ○問題の解決に向けて整理した情報に対して、自分の考えをもち分かりやすくまとめ、表現している。	○問題の解決のために探した本を、すすんで読んでいる。 ○自分が見つけた問題について、他者と関わり合いながら、粘り強く解決し、主体的に学んでいる。